

SHARP®

デジタルコードレスファクシミリ 取扱説明書

[ファッピ:]
fappy*
FAX makes it happy.

ユーエックス ディー シー エル
UX-D90CL (子機 1台タイプ)
ユーエックス ディー シー ダブル
UX-D90CW (子機 2台タイプ)



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
ございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全に正しくお使いいただくために」(P.9~12ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

技術基準適合品

こまったときは

本機が正しく動かないなど
お困りのときは、

208~209ページをご覧ください。



ニッケル水素電池の

リサイクルにご協力ください。 ※NTTへのサービス申し込みが必要です(有料)。

ND ナンバー・ディスプレイ 対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

もくじ

ご使用前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷・コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん

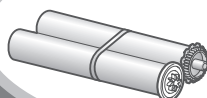
知りたいこともくじ

よくお使いになる機能やお問い合わせの多い内容をまとめました。
通常のもくじは4～5ページをご覧ください。

別売品について

別売品一覧 ⇒ 237ページ

使えるインクリボンの品番は？



UX-NR8G (1本入り)
UX-NR8GW (2本入り)

使える子機の充電電池の品番は？



A-002

ナンバー・ディスプレイを使って

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を本機のディスプレイに表示させるサービスです。

ナンバー・ディスプレイサービスを契約したいときは

局番なしの**116番** へお問い合わせください (有料)

ナンバー・ディスプレイでできること ⇒ 190ページ

03XXXXXXXX



いろいろな設定を使いたい！

携帯電話へおトクにかける設定をしたい！

(携帯とくとくダイヤル)

⇒ 153ページ

ディスプレイに表示された手順に従って、かんたんに
いろいろな操作をしたい！ (使いかたガイド)

⇒ 30ページ

お使いの環境に関する質問に答えるだけで、自動的にその環境にあった

ファクスの受信方法に設定したい！ (着信設定ガイド) ⇒ 116ページ

登録設定早見表 ⇒ 250～257ページ

特別設定 ⇒ 239～245ページ

おトク！



使いかたガイドで
かんたん設定！

迷惑電話がかかってきたら

- かかってきた迷惑電話を切るために…

かかってきた **迷惑電話をお断り**
⇒ 59ページ



この電話は、お受けすることはできません…

- 迷惑電話を受けないようにするために…

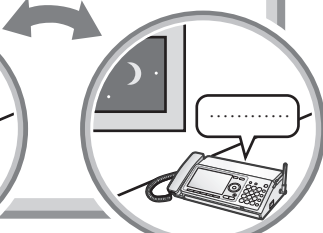
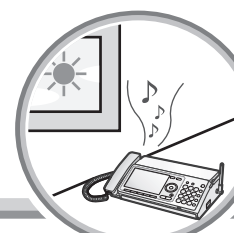
特定の番号からの電話を受けないようにしたい！（特定番号お断り）
⇒ 205ページ



相手側

非通知の相手や**公衆電話**からの電話を受けないようにしたい！
⇒ 204ページ

おやすみ時間など、特定の時間だけ**着信音や動作音を鳴らさない**ようにしたい！（おやすみモード）
⇒ 169ページ

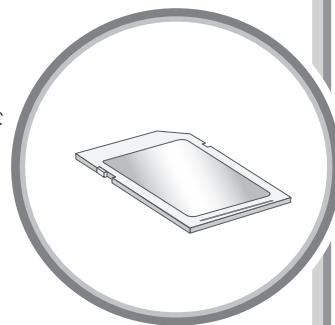


SDカードを使いたい

SDカードは同梱されていません。ご利用になりたいときは、市販のSDカードをお買い求めください（使用できるSDカードは138ページ）。

SDカードを使ってできること
⇒ 139ページ

SDカードの取り付けかた／取り外しかた
⇒ 140～141ページ



本機の動作で困ったときは

「こまったときは」をご覧ください。
⇒ 208～209ページ



もくじ

知りたいこと もくじ	2
もくじ	4

ご使用の前に

特長	6
付属品の確認	8
安全に正しくお使いいただくために	9
ご使用の前に知っていただきたいこと	13
取扱説明書の見かた	16
親機各部のなまえ	17
子機各部のなまえ	20
液晶ディスプレイ	21
くるピカキーについて	23
親機を接続する	24
電話回線（ダイヤル／プッシュ） の種別を手動で設定するときは	29
使いかたガイド（操作ガイド）	30
いろいろな接続	32
インクリボンを確認する／交換する	35
子機を充電する／充電電池を交換する	38
音の設定を変える	41
日付と時刻を設定する	48
自分の番号・名前を登録する	50

電話・電話帳

電話をかける・受ける・かけ直す	53
迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）	59
親機と子機、子機と子機の間でお話する （内線通話）	62
電話をとりつぐ／3人で電話でお話する （3者通話）	64
電話帳の登録／修正／消去	69
親機の電話帳を音声でお知らせする （おしゃべり電話帳）	75
文字を入力する	80
電話帳で電話をかける	83
ワンタッチダイヤルを使う（親機）	87
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する	89

留守番電話

留守に設定する／解除する	91
録音されている内容を再生／消去する	94
応答メッセージを選ぶ	99
外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）	103
留守番電話の応答回数を変更する （留守時応答回数）	105

ファクス

ファクスを送る	108
ファクスの受けかた	114
質問に答えて自動的にファクスの受信方法を 設定する（着信設定ガイド）	116
電話に出てからファクスを受ける	118
電話に出ないで自動的にファクスを受ける	120
FAX 優先または FAX 専用にする	122
受信したファクスをディスプレイで見る （見てからプリント）	124

印刷・コピー

記録紙のセットのしかた	132
メモリー受信したファクスを印刷する	133
コピーする	135
登録した内容を印刷する	136

SD カード

SD カードを取り付ける／取り外す	138
画像データを読み込んで SD カードに 保存する（スキャン機能）	142
SD カード内の画像データを親機で活用する	144
SD カードに録音／ファクスデータを保存する	149
SD カードに電話帳のデータを保存する	151

便利な機能

携帯電話へおトクにかける （携帯とくとくダイヤル機能）	153
赤外線を使ってデータを受信して活用する （ケータイ de コピー）	155
1つの電話回線で複数の番号を使う （モデムダイヤルインサービス）	162
着信音や動作音を鳴らさないようにする （おやすみモード）	169
子機を増やす	173
伝言メモを録音する（メモ録音）	174
通話内容を録音する（今から録音）	175
通話内容をさかのぼって録音する （戻って録音）	177
録音した内容を通話中に再生する	180
親機をもっと便利に使う	181
子機をもっと便利に使う	182
ドアホンをつなぐ	183
ドアホンと話す（ドアホン通話）	185
キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ	187

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	188
着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）	191
着信記録（着信履歴）を見る	196
着信記録（着信履歴）を使って電話をかける	198
着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）	201
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）	204
特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）	205
ネーム・ディスプレイを利用する	207

こまったときは

こまったときは	208
電話がかかけられない	210
ファクスを送れない	212
ファクスを受けられない／着信音が鳴らない	213
相手の声が聞こえにくい	214
コピーや印刷ができない	215
印刷した画像が汚い	216
子機が使えない	217
留守モードが正しく働かない	218
赤外線受信ができない	219
SDカードが使えない	220
ナンバー・ディスプレイが使えない	222
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	224
その他 こまったときは	225
記録紙に白や黒の線が入るときは	227
お手入れのしかた	229
原稿や記録紙がつまったときは	230
エラー表示／エラー音について	233
故障かな？と思ったときは（修理依頼される前に）	236

ご参考に

別売品／消耗品	237
登録や設定・電話帳の内容を初期化する	238
特別設定について	239
区点コード一覧表	246
仕様	248
登録／設定早見表	250
用語集	258
リモート操作手順カード	259
保証とアフターサービス（よくお読みください）	261
お客様ご相談窓口のご案内	262
さくいん	263
保証書	275

お調べになりたい内容が、もくじから探しにくいときは、さくいん（☎263～267ページ）をご覧くださいになると見つかる場合があります

Datalight is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX™ is a trademark of Datalight, Inc.
Copyright 1993-2004 Datalight, Inc., All Rights Reserved
U.S. Patent Office 5,860,082/6,260,156

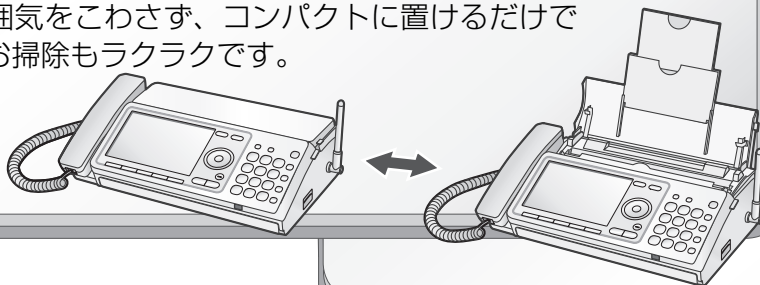
お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☎262ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

特長

片手でスルッと 引き出せる **しまえるトレイ**

ファクシミリ機能を使わないときは、記録紙トレイをスッキリ収納できます。お部屋の雰囲気をこわさず、コンパクトに置くだけでなく、ホコリが防げてお掃除もラクラクです。



ケータイカメラを使って手軽にコピー **ケータイdeコピー** (☎ 155～161ページ)

携帯電話のカメラで撮った写真データを、IrSS™/IrSimple™など赤外線通信で本体にワイヤレス転送。ノートや免許証など本体では読み取れないものを手軽にコピーしたり、ファクス送信することができます。

迷惑電話をお断り！ **セキュリティ機能**

● 戻って録音、今から録音 (☎ 175～176、177～179ページ)

ボタンを押す前の会話を最大15分前までさかのぼって録音できる「戻って録音」
ボタンを押した後の会話を、証拠やメモ代わりに録音できる「今から録音（通話録音）」

● 迷惑電話拒否機能（3種類） (☎ 59ページ)

- ・チャイムでお断り／メッセージでお断り／録音でお断り

● おやすみモード (☎ 169～172ページ)

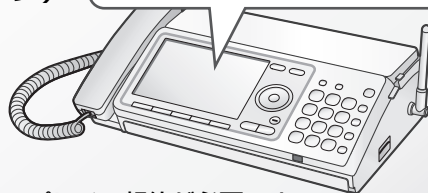
※特定の番号からの着信だけ受けるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です

特定の時間だけ、着信音を鳴らさないように設定できます。

夜間など、おやすみのときに急な電話で起こされることはありません。

特定の相手からの電話だけ受けることができる（選んで着信 ☎ 171～172ページ）ため、緊急のときも安心です。

この電話は、お受けすることができません…



大画面だから見やすく、使いやすい 5.0型高精細液晶

● 見てからプリント (☎124~131ページ)

受信したファクスを大きな5.0型の「くっきりホワイト液晶」で確認。必要なものだけ印刷できるので用紙代やインクリボン代を節約できます。また、回すだけでスムーズに拡大・縮小の操作ができる「くるピカキー」を搭載して、さらに使いやすくなりました (☎23ページ)。

● デカ文字表示

電話帳や着信/発信時の相手の名前や電話番号などが大きな文字ではっきり確認できます。

FAXも留守録もたっぷり保存できる

SDカード対応 (☎138~152ページ)

受信したファクスデータや留守録などの音声データを直接SDカードに保存できます。受信ファクスなら最大150件(1件で最大99枚)、音声データなら最大500件(1件で最大60分)の保存が可能です。

また、読み取った原稿をSDカードに保存したり、電話帳データをSDカードにバックアップすることもできます。

※SDカードは付属しておりません。お使いになるときは、別途お買い求めください (☎138ページ)

かけてきた相手が音声でわかる

新・誰からコール

● 誰からコール (☎191~192ページ)

※ナンバー・ディスプレイの契約が必要です

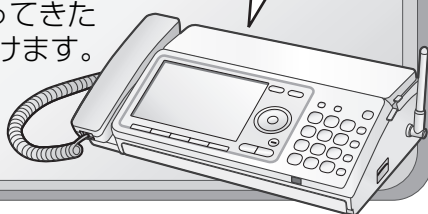
かけてきた相手の名前を音声でお知らせ。電話の近くにいなくても、相手がわかるので便利です。

● 誰あてコール (☎193ページ)

かけてきた相手の名前と一緒に、誰あてにかかってくる音を音声でお知らせ。電話をとりつぐ手間が省けます。

※音声お知らせ機能の音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。

お父さんあてに
〇〇さんからです



・本商品には当社が液晶画面で読みやすくなるように設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。



付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機 1台 	受話器 1個 受話器コード 1本 	子機 UX-D90CL : 1台 UX-D90CW : 2台 	充電器 (子機用) UX-D90CL : 1個 UX-D90CW : 2個 
充電電池ふた (子機用) UX-D90CL : 1個 UX-D90CW : 2個 	充電電池 (子機用) UX-D90CL : 1個 UX-D90CW : 2個 	電話機コード (約1.5m) 1本 	お試し用インクリボン 1本 ●インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。 
●付属のお試し用のインクリボンは、工場出荷時に本機が正しく動作できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっていますので (A4サイズで、約20枚印刷可能)、お早めに別売インクリボンをお買い求めください (☎ 237ページ)。 ●インクリボンは、必ず当社の純正品をお使いください (☎ 237ページ)。 ■UX-NR8G (33m×1本入り) ■UX-NR8GW (33m×2本入り) ●SDメモリーカードは付属していませんので、ご使用になるときは別途お買い求めください (☎ 138ページ)。 ●記録紙は付属していませんので、お買い求めください (☎ 237ページ)。			
取扱説明書 (本書) ※ 1冊		取り付けと基本操作 ※ 1部	

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



上の記号は、気をつける必要があることを表しています。



上の記号は、してはいけないことを表しています。



上の記号は、しなければならないことを表しています。

危険

充電電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電電池の液もれ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。



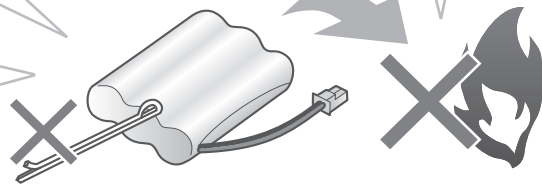
- 充電電池をネックレス・ヘアピンなど金属のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 充電電池の \oplus \ominus 端子を金属などで接触させないでください。
- 充電電池の端子は \oplus \ominus を逆にして接続しないでください。



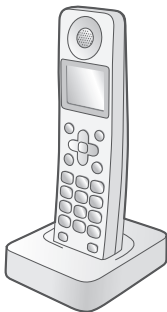
- 充電電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。



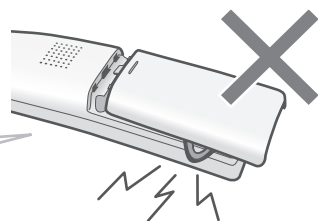
- 充電電池は、専用のものを使用してください。
- 充電電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。失明のおそれがあります。



- 充電電池は、子機以外の機器には使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外では使用しないでください。



- 充電電池ふたを取り付けるときは、充電電池のコードをはさまないようにしてください。



警告



■水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。

火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。



■内部に金属物を入れないでください。

火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。



■浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。

絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。



■万一、内部に水や異物などが入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜き、子機の充電池をはずして販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



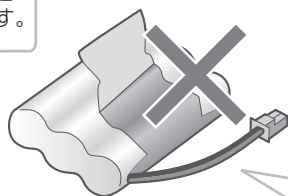
■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。

火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。



■病院内などの使用を禁止された場所ではご使用にならないでください。

電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。



■充電池のビニールカバーを、はがさないでください。

充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■充電池を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。

充電池が発熱したり、サビの原因となります。



■充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に障害を起こすことがあります。

警告

交流 100V



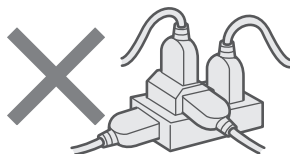
■差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。

感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。

感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流 100V）に接続してください。海外や交流 100V 以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



■SDカードは乳幼児の手の届く所に置かないでください。

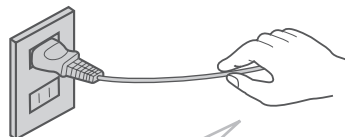
誤って飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。



■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。

感電の原因になります。



■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。

次のようなことはしないでください。

- ・傷つける
- ・無理に曲げる
- ・加工する
- ・無理にねじる
- ・熱器具に近づける
- ・重いものを載せる
- ・無理に引っ張る
- ・束ねる

傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。



■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。

けがの原因になります。

万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。




■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。火災・感電・故障の原因になります。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。

火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。








⚠ 注意



-  ■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ホコリの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■充電器の上に、コインなどの金属を置かないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。

■充電器から磁力線が出ていますので、磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因になることがあります。また、磁気に弱いものは使えなくなることがあります。
-  ■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。
-  ■暑い場所や直接日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。
-  ■充電機は、幼児の手の届かない所に保管してください。
-  ■カバーを閉めるときに、指などはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。
-  ■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。
-  ■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。
-  ■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてから（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。
- 万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

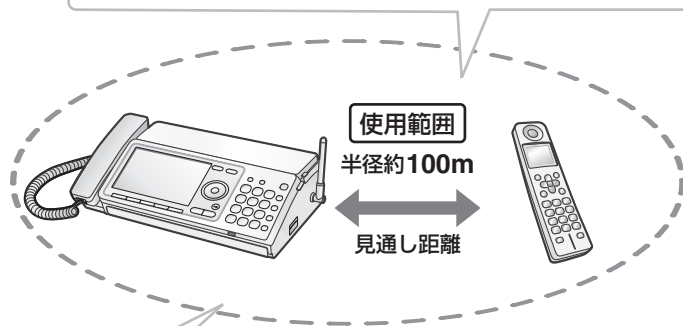
 -  ○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
接地工事（D種）が行われている接地端子
 -  ○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管／電話専用アース／避雷針／
水道管や蛇口

ご使用前に知っていただきたいこと

本機の取り扱いについて

■ 親機と子機の間には障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなる場合があります。



■ 子機の使用範囲を確かめる

電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。内線通話（☎62～63ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ 親機のアンテナは、立ててお使いください

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ずまっすぐに立てて、お使いください。



まっすぐに立てる



■ アンテナにコードを巻き付けない

着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

■ 本機を設置するときは

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。

- 電子レンジ ●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
- ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局 ●工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム ●マイクロ波治療器
- 2.4GHzコードレス電話機
- その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。



■ 子機の電波について

子機は、2.4~2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避できません。

変調方式：FH-SS方式 与干渉距離：80m

本機には、それを示すマークが貼付されています。



本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
 - 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）
- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。



■ “傍受” にご注意ください

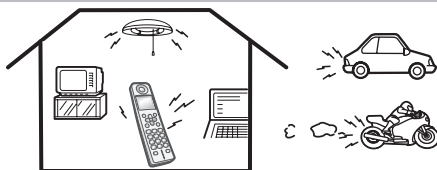
本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。

■ 電波雑音にご注意ください

テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに本機を設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに本機を設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。

これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。





■ 子機に雑音が入ることがあります

- 磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声かとぎれたり、通話できなくなることがあります。
- アンテナの近くに、AC アダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声かとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
- 本機の近くに携帯電話の充電器や AC アダプターを置くと、声かとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
- 親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声かとぎれることが多くなります。
- 動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声かとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ 子機の着信音は、親機と同じタイミングでは鳴りません

電話がかかってくると、子機が親機より遅れて鳴ったり、早く鳴ったりします。

■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 使用中に温かくなることがあります

親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなるがありますが、故障ではありません。

ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、

「機器使用料」は、不要 となります。

詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This machine is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

この装置について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

取扱説明書の見かた

タイトル

項目のおおまかな内容を表しています。

中見出し

説明している操作などの具体的な内容を表しています。

機能説明

機能の内容を説明しています。

操作手順

基本的な操作を説明しています。特に指定がない場合、待受画面の状態（何も操作をしていない状態）で、説明の通りに最初から順番にボタンを押してください。イラストは、必要なボタンの位置や、操作をしているときに表示されるディスプレイの画面例を表しています。項目の最後に「次ページへ」と書かれているときは、操作手順は次のページへ続いています。続けて、次ページをご覧ください。

補足説明

操作に関する補足事項を説明しています。





追加説明

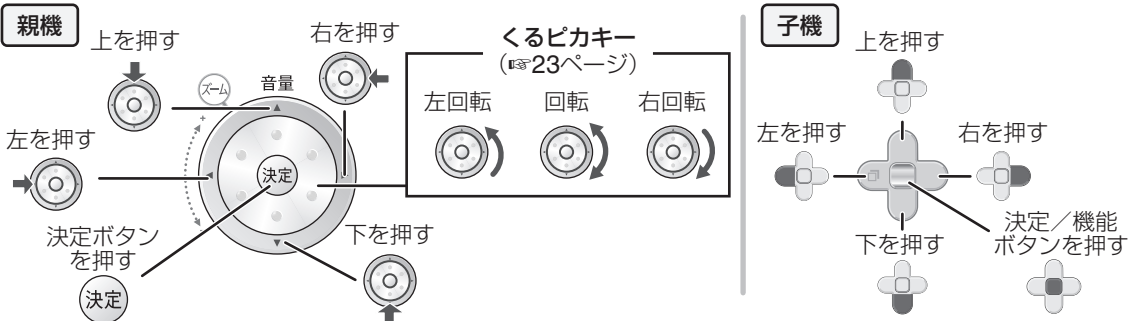
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ

制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

■ 操作手順でのボタンやマークの意味

操作手順にある  や  の形のマークは、マルチファンクションキーを表しています。マルチファンクションキーとは、親機の真ん中にある  のや子機の真ん中にある  の形のキーです。ディスプレイの項目の選択や決定に使います。上下左右を選ぶときは、それぞれ十字キーの上下左右を、決定を選ぶときは、真ん中の決定/機能ボタンを押してください。



● お知らせ

- 表記されている画面例は、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 操作説明によっては、画面表示例がっていないものがあります。

伝言メモを録音する（メモ録音）

親機でメモ録音することができます。本体メモリーを使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分または最大30件まで録音できます。SDカードを本機に取り付ける（※140ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（※140ページ）。SDカードに録音できるメモは1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大500件です（60分×500件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

親機でメモ録音をする

1 受話器を取る



2 受話器を押す




・録音が始まります。

3 録音が終わったら 停止 押す



4 受話器を戻す



・メモを録音すると、 が点滅します。
・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

録音したメモを再生するときは

録音されたメモは、留守録メッセージと同じように未再生の録音として登録されます。他の録音と同じ操作で再生してください。

再生

親機：  を押す

子機：  を押す

①  を押す

② [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶留守番電話
着信音量
着信音色

③  を押し、[用件再生] が選択されていることを確認する

▶用件再生
留守設定切替
全消去

④  を押す

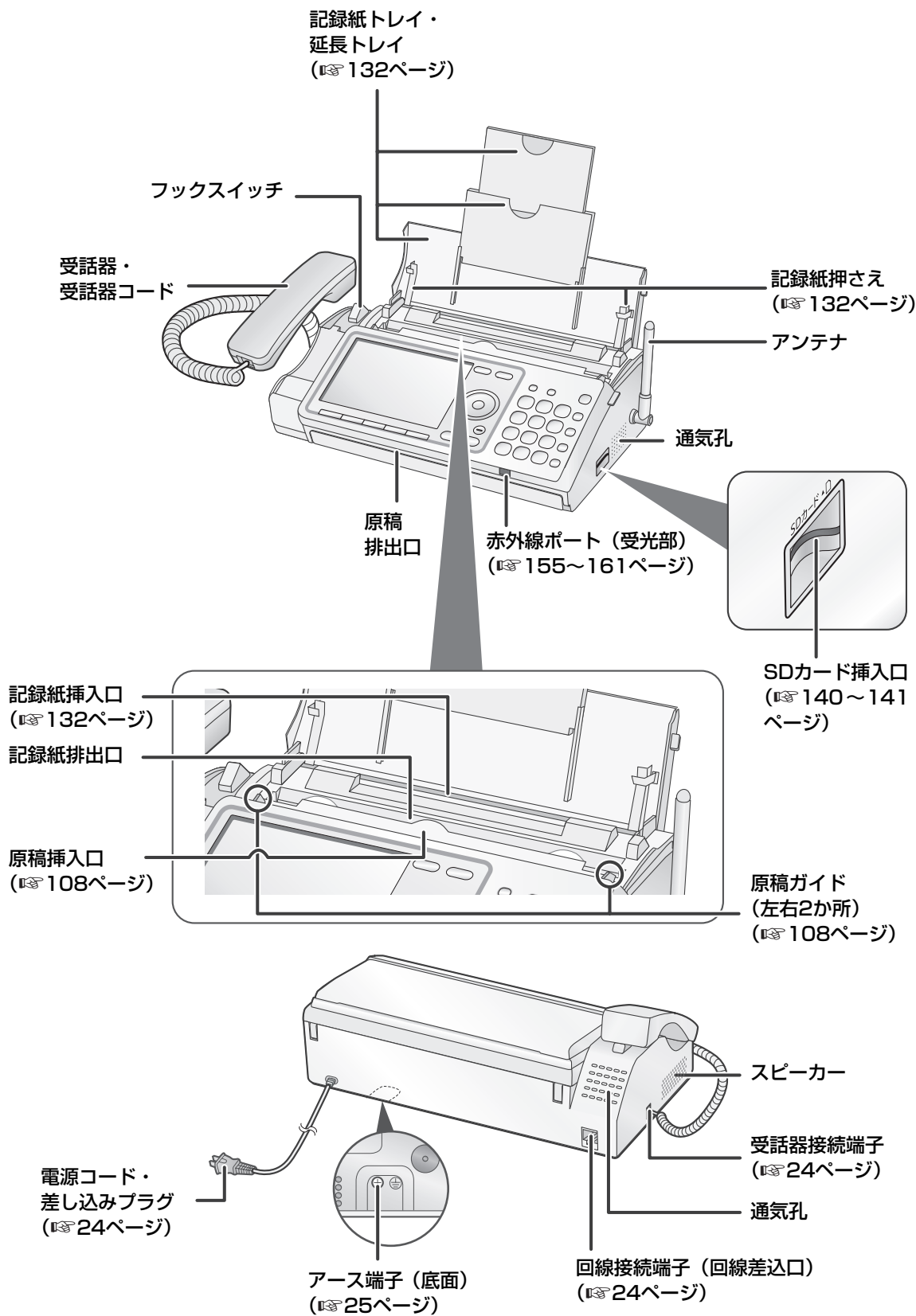
メモ録音をしているときに電話がかかってきたときは

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

● お知らせ

- メモを録音しているときは、子機で電話をかけた後、内線通話を行ったりすることはできません。

親機各部のなまえ

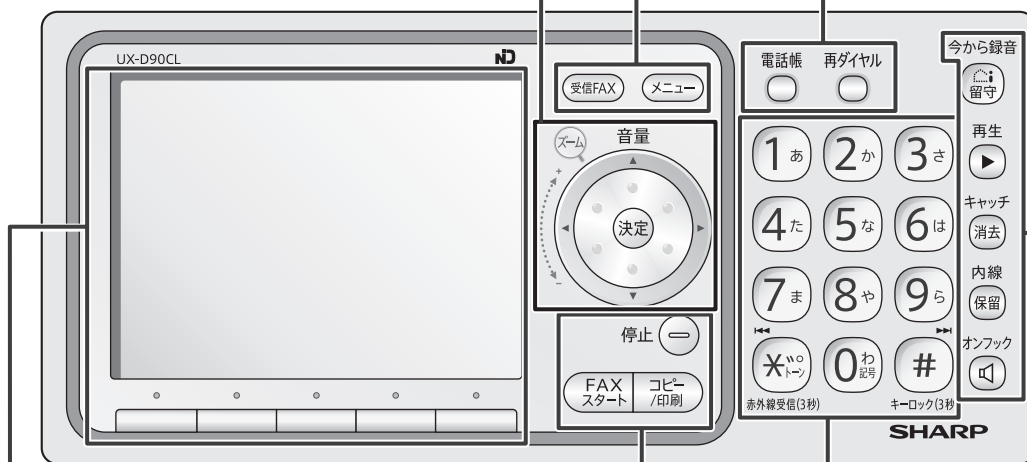


もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
こまったときは
ご参考に
さくいん




 (マルチファンクション) キー /
  (決定) ボタン /
  くるピカキー



・項目の選択、決定など



	くるピカキー (☞23ページ) ・電話帳 (☞83ページ) ・見てからプリントの拡大/縮小 (☞126、145ページ)
	ズームランプ 見てからプリントで画像を表示中、くるピカキーで表示を拡大または縮小できるとき (☞126、145ページ) に点灯します。
	上を押す ・着信音量変更 (☞41ページ) ・スピーカー音量変更 (☞44ページ) ・受話音量変更 (☞43ページ) ・文字変換 (☞81ページ)
	下を押す ・着信音量変更 (☞41ページ) ・スピーカー音量変更 (☞44ページ) ・受話音量変更 (☞43ページ) ・文字変換 (☞81ページ)
	左を押す ・待ち時間 (ポーズ) の入力 (☞72ページ)
	決定ボタン ・選択した項目の決定 ・待受画面からメニュー画面の呼び出し



液晶ディスプレイ
(☞21ページ)

	FAXスタートボタン ・ファクスの送受信 (☞108～111、118ページ)
	コピー/印刷ボタン ・メモリー受信したファクスをプリント (☞133ページ) ・コピー (☞135ページ)
	停止ボタン ・操作や送信の中止


	受信FAXボタン ファクスをメモリー受信すると、ランプが点滅します。 ・見てからプリント (☎124ページ)
	メニューボタン ・メニュー画面の呼び出し

	電話帳ボタン ・電話帳 (☎83ページ)
	再ダイヤルボタン ・再ダイヤル (☎56ページ)

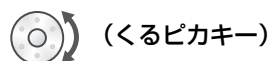
	留守／今から録音ボタン ・留守の設定 (☎91ページ) ・留守の解除 (☎92ページ) ・今から録音 (☎175ページ)
	再生ボタン ・録音再生 (☎94ページ) ・通話中再生 (☎180ページ)
	キャッチ／消去ボタン ・各種消去 ・キャッチホン (☎187ページ)
	内線／保留ボタン ・内線通話 (☎62ページ) ・通話の保留 (☎54ページ)
	オンフックボタン ・受話器を置いたままダイヤル (☎54ページ)

ダイヤルボタン

電話をかける／文字入力／登録操作など

	・録音を聞き直す (☎96ページ) ・プッシュホンを利用する (☎54ページ)
#ボタン" data-bbox="108 877 148 897"/>	・次の録音へとばす (☎96ページ) ・キーロック (☎181ページ)


点灯 (点滅) するキー、ボタン、ランプは




の4つです。


子機各部のなまえ



前面

 (マルチファンクション) キー／

 (機能／決定) ボタン

・項目の選択、決定など

	上を押す ・受話音量変更 (☎47ページ)
	下を押す ・スピーカー音量変更 (☎47ページ)
	左を押す ・再ダイヤル (☎57ページ) ・着信記録 (☎197、199ページ) ・待ち時間(ポーズ)の入力(☎78ページ)
	右を押す ・電話帳登録 (☎77～78ページ) ・電話帳検索 (☎86ページ)
	機能／決定ボタン ・選択した項目の決定 ・機能メニューの呼出 ・ファクスの送受信 (☎110、119ページ) ・通話中の録音再生





 キーや  ボタンは、本書では上記のように略図で示しています。

通話ボタン

・電話をかける・受ける (☎53～55ページ)

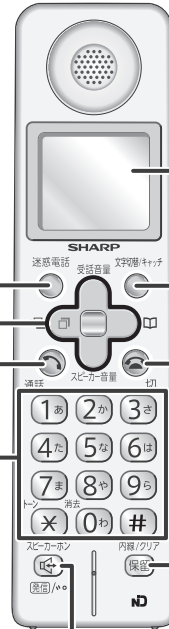
ダイヤルボタン

電話をかける／文字入力など

	録音を聞き直す (☎98ページ)		録音の早聞き (☎98ページ)
	次の録音にとばす (☎98ページ)		プッシュホンを利用する (☎54ページ)

迷惑電話ボタン

- ・チャイムでお断り、メッセージでお断り、録音でお断り (☎60ページ)
- ・戻って録音 (☎178ページ)
- ・今から録音 (☎175～176ページ)



液晶ディスプレイ (☎22ページ)

文字切替／キャッチボタン

- ・文字切替 (☎80、82ページ)
- ・キャッチホン (☎187ページ)

切ボタン

- ・通話の終了
- ・登録メニューの終了

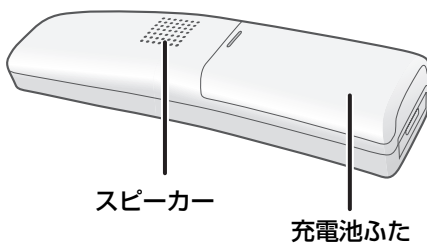
保留／内線／クリアボタン

- ・保留 (☎54ページ)
- ・内線通話 (☎63ページ)
- ・文字消去 (☎82ページ)

スピーカーホンボタン

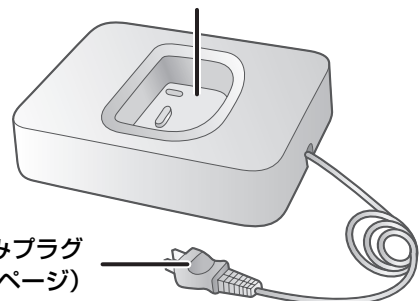
- ・スピーカーホン通話 (☎54、55ページ)
- ・受話通話 (☎54ページ)

背面



充電器

充電部 (☎39ページ)



液晶ディスプレイ

親機や子機の液晶ディスプレイの表示について説明します。

親機

約3分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示が消えます。いずれかのボタンを押すと、再び通常の表示に戻ります。メッセージがある場合は、バックライトのみが消灯します。



設定状態表示

|見てからプリント|、|メモリー受信| または |記録紙受信|
ファクス受信方法の設定 (☎ 240ページ) を表示します。

|FAX優先|、|FAX専用| または |おやすみモード|
FAX優先や、FAX専用設定されているときに表示します (☎ 122～123ページ)。
また、おやすみ機能が設定されているときに表示します (☎ 169～172ページ)。

|着信音ON| または |誰からコール|
着信音を鳴らさない設定のときや「おやすみモード」 (☎ 169～172ページ) を設定しているとき、または「誰からコール」が設定されているとき (☎ 191～195ページ) に表示します。

① **SD**
SDカードの挿入時に表示します (☎ 140ページ)。また、データの読み込み、書き込み中には点滅します。

保存 SD
受信ファクスや録音メッセージの保存先をSDカードに設定 (☎ 140ページ) しているときに表示します。

保存 IC
受信ファクスや録音メッセージの保存先を本体メモリーに設定 (☎ 140ページ) しているときに表示します。

キーロック
キーロックが設定されているときに表示します (☎ 181ページ)。

① **お断り**
各種の着信お断り機能 (☎ 204～205ページ) が設定されているときに表示します。

とくとく
携帯とくとくダイヤル (☎ 153～154ページ) が設定されているときに表示します。

② **エラー／メッセージ表示** (☎ 233～235ページ)
各種のメッセージを表示します。

③ **日付・時刻表示**
日付・時刻を表示します。

④ **メモリー表示**
留守録音 (留守録音件数表示)
留守録音やメモ録音の件数を表示します。

メモリー (メモリー受信件数表示)
メモリー受信しているファクスの件数を表示します。

⑤ **ソフトボタン名表示／ソフトボタン**
ここでは、「操作ガイド」や「着信記録」のように、そのとき使用できる機能の名称が表示されます。表示の下のソフトボタン () を押すと、その機能を使用できます。ソフトボタンを使った操作は、以下のように表記しています。

例: 「操作ガイド」という画面表示の下の () を押す → **操作ガイド**


子機

着信音を「切」に設定しているときに表示します。

通話ボタンを押すと表示します。

時刻や電話番号、子機番号や使用者名（設定したときのみ）、通話時間などを表示します。

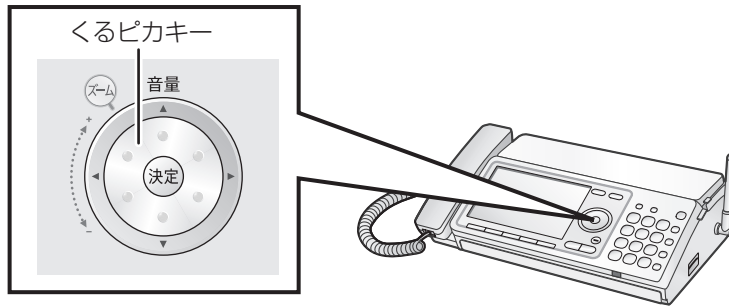


充電電池の残量が不足しているときに表示します（ 38ページ）。

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

くるピカキーについて

親機には、マルチファンクションキーの上下左右キーと決定ボタンの間に、回転させて項目を選択する「くるピカキー」があります。





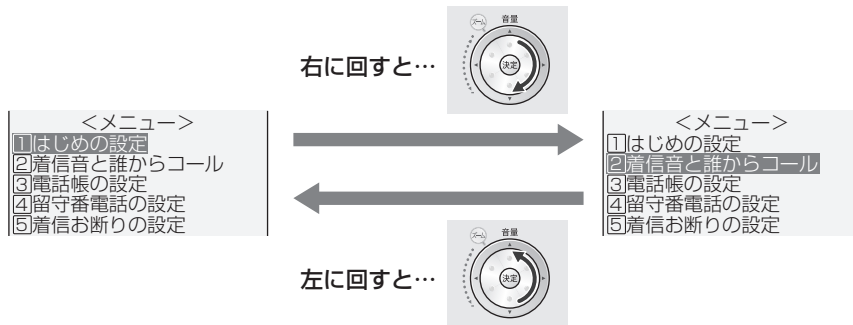
■ くるピカキーの操作について

くるピカキーを使うと、以下のような操作を行うことができます。

メニュー画面の選択

くるピカキーが青く光っているときは、メニュー画面の選択操作ができます。

 (右回転) で下方向、 (左回転) で上方向に選択項目を移動させることができます。



本機の操作の説明は、くるピカキーを使った操作方法で説明しています。

くるピカキーの他にも、 (上ボタンを押す) や  (下ボタンを押す) で選択することもできます。


電話帳の選択 (☎ 83ページ)

待受画面や受話器を持ち上げた状態で、くるピカキーを回転させると、電話帳が表示されます。

 (右回転) で相手の方の名前が順送りに、 (左回転) で相手の方の名前が逆送りに移動します。

くるピカキーの他にも、 (上ボタンを押す) や  (下ボタンを押す) で選択することもできます。

「見てからプリント」の拡大／縮小 (☎ 126ページ)

見てからプリントで受信ファクスやSDカード内の画像データを確認しているときは、くるピカキーと  が青く光ります。くるピカキーを回転させると、表示されている画像が拡大／縮小します。

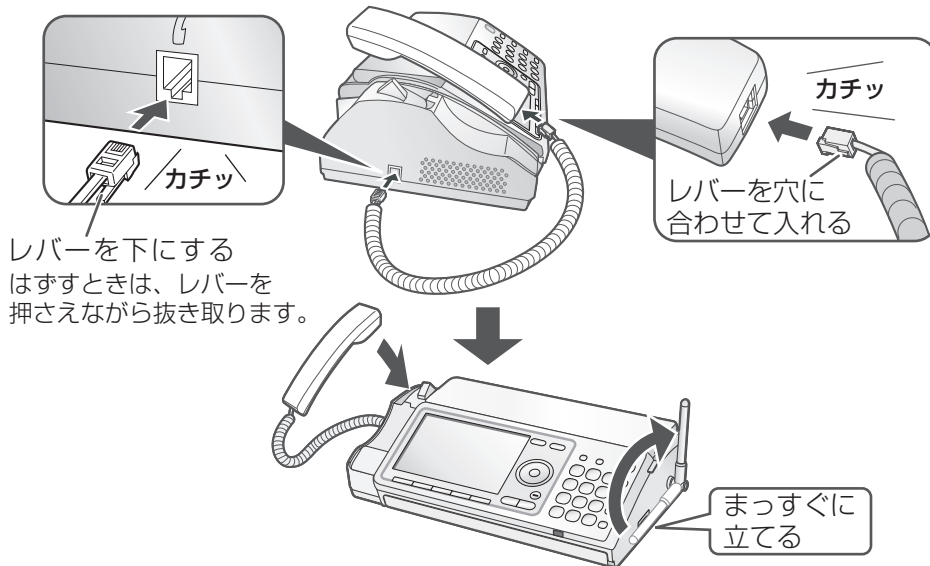
 (右回転) で拡大、 (左回転) で縮小します。

親機を接続する

親機を接続する

ひかり電話などの光回線やADSL、IP電話などをお使いの場合は接続方法が異なりますので、32~34ページをご覧ください。

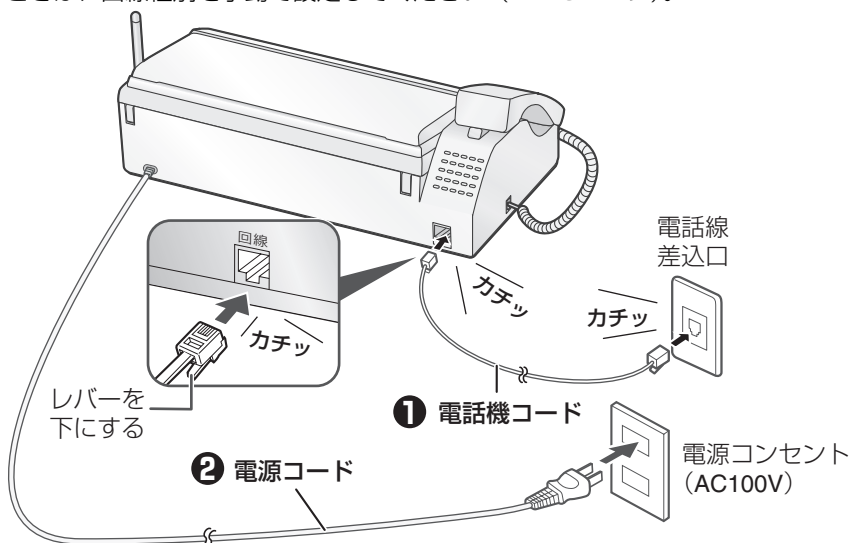
1 受話器を取り付け、アンテナを立てる



2 電話機コードを接続したあと (①)、電源コードを接続する (②)

必ず電話機コードを電源コードより先に接続してください。順序を変えると、電話回線の種類が正しく設定されないことがあります。

・引っ越しをしたときや本機を知人から譲られたときなど、最初に接続した電話回線と異なる回線に接続するときは、回線種別を手動で設定してください (☞29ページ)。

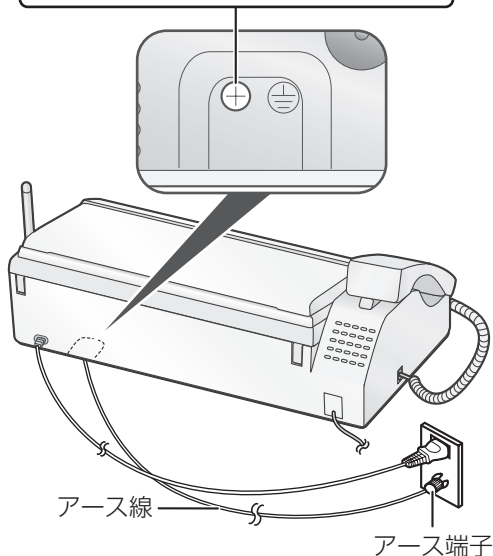


電源コードを接続すると、日付・時刻の設定画面が表示されます (☞26ページ)

アース端子について

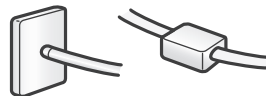
アース端子（本体の底面にあります）

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

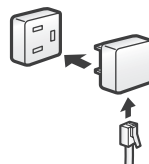


電話線コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。



また、3ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプター、または資格者の工事が必要です。



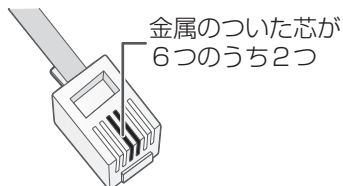
設置について

本機の操作、消耗品の交換、日常点検などの作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。



お知らせ

- 無線LANなどをお使いの場合は、電波干渉を防ぐために、機器から親機、子機ともに約3m以上離して設置してください。詳しくは、「本機を設置するときは」(P.13ページ)をご覧ください。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- 1つの電話回線を他の電話機やファクシミリとブランチ式（並列）に接続しないでください(P.34ページ)。正常に動作しなくなることがあります。
- 電話機コードは、付属のものをお使いください。付属のものより長いものをお使いになるときは、237ページの別売品をお使いください。それ以外の市販品をお求めの場合、必ず6極2芯と表示されているものをお求めください。



日付・時刻を設定する

電源コードを接続すると、右記の画面が表示されます。画面にしたがって設定してください。

日付・時刻を設定してください。[決定]で設定に入ります。

1 [決定] を押す



4 [決定] を押す



日付・時刻を入力、または入力をキャンセルすると、携帯ととくとくダイヤルの設定画面になります (☎次ページ)

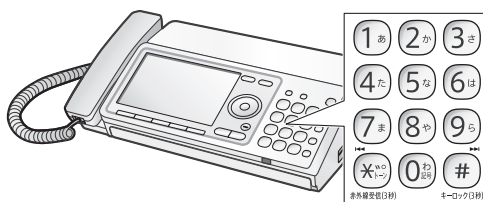
・先に子機を充電している場合、親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が設定されます (時計バックアップ ☎242ページ) が [使用する] に設定されているときのみ。

2 ダイヤルボタンで日付を入力する

例： 1ケタの数字のときは 頭に 0 を入力

2か 0 0 8や 0 9ら 0 8や

2008年 9月 8日



・途中でやめるとき： 停止 (一)

・1つ前に戻るとき： 取消

3 ダイヤルボタンで時刻を入力する

例： 1あ 5な 4た 5な

24時間制 午後3時 45分



■ 日付・時刻を設定し直すときは

途中で間違っ設定してしまったり、日付、時刻を後から設定したいときは、48ページを参照して、あらためて設定し直してください。

☎お知らせ

- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。
- 日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスに印刷されます。

携帯とくとくダイヤルを設定する

電源を入れて時刻を入力、または入力をキャンセルすると、右記の画面がディスプレイに表示されます。ディスプレイの指示の通り操作すると、携帯電話への通話料金がおトクになる「携帯とくとくダイヤル (P.153ページ)」を設定することができます。

携帯とくとくダイヤルを利用しないときは、**中止** を押して設定を中止します ([使用しない] になります)。手順3で [使用しない] を選ぶこともできます。

携帯電話に電話をかけるときの通話料金がおトクになるサービスを利用できません [決定] で設定に入ります



ひかり電話 (NTT東日本、西日本の光回線電話) では、電話会社 (通信事業者) を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれません。

手順2で [はい] を選んで **決定** を押してください。

1 **決定** を押す



2 **決定** で [<ひかり電話利用>] の項目を選択する



○ ひかり電話をご利用のとき

[はい] を選び **決定** を押す

[ひかり電話利用時には、ご利用できません] と表示され、設定が終了します。

→ **9** へ

○ ひかり電話をご利用にならないとき

[いいえ] を選び **決定** を押す

→ **3** へ

3 **決定** で、使用したい「携帯とくとくダイヤル番号」を選ぶ



○ [NTT東日本0036]

決定 を押す → **6** へ

○ [NTT西日本0039]

決定 を押す → **6** へ

○ [その他事業者] を選ぶ

決定 を押す → **4** へ

○ [使用しない] を選ぶ

決定 を押す → **9** へ

次ページへ

・途中でやめるとき: 停止 (停止)

・1つ前に戻るとき: 戻る

4 ダイヤルボタンで事業者識別番号を入力する（最大6ケタ）

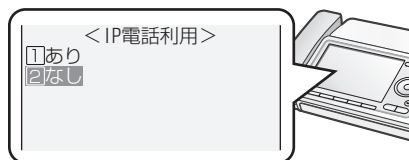


- ・事業者識別番号とは、他の事業者の回線を通じて電話をかけるときにダイヤルしなければならない番号のことです。

5 **決定** を押す



6 **決定** で [<IP電話利用>] の項目を選ぶ



- IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用のとき

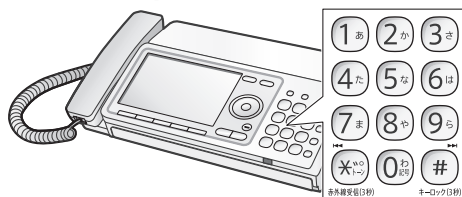
[あり] を選んで **決定** を押す
→ **7**へ

- IP電話をご利用にならないとき

[なし] を選んで **決定** を押す
→ **9**へ

- ・IP電話を利用していないときは、 [<IP電話利用>] を [なし] にしてください。

7 ダイヤルボタンで、ご利用のIP電話の「加入電話選択番号」を入力する（最大6ケタ）



- ・「加入電話選択番号」とは、IP電話機能を解除して、一般電話回線を選択するために必要な番号です。この番号については、IP電話の契約電話会社にお問い合わせください。
- ・最初は「0000」が入力されています。加入電話選択番号を入力するときは、「0000」を消去せず、そのまま入力してください。

8 **決定** を押す



9 自動的に電話回線種別が設定される

- ・途中でやめるとき： 停止 **決定**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

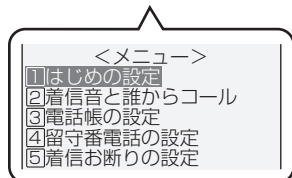
- 親機の接続が完了したら…
使いかたガイド（☎ 30ページ）を使うと、ディスプレイ上にいろいろな操作や説明が表示されますので、さらに便利な設定を行うことができます。
- 携帯ととくとくダイヤルの設定をあとで変えたいときは（☎ 153～154ページ）

電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種類を手動で設定するときは

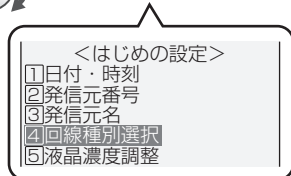
電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。また、回線の状態によっては、自動的に設定できないことがあります。そのときは、あらためて回線種別を設定してください。また、10PPS回線は自動で設定されませんので、この設定で10PPSに変えてからお使いください。

① **メニュー** を押す

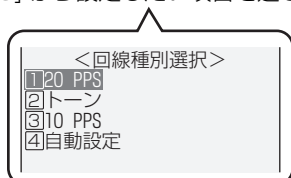
② **[はじめの設定]** が選択されていることを確認する



③ **決定** を押し、**○** で **[回線種別選択]** を選ぶ



④ **決定** を押し、**○** で **[20 PPS]**、**[トーン]**、**[10 PPS]** から設定したい項目を選ぶ



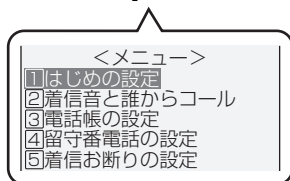
⑤ **決定** を押す

⑥ **停止** を押す

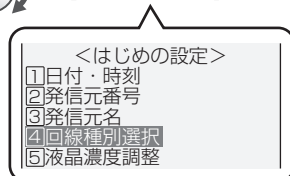
電話回線（ダイヤル／プッシュ）の種類をもう一度、自動で設定するときは

① **メニュー** を押す

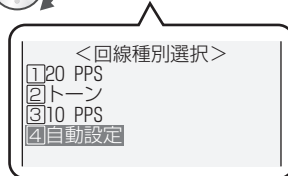
② **[はじめの設定]** が選択されていることを確認する



③ **決定** を押し、**○** で **[回線種別選択]** を選ぶ



④ **決定** を押し、**○** で **[自動設定]** を選ぶ



⑤ **決定** を押す

・電話回線を自動で設定して待受画面に戻ります。

■ 電話回線を手動で設定しても電話がかけれないときは

「電話がかけれない」(☎210~211ページ)をご覧ください。

● お知らせ ●

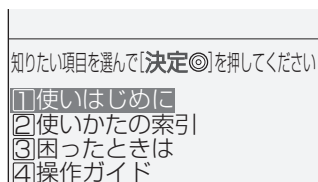
- IP電話やひかり電話を使用しているときは、一部つながらない番号があります。詳しくは、契約電話会社にお問い合わせください。
- IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスや、構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のときは、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、あらためて設定してください(☎上記)。


使いかたガイド（操作ガイド）

操作ガイド を押すと、本機の操作方法や説明などを、ディスプレイに表示することができます（使いかたガイド）。











使いかたガイドの目次画面



- **使いはじめに**
基本的な操作の説明を表示します。「基本的な使いかた」を選ぶと、説明にしたがって操作するだけで、基本的な設定を行うことができます。1つずつ選んで設定することもできます。
- **使いかたの索引**
操作や設定の方法のさくいんを表示します。で頭文字を選択して表示します。
- **困ったときは**
本機の操作や設定がおかしくなったときなど、トラブルの対処法の説明を表示します。
- **操作ガイド**
エラー表示の対処法など、操作にこまったときの説明を表示します。

使いかたガイドで使用するボタンについて






-  または  : 項目の選択
-  : 項目の決定
-  : 目次画面を表示
-  : 次の画面を表示
-  : ひとつ前の画面を表示
-  : 操作ガイドの音声でお知らせする（音声ガイド）設定／解除を変更（操作ガイドのみ）
-  : 操作ガイドを中止し、待受画面を表示

「使いかたの索引」「困ったときは」の表示について

<説明>
自作応答メッセージ消去
◆録音した自作応答メッセージを消去できます。
●操作のしかた
1. [メニュー]を押す
2. [4] [4] [2] [3]と順に押す

「使いかたの索引」「困ったときは」の操作方法を探すと、上記のように操作方法が表示されます。

操作方法表示中は、以下の操作を行うことができます。

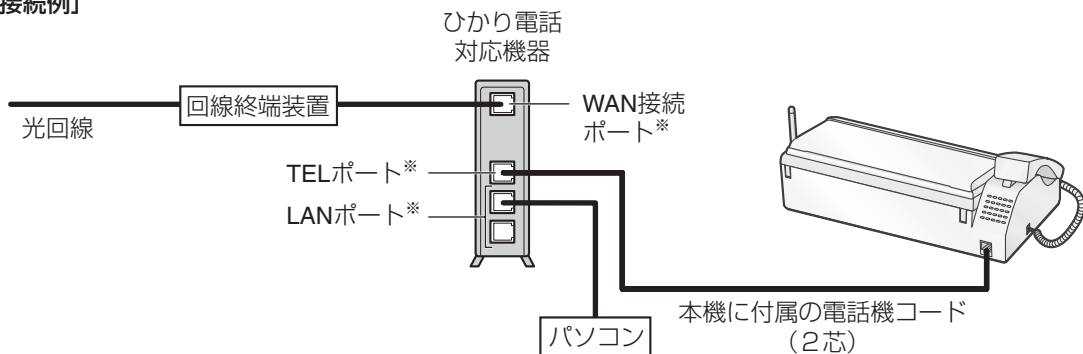
-  または  : 説明の表示画面を上下に移動
-  : 文字の大きさを1段階上げる
-  : 文字の大きさを1段階下げる
-  : 表示された操作方法を印刷する

・文字の大きさは4段階まで変更することができます。最初は2段階目に設定されています。

いろいろな接続

ひかり電話などの光回線をご利用のとき

【接続例】



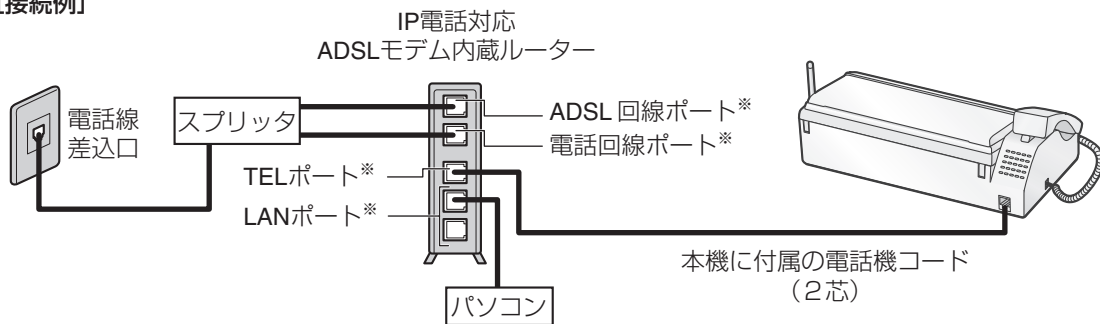
ADSLによるIP電話をご利用のとき

基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプター」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになります。

接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、詳しくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。

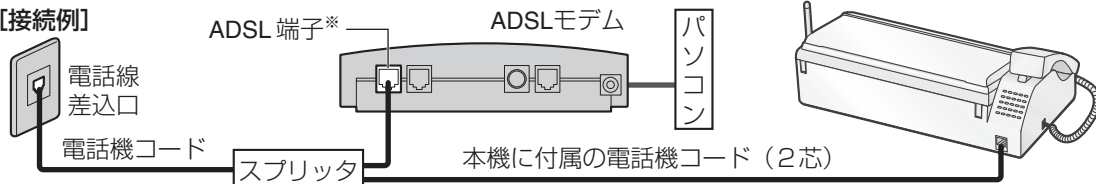
- 本機はIP電話に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので、完全な動作を保証するものではありません。

【接続例】



ADSL回線に接続するとき

【接続例】

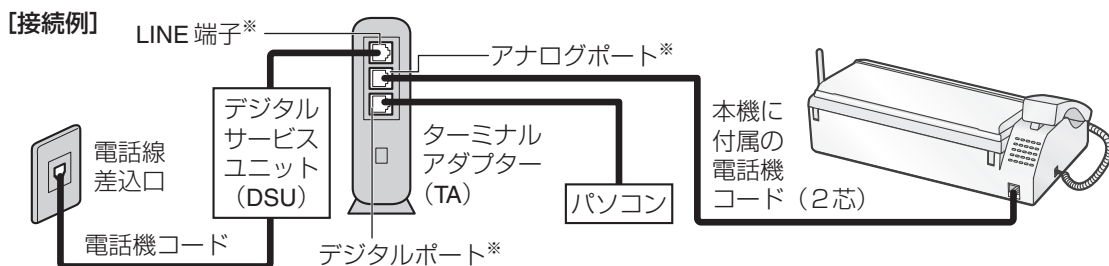


ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

- ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。タイプ2のときは、基本的には本機をお使いになれませんが、IP電話のサービスによってはお使いになれる場合もあります。
- 本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

ISDN回線に接続するとき



■ISDN回線に接続後は、回線種別を [トーン] に設定してください(☞ 29ページ)。

ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

- ターミナルアダプターと ISDN 回線間の接続には、デジタルサービスユニット (DSU) が必要です。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を [使用しない] に設定してください (☞ 189ページ)。

※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

お知らせ

- 一般回線やISDNからADSL、光回線に変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。
 - ・FAXが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすることなどがあります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。
 - ・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。通知したいときは、NTTを選択して発信してください (NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください)。
 - ・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990などを付けた場合、また110、119、177、117、186、184、122などの番号にかけたとき、かからない (つながらない) などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定を確認し、**手動で設定し直してください** (☞ 29ページ)。
- 一般回線から光回線やIP電話などに変更した場合、携帯電話につながらなくなることがあります。このときは、「携帯ととくとくダイヤル」の設定を [使用しない] にしてください (☞ 153～154ページ)。

構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するとき

ビジネスホンとは

電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

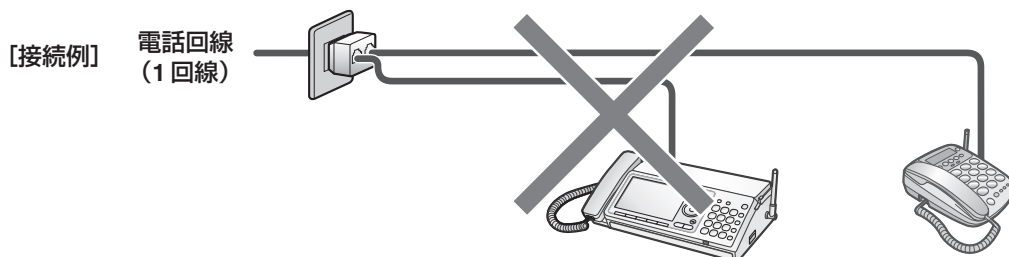
ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

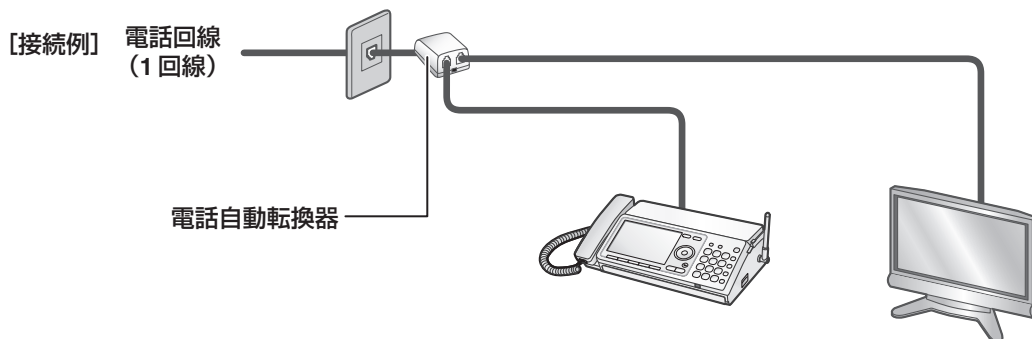
- 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は、工事、アダプター接続等が必要となりますので、お取り付けのビジネスホン、ホームテレホンのメーカーに接続方法をご確認をお願いします。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、設定を [使用しない] にしてお使いください (☎ 189ページ)。
- 本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えられないことがあります。

1回線に複数の機器を接続するとき (並列接続)

- 電話機や他のファクシミリとは並列接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。



- 建物に複数の電話線差込口があっても、電話回線は1つだけの場合があります。そのときは、別々に機器をつないでも並列接続になります。
- ナンバー・ディスプレイやモデムダイヤルインサービスをご利用のときは、他の機器と並列にしないでください。誤動作の原因になります。
- 並列に接続している機器が使用中のときは、電話やファクスを使用することができません。
- 他の機器と並列に接続すると、共鳴りすることがあります。
- ガスメーターやBS/CSチューナー、パソコン、AV機器などを並列に接続してお使いの場合、それらの機器が動作中のときは、電話やファクスを使用することができません。並列して接続する機器に関しては、その機器のメーカーにお問い合わせください。
- AV機器などに電話回線を並列して接続するときは、市販の「電話自動転換器 (両切りタイプ)」をお使いになることをおすすめします (動作の保証をするものではありません)。



インクリボンを確認する／交換する

ファクスやコピーの印刷に必要なインクリボンを確認／交換できます。

インクリボン（ギヤつきタイプ）は、必ず当社の純正品をお使いください（☎237ページ）。

- UX-NR8G（33m×1本）
- UX-NR8GW（33m×2本）

33mでA4原稿を最大で約105枚（※）印刷することができます（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください）。

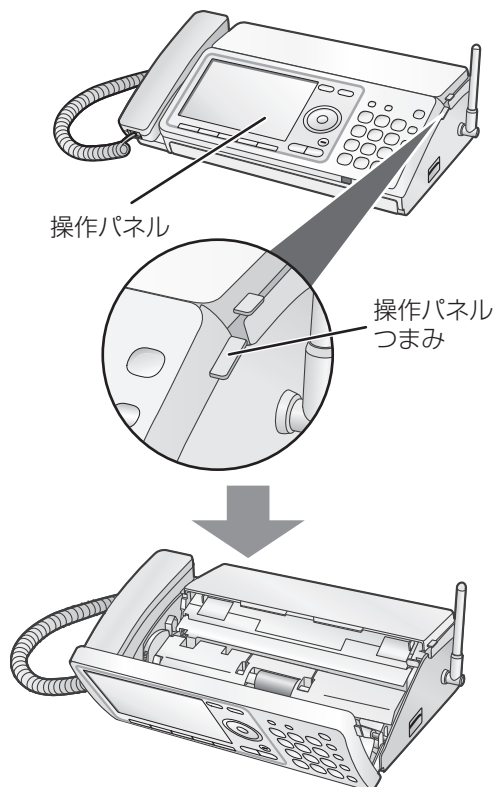
※1件5枚の受信FAXデータをくり返し印刷した場合

インクリボンを確認する（はじめてお使いになるとき）

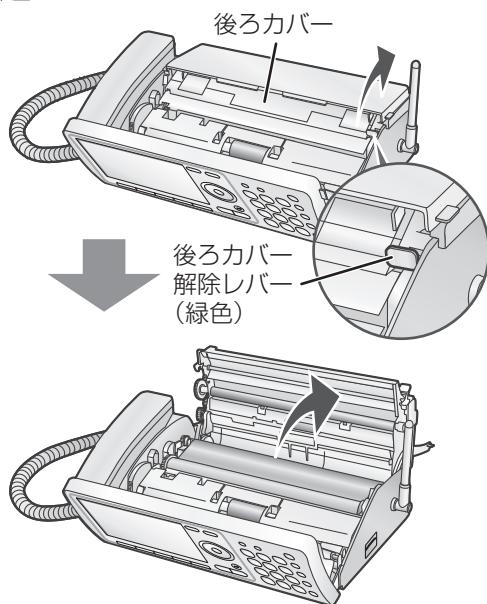
インクリボンは、あらかじめ親機にセットされています。はじめてお使いになるときはインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しく印刷できることを確認したものです。別売のインクリボンよりも印刷できる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

- 1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす



- 2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



次ページへ

もくじ

ご使用前の
前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

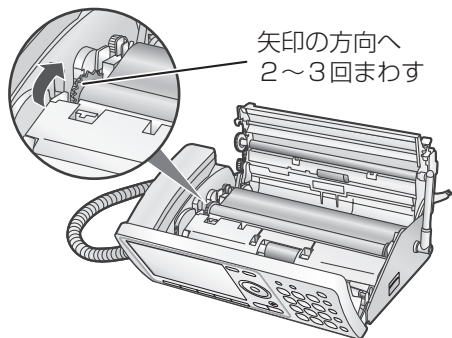
ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

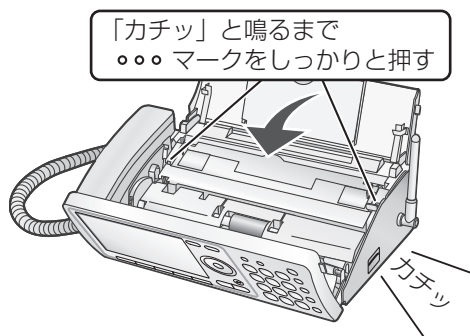
ご参考に

さくいん

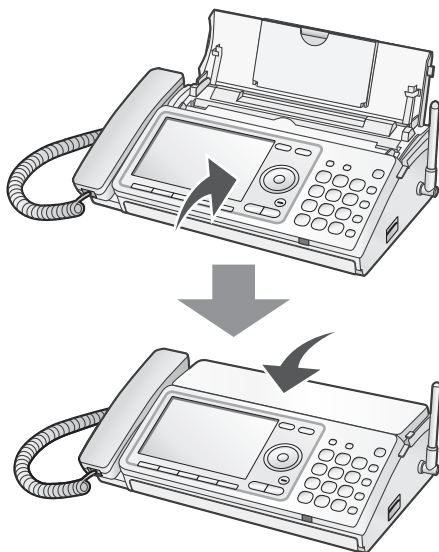
3 インクリボンのたるみを取る



4 後ろカバーを閉める



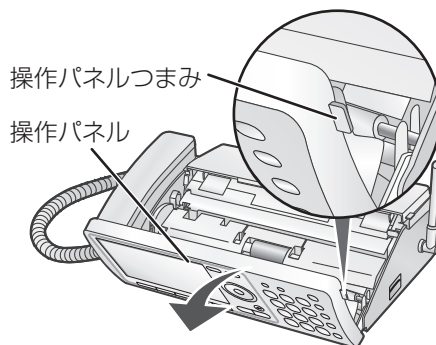
5 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



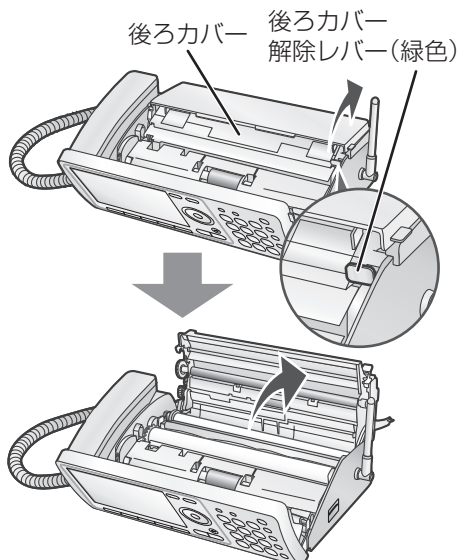
使用済みのインクリボンを交換する

ディスプレイに「インクリボンがありません 型番はUX-NR8G/GW」と表示されたときは、インクリボンを使い切っています。インクリボンがすべて手前側の芯に巻き取られていたら、新しいインクリボンに交換します。記録紙がセットされているときは、いったんすべて取り出してください。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを前に起こす

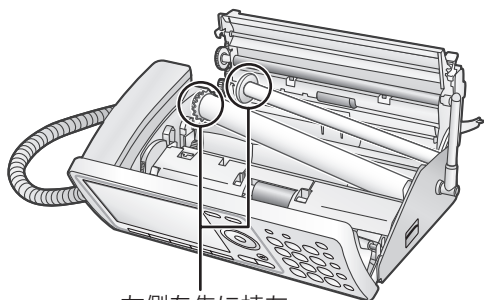


2 後ろカバー解除レバー（緑色）を押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす



次ページへ

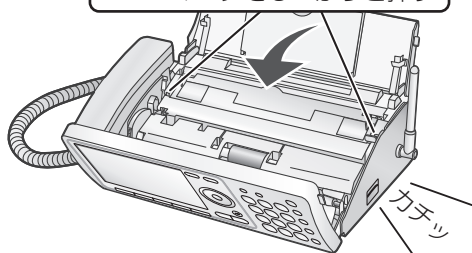
3 使用済みのインクリボンを取り出す



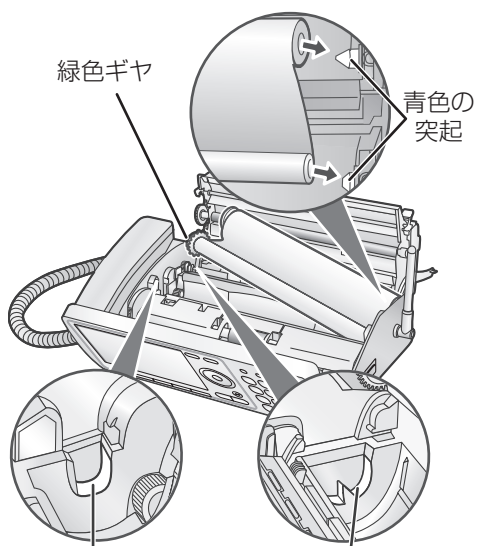
左側を先に持ち上げて取り出す

6 後ろカバーを閉める

「カチッ」と鳴るまで
○○○マークをしっかりと押す



4 新しいインクリボンを、青色の突起に差し込んでから取り付ける



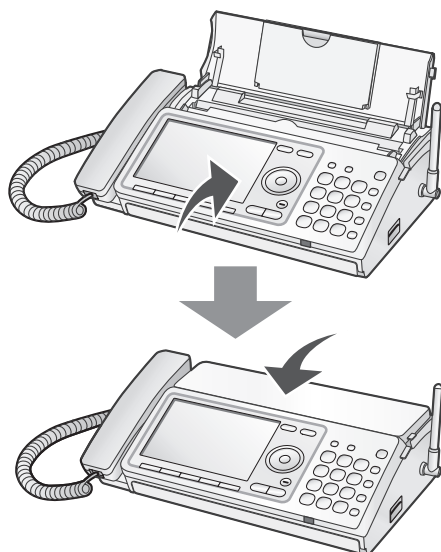
緑色ギヤ

青色の突起

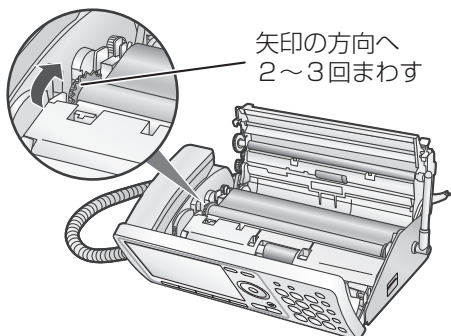
この溝に緑色ギヤの軸が乗る

この部分に白色ギヤの軸が乗る

7 操作パネル、記録紙トレイの順に閉める



5 インクリボンのたるみを取る



矢印の方向へ
2～3回まわす

お知らせ

- 使用済みのインクリボンには、コピーや受信ファクスの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、捨ててください。
- 使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」として捨ててください（地域によっては「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります）。
 - ・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
 - ・インクリボンの芯やギヤは、ポリスチレン、ポリアセタール、金属でできています。
- 使用済みのインクリボンのギヤだけを取り外して再利用することはできません。新しいインクリボン（ギヤつきタイプ）をお使いください。

子機を充電する／充電電池を交換する

通話時間について

いっぱい充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で**約6時間**です。

●通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、子機のディスプレイに**要充電**が表示され“ピッピッ…”と警報音が鳴ります。通話中のときは、約1分後に通話が切れます（子機のディスプレイに**[電池残量がありません]**と表示されます）。この場合、通話中のときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話してください。登録操作中のときは、充電してください。

電池残量を確認したいときは

① を押す

② で **[電池残量]** を選ぶ

着信鳴り分け
電話帳転送
▶電池残量

③ を押す

・ディスプレイの表示と電池パックの残量については、以下の通りです。

残量 ■■■■ : 充分に残っています。

残量 ■■ : 少なくなっています。

残量 ■ : ほとんどありません。すぐに充電してください。

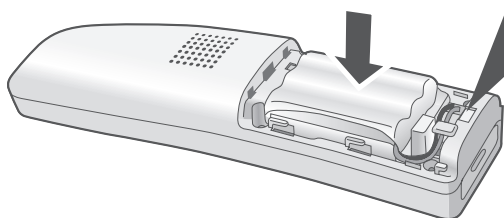
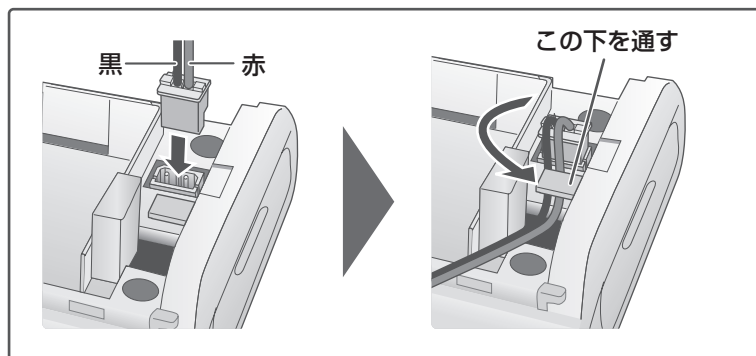
ディスプレイに**要充電**や**[電池残量がありません]**と表示されているときは、使用できません。10時間以上、充電してからお使いください。

充電が完了すると**要充電**は消えます（ただし、充電が完了する前に子機を充電器から取り上げて戻したときも**要充電**は消えます）。

充電電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、必ず**10時間以上充電**してください。

1 充電電池のコネクタを接続して、充電電池を子機にセットする

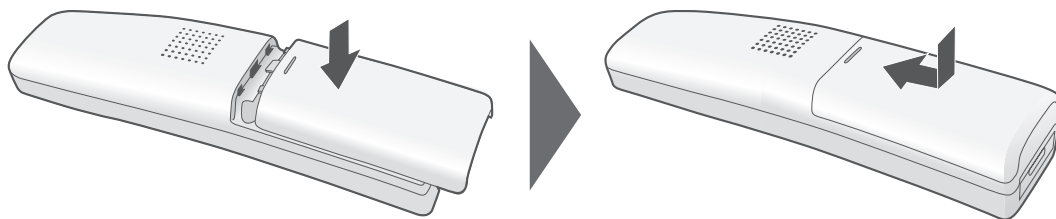


警告

充電電池のビニールカバーをはがしたり、キズを付けないでください。充電電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

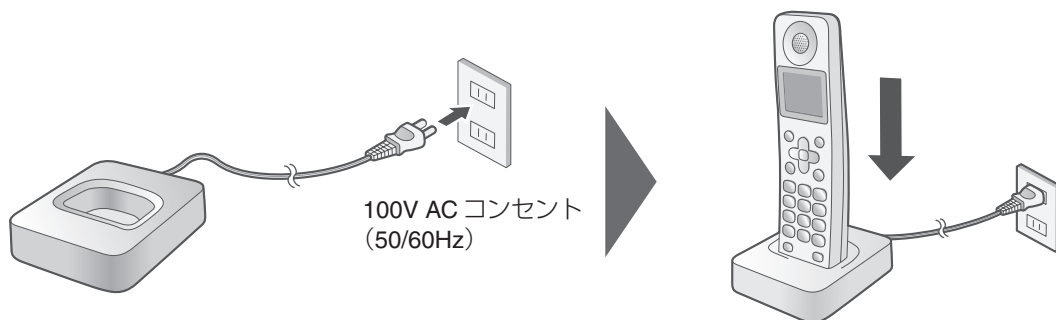
次ページへ

2 充電電池ふたを取り付ける



コードをはさまないようにご注意ください。

3 充電器の電源コードを接続し、子機を充電器に置いて充電する



- ・初めて使用するときには、必ず**10時間以上**充電してください。
- ・親機の日時を設定していると、転送されて自動的に子機の日時が設定されます。
- ・充電中は、ディスプレイに「<充電中>」と表示されます（充分に残っている状態から充電した場合は、表示しません）。

お知らせ

- UX-D90CWをお使いのときや、UX-D90CLに子機を増設してお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機が温かくなりますが、異常ではありません。
- 電磁誘導による充電の方式をとっています（無接点充電）。AMラジオなどが近くにあると雑音聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音やノイズが入ることがありますので、親機と充電器を50cm以上離してご使用ください。
- 電磁波や磁力を出すものの近くで充電しないでください。充電ができない場合があります。

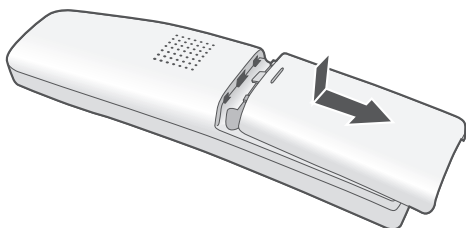
充電電池を交換する

充電電池は約2年程度で交換してください（型番はA-002）

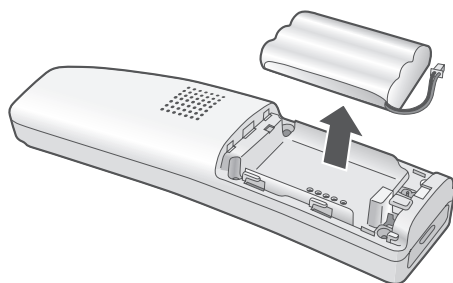
子機に内蔵している専用の充電電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で充電電池の容量が減少していきます。

長時間充電してもすぐに充電電池の容量がなくなるときには、別売りの充電電池（☎237ページ）に交換してください。

1 充電電池ふたをはずす



2 充電電池を取り出す



3 新しい充電地を入れる

・「充電電池をセットして子機を充電する」

（☎38～39ページ）の手順 **1**～**3**を参考に、新しい充電地を入れて10時間以上充電してください。

充電式電池のリサイクルご協力をお願い

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

- 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。

- この商品またはニッケル水素電池をお買いあげいただいた販売店または「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店

- (社)電池工業会小型二次電池再資源化推進センター、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

詳しくは、(社)電池工業会ホームページ「<http://www.baj.or.jp/>」をご覧ください。

- 電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
- リサイクル時のご注意
 - 電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
 - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池を分解しないでください。

音の設定を変える

親機や子機から鳴る音の音量や音色などを設定できます。


親機の着信音の大きさを変える


電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

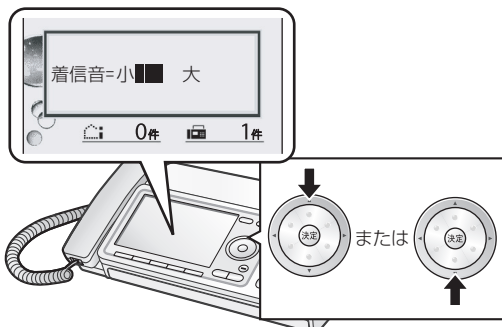
1 受話器を置いたまま

 または  を押して



音量を選ぶ **5段階**

 を押すごとに1段階音量が上がります。

 を押すごとに1段階音量が下がります。



・はじめは「3段階目」に設定されています。

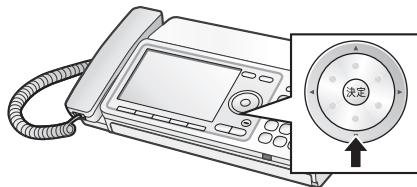
・はじめに  または  を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。


親機の着信音を鳴らさないようにする

1 受話器を置いたまま

 を押し続ける **5秒以上**

「ピー」という音が鳴り、設定が完了します。



・着信音を鳴らすように設定したいときは、 を押ししてください（最小の音で鳴らす設定になります）。

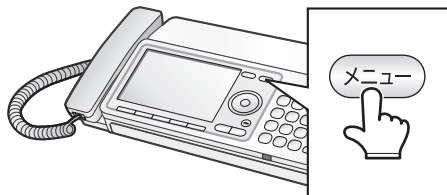
・「鳴らさない」にすると、ディスプレイに **着信音** が表示されます。

・着信音を鳴らさない設定にしても、他の子機からの着信音は最小の音量で鳴ります。

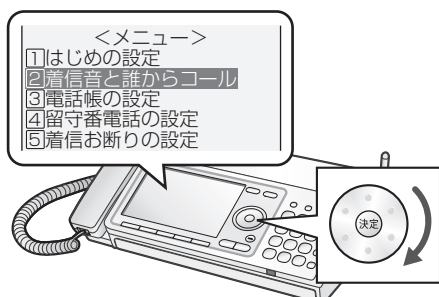
親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（9種類）。

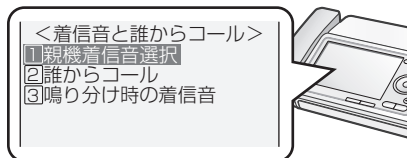
1 **メニュー** を押す



2 **決定** で [着信音と誰からコール] を選ぶ

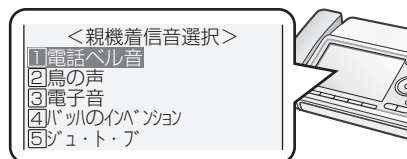


3 **決定** を押し、[親機着信音選択] が選択されていることを確認する



4 **決定** を押し、**決定** で設定したい着信音色を選ぶ

1	電話ベル音
2	鳥の声
3	電子音
4	バッハのインベンション
5	ジュ・ト・ブ
6	シンフォニー 40 番
7	はにゅうの宿
8	メヌエット
9	セレナーデ



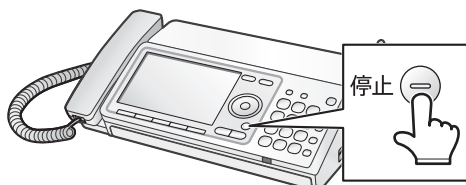
・はじめは [電話ベル音] に設定されています。

次ページへ

5 決定 を押す



6 停止 (停止) を押す



- ・途中でやめるとき：停止 (停止)
- ・1つ前に戻るとき：戻る

設定した着信音を確認するとき

または を押す

お知らせ

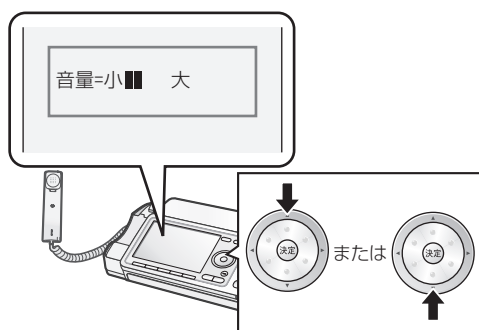
- 「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎ 191~195ページ)を設定していると、固有の着信音が鳴ります。
- 「FAX優先」(☎ 122ページ)の設定をすると、親機の着信音は「電話ベル音」になります。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に または を押して音量を選ぶ 5段階

- ↑ を押すごとに1段階音量が上がります。
- ↓ を押すごとに1段階音量下がります。



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・はじめに または を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。
- ・「5段階目」に設定されているときに を押したり、「1段階目」に設定されているときに を押したりすると、エラー音が鳴ります。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンスの音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます(それぞれの音量を個別に変えることはできません)。

1 受話器を置いたまま を押す





3 を押す

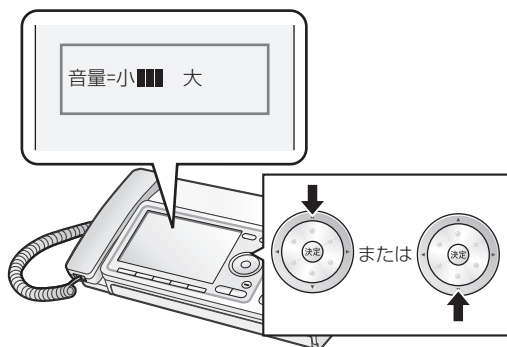


2 または を押して音量を

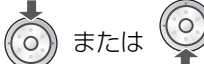

選ぶ **5段階**



 を押すごとに1段階音量が上がります。

 を押すごとに1段階音量が下がります。



・はじめは「3段階目」に設定されています。

・はじめに  または  を1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと、音量が変更されます。

・「5段階目」に設定されているときに  を押したり、「1段階目」に設定されているときに  を押したりすると、エラー音が鳴ります。

■ 親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声 that 相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます (☎ 241 ページ)。

■ 子機送話音量を調整する

子機でこちらの声 that 相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます (☎ 241 ページ)。

■ 子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機の受話音量が小さくなる場合があります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます (☎ 241 ページ)。

■ 子機受話音質を調整する

すべての子機の受話音質を調整できます (☎ 242 ページ)。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(☎ 47 ページ) をご覧ください。

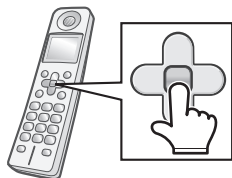
IP電話やADSL、ISDN (INSネット64) などをご利用のときに、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなる場合があります。

このようなときには、上記の「親機送話音量を調整する」「子機送話音量を調整する」「子機受話音量を調整する」をそれぞれ「小」に設定すると、通話品質が改善されることがあります。

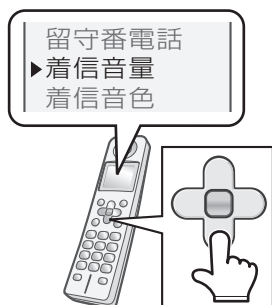
子機の着信音の大きさを変わる／鳴らさないようにする

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音量を変えることができます。

1 を押す



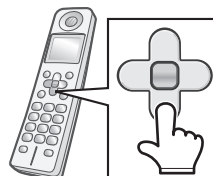
2 で [着信音量] を選ぶ



3 を押し、 で着信音量の大きさを

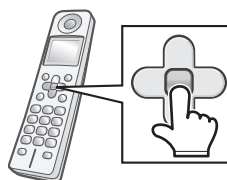
- [大]
- [標準]
- [小]
- [切]


から選ぶ



- ・はじめは [標準] に設定されています。
- ・[切] にすると、ディスプレイに 着信音切 が表示されます。

4 を押す



・途中でやめるとき： 切

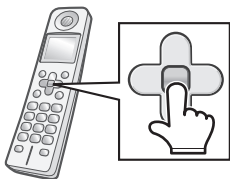
お知らせ

- 子機の呼出音は親機と同じタイミングでは鳴りません。
- 着信音を鳴らさない設定にしても、親機や他の子機からの着信音は子機では [小] の音量で鳴ります。
- 親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定をしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。

子機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときに鳴る着信音の音色を変えることができます（10種類）。

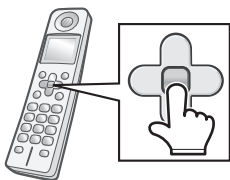
1  を押す



2  で [着信音色] を選ぶ

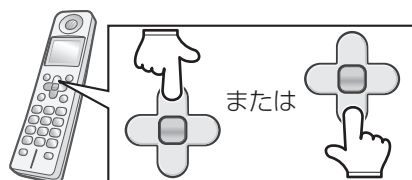


3  を押す



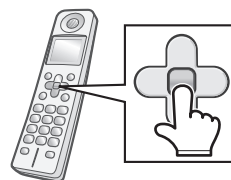
4  または  で着信音色の種類を選ぶ


1	ブルルル ルルルル
2	ポロロロ ポロロロ
3	ピロン ピロン
4	ショートメロディ①
5	ショートメロディ②
6	ショートメロディ③
7	ショートメロディ④
8	ショートメロディ⑤
9	ジムノペティ
10	ジュピター



- ・曲名はディスプレイには表示されません。音を聞きながら設定してください。
- ・はじめは「ブルルル ルルルル」に設定されています。

5  を押す



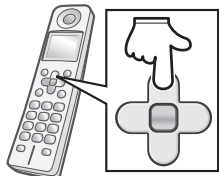
・途中でやめるとき:  切

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。
- ・聞こえにくいときは、さらに親機の設定で変更することもできます（☎241ページ「子機受話音量を調整する」）。

子機の通話音質を変える


受話口から聞こえてくる音質を変更できます。

1 通話中に を押す

押すごとに切替

- [高い]（高音を強調する）
- [低い]（低音を強調する）
- [標準]



- ・通話を終了しても設定を保持します。ただし、子機の電池が切れると、設定は消去されます。
- ・すべての子機の通話音質を変更したいときは、「子機受話音質を調整する」（☎242ページ）をご覧ください。
- ・[標準] を選ぶと、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。
- ・ を押したときに、[高い] [低い] [標準] が約5秒間表示されます。

子機のスピーカー音量を変える

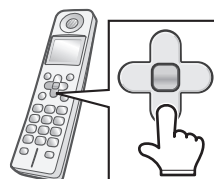
録音再生時などに、スピーカーから聞こえる音量を変えることができます。

1 を押す



2 スピーカーから音が聞こえているときに を押す

押すごとに切替：4段階



- ・はじめは「2段階目」に設定されています。

3 を押す



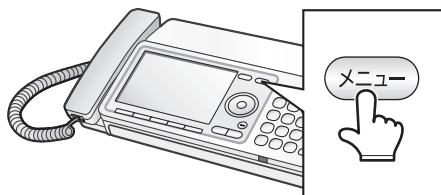
日付と時刻を設定する

設定した日時に誤差が生じたときなど、日付と時刻を設定することができます。親機の日付と時刻を設定すると、自動的に子機に転送されます。親機で設定した日時を転送して子機の日時を設定したり、子機で設定した日時を転送して親機の日時を設定したりすることもできます。

親機の日付と時刻を合わせる

日付や時刻表示を合わすときは、次の操作を行います。

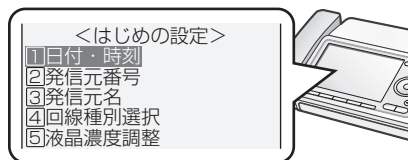
1 **メニュー** を押す



2 [はじめの設定] が選択されていることを確認する



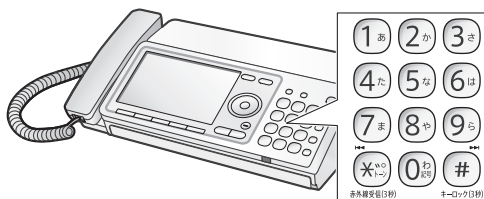
3 **決定** を押し、[日付・時刻] が選択されていることを確認する



4 **決定** を押す

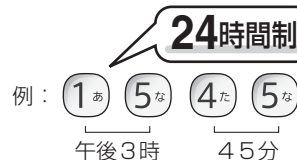


5 **ダイヤルボタン** で日付を入力する



・数字を入れ間違えたときは、**取消** で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

6 **ダイヤルボタン** で時刻を入力する



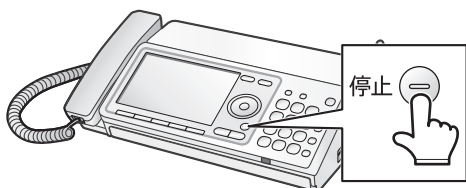
・時刻は、24時間制で入力します。
・数字を入れ間違えたときは、**取消** で間違えた数字まで戻り、あらためて入力します。

次ページへ

7 決定 を押す



8 停止 を押す



・親機の日付や時刻を登録すると、自動的に子機に日付や時刻が転送されます（時計バックアップ（☞242ページ）が、[使用する]に設定されているときのみ）。子機に日付や時刻を登録していても、自動的に親機の日時設定が転送されて子機に上書きされます。

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：戻る または 取消

■ 親機に登録されている日付や時刻を子機に転送したいときは（時計転送 ☞243ページ）

子機が充電切れになったときなど、子機の日時登録が消えてしまったときは、親機の日付や時刻の設定を子機に転送することができます。親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

■ 停電などで親機の日時登録が消えたときは

電源が入ると、自動的に子機から日付や時刻を転送して、親機の日時を登録します。時計転送を行わないようにするには、「時計バックアップ」（☞242ページ）を [使用しない] に設定してください。

自動転送がうまくいかなかったときなどは、子機を親機の近くに近づけたあと、親機の手動で子機の日付や時刻を親機に転送してください（☞243ページ「子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）」）。

子機の日付と時刻を合わせる

子機の日時を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。

「時計バックアップ」（☞242ページ）が [使用する] に設定されているときは、親機の日付と時刻を設定すると、子機にも転送されますので、子機で設定する必要はありません。また、親機から手動で日付と時刻を転送することもできます（時計転送 ☞243ページ）。

① を押す

② で [システム設定] を選ぶ

電話帳転送
電池残量
▶システム設定

③ を押し、[日時登録] が選択されていることを確認する

▶日時登録
キータッチ音出力
クイック通話

④ を押し、ダイヤルボタンで日付を入力する

西暦の
下2ケタ
1ケタの数字のときは
頭に0を入力

例： 0わ 8や 0わ 9ら 0わ 8や
2008年 9月 8日

⑤ ダイヤルボタンで時刻を入力する

例： 1あ 5な 4た 5な
24時間制 午後3時 45分

⑥ を押す

・途中でやめるとき：切

・数字を入れ間違えたときは、 または で間違えた数字を選び、あらためて入力します。

お知らせ

●時計の精度は、1カ月に±60秒程度の誤差があります（25℃の常温の場合）。時刻表示は、めやすとしてご利用ください。誤差が生じた場合は設定をやり直してください。

●子機の充電電池のコネクタが外れたり、充電電池の容量がなくなると、設定した日時は消えてしまいます。子機の充電を行ってください。親機の日時が登録されていて、「時計バックアップ」（☞242ページ）が [使用する] に設定されているとき、子機が充電されると、親機から自動的に日時が登録されます。

●時刻だけを合わせたいときも、手順にしたがって日付から入力してください。

●時計転送しているとき、親機のディスプレイには [子機使用中] と表示されます。

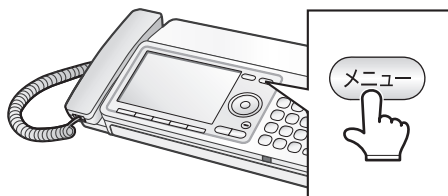
自分の番号・名前を登録する

親機には、自分の番号や名前を登録することができます。
子機には、使う人の名前を登録することができます。

あなたの電話番号（発信元番号）を登録する（親機）

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙に印刷されます。

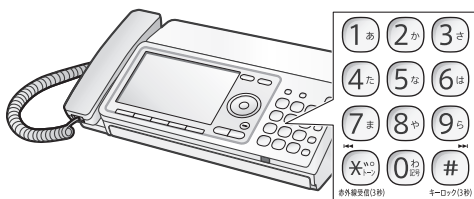
1 **メニュー** を押す



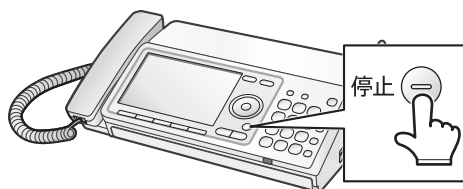
4 **決定** を押す



2 **1あ** **2か** **1あ** と順番に押す

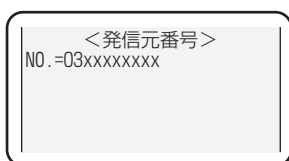


5 **停止** を押す



・登録した番号を変更したいときは、一度消去してから、あらためて登録してください。

3 **ダイヤルボタンで電話番号を入力する** **最大20ケタ**



・番号を入れ間違えたときは、**取消** で消去してから、あらためて入力します。

・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

親機に登録した番号を消去するとき

- 1 **メニュー** を押す
- 2 **1あ** **2か** **2か** と順に押す
- 3 **2か** を押す
- 4 **停止** を押す

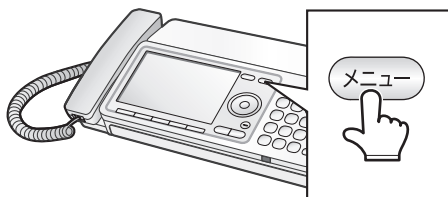
・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る**

あなたの名前（発信元名）を登録する（親機）

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙に印刷されます。

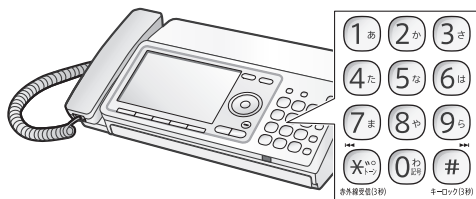
1 **メニュー** を押す



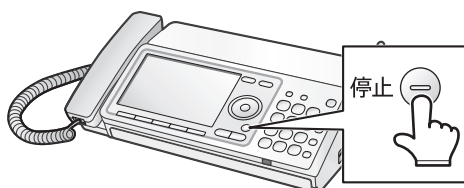
4 **決定** を押す



2 **1あ 3さ 1あ** と順に押す



5 **停止** を押す



・登録した名前を変更したいときは、一度消してから、あらためて登録してください。

3 **ダイヤルボタンで名前を入力する** (最大全角12文字／半角24文字)



- ・文字を入力するには (☎80～81ページ)
- ・文字を入れ間違えたときは、**取消** で消去してから、あらためて入力します。

・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

親機に登録した名前を消去するとき

- ① **メニュー** を押す
- ② **1あ 3さ 2か** と順に押す
- ③ **2か** を押す
- ④ **停止** を押す

・途中でやめるとき： **停止**

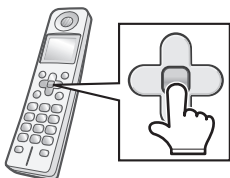
・1つ前に戻るとき： **戻る**

使う人の名前を子機に登録する

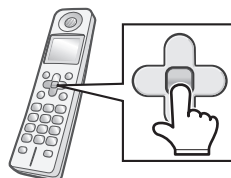
登録した名前は、待受時にディスプレイに表示されます。


親機と子機が電波の届く範囲にない、または親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。

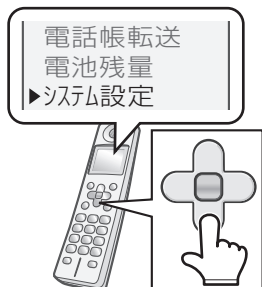
1  を押す



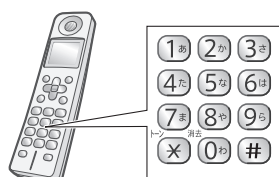
5  を押す



2  で [システム設定] を選ぶ

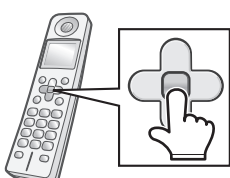


6 ダイヤルボタンで名前を入力する
(最大全角5文字／半角10文字)

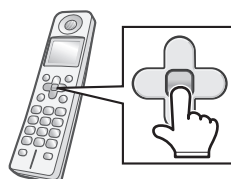


・文字を入力するには (☎80、82ページ)


3  を押す




7  を押す



・登録した名前を変更したいときは、手順 **1** からやり直してください。

4  で [使用者表示] を選ぶ




・途中でやめるとき： 切

子機に登録した名前を消去するとき

①手順 **1** ~ **5** の操作をする

②手順 **6** の名前を入力画面で、入力した文字を

内線/クリア
 ですべて消す

③  を押す

電話をかける・受ける・かけ直す

親機で電話をかける

1 受話器を取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す

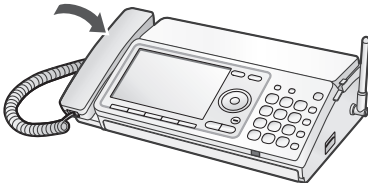


- ・ まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確認したあと、ダイヤルしてください。
- ・ 先にダイヤルボタンで電話番号を押してから、受話器を取って電話をかけることもできます。

3 相手の方とお話する

- ・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら受話器を戻す



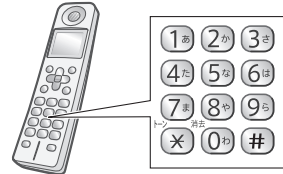
■ 電話がかけれないときは
210～211ページをご確認のうえ、設定をし直してください。

子機で電話をかける

1 子機を充電器から取る



2 ダイヤルボタンで、電話番号を押す



3 を押す

通話



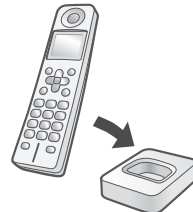
4 相手の方とお話する

- ・ 通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら を押す




6 充電器に戻す






通話中にお待たせするときは（保留）

保留にすると、音楽（ビューティフルドリーマー）が流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

親機でお待たせする



- ① 通話中に  を押す
- ② 受話器を戻す
・再び通話するときは受話器を取る

子機でお待たせする



- ① 通話中に  を押す
- ・再び通話するときは  を押す、または  を押す

子機で通話中、雑音が入るようなときは（電波サポート）

電波サポートを設定すると、改善される場合があります。下記の操作で現在の通話のみ、電波サポートが設定されます。


- ① 子機で通話中に  を押す
- ②  で [電波サポート] を選ぶ

FAX受信
録音再生
▶電波サポート


- ③  を押す
- ・電波サポートを常に [設定] にするときは（電波サポート  182ページ）

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには（トーン信号）

親機：電話がつながっているときに、



 を押してからダイヤルボタンを押す


子機：電話がつながっているときに、

 を押してからダイヤルボタンを押す

電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。


子機を持たずに電話をかける（スピーカーホン通話）

- ① ダイヤルボタンを押す
- ②  を押す
- ③ 相手につながったら、マイクに向かって話す
- ④ 通話が終わったら  を押す


・ディスプレイに [＜SP通話中＞] と表示されます。
・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてください（ 47ページ）。

受話器を取らずに電話をかけるときは（親機：オンフックダイヤル／子機：受話通話）


オンフック
親機：  を押してからダイヤル

子機：  を [＜受話通話中＞] が表示されるまで
3秒以上押してからダイヤル

スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。

続けて通話する場合は、親機では受話器を上げて、子機では  を押してからお話しします。

お知らせ

- ご使用環境によっては子機から電話がかからないことがあります。少し場所を移動してみてください。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などから、できるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
- 親機でコピーや印刷をしているときは、子機で電話を受けることも、かけることもできません。また、着信音も鳴りません。
- 子機で通話するとき、はじめに音量が不安定になることがあります。そのままお使いになると、すぐに安定します。安定しないときは、お話ししている場所を移動するか、送話音量や受話音量を下げてください（ 47、241ページ）。

親機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら受話器を取る



2 相手の方とお話する

- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら受話器を戻す



- 着信中に表示される文字の大きさを変更するには (デカ文字着信 181ページ)


- 着信音の大きさを変えるときは
親機の着信音の大きさを変える (41ページ)
子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする (45ページ)

- 子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けるには (クイック通話 182ページ)

- 通話中にお待たせするときは(保留 54ページ)

- 子機で通話中、雑音が入るようなときは (電波サポート 54ページ)

- ナンバー・ディスプレイの契約をすると……

- 電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などが液晶画面に表示されます (188ページ)。
 - 子機で相手の方を確認して電話に出たくないときは、 を押し、子機の着信音を止めることができます。
- 親機の着信音は鳴ります。

子機で電話を受ける

1 電話がかかってきたら子機を充電器から取る

2 を押す



3 相手の方とお話する



- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら を押す



5 充電器に戻す

子機を持たずに電話を受ける (スピーカーホン通話)

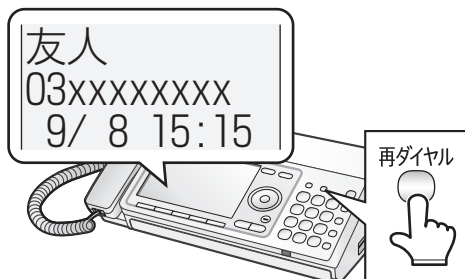
- ① 着信音が鳴ったら  を押す
- ② 相手につながったら、マイクに向かって話す
- ③ 通話が終わったら  を押す

- ・ディスプレイに [＜SP通話中＞] と表示されます。
- ・マイクで話す距離のめやすは50cmくらいです。
- ・通話時の音量が安定しない場合は音量を下げてお使ください (47ページ)。

親機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。親機では、以前かけた番号のうち新しいものが20件まで記憶されます。

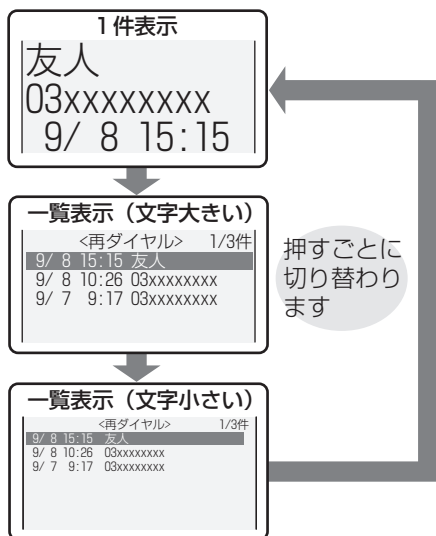
1 再ダイヤル を押す



2 でかけ直したい番号を選ぶ



- ・親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- ・**表示切替** を押すと、1件表示と一覧表示（文字大きい）、一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。



- ・変更した表示方法は記憶され、次に再ダイヤルするときも同じ表示になります。

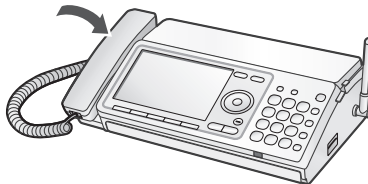
3 受話器を取る



4 相手の方とお話する


- ・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

5 通話が終わったら受話器を戻す



受話器を取ったあと、再ダイヤルで電話をかけ直すときは

受話器を取ってから再ダイヤルを押すと、1番最後にかけた電話番号を使ってかけ直します。

- ① 受話器を取る
- ② 再ダイヤル  を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら受話器を戻す

■ 親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは（☎73ページ）

■ 親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するとき（☎58ページ）

■ 親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するとき（☎58ページ）

子機で電話をかけ直す（再ダイヤル）

相手の方がお話し中のときなどに、もう一度電話をかけ直すことができます。子機では、以前かけた番号のうち新しいものが10件まで記憶されます。

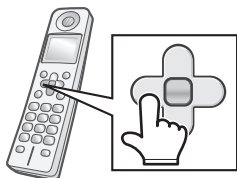
1 子機を充電器から取る



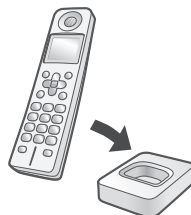
6 通話が終わったら を押す



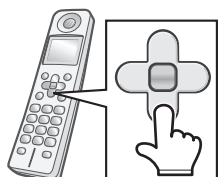
2 を押す




7 充電器に戻す





3 でかけたい番号を選ぶ




・子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。

・途中でやめるとき： 切

■ 子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは（ 79ページ）

■ 子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは（ 58ページ）

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは（ 58ページ）

4 を押す










5 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。






親機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

- 再ダイヤル
- ①  を押す
 - ②  で消去したい番号を選ぶ
 - ③  を2回押す
 - ④ 停止  を押す





親機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

- ①  を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [再ダイヤル] を選ぶ
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

子機の再ダイヤルの記憶を1件ずつ消去するときは

- ①  を押す
 - ②  で消去したい番号を選ぶ
 - ③  を押し、 で [1件消去] を選ぶ
- 電話帳へ登録
 ▶1件消去
- ④  を2回押す

子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

- ①  を押す
 - ②  で [全消去] を選ぶ
- 電池残量
 システム設定
 ▶全消去
- ③  を押し、[再ダイヤル] が選択されていることを確認する
- ▶再ダイヤル
 着信記録
 電話帳
- ④  を2回押す

お知らせ

- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

迷惑電話をお断りする（迷惑電話拒否機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約をおすすめします

セールスや勧誘、無言電話などの迷惑電話を受けたとき、電話を切りやすくしたり（チャイムでお断り、メッセージでお断り）、通話を録音しているとアピールしたり（録音でお断り）することができます。

迷惑電話がかかってきたら…

○チャイムでお断り

操作するとチャイム音が鳴り…



ピンポン
ピンポン

電話を切るきっかけを作ります



すみません、
来客ですので
失礼します

○メッセージでお断り

操作するとお断りのメッセージが流れて、自動的に電話が切れます



この電話は
お受けすることは
できません
(3回流れます)

相手側



○録音でお断り

操作すると、操作する15秒前から録音されている相手の通話内容を、すぐに再生して相手に聞かせることができます。
再生終了後に自動的に電話が切れます（再生後は保存しません）。



15秒間



操作

〇〇〇〇…

相手側



「操作する15秒前」
から「操作するまで」
の相手の通話内容

さらに ナンバー・ディスプレイ (☎ 188ページ) の契約をしていると…

○相手の方が電話番号を通知していた場合は…

電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号 (☎ 205ページ) に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。

○相手の方が非通知／公衆電話／表示圏外からの電話の場合は…

非通知・公衆電話・表示圏外からの着信があった場合は、約2時間、同じ種別の着信をお断りすることもできます (☎ 204ページ)。

設定後、相手から電話があったときは…

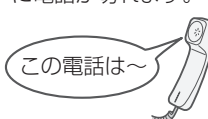
本機側

着信音は鳴りません
(ディスプレイは点灯
します)。


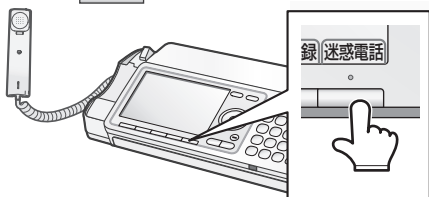



相手側

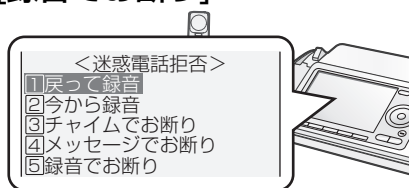
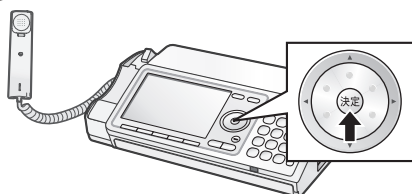
かけてきた相手の電話
に合わせたお断りメッ
セージが流れ、自動的
に電話が切れます。



親機で設定する

1 通話中に  を押す2  で使用したいお断りの種類を選ぶ

- [チャイムでお断り]
- [メッセージでお断り]
- [録音でお断り]

3  を押す

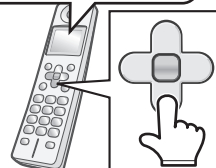
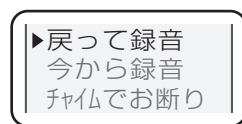
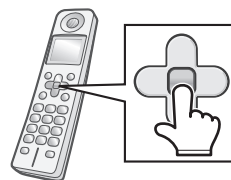
- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎205ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。
- ・「録音でお断り」は、相手に通話内容を聞かせるだけで、通話終了後には保存しません。録音した通話内容を保存したいときは、「戻って録音」（☎177ページ）を行ってください。
- ・「録音でお断り」は、「戻って録音」（☎177ページ）を保存していても使用することができます。

子機で設定する

1 通話中に  を押す2  でお断りの種類を

- [チャイムでお断り]
- [メッセージお断り]
- [録音でお断り]


から選ぶ

3  を押す

- ・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☎205ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、約2時間お断りが設定されます。

間違えて操作したときは

「チャイムでお断り」の操作をしたとき：

親機でチャイムが鳴ってから10秒以内に 停止  を押します。このときは自動的に特定番号や非通知などのお断り設定をしません。


また、子機の場合は、途中で止めることはできません。お断り設定も自動で設定されます。

「メッセージでお断り」「録音でお断り」の操作をしたとき：

親機では、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

子機で「メッセージでお断り」を操作したときは、

 または  を押します。

子機で「録音でお断り」を操作したときは、  を押してください。

間違って相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☎206ページ）。

また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストを印刷（☎136ページ）して確認してください。


間違って非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは



非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、[なし]に設定してください（☎204ページ）。

[チャイム後自動設定] の設定をするには

「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [する] に設定されています。



①  を押す

②  で [着信お断りの設定] を選ぶ

③  を押し、  で [チャイム後自動設定] を選ぶ

<着信お断りの設定>


- ① 非通知お断り
- ② 公衆電話お断り
- ③ 表示圏外お断り
- ④ お断り番号登録
- ⑤ チャイム後自動設定

④  を押し、  で [しない]、[する] のいずれかを選ぶ

⑤  を押す

⑥ 停止  を押す

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、お断りの機能は動きません。
- こちらから電話をかけたときは、「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。
- 子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」「録音でお断り」を使用することはできません。子機で操作してください。
- 子機で「録音でお断り」を再生中に  を押ししたり充電器に戻したりすると、再生を中断して通話を終了します。最後まで再生したいときは、再生が終わるのを確認してから充電器に戻してください。

親機と子機、子機と子機の間でお話する（内線通話）

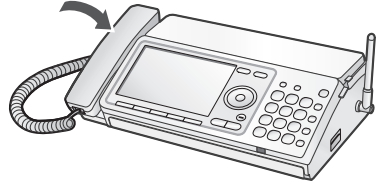
親機と子機、子機と子機の間でお話することができます。通話料はかかりません。

親機から子機を呼び出してお話する

1 受話器を取る



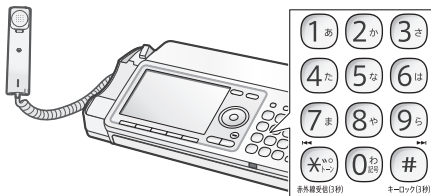
5 通話が終わったら受話器を戻す



2 内線保留を押す



3 通話したい子機の内線番号（1あ～4た）を押す



- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・登録されているすべての子機を呼び出すときは、**＊**を押してください。

4 相手の方とお話する

子機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、子機を充電器から取る
- ② **通話** を押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら **切** を押す
- ⑤ 充電器に戻す

・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに **切** を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーから着信音が、子機のスピーカーから「ピピッ ピピッ」という音が、それぞれ聞こえます。

親機で話すには

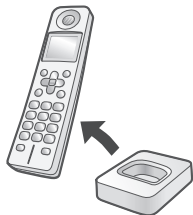
- ① 受話器を戻す
- ② 再び受話器を取る

子機で話すには

- ① **切** を押す
- ② 子機の着信音が鳴ったら、**通話** を押す

子機から親機や子機を呼び出してお話しする

1 子機を充電器から取る

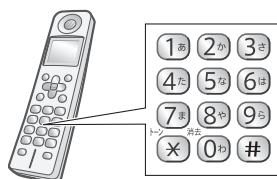




2 内線/クリア (保留) を押す



3 ○ 親機にかける：0わ を押す

- 子機にかける：通話したい子機の内線番号（1あ～4た）を押す



- ・子機と子機での内線通話は、UX-D90CWをお使いのとき、またはUX-D90CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・相手の方が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録（☎52ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号がわからないときは、通話したい子機の使用人名を  で選んで  を押してください。

4 相手の方とお話する

- ・子機と子機の間での内線通話は親機を通して行われますので、子機と子機が近くても、親機から離れているときは、通話できないことがあります。


5 通話が終わったら を押す




6 充電器に戻す

親機で内線通話を受ける

- ① 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る
- ② 相手の方とお話する
- ③ 通話が終わったら、受話器を戻す

- ・内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに 停止  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

お知らせ

- 内線通話では、保留はできません。
- 子機では、内線通話中に  を押して、スピーカーホンスピーカーホンで通話することができます。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出る場合があります。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は [小] の音量で鳴ります。
- 親機の着信音量を [切] に設定していても、内線通話の着信音は最小の音量で鳴ります。

電話をとりつぐ／3人で電話でお話する（3者通話）

電話がかかってきたときに、親機から子機へ、または子機から親機へと電話をとりつぐことができます。また、外の相手の方とお話中に、内線電話と外の相手との3人でお話することもできます。

親機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に を押す

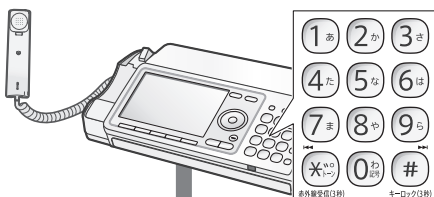


外線

相手の方は保留状態になります。



2 とりつぎ／3者通話したい子機の内線番号（ ～ ）を押す




外線（保留中）






内線



呼び出された子機の手続き

呼び出し音が鳴ったら、子機を取って  を押してください。

- ・ 呼出中、または通話中に親機で外線通話に戻るときは、 を2回押してください。
- ・ 続けて他の子機の内線番号を押すと、呼び出す子機を変更できます。
- ・ 相手の子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 登録されているすべての子機を呼び出すときは、 を押してください。
- ・ 呼び出された子機で内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに  を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

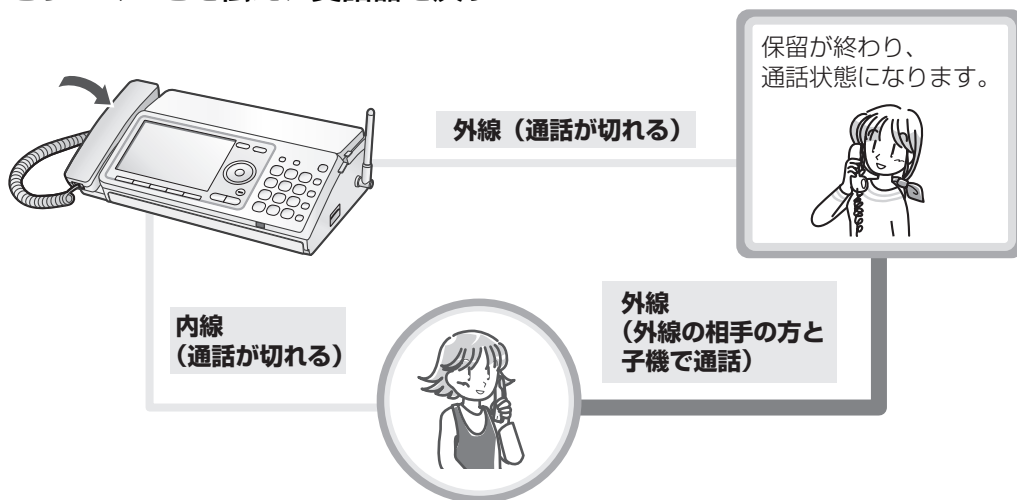
3 子機が電話に出たら、内線通話でお話する

○ 電話をとりつぐときは → **4** へ

○ 外の相手の方と3人でお話するときは（3者通話） → **5** へ

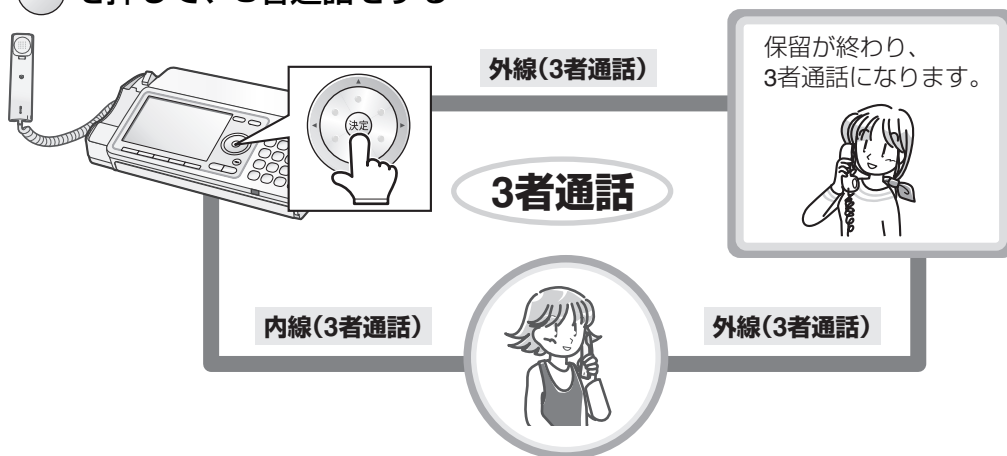
次ページへ


4 ○電話をとりつぐときは とりつぐことを伝え、受話器を戻す



5 ○外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話）

決定 を押して、3者通話をする



- ・ 呼び出された子機で  を押しても、3者通話はできません。
- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。

子機で通話中に内線で呼び出してとりつぐ／3者通話する

1 外線通話中に ^{内線/クリア} **保留** を押す

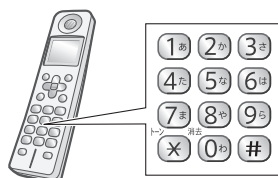


外線

相手の方は保留状態になります。



2 とりつぎ／3者通話したい相手の内線番号を押す

○ 親機にかける：**0** を押す○ 子機にかける：相手の子機の内線番号（**1**～**4**）を押す

外線 (保留中)

内線



呼び出された親機の操作

呼び出し音が鳴ったら、
受話器を取ってください。

- ・ 子機と子機での内線通話は、UX-D90CWをお使いのとき、またはUX-D90CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。
- ・ 呼出中、または通話中に外線通話に戻るときは、^{内線/クリア} **保留** を2回押してください。または ^{内線/クリア} **保留** を押したあと、^{通話} **通話** を押してください。
- ・ 相手の親機または子機が電話に出るか、約30秒呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。
- ・ 子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機がユーザー登録（☎52ページ）をしていると、その名前が表示されます。番号がわからないときは、通話したい子機の使用人名を **+** で選んで **+** を押してください。
- ・ 内線通話に出られないときは、呼び出し音が鳴っているときに **停止** **停止** を押してください。呼び出し音が止まります。また、呼び出した側は「ピピピピ」と鳴って終了します。

3 呼び出した親機または子機が電話に出たら、内線通話でお話する

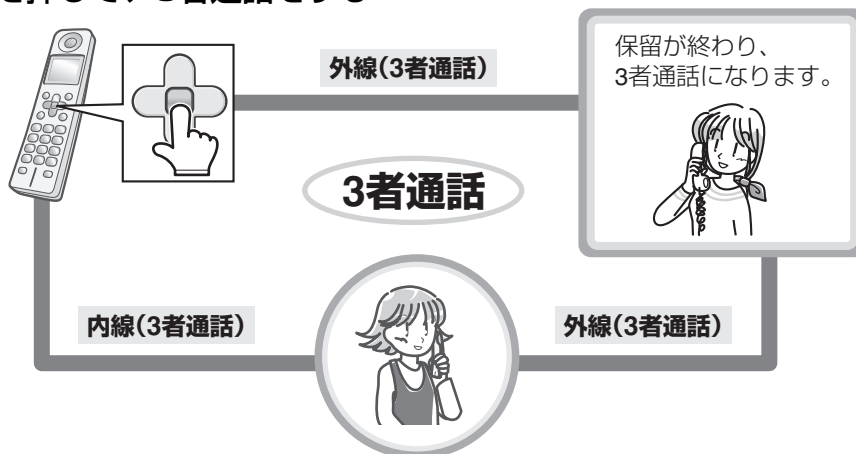
○ 電話をとりつぐときは → **4** へ○ 外の相手の方と3人でお話するときは（3者通話） → **5** へ

次ページへ

4 ○電話をとりつぐときは とりつぐことを伝え、電話を切る



5 ○外の相手の方と3人でお話しするときは（3者通話） ✚を押して、3者通話をする



- ・ 呼び出された親機で **決定** を押しても、3者通話はできません。また、呼び出された子機で **✚** を押しても、3者通話はできません。
- ・ 親機または子機のどちらかが電話を切っても、もう一方の親機または子機は続けて外線と通話ができます。
- ・ 3者通話中は、通話の保留ができません。3者通話している親機と子機、または子機と子機のうち、どちらかが通話をやめた場合は、保留を行うことができます。



電話を自分ひとりでとりつぐときは (ひとり転送)

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。

また、複数の子機をお使いのときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。


親機から子機へ

内線

- ① 親機で通話中に  を押す
- ② 受話器を戻す
- ③ 子機を充電器から取って  を押す
- ④ 相手の方とお話する



子機から親機へ

内線/クリア

- ① 子機で通話中に  を押す
- ② 子機を充電器に戻す
- ③ 着信音が鳴ったら、親機の受話器を取る
- ④ 相手の方とお話する

子機から他の子機へ

内線/クリア

- ① 子機で通話中に  を押す
- ② 子機を充電器に戻す
- ③ 他の子機を充電器から取って  を押す
- ④ 相手の方とお話する

お知らせ

- 着信音を鳴らさない設定にしている場合でも、内線からの着信音は「ブルルル、ブルルル」と鳴ります。
- 子機から親機へひとり転送をしたとき、親機から鳴る着信音は「ブルルル」と鳴ります。

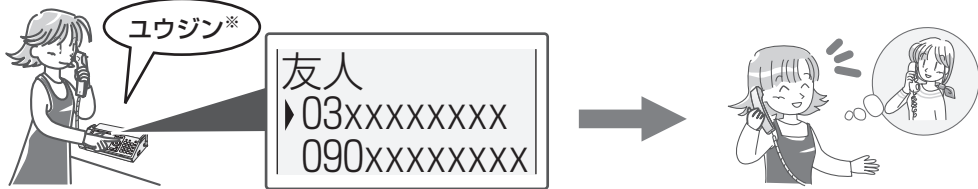
電話帳の登録／修正／消去

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。

もくじ
ご使用の前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
こま当たときは
ご参考に
さくいん

よくおかけになる相手の方を電話帳に登録しておく...

名前を選択するだけで電話をかけることができます。



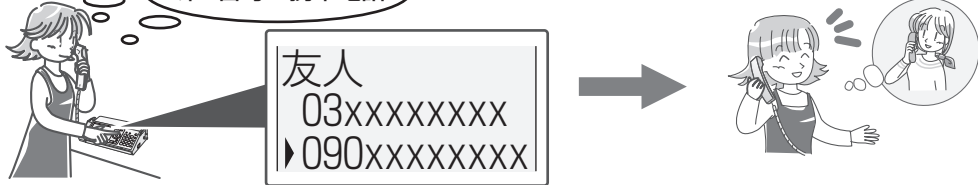
※親機では、選択した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 75～76ページ）。

また、親機ではお一人の名前に2つまで番号を登録できるので...

【使いかたの例】

第1番号は自宅

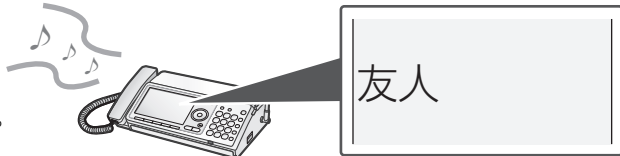
第2番号は携帯電話



どちらかを選んで
電話をかけることができます。

さらに ナンバー・ディスプレイ (188ページ) の契約をしていると...

電話帳に登録した相手から
電話がかかってくると、
登録した名前がディスプレイに
表示されます (188ページ)。



誰からコールを設定していると、
登録した名前を音声で読み上げます
(誰からコール 191ページ)。



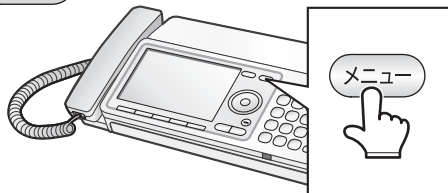
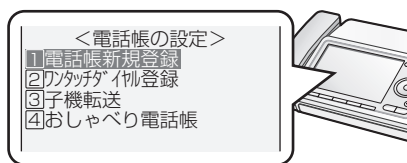
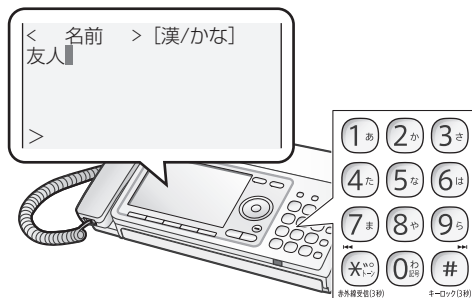
電話帳の登録 (70～72ページ) で
誰あてへの電話をする方なのかを設定すると、
その相手の方からの電話がかかってくると、
誰あてへの電話かを音声でお知らせします
(誰あてコール 191ページ)。

「誰あてにかかってきたか」のめやすになります。



例：「オカアサン」から
「オネエサン」あての着信

親機の電話帳に登録する

1 **メニュー** を押す2 **決定** で [電話帳の設定] を選ぶ3 **決定** を押し、[電話帳新規登録] が選択されていることを確認する4 **決定** を押す5 **決定** で名前を入力する
(最大全角10文字／半角20文字)○ 名前の入力を省略するとき
何も入力しないで **6** へ

- ・文字の入力方法：☎ 80～81ページ
- ・名前を入力するとき、「姓」と「名」の間にスペースを入力しておくことをおすすめします。名前を音声で確認するとき、姓と名それぞれにアクセントを変更することができます（☎ 76ページ）。
- ・名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。

6 **決定** を押す○ 名前の入力を省略しているときは
→ **8** へ

次ページへ

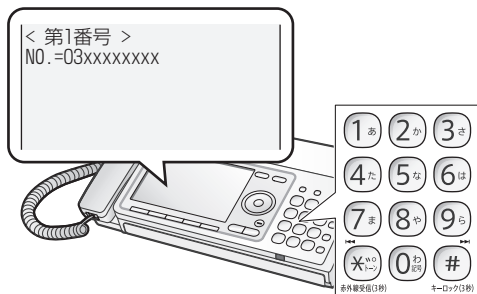
7 「読み」を確認する（最大20文字）

- 正しいときは
そのまま **決定** を押す
- 間違っているときは
→ **決定** または **決定** ← で修正したい文字まで移動して、**取消** で文字を消去、
ダイヤルボタンで修正して

決定 を押す

・「読み」が間違っていると、おしゃべり電話帳 (☎ 75ページ) が正しく動きません。

8 ダイヤルボタンで第1番号を入力する（最大32ケタ）

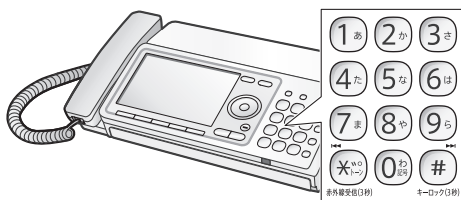


・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、着信時に電話帳の名前表示 (☎ 188ページ) や着信鳴り分け (☎ 201ページ) をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

9 **決定** を押す



10 ダイヤルボタンで第2番号を入力する（最大32ケタ）



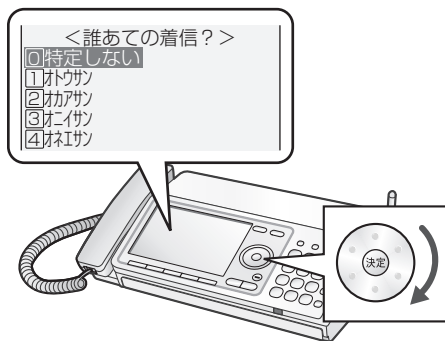
- 第2番号の入力を省略するとき
何も入力しないで **11** へ

11 **決定** を押す



12 誰あてコール (☎ 191～193ページ) で、音声でお知らせする名前を **決定** で選ぶ

※ ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です (☎ 189ページ)



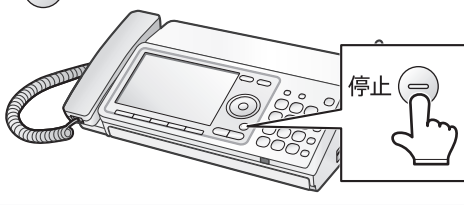
- ・誰あてコールを設定しないときは、[特定しない] を選んでください。
- ・誰あてコールでお知らせする名前を登録したいときは、193ページをご覧ください (誰あてコール設定)。

次ページへ

13 決定 を押す



14 停止 を押す



- ・途中でやめるとき： 停止
- ・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**
- ・電話帳 を押してから、**新規登録** を押して、電話帳の登録画面を表示することもできます。

親機の電話帳にポーズを入力するには

- ・電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、**決定** を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
- ・ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から0発信するときだけにしてください。
- ・それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ・ディスプレイには-（ハイフン）で表示されます。
- ・電話帳でハイフンを表示するためにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがありますので、おすすめできません。

電話帳の表示を切り替えるときは

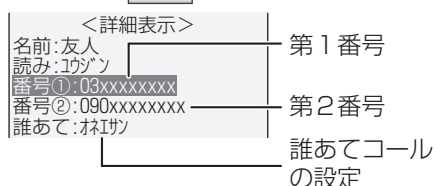
- 電話帳
- ① **決定** を押す
 - ② **表示切替** を押す

電話帳の表示方法が以下の3種類に変更されます。

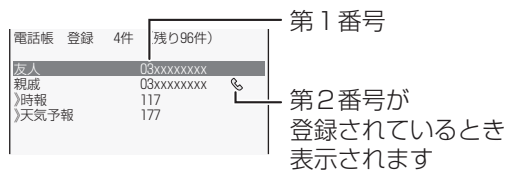
- 1件表示
登録された電話帳を1件表示します。



- 詳細表示
1件表示で **表示切替** を押すと、詳細表示をします。



- 一覧表示
詳細表示で **表示切替** を押すと、一覧表示になります。一覧表示で登録した相手の方を選択して **表示切替** を押すと、選んだ相手の方を1件表示します。



- ・変更した表示方法は記憶され、次に電話帳を開いたときも前回と同じ表示になります。
- ・一覧表示をしているときは、第2番号を使って電話をかけることができません。第2番号を使用するときは、1件表示または詳細表示に変更してからご使用ください。
- ・詳細表示をしているときは、おしゃべり電話帳のアクセントの位置を変更（☎76ページ）したり、名前の後に「さん」を付ける／はずすの設定（☎75ページ）を行うことができません。設定したいときは、1件表示または一覧表示に変更してください。

親機の電話帳を修正する

- 電話帳
- ① を押す
 - ② で修正したい相手先を選ぶ
 - ③ **修正** を押す
 - ④ ダイヤルボタンで名前を修正する
- < 名前 > [漢/かな]
友人
>
- ⑤ **決定** を押し、「読み」を修正する
 - ⑥ **決定** を押し、第1番号を修正する
 - ⑦ **決定** を押し、第2番号を修正する
 - ⑧ **決定** を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
 - ⑨ **決定** を押す
 - ⑩ 停止 を押す
- ・途中でやめるとき：停止
 - ・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**
 - ・修正しない項目は、修正せずにそのまま **決定** を押ししてください。











親機の電話帳を消去する

- 電話帳
- ① を押す
 - ② で消去したい相手先を選ぶ
 - ③ **消去** を2回押す
 - ④ 停止 を押す
- ・途中でやめるとき：停止
 - ・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**
 - ・電話帳消去の操作を行うと、登録した1人分の名前、第1番号、第2番号がすべて消去されます。名前、第1番号、または第2番号だけを消去したいときは、電話帳の修正で、消去したい項目だけを消去してください。

親機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- 再ダイヤル
- ① を押す
 - ② で登録したい番号を選ぶ
- 03XXXXXXXXX
03XXXXXXXXX
9/ 8 15:15
- ③ **新規登録** を押す
 - ④ ダイヤルボタンで名前を入力する (☎ 80~81ページ)
 - ⑤ **決定** を押し、読みを確認する
 - ⑥ **決定** を押し、第1番号を確認する
 - ⑦ **決定** を押し、第2番号を入力する (省略可)
 - ⑧ **決定** を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
 - ⑨ **決定** を押す
 - ⑩ 停止 を押す

親機の着信記録を電話帳に登録するときは

- ①  を押す
 - ②  で登録したい番号を選ぶ
- 03XXXXXXXXX
03XXXXXXXXX
9/ 8 15:15
- ③  を押す
 - ④ ダイヤルボタンで名前を入力する
 - ⑤  を押し、読みを確認する
 - ⑥  を押し、第1番号を確認する
 - ⑦  を押し、第2番号を入力する（省略可）
 - ⑧  を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
 - ⑨  を押す
 - ⑩ 停止  を押す

- 親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（☞ 89ページ）
- 親機の電話帳をすべて消去するときは（☞ 238ページ）
- 親機の電話帳の内容を印刷するときは（☞ 136～137ページ）
- 親機の電話帳のデータをSDカードに保存するには（☞ 151ページ）
- 携帯電話の電話帳データを赤外線を受信して登録するには（☞ 161ページ）
- おしゃべり電話帳を設定または解除するときは（☞ 75ページ）
- おしゃべり電話帳のアクセントを変更するときは（☞ 76ページ）

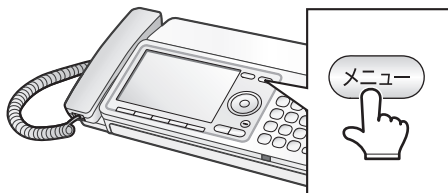
● お知らせ ●

- 親機の電話帳には、あらかじめ[>>時報 117]、[>>天気予報 177]の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。
- 「おしゃべり電話帳」（☞ 75ページ）や「誰あてコール」（☞ 191ページ）、「誰からコール」（☞ 191ページ）は、親機の電話帳にのみ対応しています。子機の電話帳では動作しません。

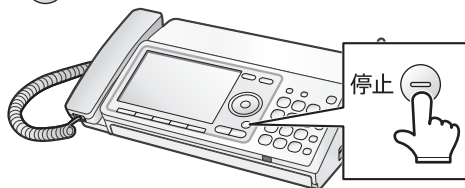
親機の電話帳を音声でお知らせする（おしゃべり電話帳）

親機の電話帳を音声でお知らせする／お知らせしないを設定できます。電話帳に登録されている「読み」にしたがってお知らせします。工場出荷時は、お知らせする設定になっています。

1 **メニュー** を押す



6 **停止** を押す



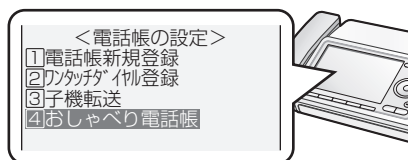
2 **決定** で [電話帳の設定] を選ぶ



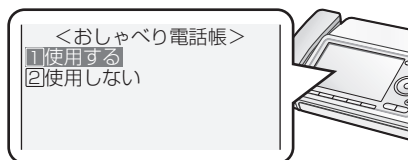
・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る**

3 **決定** を押し、**決定** で [おしゃべり電話帳] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で [使用する] または [使用しない] のいずれかを選ぶ



5 **決定** を押す



お知らせする名前の後に「さん」を付けるには／「さん」をはずすには

親機の電話帳を新しく登録したり、子機から親機へ電話帳を転送したときは、お知らせする名前のあとに「さん」を付ける設定になっています。

会社名や愛称などに「さん」を付けるとおかしく聞こえる場合は、登録されている名前ごとに「さん」を付ける／はずすの設定ができます。

電話帳が「詳細表示」のときは設定できませんので、「1件表示」または「一覧表示」に変更してください（☎72ページ）。

- 電話帳
 - ① **決定** を押す
 - ② **決定** で変更したい名前を選ぶ
 - 再生
 - ③ **再生** を押す
名前を「さん」付けでお知らせします。
 - 再生
 - ④ もう一度 **再生** を押す
名前を「さん」なしでお知らせします。
 - 再生
 - ⑤ **再生** を押すごとに「さん」あり、「さん」なしが変更されます。
 - ⑥ **停止** を押す
- ・途中でやめるとき： **停止**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る**
- ・あらかじめ登録されている [> 時報 117]、[> 天気予報 177] の2件には、「さん」を付けることはできません。

おしゃべり電話帳のアクセントの位置を変更する

登録した親機の電話帳の音声を聞いたとき、アクセントの位置によっては不自然に聞こえることがあります。

このときは、アクセントの位置を「姓」、「名」それぞれについて変更することができます。

電話帳が「詳細表示」のときは設定できませんので、「1件表示」または「一覧表示」に変更してください（☎72ページ）。

電話帳

- ① を押す
- ② 変更したい相手の方が出るまで、 を押す
再生
- ③ を押す
(名前を音声でお知らせします)
- ④ 「姓」のアクセントを変更するときは、名前を発声して3分以内に ~ 、 で調整する
アクセントを付けたい文字が左から数えて何文字目かを確認し、対応したダイヤルボタンを押してください（最大8文字目まで）。

例： ユ ウ ジ ン
 ↑ ↑ ↑ ↑
 ~

- ⑤ 「名」のアクセントを変更するときは を押して、 ~ 、 で調整する
「姓」のアクセント変更に戻るときは を押してください。
- ⑥ アクセントの変更が終わったら 停止 を押す

続けて変更したいときは、停止 を押さずに、 で変更したい番号を選んでください。

- ・途中でやめるとき： 停止
- ・1つ前に戻るとき：
- ・手順④、⑤で を選ぶと、親機に登録されているアクセントに自動で設定されます。はじめは に設定されています。
- ・ は平坦なアクセントになります。
- ・電話帳の「読み」のスペースで区切られている部分までのアクセントを変更しますので、「読み」の「姓」と「名」の間にスペースを入れておいてください。

お知らせ

- おしゃべり電話帳の音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- おしゃべり電話帳では、「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中までしか発声できないことがあります。「親機の電話帳でかける」(☎83ページ)の手順1~2の操作をして確かめてください。
- おしゃべり電話帳は、受話器を上げているときやオンフックダイヤルボタンを押したあとは働きません。
- おしゃべり電話帳では、記号は次のように発声します。

＊ (スター)、 # (シャープ)、 . (テン)、
@ (アット)、 & (アンド)

次の記号は発声しません。

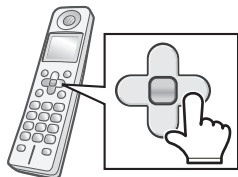
— スペース、 :、 /、 !、 ?、 ()、 []

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。子機では、1台につき最大100人分の電話番号を登録できます。第2番号を登録することはできません。

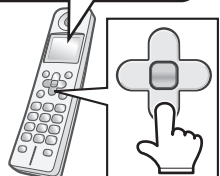
親機と子機が電波の届く範囲になかったり、親機が使用中のときは、子機での登録を行うことができません。親機に登録した電話帳を子機に転送して、子機の電話帳に追加することもできます（☎89～90ページ）。

1 を押す

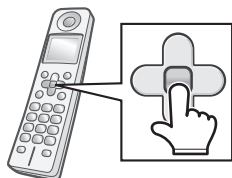


2 で [電話帳登録] を選ぶ

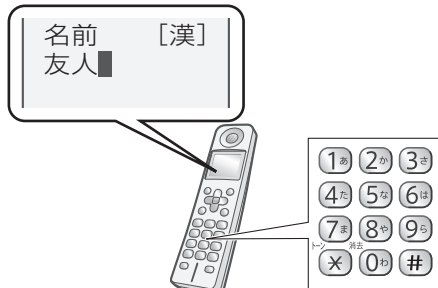
電話帳検索
▶電話帳登録



3 を押す



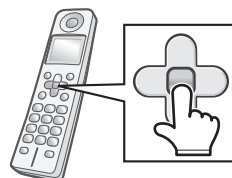
4 ダイヤルボタンで名前を入力する (最大全角10文字／半角20文字)



- 名前の入力を省略するとき
何も入力せずに **5** へ

・文字を入力するには（☎80、82ページ）
・名前を入力しないで登録すると、名前が表示される場所に電話番号が表示されます。






5 を押す




- 名前の入力を省略しているときは
7 へ

次ページへ

6 「読み」を確認する（最大12文字）

- 正しいときは
そのまま  を押す
- 間違っているときは
 または  で修正したい文字まで移動して、内線/クリア  で消去、
ダイヤルボタンで修正したあと
 を押す

子機の電話帳にポーズを入力するには





- ・電話帳の登録時に電話番号の入力をするとき、
 を押すと、約3秒間の待ち時間（ポーズ）ができます。
- ・ポーズを入力するのは、構内交換機（PBX）から発信するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。
- ・ディスプレイには_（アンダーバー）で表示されます。





7 ダイヤルボタンで電話番号を入力する（最大24ケタ）





- ・ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳の名前表示（☎ 188ページ）や着信鳴り分け（☎ 203ページ）をさせるときは、必ず市外局番から登録してください。

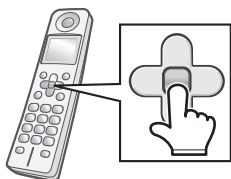
子機の電話帳を修正する


- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  で修正したい相手の番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [電話帳変更] を選ぶ

特番ダイヤル
▶電話帳変更
1件消去
- ④  を押し、ダイヤルボタンで名前を修正する
- ⑤  を押し、ダイヤルボタンで「読み」を修正する
- ⑥  を押し、ダイヤルボタンで電話番号を修正する
- ⑦  を押す

- ・途中でやめるときは  を押してください。
- ・修正しない項目は、修正せずにそのまま  を押してください。

8 を押す



- ・途中でやめるとき： 切

子機の再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

- ① を押す
- ② で登録したい番号を選ぶ
- ③ を押し、 が選択されていることを確認する
- ④ を押し、名前を入力する (☎80、82ページ)
- ⑤ を押し、「読み」を確認する
- ⑥ を押し、電話番号を確認する
- ⑦ を押す

子機の着信記録を電話帳に登録するときは

- ① を2回押す
- ② で登録したい番号を選ぶ
- ③ を押し、 で【電話帳へ登録】を選ぶ

特番ダイヤル
▶電話帳へ登録
1件消去
- ④ を押し、名前を入力する (☎80、82ページ)
- ⑤ を押し、「読み」を確認する
- ⑥ を押し、電話番号を確認する
- ⑦ を押す

子機の電話帳を選んで消去する

- ① 子機を充電器から取る
- ② または で消去したい相手の番号を選ぶ
- ③ を押し、 で【1件消去】を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳変更
▶1件消去

- ④ を2回押す

・途中でやめるときは を押してください。

子機の電話帳をすべて消去する

- ① 子機を充電器から取る
- ② を押す
- ③ で【全消去】を選ぶ

電池残量
システム設定
▶全消去

- ④ を押し、 で【電話帳】を選ぶ

再ダイヤル
着信記録
▶電話帳

- ⑤ を2回押す

・途中でやめるときは を押してください。

■ 子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するときは (☎90ページ)

お知らせ

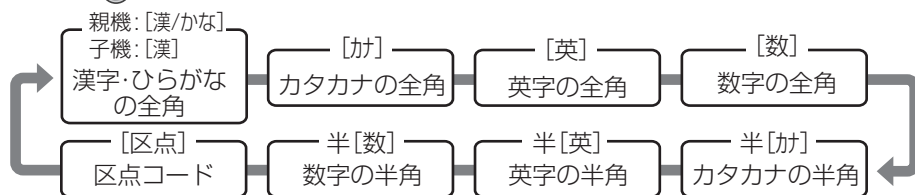
- 子機の電話帳には、あらかじめ [>>時報 117] と [>>天気予報 177] の2件の番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消去してください。

文字を入力する

入力モードを切り替えることによって、親機では[漢/かな]／[か]／[英]／[数]／半[か]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が、子機では[漢]／[か]／[英]／[数]／半[か]／半[英]／半[数]／[区点]の8種類が入力できます。

文字入力のしかた

- 1** ○親機： を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）
 ○子機： を押し、入力モードを選ぶ（押すごとに切り替え）



2 ダイヤルボタンで文字を入力する

(入力例)

親機 [漢/かな]	ゆ (8) や (2回)	う (1) あ (3回)	じ (3) さ (2回)	ん (0) わ (3回)
ひらがなのまま入力	採用 を押す			
漢字に変換して入力	① 変換、または を押す ② 「友人」が表示されたら 採用 を押す			

子機 [漢]	ゆ (8) や (2回)	う (1) あ (3回)	じ (3) さ (2回)	ん (0) わ (3回)
ひらがなのまま入力	を押す			
漢字に変換して入力	① または を押して選ぶ ② 「友人」が表示されたら を押す			

[か] 半[か]	ユ (8) や (2回)	ウ (1) あ (3回)	ジ (3) さ (2回)	ン (0) わ (3回)
[英] 半[英]	S (7) ま (4回)	H (4) た (2回)	O (6) は (3回)	P (7) ま (1回)
[数] 半[数]	1 (1) あ	2 (2) か	3 (3) さ	

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] 4(た) 5(な) 6(は) 7(ま) → 「翼」が入力されます

[か] 半[か]	ユ (8) や (2回)	ウ (1) あ (3回)	ジ (3) さ (2回)	ン (0) わ (3回)
[英] 半[英]	S (7) ま (4回)	H (4) た (2回)	O (6) は (3回)	P (7) ま (1回)
[数] 半[数]	1 (1) あ	2 (2) か	3 (3) さ	

区点コード4567の「翼」を入力するとき
 [区点] 4(た) 5(な) 6(は) 7(ま) → 「翼」が入力されます

- ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]では1ボタンにつき1文字）。
 例：[か]モードの (1) あ (親機) / (1) あ (子機) の場合 ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ
- 「エイ」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、 (親機) / (子機) を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。
- 親機で文字を消すときは、**取消** を押します（カーソルの1つ前を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。すべての文字を一度に消すことはできません。
- 子機で文字を消すときは、 を押します（カーソルの1つ前の文字を消去／カーソルが文字の上にあるときは、その文字を消去）。2秒以上、 を押し続けると、すべての文字が消去されます。
- うまく漢字に変換できないときは、一文字ずつ入力したり、読みかたを変えて入力してください。

文字入力一覧表（親機）

ボタン	表示	漢/かな	カナ	半角カナ	英・半角英 ※1	数・ 半角数	区点
①あ		あ い う え お	ア イ ウ エ オ		@ . / - _	1	
		あ い う え お	ア イ ウ エ オ				
②か		か き く け こ	カ キ ク ケ コ		A B C a b c	2	
③さ		さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ		D E F d e f	3	
④た		た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ		G H I g h i	4	
⑤な		な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ		J K L j k l	5	
⑥は		は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ		M N O m n o	6	※2
⑦ま		ま み む め も	マ ミ ム メ モ		P Q R S	7	
					p q r s		
⑧や		や ゆ よ や ゆ よ	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ		T U V t u v	8	
⑨ら		ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ		W X Y Z	9	
					w x y z		
0わ 説明		わ を ん ー	ワ ヲ ン ー	ワ ヲ ン ー	, : ! ? & /	0	
		(スペース) 。 、	(スペース) 。 、	(スペース)	(スペース)		
＊ 説明		濁点/半濁点 ※3			無効	＊	無効
#		無効				#	無効
 		カーソル左右移動					
 		かな漢字変換	無効				
		かな漢字変換	無効				
		入力した文字の決定	無効				
		1文字消去					
		文字の種類切り替え					

※1：半角英字のアルファベットは大文字のみです。

※2：区点コードについては246～247ページをご覧ください。

※3：濁点・半濁点を付けたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さくいん

文字入力一覧表（子機）

表示 ボタン	漢 ※1	カナ	半角 カナ	英・半角 英 ※2	数	半 角 数	区 点
1あ	あ い う え お	ア イ ウ エ オ		@ . / - _	1		
	あ い う え お	ア イ ウ エ オ					
2か	か き く け こ	カ キ ク ケ コ		A B C a b c	2		
3さ	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ		D E F d e f	3		
4た	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ		G H I g h i	4		
5な	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ		J K L j k l	5		
6は	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ		M N O m n o	6		※3
7ま	ま み む め も	マ ミ ム メ モ		P Q R S	7		
				p q r s			
8や	や ゆ よ や ゆ よ	ヤ ユ ヨ ヤ ユ ヨ		T U V t u v	8		
9ら	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ		W X Y Z	9		
				w x y z			
0わ	わ を ん ー	ワ ラ ン ー	ワ ラ ン ー	, : ! ? & (0		
	(スペース) 。 、	(スペース) 。 、	(スペース)) [] (スペース)			
✖	無効				*	*	無効
#	無効				#		無効
スピーカー 送受信	濁点/半濁点 ※4			無効			
	カーソル左右移動						
	かな漢字変換/ カーソル上下移動	カーソル上下移動					
内線/クリア 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、すべての文字を消去）						
文字切替/キャッチ	文字の種類の切り替え						

※1：子機が親機の電波の届く範囲にないと、子機の文字入力機能は使用できません。

※2：半角英字のアルファベットは大文字のみです。

※3：区点コードについては246～247ページをご覧ください。

※4：濁点・半濁点を付けたい文字を入力した後に押してください。「は」行の文字では、押すごとに濁点→半濁点→点なし→濁点…と切り替わります（半角カナのみ、どの文字でも濁音、半濁音を使用できます）。

電話帳で電話をかける

よく使う相手先を電話帳に登録しておく、電話帳から相手先を選んで電話をかけることができます。毎回ダイヤルボタンで電話番号を入力する手間が省け、大変便利です。また、相手先を選ぶと登録した名前を音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 75ページ）。

●電話帳登録 親機 70～72ページ/子機 77～78ページ

親機の電話帳でかける

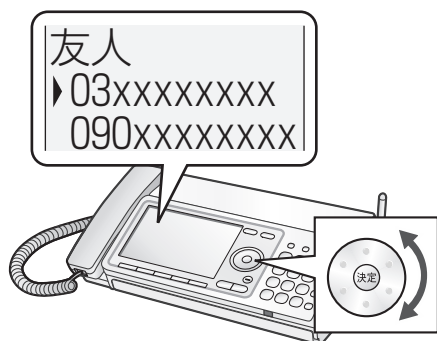
1 電話帳 を押す



3 受話器を取る



2 電話をかけたい相手の方が出るまで、 を押す



4 相手の方とお話する



・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

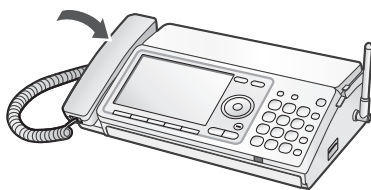
○ 第1番号にかけるとき
そのまま → 3へ

○ 第2番号にかけるとき
 で第2番号を選択 → 3へ

・電話帳の表示が「一覧表示」（72ページ）のときは、第2番号を使うことができません。第2番号を使用するときは、**表示切替**を押して「1件表示」または「詳細表示」にしてから を押してください。

・液晶ディスプレイに、選んだ相手の方の名前が表示されます。また、選んだ相手の方の名前を、音声でお知らせします（おしゃべり電話帳 75ページ）。





5 通話が終わったら受話器を戻す





・途中でやめるときは 停止 を押してください。

親機の電話帳から名前の頭文字で検索して電話をかけるときは









ダイヤルボタンを使って、あ行、か行などの行単位でおおまかに検索します。



- ① 電話帳  を押す
- ② ダイヤルボタンで、相手の名前の頭文字の行を入力する（例：「友人」を探すときは ）（☎80～81ページ）
- ③ 目的の相手の方が選ばれていないときは、 で選ぶ
第2番号でかけるときは  を押して選ぶ
- ④ 受話器を取る
- ⑤ 相手の方とお話する
- ⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

・電話帳の表示が「一覧表示」（☎72ページ）のときは、第2番号を使うことができません。第2番号を使用するときは、 を押して「1件表示」または「詳細表示」にしてから  を押してください。

親機で33ケタ以上の番号をダイヤルするときは

電話帳には、電話番号を最大32ケタまでしか登録できません。33ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

- ① 受話器を取る
- ② 電話帳  を押す
- ③ 相手の番号が出るまで  を押す
第2番号でかけるときは  を押して選ぶ
- ④  を押す
- ⑤ すぐに、もう一度  を押す
- ⑥  で次の番号を選ぶ
第2番号でかけるときは  を押して選ぶ
- ⑦  を押す
- ⑧ 相手の方とお話する
- ⑨ 通話が終わったら受話器を戻す

・電話帳の表示が「一覧表示」（☎72ページ）のときは、第2番号を使うことができません。第2番号を使用するときは、 を押して「1件表示」または「詳細表示」にしてから  を押してください。

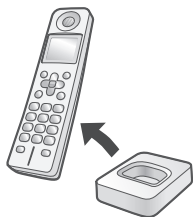
- おしゃべり電話帳を設定または解除するときは（☎75ページ）
- おしゃべり電話帳のアクセントを変更するときは（☎76ページ）

お知らせ

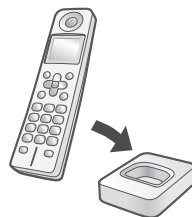
- 電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字（0～9）→英字（A～Z）→カナ（50音順）
- チェーンダイヤル機能で33ケタ以上の番号をダイヤルした場合、再ダイヤルしても同じ番号をダイヤルすることはできません。

子機の電話帳でかける

1 子機を充電器から取る

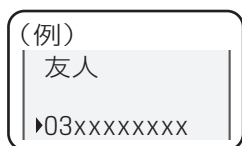



6 充電器に戻す



2 電話をかけたい番号が出るまで、









または を押す



途中でやめるとき：  切

子機で25ケタ以上の番号をダイヤルするとき

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます（チェーンダイヤル機能）。

- ① 子機を充電器から取る
- ② 相手の番号が出るまで  または  を押す
- ③  を押す
- ④ 電話が発信される前に、 を押す
- ⑤  または  で次の番号を選ぶ
- ⑥  を押す
- ⑦ 相手の方とお話する
- ⑧ 通話が終わったら  を押す
- ⑨ 充電器に戻す

3 を押す




4 相手の方とお話する

・通話中は、ディスプレイにおよその通話時間を表示します。







5 通話が終わったら を押す



子機で電話帳から名前で検索して電話をかけるときは








- ① 子機を充電器から取る
- ②  を押し、[電話帳検索] が選択されていることを確認する

▶電話帳検索
電話帳登録

- ③  を押し
- ④ ダイヤルボタンで名前を入力する
(途中まででも可能) (☎80、82ページ)
- ⑤  を押し
- ⑥ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、 または  を押しして選ぶ
- ⑦  を押し
通話
- ⑧ 相手の方とお話する
- ⑨ 通話が終わったら  を押し
- ⑩ 充電器に戻す

子機で名前の頭文字から検索してかけるときは




ダイヤルボタンを使って、あ行、か行などの行単位でおおまかに検索します。

- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  のいずれかを押し
- ③ ダイヤルボタンで相手の名前の行を入力する
(例：「友人」を探すときは )
(☎80、82ページ)
- ④ 目的の相手の番号が選ばれていないときは、 または  を押しして選ぶ
- ⑤  を押し
通話
- ⑥ 相手の方とお話する
- ⑦ 通話が終わったら  を押し
- ⑧ 充電器に戻す










子機の電話帳で、184(非通知)や186(通知)を付けて電話をかけるときは

184や186などの番号を電話帳に登録した番号の前に入れてダイヤルします。

通知や非通知については、用語集 (☎258ページ) をご覧ください。

- ① 子機を充電器から取る
- ②  または  を押し、相手の番号を選ぶ
- ③  を押し、[特番ダイヤル] が選択されていることを確認する

▶特番ダイヤル
電話帳変更
1件消去

- ④  を押し
- ⑤ ダイヤルボタンで
非通知でかけるときは   
通知してかけるときは   
などの番号を順に押す (最大8ケタ)
- ⑥  を押し
通話
- ⑦ 相手の方とお話する
- ⑧ 通話が終わったら  を押し
- ⑨ 充電器に戻す

お知らせ

- 電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。数字 (0~9) →英字 (A~Z) →カナ (50音順)
- 親機でコピー中、印刷中、録音データ保存中のときは、子機で電話をかけることはできません。

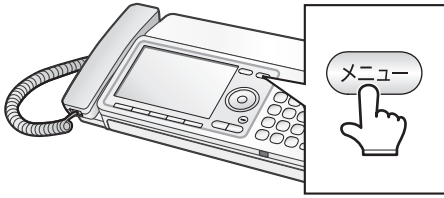
ワンタッチダイヤルを使う（親機）

よく電話をかける相手の方を、ワンタッチダイヤル（2件、親機のみ）に登録しておくことで、簡単な操作で電話をかけることができます。

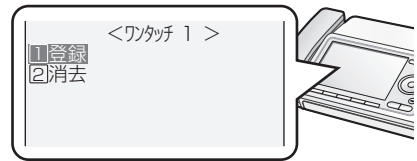
ワンタッチダイヤルに登録する電話番号は電話帳から選びます。あらかじめ相手の方を電話帳に登録（☎69～72ページ）しておいてください。

ワンタッチダイヤルに番号を登録する

1 **メニュー** を押す



5 **決定** を押し、[登録] が選択されていることを確認する



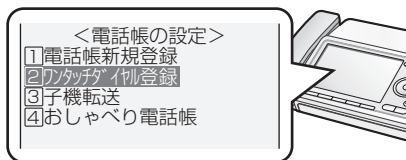
2 **決定** で [電話帳の設定] を選ぶ



6 **決定** を押す



3 **決定** を押し、**決定** で [ワンタッチダイヤル登録] を選ぶ



7 **決定** で、ワンタッチダイヤルに登録したい相手先を電話帳から選ぶ



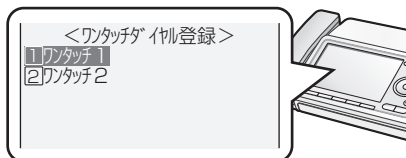
・ワンタッチダイヤルに第2番号を登録することはできません。

4 **決定** を押し、**決定** で

○ [ワンタッチ1]

○ [ワンタッチ2]

を選ぶ

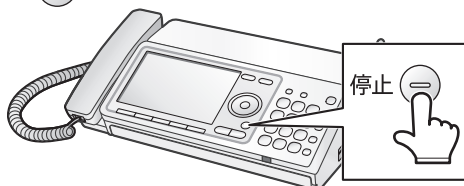


次ページへ

8 決定 を押す



9 停止 を押す



・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：戻る

ワンタッチダイヤルで電話をかける

- ① 受話器を取る
- ② かけたいワンタッチダイヤルを選び、
[ワンタッチ1] または [ワンタッチ2] のいずれかを押す
- ③ 相手の方とお話する
- ④ 通話が終わったら受話器を戻す

・途中でやめるとき：受話器を戻す

ワンタッチダイヤルの登録を消すときは

- ① [メニュー] を押す
- ② [電話帳の設定] を選ぶ
- ③ [決定] を押し、[ワンタッチダイヤル登録] を選ぶ
- ④ [決定] を押し、[ワンタッチ1] または [ワンタッチ2] を選ぶ
- ⑤ [決定] を押し、[消去] を選ぶ
- ⑥ [決定] を押し、[消去する] を選ぶ
- ⑦ [決定] を押す
- ⑧ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：戻る

■ ワンタッチダイヤルの登録を変更するときは

ワンタッチダイヤルボタンに登録されている番号を消去して、別の番号をあらためて登録してください。

● お知らせ

- ワンタッチダイヤルに登録した元の電話帳の内容を変更・消去すると、ワンタッチダイヤルの内容も変更・消去されます。

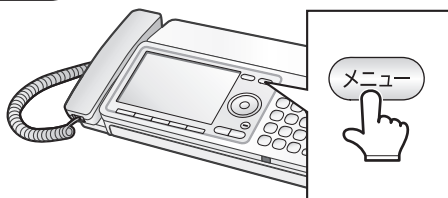
親機と子機、子機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます（転送した電話番号は消えません）。

親機から子機へ転送すると、電話帳の内容（名前と第1番号）が子機に追加されます（第2番号は追加されません）。また、子機から親機へ転送すると、電話帳の内容（名前と電話番号）が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

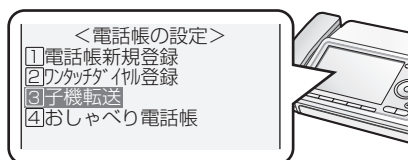
1 **メニュー** を押す



2 **決定** で [電話帳の設定] を選ぶ



3 **決定** を押し、**決定** で [子機転送] を選ぶ



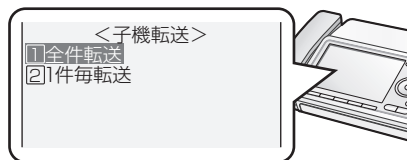
4 **決定** を押し、**決定** で電話帳の転送方法を選ぶ

すべて転送するとき

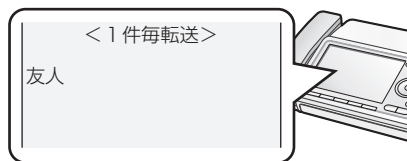
[全件転送] を選んで **決定** を押す
→ **7** へ

1件ずつ転送するとき

[1件毎転送] を選んで **決定** を押す
→ **5** へ



5 転送したい相手先を **決定** で選ぶ



6 **決定** を押す



次ページへ

7 転送する子機の番号 (1あ ~ 4た) を押す



・途中でやめるとき：停止

1つ前に戻るとき： 戻る

[転送できないデータがあります 操作を続けますか?] と表示されたときは

この表示は親機に25ケタ以上の番号で登録しているときに表示されます。

を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

子機の電話帳をすべて転送する

子機から子機への電話帳の転送は、UX-D90CWをお使いのとき、またはUX-D90CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① を押す

② で [電話帳転送] を選ぶ

着信音色
着信鳴り分け
▶電話帳転送

③ を押し、 で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

全転送
▶親機
子機2

④ を押す

- ・途中でやめるときは を押してください。
- ・子機の内線番号は、子機のディスプレイに表示している番号です。ただし、相手の子機が使用者登録 (☎52ページ) をしている場合は、その名前が表示されます。
- ・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

子機の電話帳を1件ずつ転送する

子機から子機への電話帳の転送は、UX-D90CWをお使いのとき、またはUX-D90CLに子機を増設してお使いのときにご使用になれます。

① または で転送したい相手を選ぶ

② を押す

③ で [1件転送] を選び、 を押す

電話帳変更
1件消去
▶1件転送

④ で親機、または他の子機から転送したい相手を選ぶ

⑤ を押す

- ・途中でやめるときは を押してください。
- ・親機が使用中などのときは、「ピーピー」とエラー音が鳴って転送できません。

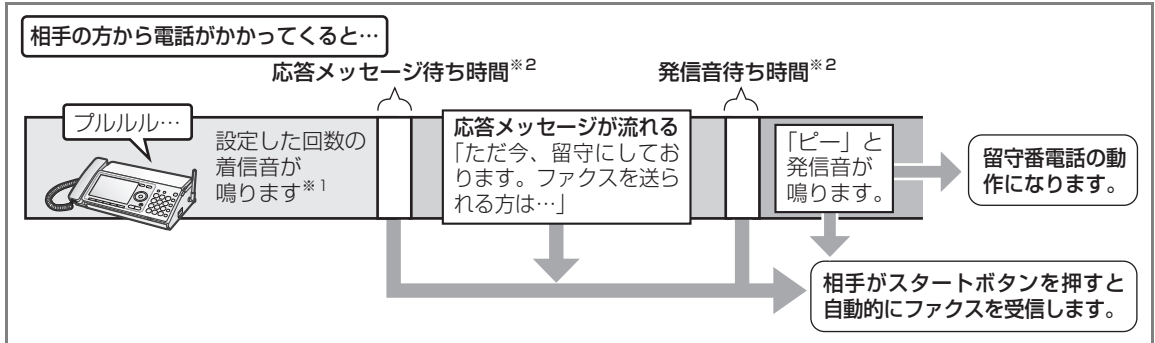
お知らせ

- 親機から子機へ、半角13文字以上の読みで登録している相手先を転送すると、読みは12文字までしか転送できません。
- 子機で転送するときは、できるだけまわりに他の子機や電気製品などがいない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。また、電源コードを子機や充電器の近くに束ねて置くと、転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が“()”ではじまっている電話番号(天気予報、時報)は、転送動作は完了しますが、電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。通話が終わったら、もう一度転送をやり直してください。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 名前と電話番号が同じデータをすでに登録されている場合は、転送動作は完了しますが、データは転送されません。
- 似た名前や読みを登録する場合は、先頭部分が違う文字になるよう登録することをおすすめします。
例)「携帯電話 父」→「父 携帯電話」
「携帯電話 母」→「母 携帯電話」

留守に設定する／解除する

外出中に相手の方の用件を録音したり、ファクスを自動受信します。

- 相手の方の用件は、1件につき約30秒間録音できます（録音時間は変更できます。「録音時間」[P.239](#)ページ）。
- 本体メモリ使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または30件まで録音できます。
- SDカードを本機に取り付ける（[P.140](#)ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（[P.140](#)ページ）。そのときは、すべての録音を合わせて最大500件まで録音できます。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。



*1 着信音の回数は変更できます（[P.105](#)ページ「留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）」）。お買いあげ時の回数は「4回」です。

*2 応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は変更できます（[P.239](#)ページ）。お買いあげ時の設定は「4秒」です。ただし、短くするとファクスを受けにくくなる場合があります（応答メッセージ待ち時間と発信音待ち時間は、ファクスを受信するために必要な無音時間です）。

親機で留守に設定する

1 を押す



- ・ 固定応答メッセージが流れ、親機の が点灯し、子機のディスプレイには「留守」と表示されます。
- ・ 録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り〇分、録音できます」と音声でお知らせします。残り時間が1分以下のときは、「メモリーが、もうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。残り時間がないときは、留守に設定できません。不要な録音を消去（[P.94～98](#)ページ）するか、メモリー受信したファクスを印刷／消去（[P.130、133](#)ページ）してください。ただし、録音できる残り時間がなくても、リモート暗証番号が登録されているときは留守に設定できます。

■ 留守設定中に、相手の方の録音中の声を聞くときは（「お声拝聴」 [P.239](#)ページ）

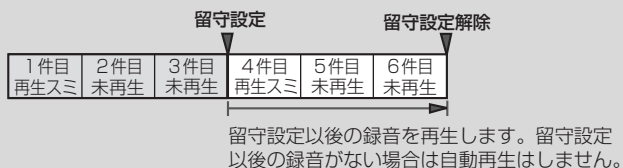
お知らせ

- 自動着信すると、相手の方に通話料金がかかります。

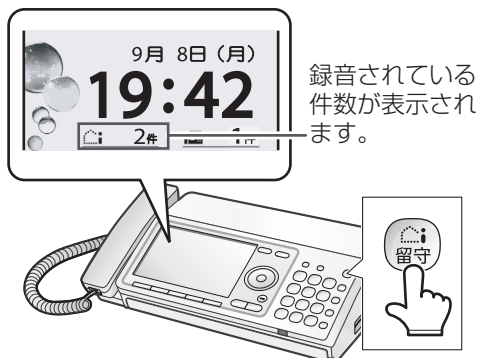
親機で留守設定を解除する

留守設定を解除すると、留守設定中に録音されたメッセージを自動的に再生します。新しい録音がない場合は、再生しません。


留守設定後の再生について



1 留守設定時に を押す

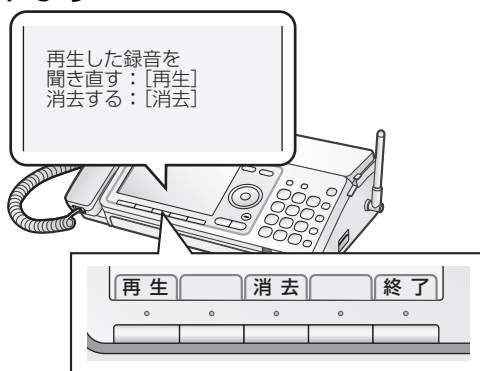


○再生が最後まで終わると、自動的に再生が終了します。 → **2** へ

○再生を途中でやめるときは、
停止  を押す

- ・留守設定中に録音があると、録音件数が表示され、留守ボタンが点滅します。留守を解除すると消灯します。
- ・親機で留守を解除すると、留守設定以後の録音内容を自動的に1回再生します(ない場合は再生しません)。
- ・本体メモリーに録音しているときは、再生中に「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(☎96ページ)。SDカードに録音しているときは、「10秒戻し再生」「30秒送り再生」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」を行うことができます(☎96ページ)。
- ・録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。

2 再生終了後に下記の画面が表示されます



- 聞き直したいときは **再生** を押す
- 再生した録音をすべて消去するときは **消去** を2回押す
- 終了するときには **終了** を押す

- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・録音メッセージを個別に消去したいときは、再生中に消去を行ってください(☎94ページ)。

留守ボタンが点滅しているときは

- 留守設定中に点滅(1回ずつの点滅)しているときは、新しく入れた録音があります(子機ディスプレイには[<新着あり>]と表示されます)。また、「今から録音」、「戻って録音」、留守録が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、点滅(2回続けての点滅)しているときは、まだ再生していない(未再生)録音(「今から録音」、「戻って録音」、留守録)があります。再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。すべて再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くとときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を再生/消去する」(☎94、97ページ)の操作をします。

親機のディスプレイに [受信FAXがあります] [受信FAX] を押す と表示し、**受信FAX** が点滅しているときは







送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示、印刷または消去 (☎ 130、133ページ) すると、表示が消えます。


また、**受信FAX** の点滅が止まります。



- 留守設定を解除せずに留守録を聞くには (☎ 94、97ページ)
- 再生中にできる操作について (☎ 96、98ページ)

子機で留守設定をする／解除する

- ①  を押す
- ② [留守番電話] が選択されていることを確認する
 - ▶留守番電話
 - 着信音量
 - 着信音色
- ③  を押し、 で [留守設定切替] を選ぶ
 - 用件再生
 - ▶留守設定切替
 - 全消去
- ④  を押し、 で [設定] または [解除] を選ぶ
 - ▶解除
 - 設定
- ⑤  を押す

- ・途中でやめるときは  を押してください。
- ・子機で留守を解除すると、留守設定をした後に録音があっても再生しません (親機の留守ボタンの点滅も消えません)。

お知らせ

- 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは、「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります (ファクス受信可能な場合のみ)。
- 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください (☎ 94～98ページ)。
- 留守録音とメモリー受信は、同じメモリーを使用しています。メモリー受信したファクスがあると、録音できる時間が少なくなります。メモリー残量が少なくなると、あらたに録音やファクス受信ができなくなりますので、不要な用件は消去してください。
- 応答メッセージが流れている間、相手の方の音がスピーカーから聞こえます (お声拝聴機能)。応答メッセージが流れている間や録音している間に電話に出ると通話できます。

録音されている内容を再生／消去する

録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや「今から録音」、「戻って録音」、「メモ録音」）を再生するときの操作です。親機と子機のどちらでも再生できます。

親機で録音内容を再生／消去する


1 再生 を押す

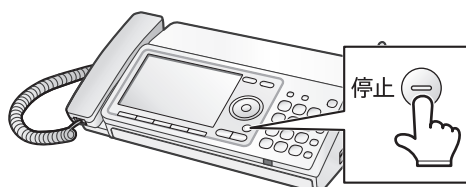


- ・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
- 留守設定にしていなときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- ・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。

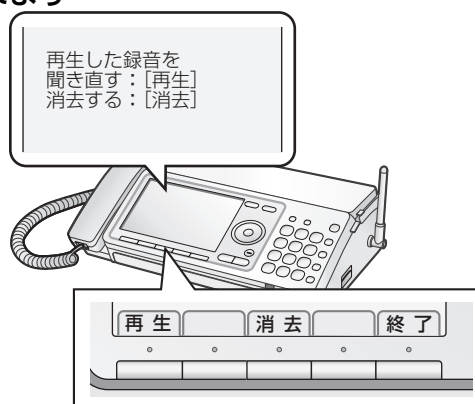
2 ○再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了する →3へ

- 再生中の録音を1件消去したいときは、**消去** を2回押す
→すべての再生が終わったら**3**へ

- 再生を途中でやめるときは、**停止**  を押す



3 再生終了後に下記の画面が表示されます



- 聞き直したいときは **再生** を押す
- 再生した録音をすべて消去するときは **消去** を2回押す
- 終了するときには **終了** を押す
- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・録音メッセージをすべて消去したいときは（☎96ページ）。

再生中に電話がかかってきたら

着信すると、再生は自動的に止まります。そのまま電話に出ると、お話しすることができます。

- 通話中に録音内容を再生するには（☎180ページ）

親機の録音メモリーの残量を確認するには (FAX/録音メモリー残量表示)

- ① **メニュー** を押す
- ② **7** を押す
- ③ 確認したら **停止** (⏻) を押す

再生する録音データのメモリーを切り替えるには

録音データを再生するときは、「FAX/録音メモリー設定」(☎ 140ページ) で設定した保存先のデータを再生します。

「本体メモリー」設定時に「SDカード」のデータを再生するときや、「SDカード」設定時に「本体メモリー」のデータを再生するときは、メモリーを切り替えてください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする (☎ 140ページ)
再生
- ② **▶** を押す
- ③ **SD** を押す
- ④ **○** で [本体⇄SDカード切替] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
保存メモリーが切り替わり、自動的に再生が始まります。

・途中でやめるとき： **停止** (⏻)

・1つ前に戻るとき： **戻る**


・保存先のデータに録音データが1件もない場合は、[録音がありません] と表示されて待受画面に戻るため、上記の操作を行うことができません。そのときは、「FAX/録音メモリー設定」(☎ 140ページ) を変更してから再生してください。

親機で再生中にできる操作について

○再生中にできる操作

再生を途中でやめる	再生中の録音を聞き直す
再生中に 停止 	再生中に 
次の録音にとばす	1つ前の録音に戻す
再生中に 	3秒以上再生したあと  を2回続けて押す ・聞きたい録音まで戻すときは、  をくり返し 押します（1回押すごとに1つ戻ります）。







○本体メモリーに保存している録音データを再生中にできる操作

早聞きや遅聞きをする
再生中に  ・押すたびに、再生の速さが「速い」→「遅い」→ 「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。

○SDカードに保存している録音データを再生中にできる操作

10秒戻し再生をする	30秒送り再生をする
再生中に 	再生中に 

親機で録音をすべて消去するには

- ①  を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、[用件録音] が選択されていることを確認する
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

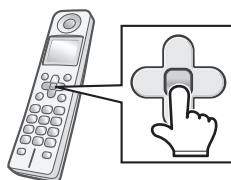
お知らせ

- 不要な用件はなるべく消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音やファクス受信ができなくなることがあります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー容量が少なくなったときは、不要な録音を消去、またはメモリー受信したファクスを印刷/消去（☎ 130、133ページ）するなどしてください。

子機で録音内容を再生／消去する

子機で再生できる録音内容は、親機で設定しているメモリー（本体またはSDカード）に保存されているものになります。異なるメモリーの録音内容を再生したいときは、親機の設定を変更してください（▶140ページ）。

1 を押す

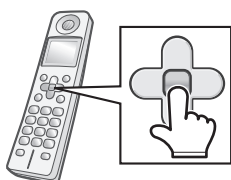


2 [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶留守番電話
着信音量
着信音色



3 を押す

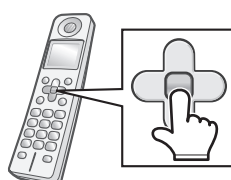


4 [用件再生] が選択されていることを確認する

▶用件再生
留守設定切替
全消去





5 を押す



- ・録音内容を再生するとき、留守設定にしていると、留守設定以後の録音から再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
- 留守設定にしていなときは、未再生の録音以後から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。
- ・録音内容は、約3秒以上再生すると再生済みになります。


6 ○再生が最後まで終わると、自動的に再生を終了します。

- 再生中の録音を1件消去したいときは  を2回押します。
- 再生を途中でやめるときは  を押します。



子機で再生中にできる操作について

○再生中にできる操作

再生を途中でやめる	再生中の録音を聞き直す
再生中に  切	再生中に (5 ^な)
次の録音にとばす	1つ前の録音に戻す
再生中に (6 ^は)	3秒以上再生したあと (5 ^な) を2回続けて押す ・聞きたい録音まで戻すときは、(5 ^な) をくり返し押します (1回押すごとに1つ戻ります)。


○本体メモリーに保存している録音データを再生中にできる操作

早聞きをする
再生中に (9 ^ら) ・押すたびに、再生の速さが「速い」→「もとの速さ」→「速い」…と切り替わります。



○SDカードに保存している録音データを再生中にできる操作

10秒戻し再生をする	30秒送り再生をする
再生中に (2 ^か)	再生中に (3 ^さ)


子機で録音をすべて消去するには

-  を押す
- [留守番電話] が選択されていることを確認する

▶留守番電話 着信音量 着信音色

-  を押し、 で [全消去] を選ぶ

用件再生 留守設定切替 ▶全消去

-  を2回押す

応答メッセージを選ぶ

留守設定をしているときに、相手の方に流れる応答メッセージを [固定メッセージ1]、[固定メッセージ2]、[自作メッセージ]の3種類から選ぶことができます。

固定メッセージ1

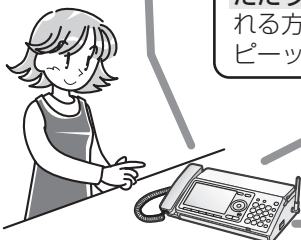
ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

固定メッセージ2

ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。

自作メッセージ

自分で録音したメッセージが流れます
(録音するには ☎101~102ページ)。



- 固定メッセージ1は、留守のときにお使いいただけます。最初は [固定メッセージ1] に設定されています。
- 固定メッセージ2は、在宅中に電話に出られないときなどにお使いいただけます。
- 自作メッセージは、オリジナルのメッセージを使いたいときにお使いいただけます。

ただし、用件の録音やファクス受信ができなくなったときは、メッセージが以下のように変わります。自作メッセージを設定していても、録音やファクス受信ができないときは、固定メッセージが流れます。

設定している応答メッセージ	
「固定メッセージ1」 または 「自作メッセージ」※1	「固定メッセージ2」 または 「自作メッセージ」※2

録音やファクス受信ができなくなったときは、応答メッセージは以下のように変更されます。

ファクス受信：できる 録音：できない (記録紙受信時に、メモリー不足になったときなど)	ただ今、留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。	ただ今、電話に出ることができません。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。
ファクス受信：できない 録音：できる (記録紙受信時に、インクリボンがないときなど)	ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。	ただ今、電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。
ファクス受信：できない 録音：できない (メモリー受信設定時に、メモリー不足になったときなど)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)	着信音が鳴り (25回)、 「ただ今、電話に出ることができません。恐れ入りますが後程おかけ直してください」 (3回)
● ただし、リモート操作 (☎103ページ) の暗証番号が登録されていないと応答しません。		

※1 自作メッセージを選ぶ前に、固定メッセージ1を選んでいた場合

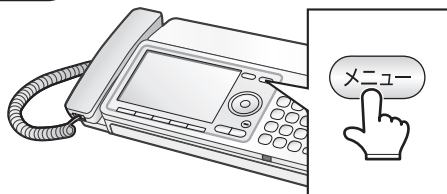
※2 自作メッセージを選ぶ前に、固定メッセージ2を選んでいた場合

応答メッセージを選ぶ

留守設定中に、相手の方に流す応答メッセージを変更できます。

●[自作メッセージ]を使用したいときは、あらかじめ自作メッセージを録音してください（☎101ページ）。

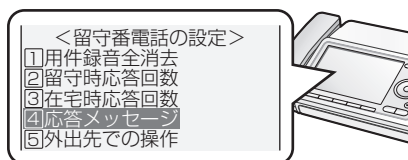
1 **メニュー** を押す



2 **決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ

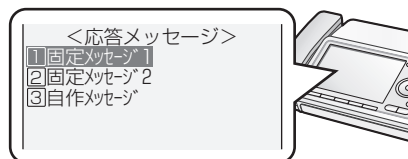


3 **決定** を押し、**決定** で [応答メッセージ] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で設定したい応答メッセージを選ぶ

- [固定メッセージ1]
- [固定メッセージ2]
- [自作メッセージ]



・応答メッセージの内容を確認したいときは、確認したいメッセージを選択し、**再生** を押してください。再生後、待受画面に戻ります。

5 **決定** を押す



・自作メッセージを録音していないときに、[自作メッセージ]を選択すると、録音画面になります（☎101ページ）。

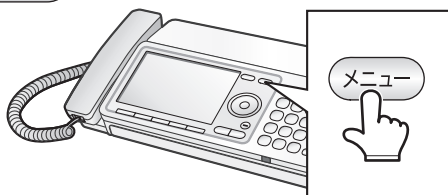
・途中でやめるとき：**停止** (一)

・1つ前に戻るとき：**戻る**

親機で自作メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます（自作メッセージ）。自作メッセージを録音すると、留守に設定したとき、自作メッセージが流れます。子機で自作メッセージを録音することはできません。

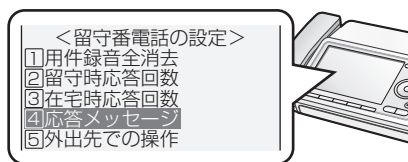
1 **メニュー** を押す



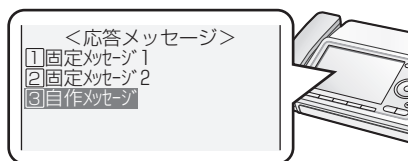
2 **決定** を押し、**決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ



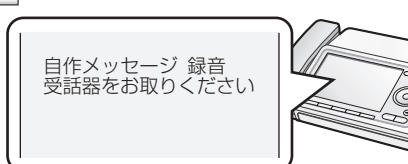
3 **決定** を押し、**決定** で [応答メッセージ] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で [自作メッセージ] を選ぶ



5 **録音** を押す



すでに自作メッセージを録音済みのときは、録音の消去画面が表示されます。消去するときは **決定** で [する] を選んで **決定** を押しください。

6 **録音** を押したら**10秒以内**に受話器を取る



7 **決定** を押し、受話器で自作メッセージを録音する



自作メッセージは20秒以下にしてください。長すぎるとファクスを受信できないことがあります。

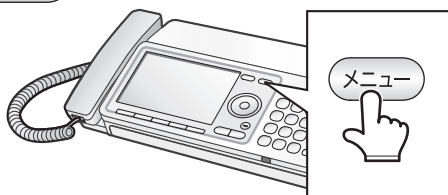
次ページへ

外出先から用件や伝言を聞く (リモート操作)

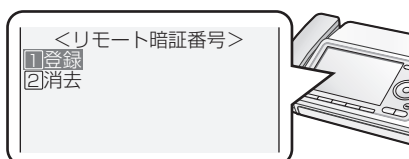
外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。リモート操作をするには、あらかじめ次の手順で暗証番号を登録する必要があります。

暗証番号を登録する

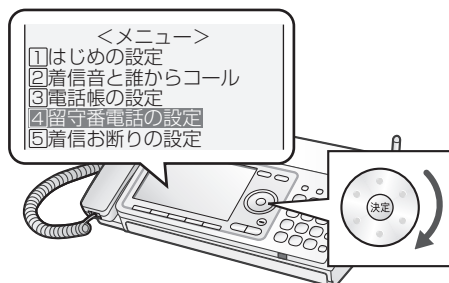
1 **メニュー** を押す



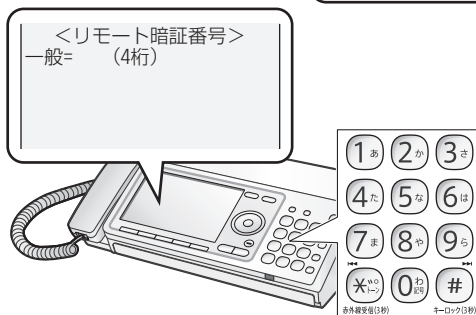
5 **決定** を押し、[登録] が選択されていることを確認する



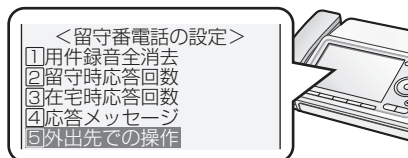
2 **決定** を押し、**決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ



6 **決定** を押し、ダイヤルボタンで暗証番号を入力する **4ケタで入力**



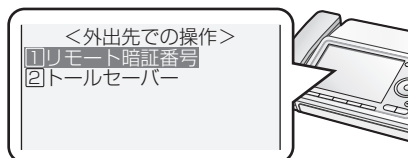
3 **決定** を押し、**決定** で [外出先での操作] を選ぶ



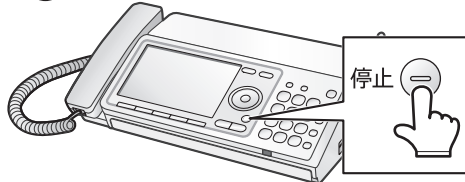
7 **決定** を押す



4 **決定** を押し、[リモート暗証番号] が選択されていることを確認する



8 **停止** を押す



・途中でやめるとき： **停止** (End)

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまときは

ご参考に

さくいん

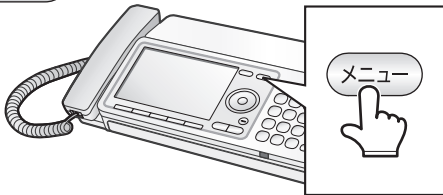
留守番電話の応答回数を変更する（留守時応答回数）

留守番電話に設定しているときに、応答メッセージが流れるまでの相手の方への応答回数を変更することができます（1回～25回まで）。最初は [4回] に設定されています。

応答回数を7回以上に設定すると、相手の方がファクスを自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、応答回数を6回以下に設定してください。

留守時応答回数を設定する

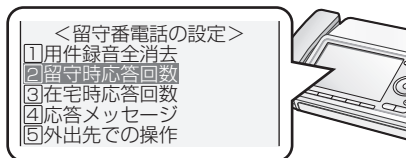
1 **メニュー** を押す



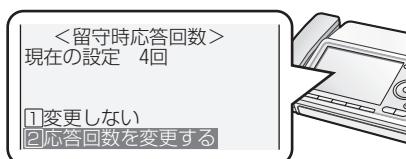
2 **決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ



3 **決定** を押し、**決定** で [留守時応答回数] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で [応答回数を変更する] を選ぶ



5 **決定** を押し、**ダイヤルボタン** で 応答回数（1～25回）を入力する

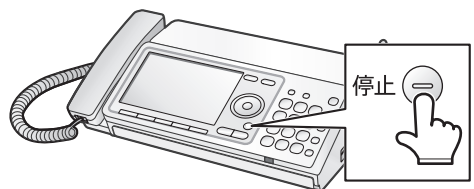


・「トールセーバー」(※106ページ) を設定しているときは、[応答回数を変更するとトールセーバーは解除されます] と表示されます。そのまま続けるときは **決定** を押してください（トールセーバーが自動的に解除されます）。

6 **決定** を押す



7 **停止** を押す



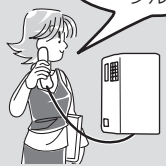
・途中でやめるとき： **停止**

・1つ前に戻るとき： **戻る** または **取消**

留守時応答回数を「トールセーバー」にする

留守時応答回数を「トールセーバー」にすると、外出先からリモート操作（☎104ページ）をするときに、新しい録音があるかないかを呼出回数で確認できます。

メッセージがあるとき：呼出音2回で着信 / メッセージがないとき：呼出音5回で着信



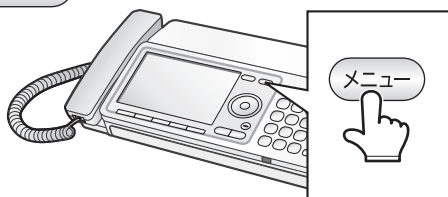
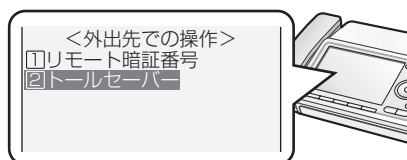
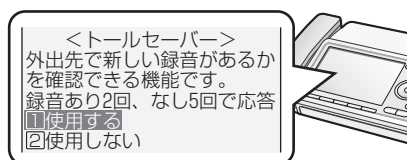
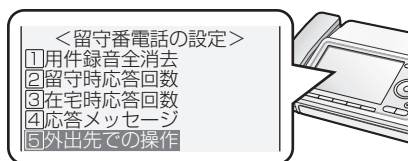
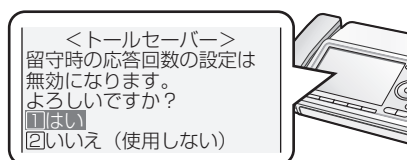
ブルブルブルブル

2回目の呼出音で応答メッセージが鳴ったら新しい録音があります。

3回目以降、呼出音があると、新しい録音はありません。

そのままリモート操作を行ってください。

つながる前に電話を切れば、リモート操作をする手間が省け、電話代が節約できます。

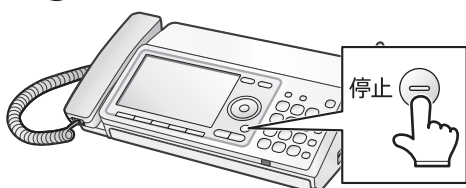
1 **メニュー** を押す4 **決定** を押し、**決定** で「トールセーバー」を選ぶ2 **決定** で「留守番電話の設定」を選ぶ5 **決定** を押し、**決定** で「使用する」を選ぶ3 **決定** を押し、**決定** で「外出先での操作」を選ぶ6 **決定** を押し、**決定** で「はい」を選ぶ

次ページへ

7 決定 を押す



8 停止 を押す



・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：戻る

■ [トールセーバー] を解除するときは

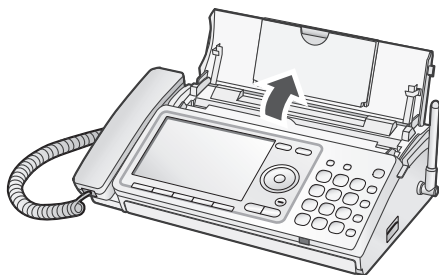
手順5で [使用しない] を選んで 決定 を押します。

ファクスを送る

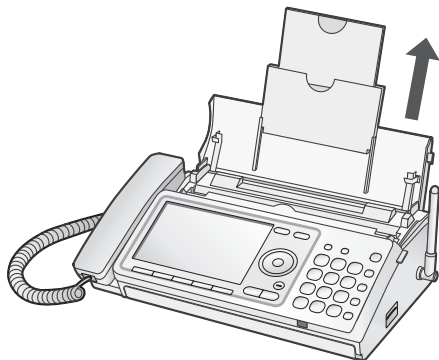
親機でお話してからファクスを送る

親機で電話をかけて、相手の方とお話してからファクスを送るときの操作です。

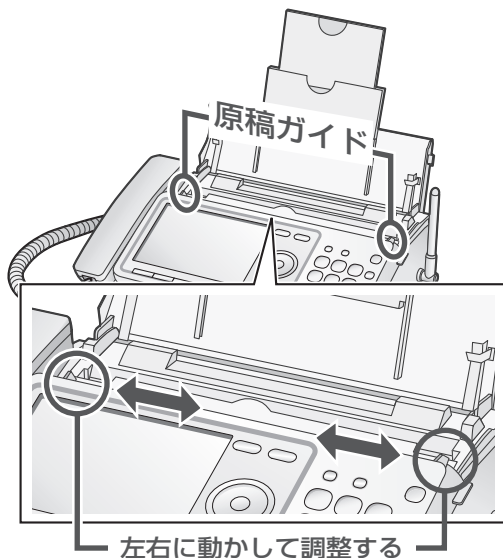
1 記録紙トレイを開ける



2 延長トレイを引き出す



3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



4 原稿をセットする

原稿は**ウラ**向きに！

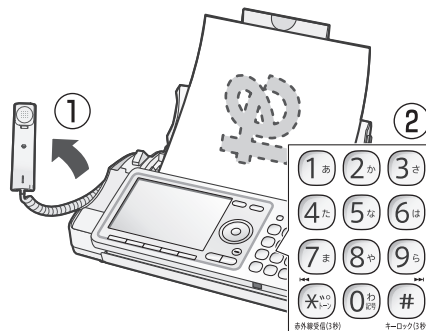
コピーや送信する面を下にしてセットする
(一度に5枚まで)

原稿をこの向きに入れると、相手の方に正しい向きで送信できます。



- ・セットできる原稿の条件や読み取れる範囲については113ページをご覧ください。
- ・原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。
- ・原稿をセットしたあと、画質を選ぶことができます (☎113ページ)。

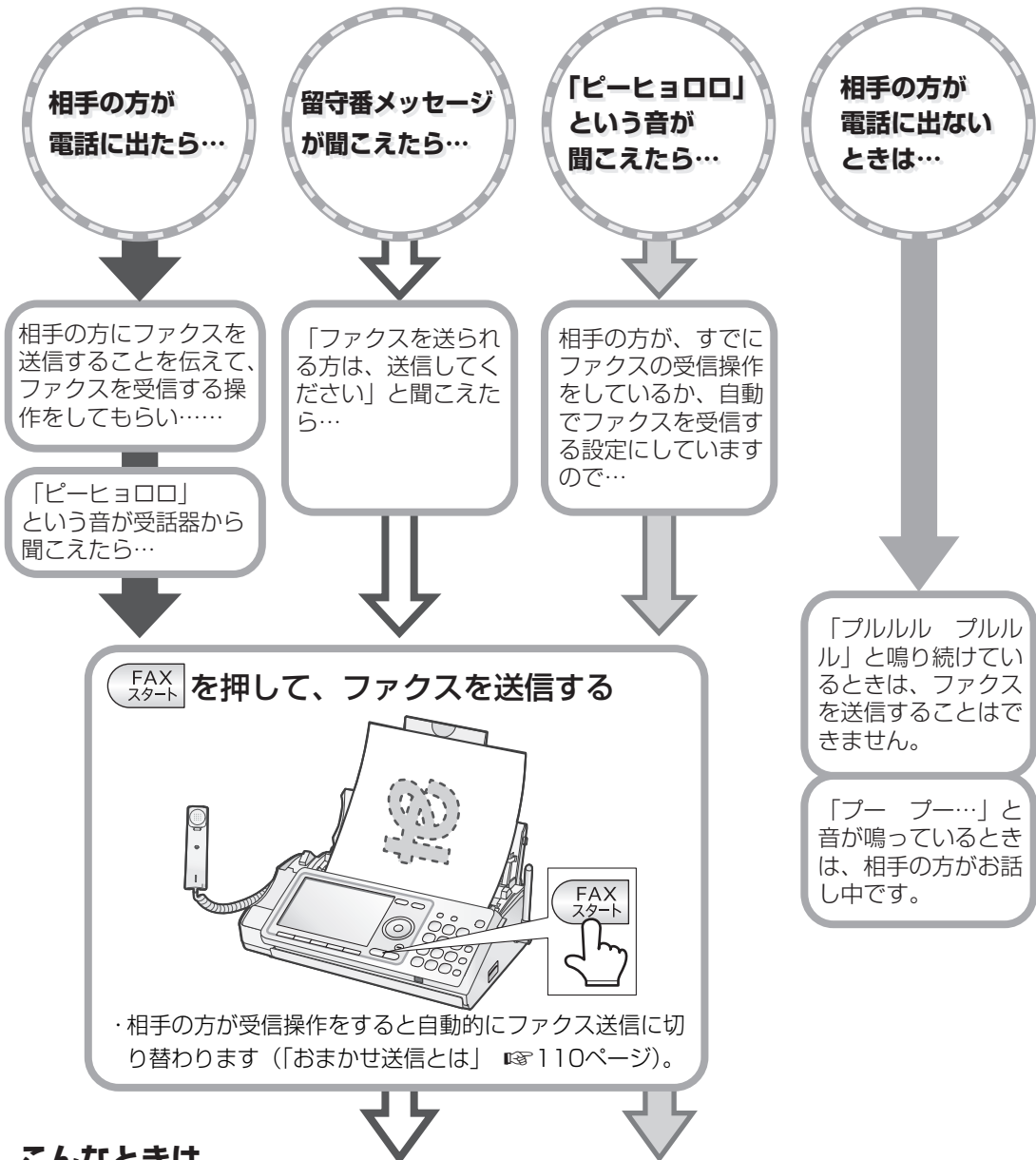
5 受話器を取ってダイヤルする



- ・先にダイヤルしてから、受話器を取って電話をかけることもできます。

次ページへ

6



こんなときは

相手の方のファクスの状態によっては、「ファクスを送られる方は、送信してください」などのメッセージが聞こえないときや、こちらのファクス送信が完了していても、相手の方に送られないときがあります。

- 例) ・相手の方のファクスが用紙切れ、インクリボン切れ、受信メモリー不足になっているとき
- ・相手の方のファクスが受信できない設定になっているとき（ファクスを自動で受信できない留守番電話など）
- ・相手の方がファクス機能のない電話機などをお使いのとき

次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

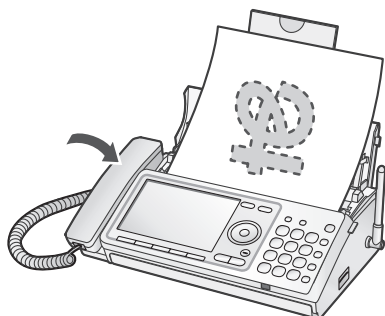
こまったときは

ご参考に

さくいん


7 受話器を戻す

送信が始まります




・途中でやめるとき：送信前は受話器を戻す／送信中は 停止 (⊖) (原稿が詰まった状態になります)

子機でファクスを送るときは




- ① 親機に原稿をセットする
(☞ 108ページ 手順 **1** ~ **4**)
- ② 子機で電話をかける
- ③ 相手の方が電話に出たら、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ④ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押し、[FAX送信] を選択していることを確認する

▶ FAX送信
FAX受信
録音再生

- ⑤  を押す
- ⑥ 子機を充電器に戻す

・上記③で「ファクスを送信してください」という留守番メッセージや、相手の方が電話に出ないで「ピーヒョロロ」という音が聞こえたときも、続けて④～⑥の操作をしてください。

原稿を取り出すときは

- ① 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く
- ②  を押す
- ③  で [原稿の排出] を選ぶ
- ④  を押す (原稿が排出される)


・排出されないときは、「原稿が詰まったときは」(☞ 230～231ページ) をご覧ください。

おまかせ送信とは

親機、子機ともに動作します。

相手の方が受信操作をすると「ピー」という音(ファクス受信音)が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

※ お使いの環境などによっては、おまかせ送信が動かないことがあります。「ピー」という音が聞こえても送信が始まらない場合は、親機をお使いのときは 、子機をお使いのときは「子機でファクスを送るときは」(☞ 左記) の操作を行って送信してください。

■ 「通信エラーがありました」と聞こえたら (☞ 234ページ)

■ 原稿が詰まったときは (☞ 230～231ページ)

お知らせ

- 一度にセットできる原稿は5枚までです。5枚以上の原稿を送信したいときは、読み取りが終わって排出された枚数と同じ枚数を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

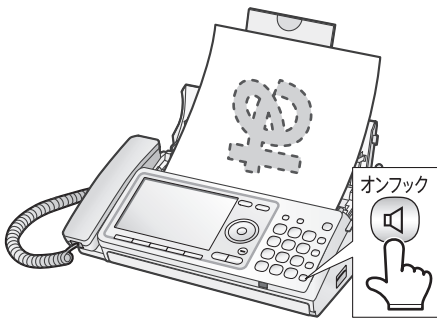
以下のようなときは、ファクスを送信することができません。

- ・相手の方が、自動でファクス受信になる設定をしていないとき
- ・相手の方が、ファクス受信の操作をしていないとき
- ・相手の方が電話に出ないとき など

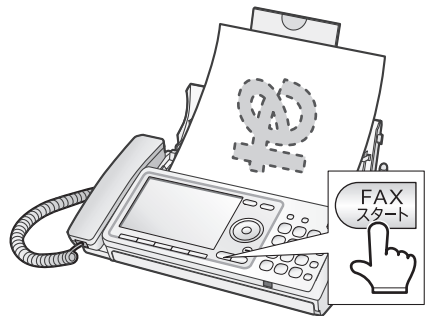
このようなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎ 108 ページ) をご確認ください、相手の方とお話ししてからファクスを送信してください。

1 原稿をセットする (☎ 108 ページ 手順 1 ~ 4)

2 オンフック 🔊 を押す



4 電話がつながったら **FAX スタート** を押す 送信が始まります



3 「ツー」という音が聞こえたら、ダイヤルボタンで電話番号を入力する







- ・途中でやめるとき：送信前は **オンフック** 🔊 / 送信中は 停止 (⏹) (原稿がつまった状態になります)


■ 原稿を取り出すときは (☎ 110 ページ)

■ 原稿がつまったときは (☎ 230 ~ 231 ページ)





再ダイヤルでファクスを送る




- ① 原稿をセットする (☎108ページ 手順 **1~4**)
再ダイヤル
- ②  を押し、 で番号を選ぶ
- ③  (または ) を押す
(ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは


- ① 上記の ①② の操作をする
- ② 受話器を取り、相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ③ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押す
- ④ 受話器を戻す


電話帳でファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする (☎108ページ 手順 **1~4**)
電話帳
- ②  を押す
- ③  で相手の方を選ぶ
相手の方の名前の頭文字で検索して選ぶときは、名前の頭文字の行を入力 (例：[友人] を探すときは  を押します。目的の相手の方が選ばれていないときは  で選びます)



- ④ 第2番号でかけるときは  を押しして選ぶ
電話帳を「一覧表示」にしているときは、第2番号を使用できません。使用するときには、「1件表示」または「詳細表示」に変更してください。
- ⑤ 相手の方とお話ししないで送るときは  (または ) を押す (ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは




- ① 上記の ①~④ の操作をする
- ② 受話器を取り、相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ③ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら  を押す
- ④ 受話器を戻す

・途中でやめるとき：停止 

ワンタッチダイヤルでファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする (☎108ページ 手順 **1~4**)
- ②  または  から、ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを押す (ファクスを送信します)

・相手の方とお話してから送るときは

- ① 原稿をセットする (☎108ページ 手順 **1~4**)
- ② 受話器を取る
- ③  または  から、ファクスを送りたいワンタッチダイヤルを押す
- ④ 相手の方とお話して、ファクスを送信することを伝え、ファクスを受信する操作をしてもらう
- ⑤ 「ピーヒョロロ」という音が聞こえたら、 を押す
- ⑥ 受話器を戻す

海外へファクスを送るときは

ダイヤルするとき、「電話会社の識別番号」「010」「国番号」「市外局番」「ファクス番号」の順にダイヤルします。
(ひかり電話をご利用のときは、「電話会社の識別番号」は不要です)

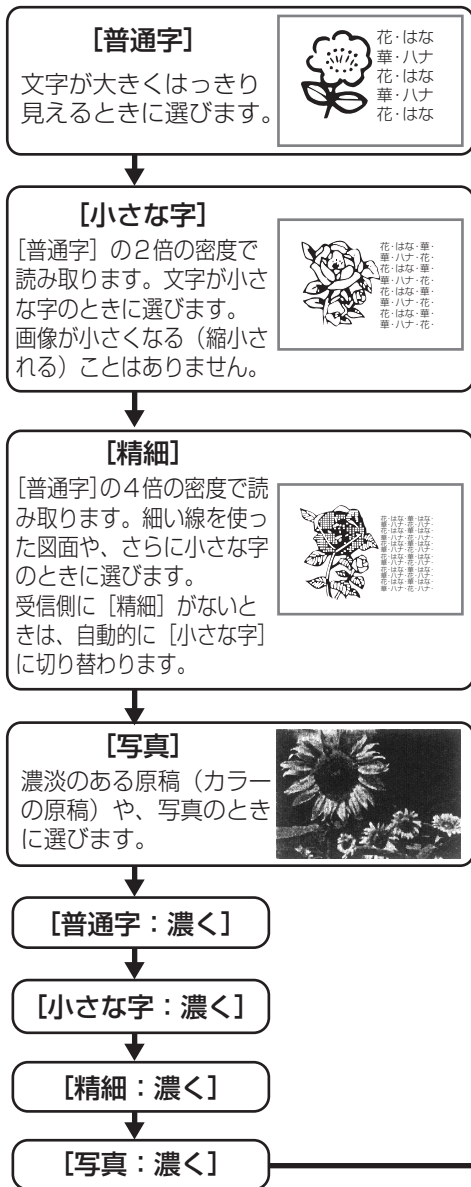
お知らせ

- 国際通話や国際通信については、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 本機では、自動的に再ダイヤルでファクスを送り直すことはできません。
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど [応答がありません] と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話してからファクスを送る」(☎108~110ページ)の方法で送信してください。
- 相手の方が自動受信 (音声応答なしの場合) に設定されていると、こちら側には「ピーヒョロロ」という音が聞こえます。

コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。

1 原稿をセットした状態で **画質** を押す



- ・ 押すごとに画質・濃度が変わります。
- ・ 原稿の文字などが薄いときは、各画質の [：濃く] を選びます。
- ・ 画質を選ばなかった場合は、ファクス送信のときは [普通字]、コピーのときは [小さな字] に設定されます。

使用できる原稿

セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ~ 210mm / 長さ 128mm ~ 500mm
/ 厚さ 0.06mm ~ 0.18mm

● 厚さのめやす

新聞紙：約0.05~0.06mm 上質紙：約0.10mm

原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。

原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

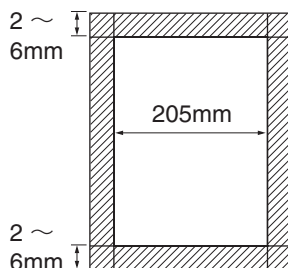
● 最大読み取り幅

205mm

● 最大読み取り長

送信原稿長(128~

500mm)から上下とも2~6mmを引いた長さ



一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ 297mmを超える原稿
- 厚さ 0.12mmを超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。そのままセットすると、故障の原因になります。

- セットできる原稿のサイズより小さすぎるもの(写真など)
- フィルム状のもの、透明のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの
- 紙の上にセロハンテープや糊で別の紙を貼ったもの

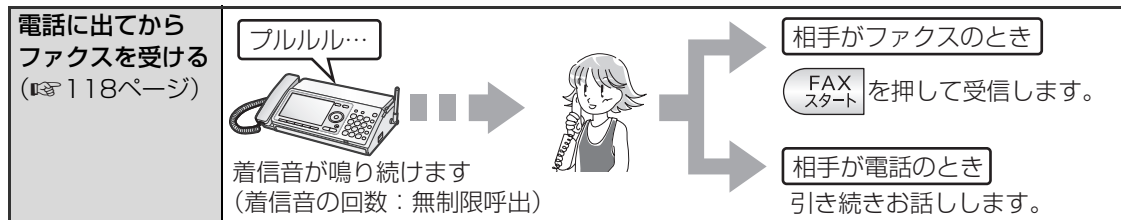
お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどをご利用の用紙はできる限りご使用にならないでください。使用する場合は、よく乾かしてください。読み取れなかったり、紙つまりの原因になることがあります。また、原稿送りローラーや読み取り部(ガラス)の汚れの原因になります。汚れたときは227~229ページをご覧ください。清掃してください。

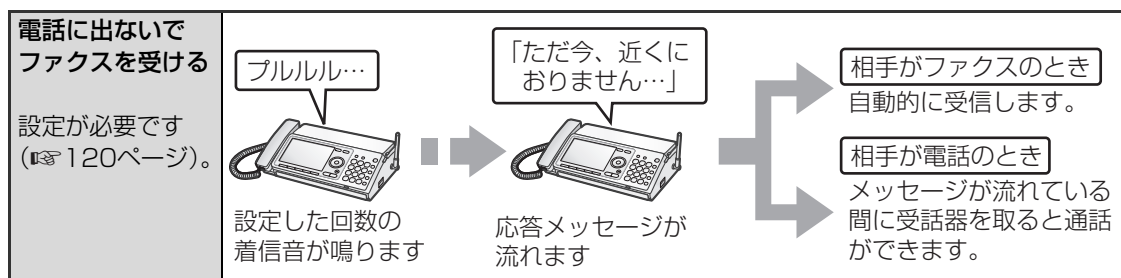
ファクスの受けかた

お使いの環境に合わせて、いろいろなファクスの受信方法を選んで設定することができます。
ファクスの受信方法がわからないときは、お使いの環境についての質問に答えて、自動的にファクス受信方法を設定することができます（着信設定ガイド 116～117ページ）。

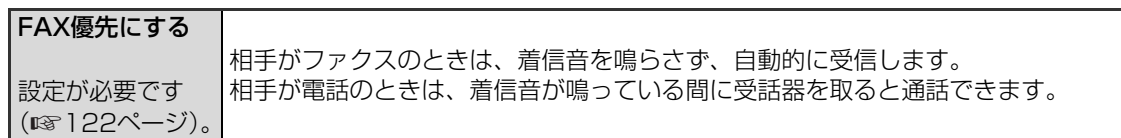
電話をおもにお使いの方には…



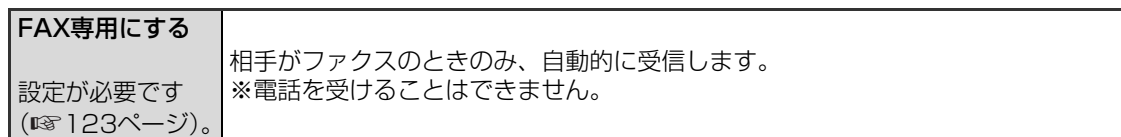
電話に出られないとき、ファクスだけ受信したい方には…



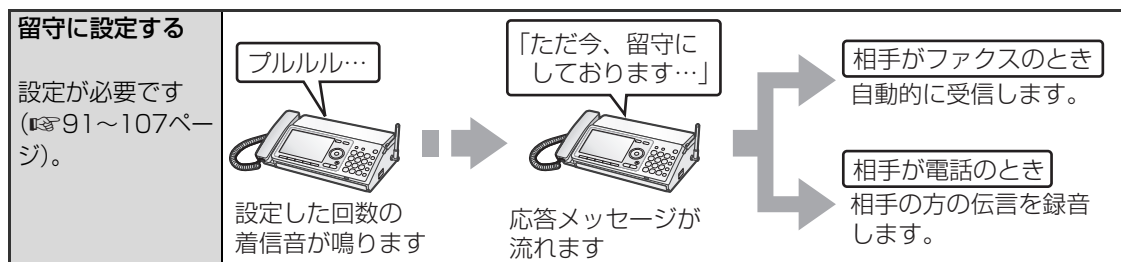
ファクスを主にお使いの方には…



ファクス専用でお使いの方には…



留守にするときは（または自宅にいても電話に出られない方には）…



ファクスを受信するときの印刷のしかた

ファクスを受信したときの印刷のしかたは、次の3通りです。お買いあげ時は、**[見てからプリント]**に設定されています。

変更するときは「FAX受信方法」(☎240ページ)で設定します。

見てからプリント	受信したファクスをディスプレイに表示させることができます。内容を確認してから、必要なファクスだけを印刷できるので、記録紙やインクリボンを節約できます。	受信したファクスは、メモリーに保存されますので、メモリーがいっぱいになると受信できません。また、自動的に印刷はしません。
メモリー受信	ファクスをメモリー受信したあと自動的に記録紙に印刷します(あらかじめ記録紙をセットしている場合)。記録紙やインクリボンがなくなっても、受信したファクスがメモリーに保存されます。	メモリーがいっぱいになると受信できません。
記録紙受信 (事前に記録紙を セットしておきます)	ファクスを自動的に記録紙へ印刷します。メモリーの残量にかかわらずファクスを受信することができます。	記録紙やインクリボンの残量がなくなったときは受信できません。

メモリー受信とは

送られてきたファクスを直接記録紙に印刷せずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

メモリー受信枚数・受信件数について

本体メモリーを使用するときは、A4サイズの当社標準原稿(英字で文字数が700字程度の原稿)を[普通字]で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります(最大でも約60枚または30件までです)。

SDカードを使用するときは、1件につき最大99枚、スキャン(読み込み)した画像データと合わせて最大150件まで受信することができます(SDカードのメモリーの空き容量により異なります)。

受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります([通信エラー(1~15)がありました]と表示されます)。メモリー受信した内容を印刷または消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。

また、「FAX受信方法」(☎240ページ)の操作で[記録紙受信]に設定しておく、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

親機のFAX/録音メモリーの残量を確認するには (FAX/録音メモリー残量表示)

- ① **メニュー** を押す
- ② **○** で [メモリー残量の表示] を選ぶ
- ③ **決定** を押す
- ④ 確認したら **停止** (⇐) を押す

お知らせ

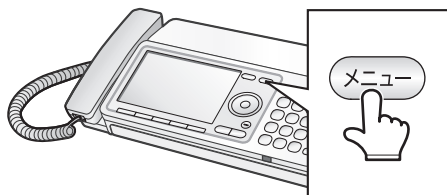
- ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号を印刷するため、全体を約93%に縮小します。縮小しないで印刷したいときは「縮小受信」(☎240ページ)の設定を[なし]にします。ただし、[なし]に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。また、1枚でおさまらない(2枚に分けて印刷される)場合もあります。

質問に答えて自動的にファクスの受信方法を設定する（着信設定ガイド）

お使いの状況について質問に答えるだけで、自動的にファクスの受信方法を設定することができます（着信設定ガイド）。

着信設定ガイドを利用する

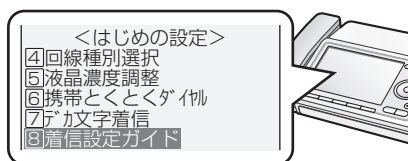
1 **メニュー** を押す



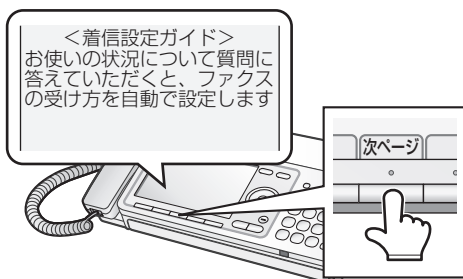
2 [はじめの設定] が選択されていることを確認する



3 **決定** を押し、**1** で [着信設定ガイド] を選ぶ



4 **決定** を押し、表示される文章を読み終わったら **次ページ** を押す



5 質問が表示されたら内容を確認し、答えの番号をダイヤルボタンで選ぶ

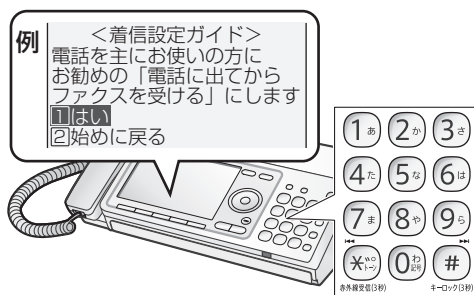


・ **1** で番号を選び、**決定** で決定することもできます。

6 項目の設定が完了するまで、

- **次ページ** を押す
または
- 答えの番号をダイヤルボタンで選ぶをくり返す

7 設定内容を確認し、この設定でよければ **1あ** を押す



- ・ 設定を変更したい場合は **2か** を押して、はじめから設定し直してください。
- ・ 設定が完了すると、自動的に待受画面に戻ります。

・ 途中でやめるとき： 停止 **1** または **中止**

・ 1つ前に戻るとき： **戻る** または **前ページ**

設定される受信モードについて

着信設定ガイドで設定される受信モードは、以下の4種類です。

① 「おうちにいるときも留守に設定する」

自宅にいても電話に出られない方におすすめのモードです。

電話があると、応答メッセージが流れ、電話の場合はメッセージを録音することが、ファクスの場合は自動的に受信することができます。

設定内容

- ・留守に設定 (☎ 91ページ)
- ・「FAX優先」または「FAX専用」：設定しない (☎ 122～123ページ)

② 「電話に出てからファクスを受ける」

電話を主にお使いの方におすすめのモードです (お買いあげ時の設定です)。相手の方の電話に出ないと、ファクスを受信することができません。電話の着信音は、電話に出るか、相手の方が電話を切るまで鳴り続けます。

設定内容

- ・在宅時応答回数 (☎ 120ページ)：無制限呼出
- ・「FAX優先」または「FAX専用」：設定しない (☎ 122～123ページ)

③ 「電話に出られないときファクスを自動で受ける」

電話に出られないとき、ファクスだけを受信したい方におすすめのモードです。

着信音が6回鳴ると、相手の方に応答メッセージが流れ、自動的にファクスを受信する設定になります。着信音が6回鳴るまでに電話に出ると、相手の方とお話しができます。

設定内容

- ・在宅時応答回数 (☎ 120ページ)：6回
- ・「FAX優先」または「FAX専用」：設定しない (☎ 122～123ページ)

④ 「いったん着信してから自動判別」

ファクスを主にお使いの方におすすめのモードです。電話があると、本機が自動的に電話に出て、相手の方が電話かファクスかを自動で判別します。

電話の場合は着信音を鳴らします。ファクスの場合は着信音を鳴らさず、自動で受信します。本機が電話に出てから判別するため、こちらが不在でも相手の方には通話料金ががかかります。

設定内容

- ・「FAX優先」に設定 (☎ 122ページ)
- ・「FAX優先」時の着信音の回数：7回 (☎ 122ページ)

前回設定した受信モードを確認するには

着信設定ガイドで設定した受信モードを、もう一度確認することができます。

- ① **メニュー** を押す
- ② [はじめの設定] が選択されていることを確認する
- ③ **決定** を押し、**決定** で [着信設定ガイド] を選ぶ
- ④ **決定** を押す
- ⑤ 着信設定ガイドが表示されたら **9** を押す
- ⑥ 確認しながら **次ページ** を押す
- ⑦ 確認が終わったら **2** を押し、終了する
着信設定ガイドをやり直すときは **1** を押す

■ FAX専用に設定したいときは (☎ 123ページ)

FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。電話を取れなくなりますので、ご注意ください。

お知らせ

- 着信設定ガイドの利用中に、受話器を上げたり、電話がかかってきたりすると、設定は途中で止まります。
- 着信設定ガイドで左記②～④の設定を選んでいるとき、留守に設定すると (☎ 91ページ)、左記②～④の設定より留守設定が優先されます。留守設定を解除すると (☎ 92ページ)、左記②～④の設定で受信します。
- 留守に設定しているとき、着信設定ガイドで左記②～④の設定を選んでも、留守設定は解除されません。留守設定中は左記②～④の設定では受信しませんので、92ページの操作で留守設定を解除してください。

電話に出たからファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えることができます。
お買いあげ時、着信音の回数は「無制限呼出」になっていますので、ご不在のときは自動でファクスを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをおすすめします。

親機で電話に出たからファクスを受ける

原稿がセットされているときに **FAX スタート** を押すと送信になりますので、原稿はセットしないでください。

1 着信音が鳴ったら受話器を取る



2

受話器から
「ポー・ポー・ポー…」
という音が聞こえたら…

相手の方がファクス送信の操作をしているので、そのまま **FAX スタート** を押す

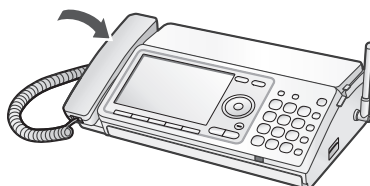
「ファクスを送りたい」
相手の方が
と言ったら…

相手の方がファクス送信の操作をしたら、**FAX スタート** を押す



- ・「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。受話器を戻してください。」とメッセージを流して自動的にファクスを受信することができます（おまかせ受信）。解除するときは240ページをご覧ください。
- ・こちらから電話をかけたときは、おまかせ受信が働きません。
- ・おまかせ受信が働かないときは、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、**FAX スタート** を押してください。

3 受信が始まるので、受話器を戻す



- ・ファクスを受信すると、自動的に電話が切れます。

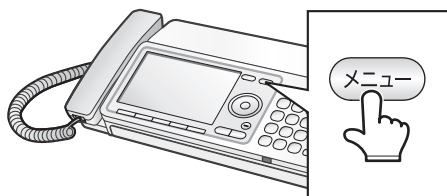
電話に出ないで自動的にファクスを受ける

着信音の回数を変更すると、変更した回数の着信音が鳴っている間に電話に出られないときは、自動的にファクスを受ける設定にすることができます。

お買いあげ時は [無制限呼出] (着信音が鳴り続ける設定) になっています。

ファクスの自動受信に切り替わる親機の着信音の回数を設定する

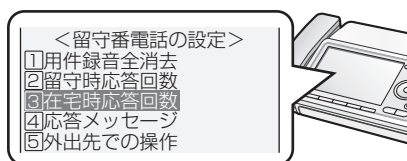
1 **メニュー** を押す



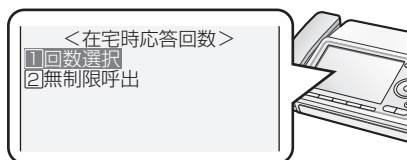
2 **決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ



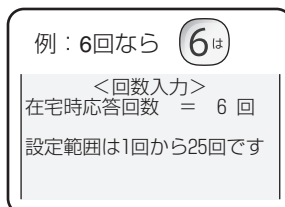
3 **決定** を押し、**決定** で [在宅時応答回数] を選ぶ



4 **決定** を押し、**決定** で [回数選択] を選ぶ



5 **決定** を押し、ダイヤルボタンで着信音の回数を入力する (1~25回)

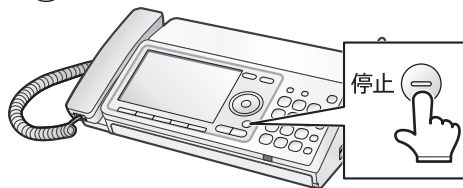


・着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信した場合などに、ファクスに切り替わらないことがあります。ファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、着信音の回数を6回以下に設定してください。

6 **決定** を押す



7 停止 **停止** を押す



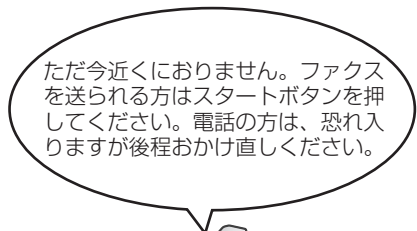
・途中でやめるとき: 停止 **停止**

・1つ前に戻るとき: **戻る** または **取消**

ファクスが届いたとき

回数を設定しておくで、下記のようにファクスを自動受信します。

- ① 着信音が鳴る
- ② 設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動的に応答メッセージが流れる



- ③ 「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信する

・着信音が鳴っている間や、応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

[無制限呼出] になっているときは

ファクスの自動受信は行いません。着信音が鳴り続けます。お買いあげ時は[無制限呼出]に設定されています。

[無制限呼出] に戻すときは

- ① **メニュー** を押す
- ② **決定** を押し、**決定** で [留守番電話の設定] を選ぶ
- ③ **決定** を押し、**決定** で [在宅時応答回数] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、**決定** で [無制限呼出] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ **停止** を押す

- **インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは**
着信音が鳴り続けます。

お知らせ

- 着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、スタートボタンを押さなかった場合は、自動的に受信できません。こんなときは受話器を取ってから、**FAXスタート** を押して受信してください。

FAX優先またはFAX専用にする

電話よりもファクスを受けることが多い方はFAX優先、またはFAX専用に設定してお使いください。

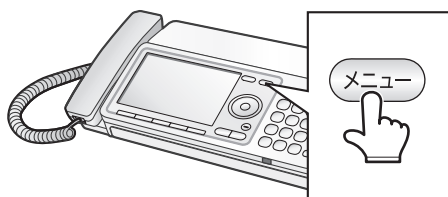
FAX優先にする

FAX優先とは、いったん着信したあと、電話かファクスかを機械が自動的に判断する機能です。

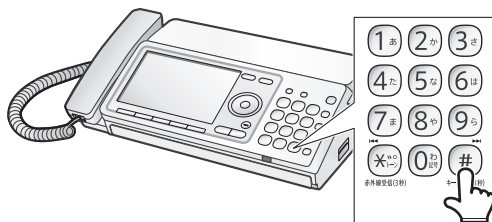
ファクスを受信することが多い方におすすめの機能ですが、電話の場合は、こちらが不在でも相手側では2回着信音が鳴ったあとから通話料金がかかり始めます。そのため、電話を受けることが多い方にはおすすめできません。

FAX優先に設定すると、ディスプレイに|FAX優先|と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。

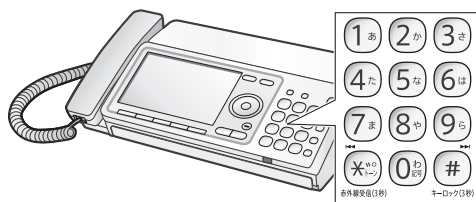
1 **メニュー** を押す



2 **#** を4回押す

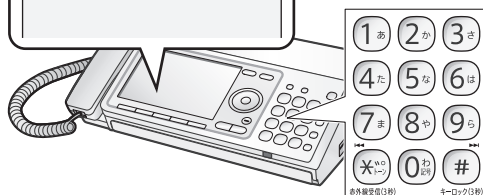


3 **2**か**2**か**1**あ と順番に押す



4 **ダイヤルボタン**で着信音の回数を 入力する（4～25回）

例：6回なら **6**は
<回数入力>
FAX優先時コール回数= 6回
設定範囲は4回から25回です

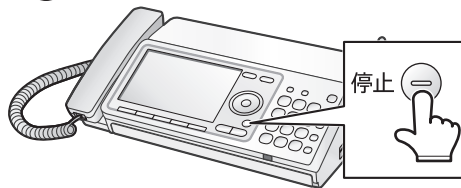


・お買いあげ時は「7回」になっています。回数を多くすると、着信のタイミングによってはファクスを受信できないことがあります。

5 **決定** を押す



6 **停止** **＝** を押す



・途中でやめるとき：停止 **＝**

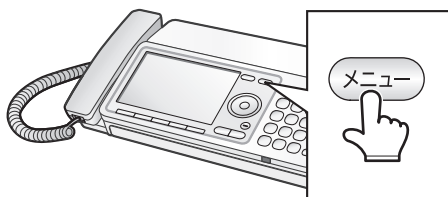
・1つ前に戻るとき：**戻る**

FAX専用にする

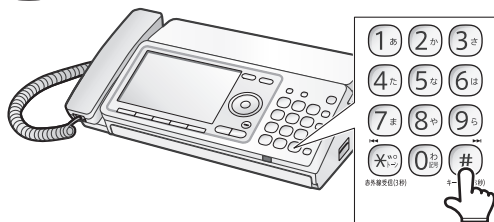
FAX専用とは、着信したときに、着信音を鳴らさずにファクス受信に切り替わる機能です。

FAX専用に設定すると、ディスプレイに「FAX専用」と表示されます（留守設定時や、おやすみモード設定時は表示されません）。

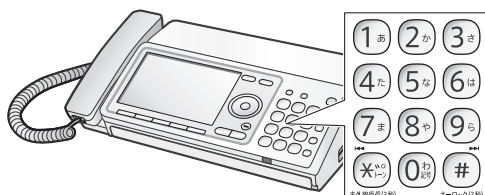
1 メニュー を押す



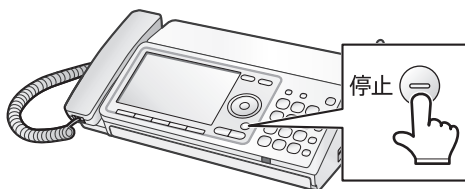
2 # を4回押す



3 2か 2か 2か と順番に押す



4 停止 (停止) を押す



・途中でやめるとき： 停止 (停止)

・1つ前に戻るとき： 戻る (戻る)

FAX優先またはFAX専用を解除するときは

- ① [メニュー] を押す
- ② [#] を4回押す
- ③ [2]か [2]か [3]と順に押す
- ④ 停止 (停止) を押す

お知らせ

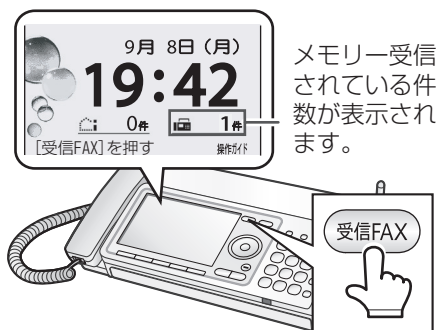
- おやすみモード (☎ 169~172ページ) を設定しているときに、FAX優先またはFAX専用を設定すると、選んで着信番号に登録された相手の方からの電話のみ、FAX優先またはFAX専用の機能が働きます。
- 「FAX 受信方法」 (☎ 240ページ) の設定によって、受信したファクスの保存や印刷の方法が変わります。
【見てからプリント】：
 記録紙をセット (☎ 132ページ) していなくても、親機のメモリーに記録されます。後から印刷してください (☎ 133ページ)。
【メモリー受信】：
 記録紙をセットしているときは、ファクスを印刷します。記録紙がないときは親機のメモリーに記録されます。
【記録紙受信】：
 記録紙をセットしていないとファクスを受信することができません。
- ファクス受信後の終了音は鳴ります。
- FAX専用を設定していても、ファクスが受信できない状態のときには着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に受話器を取れば、電話でお話いただけます。

受信したファクスをディスプレイで見る (見てからプリント)

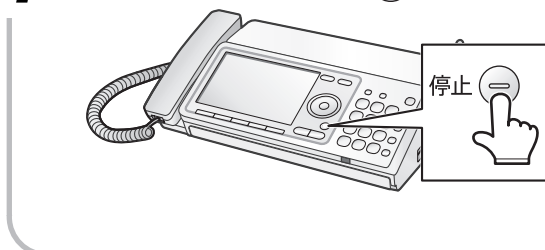
受信したファクスをディスプレイに表示して確認することができます。メモリー受信したファクスがあるときは、ディスプレイに[受信FAXがあります [受信FAX]を押す]と表示され、(受信FAX)のランプが点滅します。「操作ガイド」の機能を使って、受信ファクスの確認方法を表示させることができます (P.30ページ)。

受信したファクスをディスプレイに表示する

1 (受信FAX) を押す

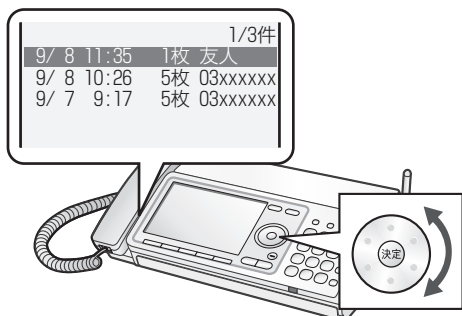


4 確認が終わったら 停止 (停止) を押す



途中でやめるとき： 停止 (停止)

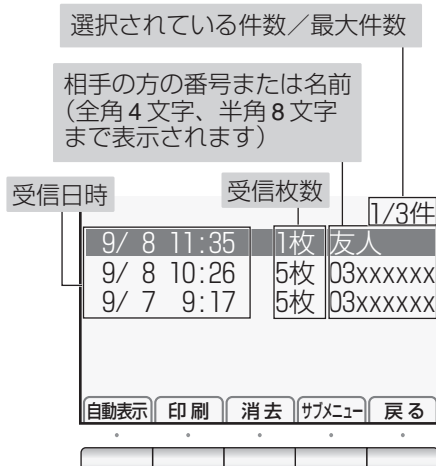
2 (決定) で表示したい受信ファクスを選ぶ



受信ファクス一覧の見かたについては右記「受信FAX一覧について」を、受信FAX一覧でできることについては、125ページをご覧ください。

受信FAX一覧について

受信したファクスは、以下のように一覧で表示されます。一覧画面でできることについては、125ページをご覧ください。



3 (決定) を押す

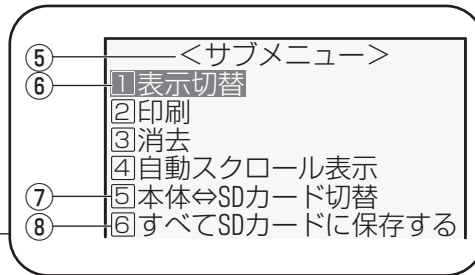
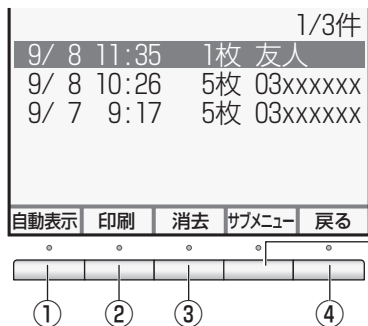


表示した受信ファクスの見かたについては、126ページをご覧ください。

■ 受信ファクスをプリントするときは (P.133ページ)

■ 受信ファクスを消去するときは (P.130ページ)

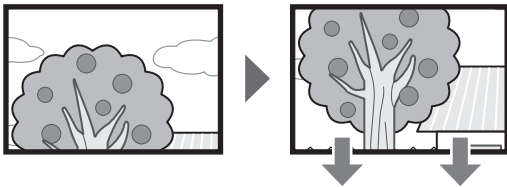
受信ファクス一覧からできること



① 自動表示 (自動スクロール)

自動表示 を押し、選択している受信ファクスを表示したあと、下方向へ自動的に表示がスクロールします。

画面表示(例)



画面が最後まで下がると、次ページがある場合はそのまま次ページを表示して「自動的にスクロールする」をくり返します。次ページがない場合や、最後のページまで来たときは、1ページ目の先頭に戻ります (以降は自動スクロールしません)。

途中でやめたいときは **中止** を押し、そのあと **戻る** を押し、一覧画面に戻ります。

② 印刷

受信ファクスを印刷します (☎133ページ)。

サブメニュー を押し、[印刷] を選んでも、同様の動作をします。

③ 消去

受信ファクスを消去します (☎130ページ)。

サブメニュー を押し、[消去] を選んでも、同様の動作をします。

④ 戻る

戻る を押し、待受画面に戻ります。

⑤ サブメニュー

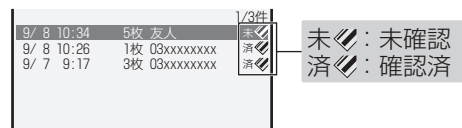
メニュー画面を表示します。**メニュー** を押し、同様の画面が表示されます。

で項目を選択し、**決定** を押し、決定してください。

⑥ 表示切替

受信ファクス一覧の表示方法を変更します。切り替えるごとに、一覧表示 (文字が大きい)、一覧表示 (文字が小さい) に切り替わります。

一覧表示 (文字小さい)



表示を切り替えると、受信ファクス一覧を終了しても、設定が維持されます。

⑦ 本体⇔SDカード切替

受信ファクスを確認したいメモリー先を「本体」または「SDカード」のどちらかに選択することができます (☎127ページ)。

⑧ すべてSDカードに保存する

受信ファクスデータを、すべてSDカードに保存します (☎127ページ)。

受信したファクスを表示してからできること

受信したファクスは、下記のように表示されます。受信内容が複数ページあるときは、1ページ目が表示されます。表示している部分を上下左右に動かしたり (スクロール)、拡大、縮小したりすることができます。

メモリー受信したファクス

現在表示している倍率を表示 (20段階)

現在表示しているページ / 総ページ

下記のサブ画面を押すと、サブ画面が表示されます。拡大表示したとき、全体から見てどの部分を表示しているのかを、9分割の画面でお知らせします。また、ダイヤルボタンを押すと番号に対応したエリアを表示します。

ボタンを押すと、押した方向へ、表示部分が移動します。端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。


現在、表示されている画像の倍率を、横幅に合わせて表示できます。

ボタンを押すと、押すたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

ボタンを押すと、複数ページを受信しているときは、押すたびに次のページを表示します。最後のページで押すと、1ページ目に戻ります。

マルチファンクションキーを押すと…



ファクスを拡大表示中にマルチファンクションキー

() を押すと、上下左右に押した方向へ

- 軽く押すと、少しづつ表示部分が移動します。
- 押し続けると、次の画面まで表示部分が移動します。

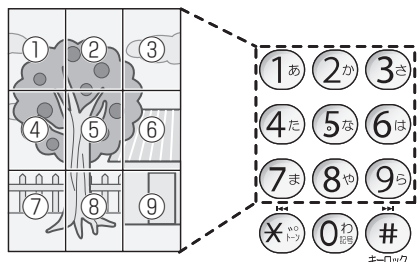
くるピカキーを回すと…

くるピカキーを回すと、表示しているファクスの拡大 / 縮小ができます。



拡大するときは、()、縮小するときは、() の方向に回転させてください。

ダイヤルボタンを押すと…


ファクスを拡大表示中にダイヤルボタンを押すと、以下のように、対応した場所をダイレクトに表示します。






現在、どの位置を指しているのかわからないときは、上記のサブ画面をご利用ください。


また、 を押すとズームイン (拡大)、 を押すとズームアウト (縮小) します。

メニューボタンを押すと…


ファクスを表示中に  を押すと、メニュー画面が表示されます。表示される項目は、以下の通りです。

- ①印刷： 134ページ
- ②FAX送信： 128～129ページ
- ③消去：130ページ
- ④横ピタリ：現在のファクスの横幅を画面サイズに合わせて表示します。
- ⑤自動スクロール： 125ページ ①
- ⑥サブ画面：上記のサブ画面を表示します。

■ 表示中のファクスデータを消去したいときは

ファクスを表示中に  を2回押してください。確認済みのファクスをすべて消去したいときや、すべてのファクスデータを消去したいときは、130ページをご覧ください。

■ 表示中のファクスデータをファクス送信するときは

( 128ページ)

メモリー受信枚数・受信件数について

本体メモリーを使用するときは、A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度 of 原稿）を [普通字] で約52枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります（最大でも約60枚または30件までです）。

SDカードを使用するときは、1件につき99枚、150件まで受信することができます（SDカードの空き容量により異なります）。

受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合もあります。

メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「通信エラー（1～15）」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。また、「FAX受信方法」（☎240ページ）の操作で「記録紙受信」に設定しておくこと、メモリーがいっぱいでも受信できます。ただしこの場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと通信エラーになります。

受信ファクスデータをSDカードに保存するには

本体メモリーに保存されている受信ファクスデータをすべてSDカードに保存することができます。詳しくは150ページをご覧ください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする（☎140ページ）
- ② **受信FAX** を押す
- ③ **メニュー** を押す
- ④ **○** で [すべてSDカードに保存する] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ **停止** **⊖** を押す

・途中でやめるとき： **停止** **⊖**

・1つ前に戻るとき： **戻る**

表示する受信ファクスデータの読み込み指定先を切り替えるには

見てからプリントを使用するときは、「FAX/録音メモリー設定」で設定した保存先のデータを表示します。「本体メモリー」設定時に「SDカード」のデータを確認するときや、「SDカード」設定時に「本体メモリー」のデータを確認するときは、読み込み指定先を変更してください。

- ① SDカードがセットされていないときは、セットする（☎140ページ）
- ② **受信FAX** を押す
- ③ **メニュー** を押す
- ④ **○** で [本体⇔SDカード切替] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ **停止** **⊖** を押す

・途中でやめるとき： **停止** **⊖**

・1つ前に戻るとき： **戻る**

お知らせ

- A4サイズの長さを超える受信ファクスは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、送信される方に2ページに分けて送信していただくことなどをご依頼ください。
- メモリー受信したファクスによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。
- ディスプレイの表示通りに印刷されないことがあります。
- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 「倍率切替」や「回転」は、表示されるまで少し時間がかかります。
- 拡大／縮小表示中に FAX / コピーボタンを押しても等倍でプリントします。
- 見てからプリントを操作しているときは、子機を使用することができません。
- 「FAX受信方法」（☎240ページ）の操作で [メモリー受信] に設定したあと、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます（待受画面に [メモリー受信] と表示されます）。

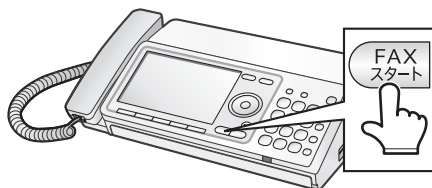
親機に保存された受信ファクスをそのままファクス送信する （ファクスそのまま転送）

親機に保存されている受信ファクスをそのままファクス送信することができます。ファクスを転送したいときなど、印刷せずに送信できるため、便利です。

1 受信FAX を押す

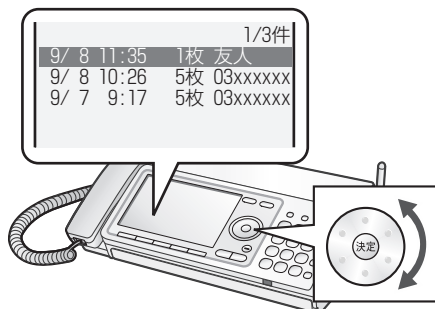


4 FAX スタート を押す



・メニュー を押したあと、[FAX送信]を選び
決定 を押して、送信画面を表示することができます。

2 で表示したい受信ファクスを選ぶ



5 受話器を取る



次ページへ

3 決定 を押す



・ディスプレイに表示されている画像1枚だけ、送信できます。

6 相手の方に電話をかける

- 電話番号を入力するときは
ダイヤルボタンで入力します。
- 電話帳を使うときは
電話帳
○ を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- 再ダイヤルを使うときは
再ダイヤル
○ を押します（一番最後に電話を
かけた相手の方につながります）。
- 着信記録（着信履歴）を使うときは
着信記録 を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- ワンタッチダイヤルを使うときは
ワンタッチ1 または ワンタッチ2 のいずれかを押し
ます。
・いずれかの操作をすると、相手の方に電話
がかかります。

7 相手の方につながったら、ファクス 受信操作をしてもらう

- ・「ファクスを送られる方は、そのまま送信
してください」などのメッセージが聞こえ
たときや、相手の方が電話に出ないで
「ピーヒョロロ」という音が聞こえてきた
ときは、FAX
スタート を押して、手順9へお進み
ください。

8 「ピーヒョロロ」という音が聞こえ てきたら、FAX スタート を押す



9 受話器を元に戻す

送信が始まります



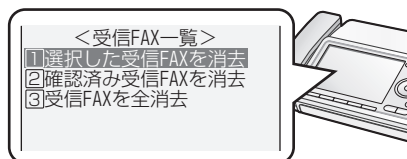
- お知らせ
- 送信されるときファクスの画質は、本機に保存された受信ファクスの画質になります。画質を変更する操作をしても、画質は変わりません。
- A4サイズより長い受信ファクスは、A4サイズまでしか送信できません。
- おまかせ送信（☎110ページ）は動作しますが、メッセージは流れません。
- 「戻って録音」はできません。

保存した受信ファクスデータを消去する

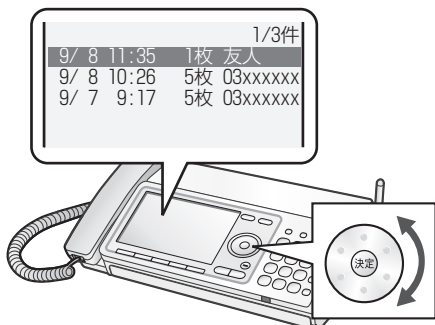
1 受信FAX を押す



4 [選択した受信FAXを消去]
が選択されていることを確認する



2 で削除したいファクスを選ぶ

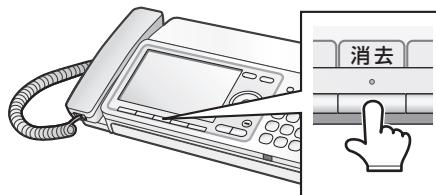


・受信ファクスデータを保存しているメモリーを変更したいときは、127ページの操作を行ってください。

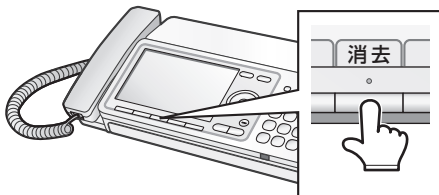
5 決定 を押す



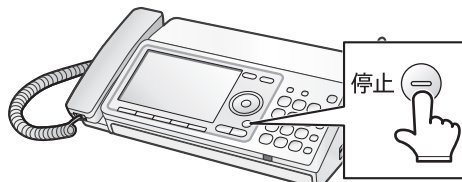
6 消去 を押す



3 消去 を押す





7 停止 を押す




・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：戻る




見てからプリントで確認している受信ファクスを消去するときは

- ① **受信FAX** を押す
- ②  で削除したいファクスを選ぶ
- ③ **決定** を押す
- ④ キャッチ
消去 を2回押す
- ⑤ **停止**  を押す


確認済みの受信ファクスを消去するときは

- ① **受信FAX** を押す
- ② **消去** を押す
- ③  で [確認済み受信FAXを消去] を選ぶ
- ④ **決定** を押す
- ⑤ **確認済消去** を押す




または

- ① **メニュー** を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③ **決定** を押し、 で [確認済受信FAX] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す

すべての受信ファクスを消去するとき

- ① **受信FAX** を押す
- ② **消去** を押す
- ③  で [受信FAXを全消去] を選ぶ
- ④ **決定** を押す
- ⑤ **消去** を押す

または

- ① **メニュー** を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③ **決定** を押し、 で [受信FAX] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す

記録紙のセットのしかた

A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社推奨品（☎237ページ）をお買い求めください。

○ 普通紙（PP110MA4）

推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用すると印刷がかすれたり、濃く、または薄くなる場合があります。ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

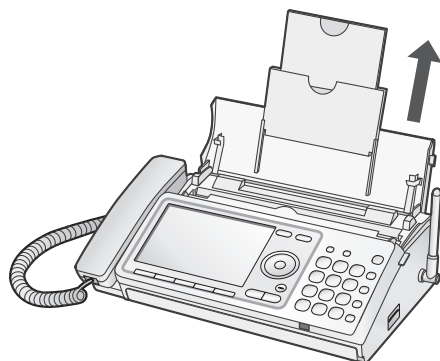
記録紙をセットする

1 記録紙トレイを開ける

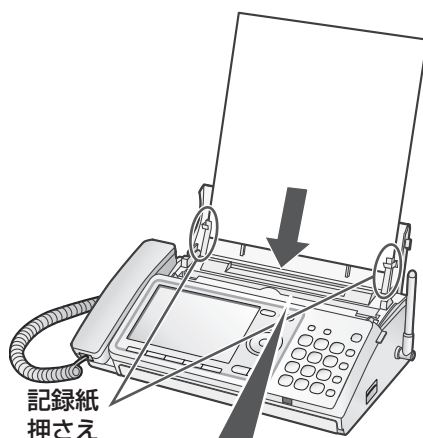
このつまみを持って開ける



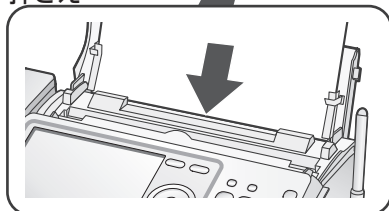
2 延長トレイを引き出す



3 記録紙押さえの間に、印刷する用紙をセットする



記録紙押さえ



- ・ご使用にならないときは、記録紙トレイを確実に閉めてください。
- ・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
- ・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまる場合があります。

記録紙を追加するときは

いったん記録紙をすべて取り出してから、再度セットしてください。

印刷中は、記録紙をつぎ足ししないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☎232ページ）

☎お知らせ

- しわや折り目が付いていたり、そっていたり、破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- ファクスやコピーを使わないときは、記録紙をセットせずに記録紙トレイを閉めておくことをおすすめします。長期間、記録紙をセットしたままにすると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- 一度使用した裏紙はセットしないでください。

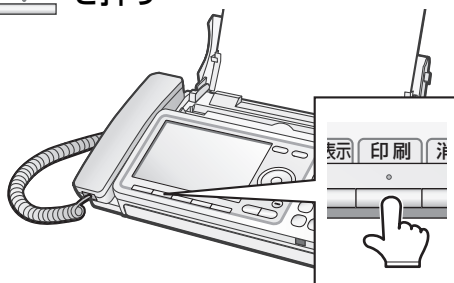
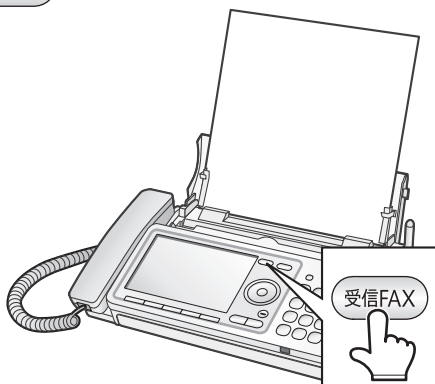
メモリー受信したファクスを印刷する

印刷する

メモリー受信したファクスを、受信FAX一覧から選んで印刷することができます。

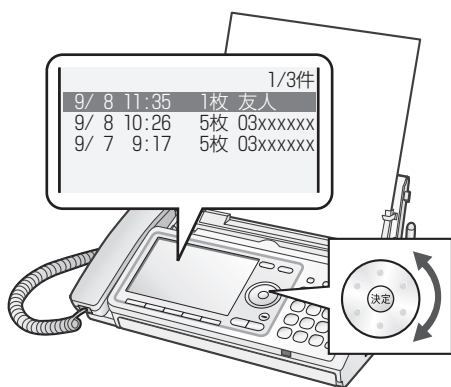
1 記録紙をセットする (☞ 132ページ) 4 **印刷** を押す

2 **受信FAX** を押す



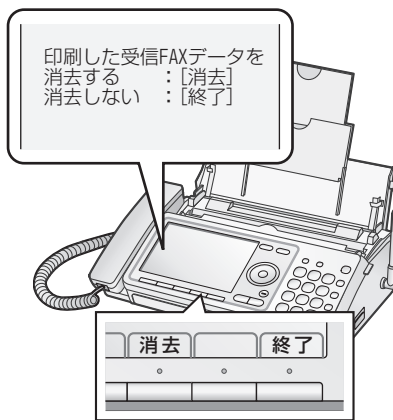
- ・印刷が始まります。
- ・**コピー/印刷** を押して、印刷することもできます。

3 **決定** で印刷したい受信ファクスを選ぶ



- ・受信ファクスデータを保存しているメモリーを変更したいときは、127ページの操作を行ってください。

5 印刷終了後に下記の画面が表示されます



- 印刷した受信ファクスデータをすべて消去するときは **消去** を2回押す
- 消去せずに終了するときは **終了** を押す

- ・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。
- ・受信ファクスデータをすべて消去したいときは (☞ 131ページ)。

・途中でやめるとき：停止 (一)

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷/コピー

SDカード







便利な機能


ナンバーディスプレイ


ごまっただときは

ご参考に
さくいん

見てからプリントで確認中の受信ファクスデータを印刷するときは

- ①  を押す
- ②  で印刷したい受信ファクスを選ぶ
- ③  を押す
- ④ 画面が表示されているときに  を押す
- ⑤  で [全てのページを印刷] または [表示中のページを印刷] を選ぶ
- ⑥  を押す

・途中でやめるとき： 停止 

・1つ前に戻るとき： 

印刷中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っています。印刷中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換（☎36～37ページ）してください。

☎お知らせ

- 印刷中は、親機の着信音は設定した着信音ではなく、[電話ベル音] が鳴ります。
- 印刷中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。
- ディスプレイの表示通りに印刷されないことがあります。

コピーする

一度に5枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

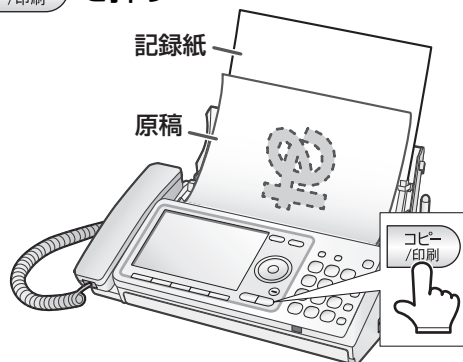
コピーする

受話器を置いた状態で操作します。

1 記録紙をセットする (☞ 132ページ)

2 原稿をセットする (☞ 108ページ 手順 1 ~ 4)

3 コピー/印刷 を押す



- ・画質を選ぶとき：画質 (画質) を押さなかったときは、自動的に [小さな字] でコピー)
- ・途中でやめるとき：停止 (⏹) (コピーが中止され、記録紙または原稿が自動的に排出されます)
- ・コピーが終了すると、[鳥の声] でお知らせします。

コピーの途中で画質を切り替えるときは

コピー中に 画質 を押すと次のページから画質が切り替わります (コピー途中の原稿の画質を変えることはできません)。

セットできる原稿のサイズ

幅 148mm ~ 210mm /
長さ 128mm ~ 297mm /
厚さ 0.06mm ~ 0.18mm
●厚さのめやす 新聞紙：約0.05~0.06mm
上質紙：約0.10mm

- 一度に2枚以上セットできない原稿 (☞ 113ページ)
- 原稿が詰まったときは (☞ 230~231ページ)
- 記録紙が詰まったときは (☞ 232ページ)

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー (複製) することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。(通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー (複製) もできません。(外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律)
- 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けずにコピー (複製) することは禁じられています。(郵便切手類模造等取締法)
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー (複製) できません。(印紙等模造取締法)

コピー (複製) する場合に注意を要するもの

- 民間発行の有価証券 (株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー (複製) する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

著作権に注意するもの

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準する限られた範囲内で使用するため以外は、コピー (複製) を禁止されています。

お知らせ

- コピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。

登録した内容を印刷する

親機に登録されているさまざまな内容を印刷して確認することができます。
印刷できる内容は以下の通りです。

メニュー設定

親機で設定した内容のリストを印刷できます。また、登録/設定早見表として利用できます。

☎ 250~253ページ

着信記録

親機に保存された着信記録のリストを印刷できます。

☎ 196ページ

電話帳

親機に登録した電話帳のリストを印刷できます。

☎ 70~72ページ

お断り番号

親機に登録した着信お断り番号のリストを印刷できます。

☎ 205ページ

登録内容を印刷する

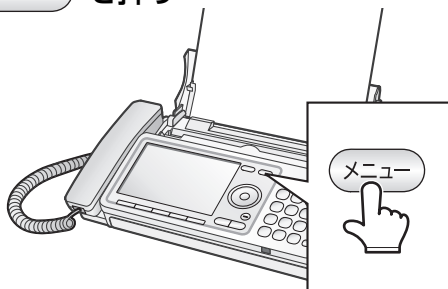
1 記録紙をセットする(☎ 132ページ)

・メニュー設定リストは、最大で6枚印刷されます。途中で記録紙がなくなるとエラーが起きて最初からの印刷になりますので、メニュー設定リストを印刷するときは、あらかじめ6枚以上の記録紙をセットしておいてください。

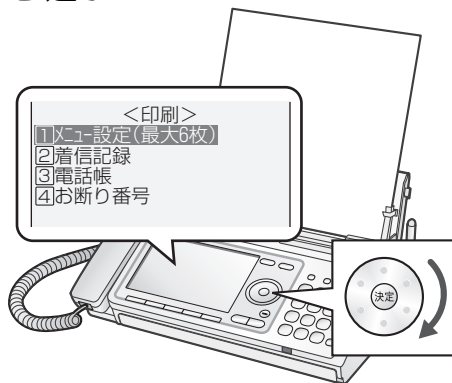
4 決定 を押し、 で印刷したい内容を、

- 1：メニュー設定（最大6枚）
- 2：着信記録
- 3：電話帳
- 4：お断り番号から選ぶ

2 を押す

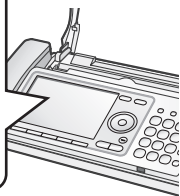
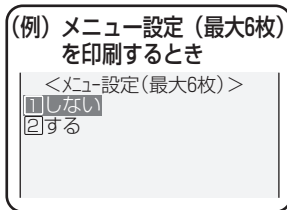


3 で [印刷] を選ぶ



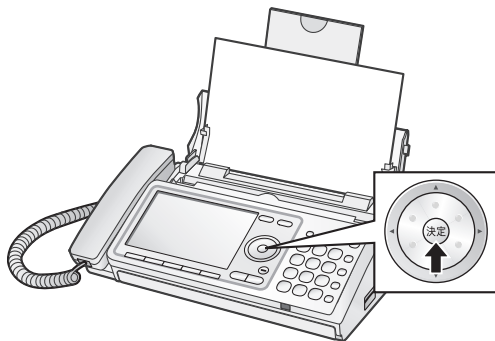
次ページへ


5 決定 を押し、 で [する] を選ぶ




6 決定 を押し

選択した内容が印刷されます。



・途中でやめるとき： 停止 

・1つ前に戻るとき： 

メニュー設定リストについて

メニュー設定リストは、設定された内容を親機の設定メニューと合わせて印刷されます。

設定メニューに表示されている数字を、メニューボタンを押したあとにダイヤルボタンで入力すると、すぐに設定画面を表示することができます。

印刷したメニュー設定リストは、登録/設定早見表として保存しておくくと便利です。

メニュー設定リスト

※設定内容を変更するときは[メニュー]を押した後メニュー番号を押して下さい

メニュー番号	項目名	設定内容
【はじめの設定】		
11	日付・時刻	2008年 9月 8日 (月) 15:47
12	発信元番号	
13	発信元名	
14	回線種別選択	20PPS
15	液晶濃度調整	濃い ■■■ 薄い
16	携帯とくたくダイヤル	使用しない
17	デカ文字着信	使用する
18	着信設定ガイド	
【着信音と誰からコール】		
21	親機着信音選択	電話ベル音

メニューボタンと番号を押すと設定画面を表示することができます。

例：「日付・時刻」の登録

メニュー  1 あ  1 あ と順番に押す

・250～253ページに、同様の登録/設定早見表を記載しています。

お知らせ

- 印刷中は、親機の着信音は設定した着信音ではなく、[電話ベル音]が鳴ります。
- 印刷中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

SDカードを取り付ける／取り外す

本機では、市販のSDカードをご利用になって、録音データやファクスデータを保存したり、電話帳のバックアップを取ったり、本機でスキャンしたデータの保存を行ったりすることができます。

使用できるSDカードについて

本機では、以下のタイプのSDカードをご使用ください。

SDメモリーカード	最大2GBまで
miniSDカード※	最大2GBまで
microSDカード※	最大2GBまで

※ 本機との接続には、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

当社で動作確認済みのSDカード

メーカー	型番	容量
株式会社 バッファロー	RSDC-G1GC6	1GB
	RSDC-G2GC6	2GB
株式会社 アイ・オー・データ機器	SD-F1G	1GB
	SD-F2G	2GB
株式会社 東芝 セミコンダクター社	SD-B001GT4	1GB
	SD-B002GT4	2GB

お知らせ

- SDカードは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
- SDメモリーカードは松下電器産業株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- microSD™はSDアソシエーションの商標です。
- SDHCカード、miniSDHCカード、microSDHCカード、マルチメディアカードは、本機では使用できません。
- SD規格に準拠したFAT12、FAT16でフォーマットされたSDカードが使用できます。

SDカードの取り扱いについて

■ SDカードは大切にお使いください

SDカードの登録内容は、使いかたを誤ったときや、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします（パソコンへコピーするなど）。

なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ miniSD カードや microSD カードを本機に接続するには

それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。アダプターを使用せずにカードを挿入すると取り外せなくなることがありますのでご注意ください。また、アダプターによって規格が異なりますので、アダプターの取扱説明書をお確かめのうえ、規格に合ったスロットに接続してください。

■ 書き込み禁止スイッチについて

SDメモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。「LOCK」側になると、データの消去や登録ができなくなります。

SDメモリーカード：

スイッチを下へずらすとロックされます。



SDカードを使ってできること

SDカードを使用すると、以下の機能がご使用になれます。

スキャン（原稿保存）機能

○スキャンデータの保存：

原稿をスキャンしてSDカードに保存することができます（TIFF形式とJPEG形式の2点、保存されます）。1件あたり最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大150件まで保存できます（SDカードの空き容量によります）。

録音データの保存

○録音データの保存：

留守録音などの音声録音データの保存場所をSDカードに指定することができます。録音時間は1件あたり最大60分、件数は最大500件まで録音できます（SDカードの空き容量によります）。

○録音データのバックアップ：

本機に録音されている留守録音などの音声録音データをSDカードに保存することができます（録音データはwave形式で保存されます）。保存した録音データは、本機やパソコンなどで再生することができます。

ファクス機能

○受信ファクスデータの保存：

受信ファクスのデータの保存場所をSDカードに指定することができます。1件あたり最大99枚、スキャンデータと合わせて最大150件まで保存できます（SDカードの空き容量によります）。

○受信ファクスデータのバックアップ：

本機に保存されている受信ファクスデータをSDカードに保存することができます。保存した受信ファクスデータは、本機やパソコンなどで確認したり、印刷したりすることができます（ファクスデータはTIFF形式とJPEG形式の2点保存されます）。

電話帳

○電話帳データのバックアップ：

本機で登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。保存した電話帳のデータは、後で本機に戻すことができます。（電話帳データはcsv形式で保存されます）。

SDカードの容量と保存データのめやす

SDメモリーカードの容量	音声 最大録音時間	原稿・ファクス 最大保存枚数
2GB	約72時間	約10,000枚
1GB	約36時間	約5,000枚

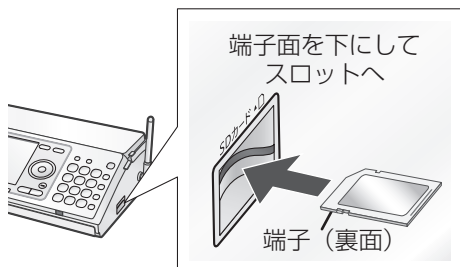
- ・録音と、原稿や受信ファクスのデータがいっしょに保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・他のデータが保存されている場合、録音時間と保存枚数は少なくなります。
- ・原稿や受信ファクスの内容によって、保存枚数は変わります。

お知らせ

- SDカードの種類や保存されているデータによっては、読み込みの時間が3分以上かかることがあります。

SDカードを取り付ける

- 1** 裏表を間違わないようにして、SDカードが止まるまでSDカードスロットへ挿入する



- 2** SDカードを挿入すると、「ファクス／録音データの保存先」の設定画面が表示されるので、

○ 本体メモリーのままでよいときは
→ **1あ** を押す

○ SDカードに変更したいときは
→ **2か** を押す



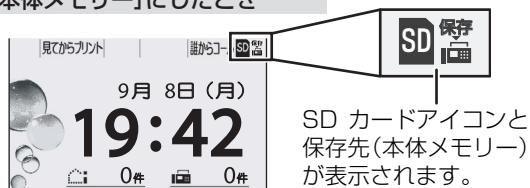
戻る を押すと、設定を変更せずに待受画面に戻ります。

ファクス／録音データの保存先を後から変更するには（FAX／録音メモリー設定）

- ① **メニュー** を押す
- ② **SD** を押す
- ③ **○** で [FAX/録音メモリー設定] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、**○** で [本体メモリー] または [SDカード] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す
- ⑥ 停止 **⇐** を押す

SDカードを取り付けると

ファクス／録音データの保存先を [本体メモリー] にしたとき



ファクス／録音データの保存先を [SDカード] にしたとき



本機からSDカードにアクセス中は、SDカードアイコンが点滅します。そのときは、SDカードを取り出さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損するおそれがあります。

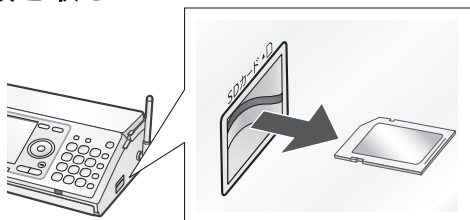
お知らせ

- SD カード以外のものを挿入すると、破損するおそれがあります。
- SDカードは精密電子機器です。強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 高温多湿の場所、またホコリの多いところや腐食性のガスが発生するようなところでの使用・保管はしないでください。
- 電源を入れた直後は、SD カードを挿入しても、しばらくの間、読み込みができません。

SDカードを取り外す

SDカードは待受画面を表示させてから取り外してください。本機のディスプレイに「SDカードを抜かないでください」と表示しているときは、SDカードを取り外さないでください。ファイルが開けなくなったり、SDカードが破損するおそれがあります。

1 まっすぐにゆっくりとSDカードを抜き取る



2 「ファクス/録音データの保存先」をSDカードに設定しているときは、SDカードを抜き取ると、[FAX／録音メモリーを本体メモリーに変更しました] と表示され、自動的に変更される



- **お知らせ**
- SDカードを無理に抜き取ると、本機やSDカードが破損することがあります。
 - SDカードを抜き取るときに、金属端子部分を手や金属で触れないでください。
 - カードアダプターを使用して本機に取り付けたminiSDカードやmicroSDカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に抜き取ってください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
 - 画像の表示中や印刷中に、SDカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

画像データを読み込んでSDカードに保存する(スキャン機能)

親機で読み込んだ画像データを、本機やパソコンなどで確認できるファイル形式（TIFF形式とJPEG形式）にしてSDカードに保存することができます。保存できる画像データは、SDカード1枚に、1件につき最大99枚、受信ファクスデータと合わせて最大150件です。

最大保存枚数、最大保存件数はSDカードの空き容量により異なります。

保存した画像データは、本機の「見てからプリント」(☎ 124～126ページ)で確認することができます。

親機で画像データを読み込みSDカードに保存する

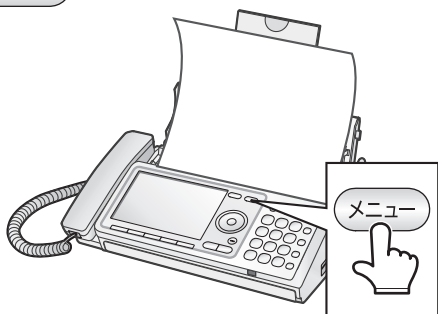
読み込んだ画像データは以下のように保存されます。

- 保存ファイル形式：TIFF形式とJPEG形式
 - ・スキャンすると、TIFF形式のデータとJPEG形式のデータの2点がSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。
- 保存先：
PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yyymmddkkk\
 - ・yyymmddには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mは月（1～C）、ddは日です。
 - ・kkkには、保存した順に01～150の数字が連番で入ります（件数）。
- 保存ファイル名：
hhmmsspp.TIF、hhmmsspp.JPG
 - ・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。
 - ・ppには、保存した順に01～99の数字が連番で入ります（原稿の枚数）。

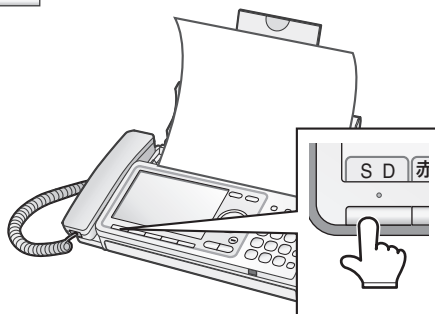
1 SDカードを取り付ける
(☎ 140ページ 手順 1～2)

2 原稿をセットする
(☎ 108ページ 手順 1～4)

3 **メニュー** を押す



4 **SD** を押す

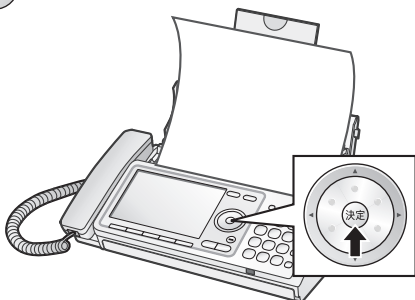


5 **決定** で [SDへ原稿を保存] を選ぶ



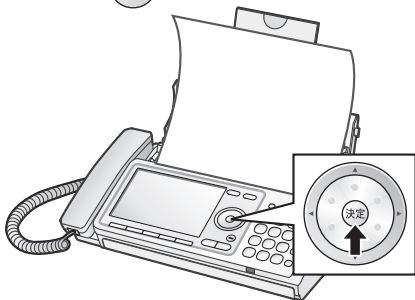
次ページへ

6 決定 を押す



- ・原稿をセットしていないときは、ディスプレイに [原稿をセットください] と表示されます。原稿をセットすると表示が消えます。
- ・画質を変更したいときは **画質** を押してください (☎ 113ページ)。変更しないときは、[小さな字] で保存されます。

7 もう一度 決定 を押す



- ・読み込みが開始されます。

- ・途中でやめるとき： 停止 (⏹)
- ・1つ前に戻るとき： **戻る**

保存した画像データを本機のディスプレイに表示するには

- ① **メニュー** を押す
 - ② **S.D** を押す
 - ③ **決定** で [SDのFAX一覧を表示] を選ぶ
 - ④ **決定** を押す
- SDカードに保存されている画像データ、受信ファクスデータが表示されます。表示された一覧の見かたについては、125ページをご覧ください (画像データは、枚数の横に「読込原稿」と表示されます)。
- ⑤ 停止 (⏹) を押す

- **お知らせ**
- SDカードに150件の画像データのファイルが保存されている場合は、「SDカードにファイルが作成できません」と表示され、それ以上データを保存することはできません。

SDカード内の画像データを親機で活用する

携帯電話やデジタルカメラで撮影したJPEG形式の画像データを親機のディスプレイに表示して活用することができます。

表示した画像データは、印刷したりファクス送信したりすることができます。

SDカード内の画像データを親機で表示する

読み込める画像データは以下の通りです。

- 読み取りファイル形式：JPEG形式
- 読み取り画像：1画像ずつ*
- 読み取れる画像サイズ：縦64～3072ドット
横80～4096ドット

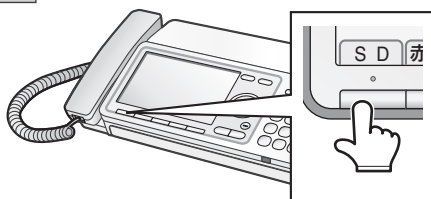
* DCF規格に対応していない画像（パソコンで編集された画像も含む）や上記サイズ以外の画像は表示できません。

1 SDカードを取り付ける ([140ページ](#) 手順 1～2)

2 **メニュー** を押す



3 **S D** を押す



4 [SDの画像を表示] が選択されていることを確認する



5 **決定** を押し、**決定** で表示したい画像を選ぶ

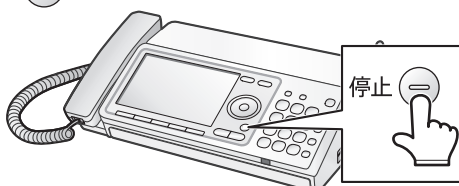


6 **決定** を押す



- ・画像が表示されるまで、少し時間がかかる場合があります。
- ・表示した画像データの見かたについては、[145ページ](#)をご覧ください。

7 画像の確認が終わったら 停止 **停止** を押す



- ・途中でやめるとき：停止 **停止**
- ・1つ前に戻るとき：**戻る**

画像データを表示してからできること

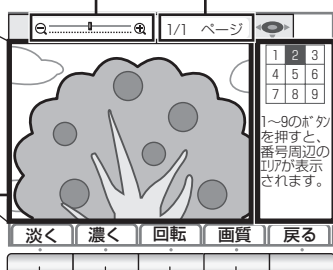
選択した画像データは、下記のように表示されます。表示している部分を上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。

SDカード内の画像データ



現在表示している倍率を表示（20段階）

現在表示しているページ／総ページ



メニュー から [サブ画面] を選択して 決定 を押すと、サブ画面が表示されます。拡大表示したとき、全体から見てどの部分を表示しているのかを、9分割の画面でお知らせします。また、ダイヤルボタンを押すと番号に対応したエリアを表示します。



ボタンを押すと、押した方向へ、表示部分が移動します。端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。

現在、表示されている画像の濃度を調整します（7段階）。

ボタンを押すと、押すたびに、表示部分が右回りに90度ずつ回転します。

ボタンを押すと、文字モードと写真モードの切り替えを行います。

※ 写真モードの場合は、濃度調整できません。

マルチファンクションキーを押すと…

画像データを拡大表示中にマルチファンクションキー



（ ）を押すと、上下左右に押した方向へ

- 短く押すと、少しづつ表示部分が移動します。
- 押し続けると、次の画面まで表示部分が移動します。

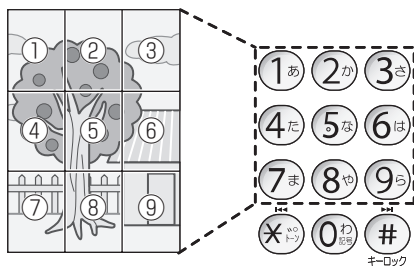
くるピカキーを回すと…

くるピカキーを回すと、表示している画像データの拡大／縮小ができます。

拡大するときは、、縮小するときは、 の方向に回転させてください。

ダイヤルボタンを押すと…

画像データを拡大表示中にダイヤルボタンを押すと、以下のように、対応した場所をダイレクトに表示します。






現在、どの位置を指しているのかわからないときは、上記のサブ画面をご利用ください。

また、**#** を押すとズームイン（拡大）、***¹⁰** を押すとズームアウト（縮小）します。

メニューボタンを押すと…

画像データを表示中に **メニュー** を押すと、メニュー画面が表示されます。表示される項目は、以下の通りです。

- ①印刷：
表示した画像データを印刷します（ 146ページ）。
- ②FAX送信：
表示した画像データをファクス送信します（ 147ページ）。
- ③横ピットリ：
現在のファクスの横幅を合わせて表示します。
- ④自動スクロール：
画像データを初期状態で表示したあと、自動的に下方へ表示がスクロールします（ 125ページ）。
- ⑤サブ画面：
上記のサブ画面を表示します。

SDカード内の画像データを印刷する

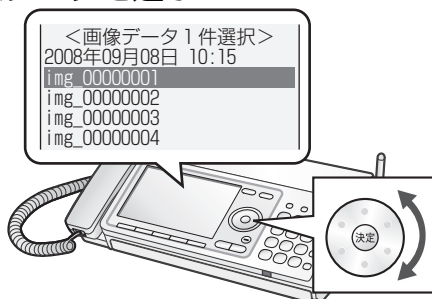
SDカード内の画像データを親機のディスプレイに表示して、印刷することができます。

1 SDカードを取り付ける
([140ページ](#) 手順 **1** ~ **2**)

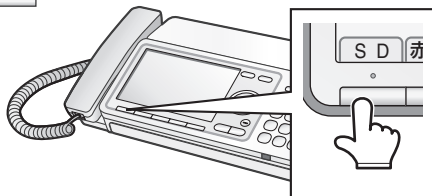
2 **メニュー** を押す



5 **決定** を押し、**決定** で印刷したい画像データを選ぶ



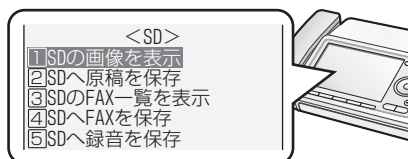
3 **S.D** を押す



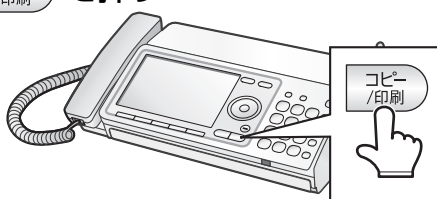
6 **決定** を押す



4 [SDの画像を表示] が選択されていることを確認する



7 画像データが表示されたら、**コピー/印刷** を押す



・印刷が開始されます。

SDカード内の画像データをそのままファクス送信する (ファクスそのまま転送)

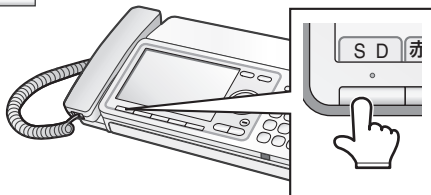
SDカード内の画像データをそのままファクス送信することができます。

1 SDカードを取り付ける (☎140ページ 手順1~2)

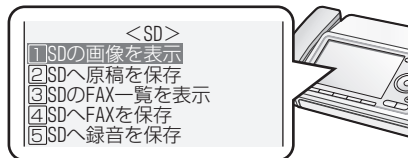
2 **メニュー** を押す



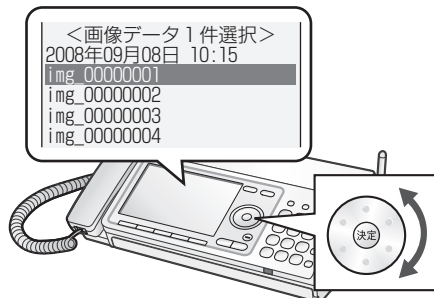
3 **SD** を押す



4 [SDの画像を表示] が選択されていることを確認する



5 **決定** を押し、**決定** でファクス送信 したい画像データを選ぶ



6 **決定** を押す



7 画像データが表示されたら、

**FAX
スタート** を押す



・ **メニュー** を押したあと、[FAX送信]を選び **決定** を押して、送信画面に行くこともできます。

次ページへ

8 受話器を取る



9 相手の方に電話をかける

- 電話番号を入力するときは
ダイヤルボタンで入力します。
- 電話帳を使うときは
電話帳
○ を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- 再ダイヤルを使うときは
再ダイヤル
○ を押します（一番最後に電話を
かけた相手の方につながります）。
- 着信記録（着信履歴）を使うときは
着信記録 を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- ワンタッチダイヤルを使うときは
ワンタッチ1 または ワンタッチ2 のいずれかを押し
ます。

・ファクスの送信が始まります。

10 相手の方につながったら、ファクス 受信操作をしてもらう

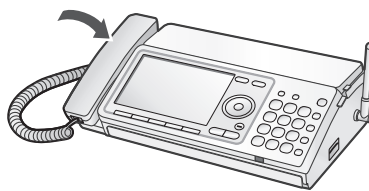
・「ファクスを送られる方は、そのまま送信
してください」などのメッセージが聞こえ
たときや、相手の方が電話に出ないで
「ピーヒョロロ」という音が聞こえてきた
ときは、FAX
スタート を押して、手順12へお進
みください。

11 「ピーヒョロロ」という音が聞こえ てきたら、FAX スタート を押す



12 受話器を元に戻す

送信が始まります



お知らせ

- 送信されるときの方のファクスの画質は、「小さな字」相
当の画質になります。変更することはできません。
- おまかせ送信 (☎110ページ) は動作しますが、メッ
セージは流れません。
- 「戻って録音」はできません。

SDカードに録音／ファクスデータを保存する

親機に保存されている録音データやファクスデータをSDカードに保存することができます。
保存したデータは、本機の「録音再生」(☎ 94～98ページ) や「見てからプリント」(☎ 124～126ページ) で確認することができます。

SDカードに録音データを保存する

録音データは以下のように保存されます。

- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 最大保存時間：1件につき最大60分
- 最大保存件数：500件（60分×500件保存することはできません）
- 保存ファイル形式：wav形式
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\REC\yyymmddkkk\
・yyymmddには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mmは月（1～C）、ddは日です。
・kkkには、保存した順に01～500の数字が連番で入ります（件数）。
- 保存ファイル名：hhmmss01.wav
・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。

1 SDカードを取り付ける (☎ 140ページ 手順 1～2)

・SDカード挿入時に表示される [FAX/録音メモリー設定] は [本体メモリー] に設定してください。SDカードに設定されていると、保存できません。

2 **メニュー** を押す



3 **S D** を押す



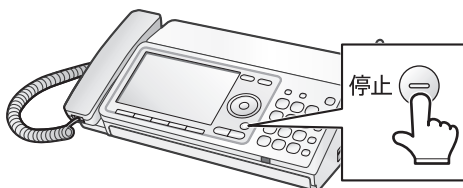
4 **決定** で [SDへ録音を保存] を選ぶ



5 **決定** を押す



6 **停止** を押す



・途中でやめるとき：停止 **停止**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

■ 保存した録音データを本機で聞きたいときは (☎ 94～98ページ)

■ ファクス／録音データの保存先を変更したいときは (☎ 140ページ)

お知らせ

- 録音データの保存中は、SDカードを取り外さないでください。本機やSDカードが破損することがあります。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考にしてください

SDカードに受信ファクスデータを保存する

受信ファクスデータは以下のように保存されます。

- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 最大保存枚数：1件につき最大99枚
- 最大保存件数：150件
- 保存ファイル形式：TIFF形式とJPEG形式
 - ・保存すると、TIFF形式とJPEG形式のデータの2点がSDカードに保存されます。どちらか片方だけを保存することはできません。
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\DOC\yyymmddkkk\
 - ・yyymmddには、日付が入ります。yyは西暦（下2ケタ）、mは月（1～C）、ddは日です。
 - ・kkkには、保存した順に01～150の数字が連番で入ります（件数）。
- 保存ファイル名：hhmmsspp.TIF
 - ・hhmmssには、時刻が入ります。hhは時間、mmは分、ssは秒です。
 - ・ppには、保存した順に01～99の数字が連番で入ります（ファクスの枚数）。

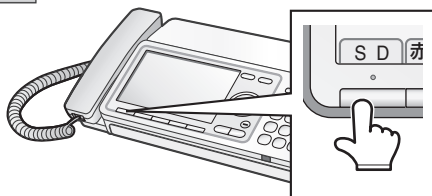
1 SDカードを取り付ける (☞ 140ページ 手順 1～2)

- ・SDカード挿入時に表示される [FAX/録音メモリー設定] は [本体メモリー] に設定してください。SDカードに設定されていると、保存できません。

2 **メニュー** を押す



3 **SD** を押す



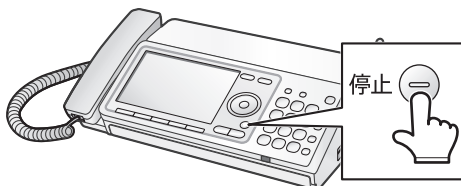
4 **決定** で [SDへFAXを保存] を選ぶ



5 **決定** を押す



6 **停止** を押す



・途中でやめるとき：**停止**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

■ 保存した受信ファクスデータを後から確認したいときは (☞ 124～126ページ)

■ ファクス／録音データの保存先を変更したいときは (☞ 140ページ)

お知らせ

- 受信ファクスデータの保存中は、SDカードを取り外さないでください。本機やSDカードが破損することがあります。

SDカードに電話帳のデータを保存する


親機に登録した電話帳のデータをSDカードに保存することができます。

保存した電話帳のデータは、本機を初期化したときなど、電話帳が消えたときに読み込んで復元することができます。

SDカードに電話帳データを保存する

電話帳データは以下のように保存されます。

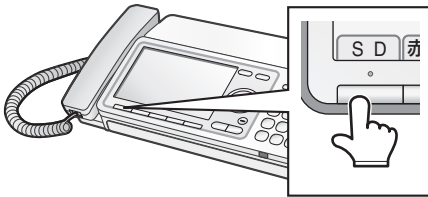
- 保存方法：一括保存（個別に保存はできません）
- 保存先：PRIVATE\SHARP\FAX\BACKUP\
● 保存ファイル名：FAXADDR.DAT

1 SDカードを取り付ける
( 140ページ 手順 1 ~ 2)

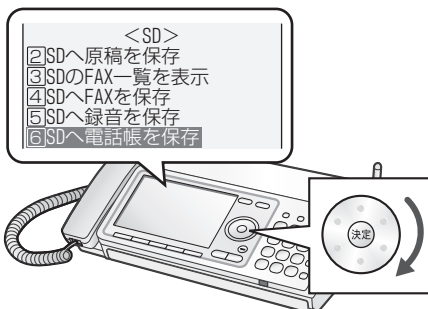
2  を押す



3  を押す



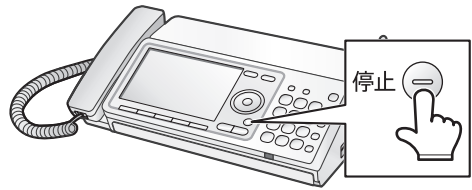
4  で [SDへ電話帳を保存] を選ぶ





5  を押す




6  を押す



・途中でやめるとき： 

・1つ前に戻るとき： 

SDカードに保存した電話帳データを本機に読み込んで電話帳を復元したいときは

1 SDカードを取り付ける
( 140ページ 手順 **1** ~ **2**)

2 **メニュー** を押す



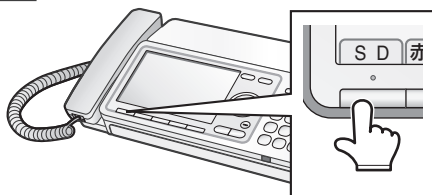
5 **決定** を押す



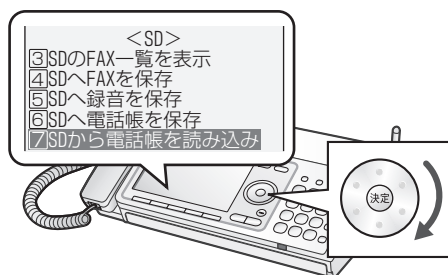
・途中でやめるとき：**停止** (⏏)

・1つ前に戻るとき：**戻る** (⏪)

3 **S D** を押す



4 **決定** で [SDから電話帳を読み込み] を選ぶ



お知らせ

- 電話帳データの保存中、電話帳データの取り込み中は、SDカードを取り外さないでください。本機やSDカードが破損することがあります。

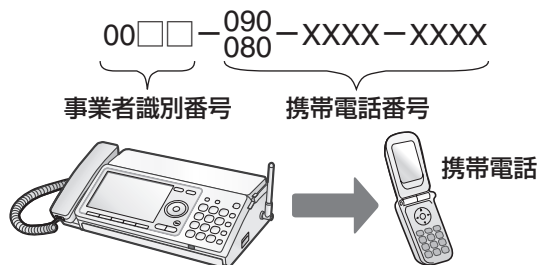
携帯電話へおトクにかける (携帯とくとくダイヤル機能)

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」(例：NTT東日本 0036、NTT西日本 0039 など) を付けてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。

利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています*。

電源を入れたあとに設定していれば (☎ 27~28ページ)、そのままお使いください。設定を変えたいときは、下記の手順で設定してください。

ひかり電話 (NTT東日本、NTT西日本の光回線電話) では、電話会社 (通信事業者) を指定して電話をかけることができません。そのため、携帯とくとくダイヤルはご利用になれませんので、設定しないでください ([使用しない] のままでお使いください)。



IP電話をご利用の方へ

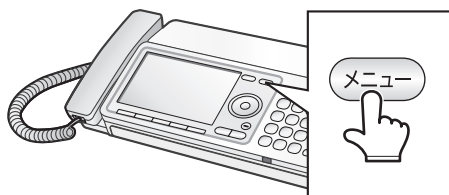
IP電話 (ひかり電話などを除く) をご利用の場合、携帯とくとくダイヤルをご利用になりたいときは、携帯電話に発信するときだけ、NTTなどの一般回線で発信する必要があります。携帯電話に発信するときだけ自動的に一般回線にするときは、「携帯とくとくダイヤルご利用時のIP電話利用」 (☎ 244ページ) の設定を [あり] にしてください。

* 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

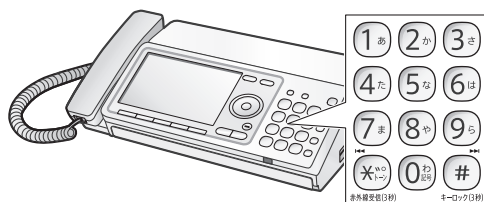
携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」を付けて発信することができます。

1 [メニュー] を押す



2 1あ 6は と順に押す



3 [NTT東日本0036] を選ぶときは

1あ を押す → 6へ

[NTT西日本0039] を選ぶときは

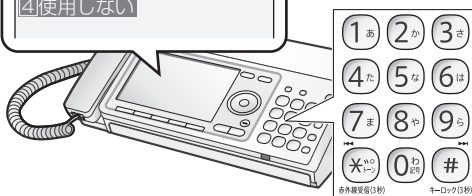
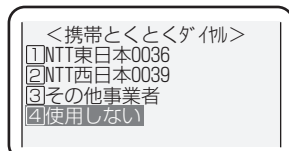
2か を押す → 6へ

[その他事業者] を選ぶときは

3さ を押す → 4へ

[使用しない] を選ぶときは

4た を押す → 6へ



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こま当たときは

ご参考にしてください

赤外線を使ってデータを受信して活用する (ケータイdeコピー)

携帯電話からの画像データ (JPEGファイル) や、電話帳データなどを赤外線受信 (IrSimple™/IrSS™/IrDA®規格対応) することができます。

受信したデータは、以下のことに使えます。

- 受信した画像データを本機のディスプレイで見ることができます (☞ 156 ページ)。
- 受信した画像データを、本機で印刷することができます (☞ 157 ~ 158 ページ)。
- 受信した画像データを、本機でファクス送信することができます (☞ 159 ~ 160 ページ)。
- 携帯電話からの電話帳データを本機に転送することができます (☞ 161 ページ)。

本機は高速赤外線通信 (IrSimple™/IrSS™規格) に対応しており、対応の携帯電話やデジタルカメラから高速に通信することが可能です。

ただし、携帯電話のメーカーや機種ごとに、利用できる機能には制限があります。

- もくじ
- ご使用の前に
- 電話・電話帳
- 留守番
- ファクス
- 印刷コピー
- SDカード
- 便利な機能
- ナンバーディスプレイ
- ごまっただときは
- ご参考に
- さくいん

● お知らせ ●

- IrSimple™、IrSS™、IrDA® は Infrared Data Association® の商標です。
- 本製品の赤外線通信機能はIrSimple™1.0規格に準拠しています。
- IrSS™機能とは、IrSimple™1.0規格準拠の片方向通信機能 (Home Appliance Profile) を表します。
- 本製品の通信機能はすべての通信に対応するものではありません。相手機器やファイルによっては受信できないものもあります。

携帯電話から赤外線を使って受信した画像データを印刷する

1 を3秒以上押し続ける

赤外線受信(3秒)



- ・赤外線受信待ち状態になります。
- ・**メニュー**、**赤外線受信** と順に押しても、同様の状態になります。

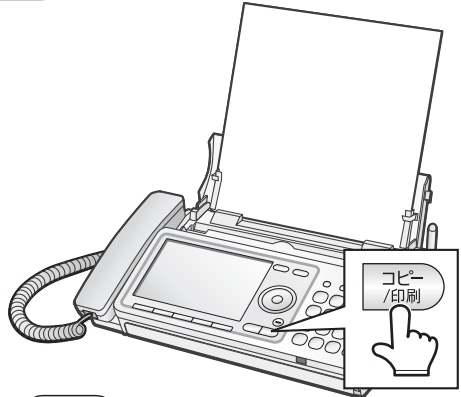
2 携帯電話側で 印刷したい電話帳データを選び、 赤外線ポートを本機の赤外線ポート に向けながら、赤外線送信する



- ・赤外線送信の操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・電話帳は1件ずつ送信します。複数の転送には対応していません。
- ・**戻る** を押ししたり、約3分間データを受信しなかった場合は、待受画面に戻ります。

3 画像データが表示されたら、

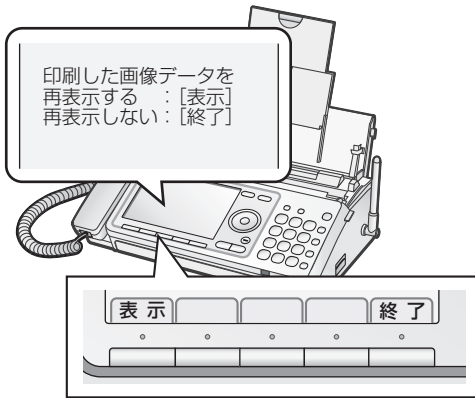
 を押す



- ・**メニュー** を押し、[印刷] が選択されていることを確認して **決定** を押しても、同じ操作を行うことができます。
- ・表示された画像データを確認したいときは、145ページをご覧ください。

次ページへ

4 印刷が完了したら、以下の画面が表示される



○ もう一度画像を表示したいときは **表示** を押す

○ 終了するときは **終了** を押す

・この画面で約1分操作をしないと、自動的に待受画面に戻ります。

携帯電話から赤外線を使って受信した画像データをファクス送信する

1 を3秒以上押し続ける

赤外線受信(3秒)



- ・赤外線受信待ち状態になります。
- ・**メニュー**、**赤外線受信** と順に押しても、同様の状態になります。

2 携帯電話側でファクス送信したい画像データを選び、赤外線ポートを本機の赤外線ポートに向けながら、赤外線送信する




- ・赤外線送信の操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・**戻る** を押したり、約3分間データを受信しなかった場合は、待受画面に戻ります。

3 画像データが表示されたら、

FAXスタート を押す



- ・**メニュー** を押し、 で [FAX送信] を選び **決定** を押しても、同じ操作を行うことができます。
- ・表示された画像データを確認したいときは、145ページをご覧ください。

4 受話器を取る



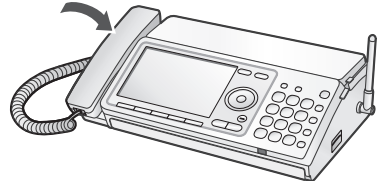
次ページへ

5 相手の方に電話をかける

- 電話番号を入力するときは
ダイヤルボタンで入力します。
- 電話帳を使うときは
電話帳
○ を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- 再ダイヤルを使うときは
再ダイヤル
○ を押します（一番最後に電話を
かけた相手の方につながります）。
- 着信記録（着信履歴）を使うときは
着信記録 を押し、○ で相手の方を
選んで 決定 を押します。
- ワンタッチダイヤルを使うときは
ワンタッチ1 または ワンタッチ2 のいずれかを押し
ます。
・いずれかの操作をすると、相手の方に電話
がかかります。

8 受話器を元に戻す

送信が始まります



6 相手の方につながったら、ファクス受信操作をしよう

- ・「ファクスを送られる方は、そのまま送信してください」などのメッセージが聞こえたときや、相手の方が電話に出ないで「ピーヒョロロ」という音が聞こえてきたときは、FAXスタート を押して、手順8へお進みください。

7 「ピーヒョロロ」という音が聞こえてきたら、FAXスタート を押す



携帯電話から赤外線を使って電話帳データを受信する

1 を3秒以上押し続ける

赤外線受信(3秒)



- ・赤外線受信待ち状態になります。
- ・**メニュー**、**赤外線受信** と順に押ししても、同様の状態になります。

2 携帯電話側で 送信したい電話帳データを選び、 赤外線ポートを本機の赤外線ポート に向けながら、赤外線送信する




- ・赤外線送信の操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・電話帳は1件ずつ送信します。複数の転送には対応していません。
- ・**戻る** を押したり、約3分間データを受信しなかった場合は、待受画面に戻ります。

3 赤外線データを受信したら 電話帳のデータが表示されるので、 確認して **登録** を押す



- ・電話帳を登録して、赤外線受信待ち状態に戻ります。
- ・修正したい項目があるときは、「赤外線受信した電話帳データを修正してから登録するときは」(☞下記)の操作を行ってください。
- ・登録をやめるときは、**戻る** を押してください。赤外線受信待ち状態に戻ります。

赤外線受信した電話帳データを修正してから登録するときは

- ① 上記操作で電話帳データを受信する
- ② **修正** を押す
- ③ ダイヤルボタンで名前を修正する
- ④ **決定** を押し、ダイヤルボタンで「読み」を修正する
- ⑤ **決定** を押し、ダイヤルボタンで第1番号を修正する
- ⑥ **決定** を押し、ダイヤルボタンで第2番号を修正する
- ⑦ **決定** を押し、 で「誰あてコール」で発声する名前を選ぶ
- ⑧ **決定** を押す
電話帳に登録されます。

・途中でやめるとき: 停止  / 1つ前に戻るとき: **戻る**

1つの電話回線で複数の番号を使う (モデムダイヤルインサービス)

モデムダイヤルインサービスやひかり電話の「追加番号」サービス (マイナンバー) を利用することで、1つの電話回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。本機では、電話用として最大5番号、ファクス用として1番号を設定することができます。電話用とファクス用にそれぞれ番号をもったり、親機と子機の番号を別にしたりすることができます。また、番号ごとに着信音を変えることもできます。

ひかり電話をご利用の方は「追加番号」サービス (マイナンバー) をご利用ください。

● 1つの電話回線ですので、ファクス送受信と同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。

このサービスを利用するには、NTTとのご契約が必要です

相手側



こちら側



電話に出てお話しください。相手と話したあとファクスに切り替えることもできます。着信音は番号ごとに変えることができます。

相手がファクス用番号にファクスを送ってくると・・・



設定された呼出回数のおと、ファクス受信に切り替わります。着信音は電話のときの着信音と変えることができます (166ページ)。着信音が鳴っている間に、受話器を取ると通話もできます。ファクスに切り替わるまでの呼出回数 (FAX時応答回数) は変更できます (165ページ)。

設定される番号について

電話用番号とファクス用番号に分ける場合は、必ず最初の電話番号 (契約者回線番号) を電話用番号に、ファクス用番号を追加された番号 (ダイヤルイン追加番号) に設定することをおすすめします。

電話用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
ファクス用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)

また、親機と子機で電話番号に分ける場合は、最初の電話番号を親機に、追加された番号を子機に登録することをおすすめします。

親機用番号	最初の番号 (契約者回線番号)
子機用番号	追加された番号 (ダイヤルイン追加番号)
2台目以降の子機番号	どちらでも可

お知らせ

- 「ダイヤルインサービス」には対応していません。「モデムダイヤルインサービス」を契約してください。
- 他の電話機などとブランチ式 (並列) 接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- モデムダイヤルイン機能や、ひかり電話の「追加番号」サービス (マイナンバー) を利用する場合は、お申し込みおよび月額使用料、工事費が必要となります。また、本機能を利用する場合、NTTの各種サービスがご利用にならない場合や、一部制約を受けることがあります。接続する機器によっては、本機能を利用できない場合があります (詳しくは、お近くのNTTにお問い合わせください)。
- ホームテレホンや構内交換機 (PBX) をお使いの場合は、ご利用できません。
- 他のサービスとの併用については、NTT窓口へご確認ください。
- ISDN回線のときは、TA (ターミナルアダプター) の設定が必要です。主番号に設定したアナログポートに接続してください。

モデムダイヤルインサービスを利用するには

- [モデムダイヤルインサービスのご利用の手順]
- [ひかり電話「追加番号」サービス(マイナンバー)のご利用の手順]

NTTと契約する(有料)

下記NTT窓口にお申し込みください。

サービス開始の
連絡を待つ

本機の設定をする(☎ 下記)

必ずサービスの開始後に行ってください。

モデムダイヤルインサービス、マイナンバーサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL: 局番なしの **116** (通話料金無料)

受付時間
午前9時~午後9時
土・日・祝も受付
(年末・年始は除く)

ひかり電話「追加番号」サービス(マイナンバー)をご利用のときは、ひかり電話対応アダプター/ルーター側の設定も必要となります。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

モデムダイヤルインサービスを設定する

必ずサービスの開始後に行ってください。

- ① **メニュー** を押す
- ② **6** は **3** と順に押す
- ③ [使用する] を選ぶときは **1あ** を、
[使用しない] を選ぶときは **2か** を押す
- ④ 停止 **⇒** を押す

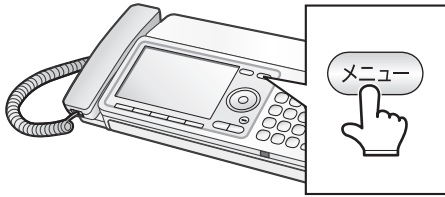
・途中でやめるとき: 停止 **⇒**

・1つ前に戻るとき: **戻る**

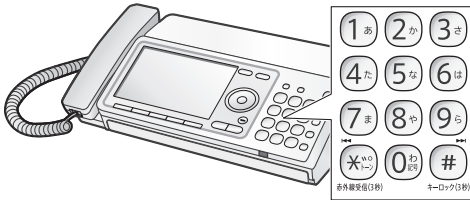
モデムダイヤルインサービスで使用するダイヤルイン番号を登録する

必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください (☎ 163ページ)。

1 **メニュー** を押す



2 **6は** **1あ** を押す



4 登録したい親機、または子機の組み合わせを **決定** で選ぶ



01	親機	07	子機1~4
02	子機1	08	親機、子機1
03	子機2	09	親機、子機2
04	子機3	10	親機、子機3
05	子機4	11	親機、子機4
06	親機、子機1~4		

3 ○ TEL1~5 (電話番号) を選ぶときは **1あ** ~ **5な** を押す

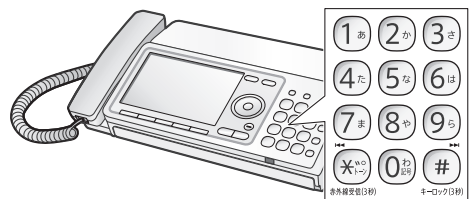
○ FAX (ファクス専用番号) を選ぶときは **6は** を押し **6** へ



5 **決定** を押す



6 ダイヤルボタンでダイヤルイン番号を入力する (最大20ケタ)



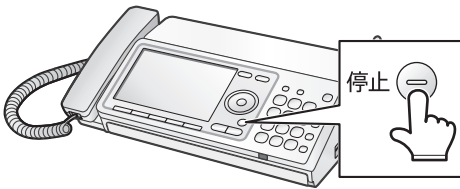
・ダイヤルイン番号は、市外局番から登録してください。


次ページへ

7 決定 を押す










8 停止 を押す








・途中でやめるとき：停止 

・1つ前に戻るとき：戻る または 取消

設定内容を消去するには









- ①  を押す
- ②  と  と順に押す
- ③  ～  の消去したい番号を押す
- ④  を押す
- ⑤ 停止  を押す


設定した内容を表示するには

- ①  を押す
- ②  と  と順に押す
- ③  で確認する
- ④ 確認が終わったら 停止  を押す

FAX時応答回数を設定する

追加された番号にかかってきたとき、ファクスに切り替わるまでの呼出回数を設定します。
必ずモデムダイヤルインサービスの設定を [使用する] にしてください(☎ 163ページ)。

- ①  を押す
- ②  と  と順に押す
- ③  、  ～  で回数を選ぶ
- ④  を押す
- ⑤ 停止  を押す

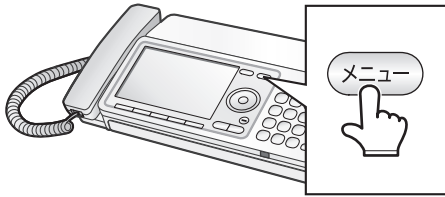
・途中でやめるとき：停止 

・1つ前に戻るとき：戻る または 取消

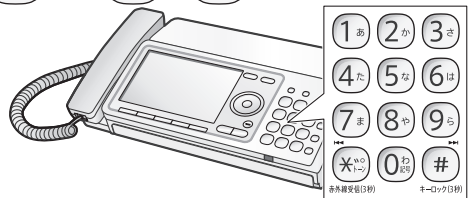
親機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

モデムダイヤルインサービスの番号登録で登録した番号に、それぞれの番号専用の着信音を設定します。ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎ 191~195ページ)との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を「使用しない」にしてください(☎ 192ページ)。

1 **メニュー** を押す



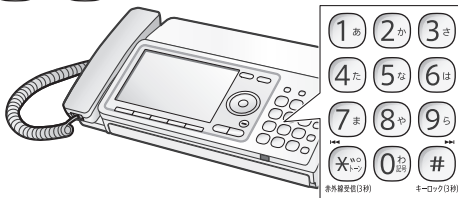
4 **1あ ~ 9ら**、**0わ** を押して選ぶ



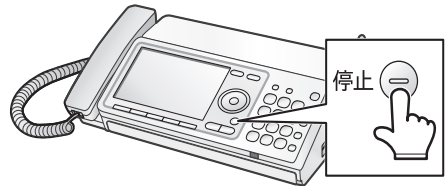
・鳴り分けできる着信音は、電話がかかってくる時に鳴る着信音と同じです(☎ 42ページ)。

・鳴り分けをやめるときは、**0わ** を押してください。

2 **6は** **5な** を押す



5 **停止** を押す

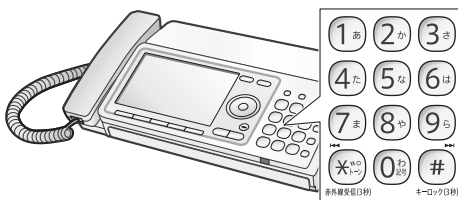


・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：**戻る**

3 ○ TEL2~5を選ぶときは **1あ ~ 4た** を押す

○ FAXを選ぶときは **5な** を押す



・[TEL 1]に登録した番号の着信音は、親機に設定されている音です。変更したい場合は、親機の着信音を変更してください(☎ 42ページ)。

ダイヤルイン機能を設定したときは

着信時にどの電話番号(TEL1~5)に着信しているのかが表示されます。ただし、[FAX]にかかってくる時や、「デカ文字着信」(☎ 181ページ)を「使用する」に設定しているときは表示されません。

親機

(「デカ文字着信」を「使用しない」に設定しているとき)

090XXXXXXXX

TEL2

子機

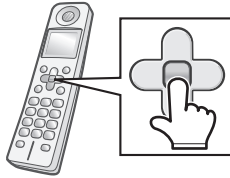
090XXXXXXXX
(((TEL2)))

子機のダイヤルイン鳴り分けの着信音を設定する

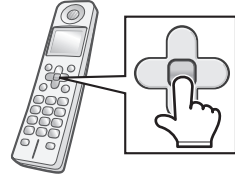
ダイヤルイン鳴り分けは親機、子機それぞれ別に設定できます。子機では、[TEL2~5]の番号専用の着信音を設定することができます。

ただし、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」(☎191~195ページ)との併用はできません。ご使用になるときは、「誰からコール」の設定を[使用しない]にしてください(☎192ページ)。

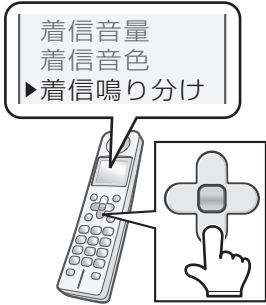
1  を押す



5  を押す



2  で [着信鳴り分け] を選ぶ

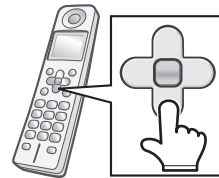
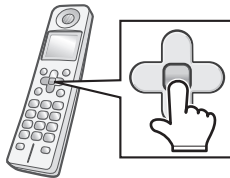



6  で 着信音を設定する電話番号を

- [TEL 2 鳴り分け]
- [TEL 3 鳴り分け]
- [TEL 4 鳴り分け]
- [TEL 5 鳴り分け]

から選ぶ

3  を押す



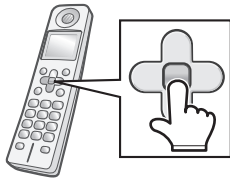
4  で [ダイヤルイン] を選ぶ



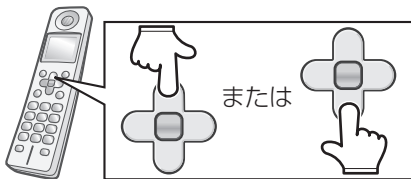
・[TEL 1] に登録した番号の着信音は、子機に設定されている音です。変更したい場合は、子機の着信音を変更してください(☎46ページ)。



次ページへ

7 を押す

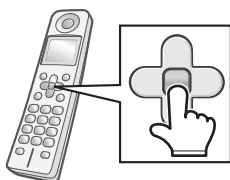



8 または で着音を選ぶ



- ・鳴り分けできる着音は、電話がかかってきたときに鳴る着音と同じです(☎ 46ページ)。
- ・鳴り分けを解除するときには、「ピピッ」と鳴るまで  または  で選んでください。

9 を押す



・途中でやめるとき:  切

☎お知らせ

- TEL1 ~ 5 に登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その番号を設定した親機または子機以外では電話に出ることはできません。ただし、電話のとりつき(☎ 64~68ページ)を行ったときは、通話することができます。
- ダイヤルインサービスを利用しているときにファクス専用の番号を設定したいときは、受信モードの「FAX専用」ではなく、ダイヤルインの「FAX」を設定することをおすすめします。
- ナンバー・ディスプレイ(☎ 188ページ)を契約しているときに、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分け(☎ 201~203ページ)を設定した場合、それらの鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。
- 親機と子機などで内線通話中に、別の子機に設定されているダイヤルイン番号へ着信があった場合、内線通話中の親機と子機の着音が鳴り、登録した子機からは着音は鳴りません。登録した子機に着音音を鳴らしたいときは、内線通話を終了してください。
- TEL1~5に着信させる子機を設定するときは、付属の子機または増設登録している子機を設定してください。増設登録していない子機を設定しても、着音は鳴りません。
- 親機でコピーや印刷をしているときに、子機に設定されているダイヤルイン番号に着信があった場合、親機で着音が鳴り、登録した子機からは着音が鳴りません。コピーや印刷が終了すると、登録した子機からも着音が鳴ります。

着信音や動作音を鳴らさないようにする（おやすみモード）

就寝中や電話/ファクスの動作音が気になるときなど、着信音などを鳴らさないように設定ができます（おやすみモード）。

- ・毎日、あらかじめ設定した特定の時間帯に、おやすみモードにタイマー設定することもできます。
- ・特定の番号からの電話 / ファクスのみ、着信音を鳴らすことができるので、例えばお子様がひとりでお留守番されているときでも、安心してご両親からの電話だけに出ることができる、といった使いかたができます（選んで着信 171～172ページ）。

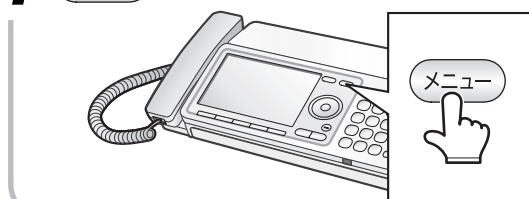
特定の番号からの電話/ファクスのみ、着信音を鳴らすためには、ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

おやすみモードに設定したときは

- ・親機・子機・ドアホンの着信音が鳴りません（内線の着信音は鳴ります）。
- ・特定の番号以外からの着信に留守応答します。
- ・キータッチ音やFAX/コピー終了音は鳴りません。
- ・メモリー受信の場合、記録紙がセットされていても、受信したファクスは自動で印刷されません（おやすみモードを解除すると、自動で印刷します）。記録紙受信では、おやすみモードのときも受信したファクスを自動で印刷します。

手動で、おやすみモードに設定する

1 **メニュー** を押す



2 **おやすみ** を押す



3 **1あ** **2か** と順に押す

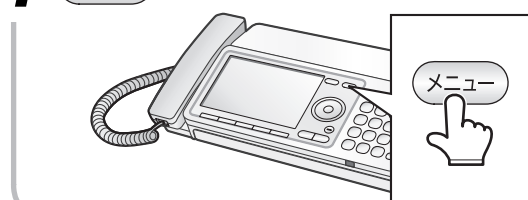


- ・途中でやめるとき：停止 (停止)
- ・設定すると、ディスプレイに **おやすみモード** と表示され、**着信音切** が表示されます。

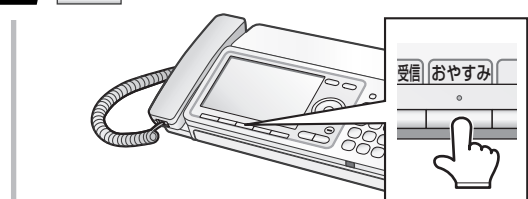
特定の時間だけ自動で、おやすみモードに設定する

毎日、特定の時間だけおやすみモードが動くように設定できます。日付や曜日の指定はできません。

1 **メニュー** を押す



2 **おやすみ** を押す



3 **1あ** **3さ** と順番に押す



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

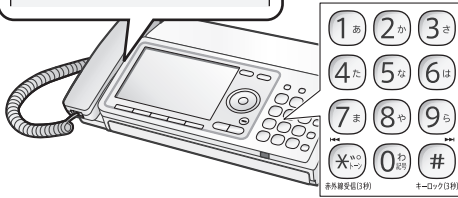
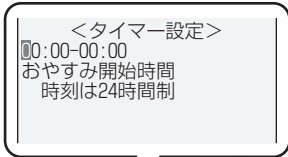
便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは

ご参考にしてください

4 ダイヤルボタンで開始時間を入力する（4ケタ、24時間制）



- ・設定時間になると、ディスプレイ **おやすみモード** と表示され、**着信音** が表示されます。
- ・開始時間と終了時間を同じ時刻に設定すると、24時間の設定になります（設定中は常にディスプレイ **おやすみモード** と表示され、**着信音** が表示されます）。

おやすみモードを解除する

- ① **メニュー** を押す
- ② **おやすみ** を押す
- ③ **1あ** を2回押す

おやすみモードの設定内容を確認する

- ① **メニュー** を押す
- ② **おやすみ** を押す
- ③ **3さ** を押す
- ④ 確認が終わったら **停止** (⊖) を押す

■ おやすみモードを設定すると

相手の方には…

留守応答メッセージ（固定応答メッセージ2）が流れます。ファクス送信または留守録音を残すことができます。

本機では…

着信音や応答メッセージは流れません。また、メモリー受信に設定しているときは、ファクスを受信しても自動的に印刷されないため、印刷による音も鳴りません（記録紙受信に設定しているときは印刷します）。

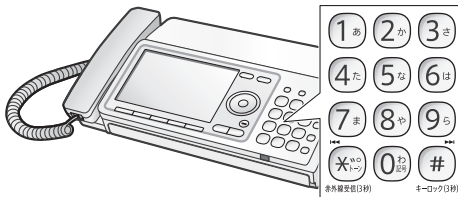
■ おやすみモード中にファクスを受信したときは

ファクスの受信モードをメモリー受信に設定しているときは、おやすみモードを解除したときに、自動で印刷が開始されます。記録紙がない場合は、エラー音が鳴ります。

■ おやすみモード中に留守番メッセージを録音したときは

留守 が2回点滅します。おやすみモードを解除しても自動的に再生されませんので、**再生** を押して再生してください。

5 ダイヤルボタンで終了時間を入力する（4ケタ、24時間制）



6 **決定** を押す



・途中でやめるとき： **停止** (⊖)

・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

● お知らせ

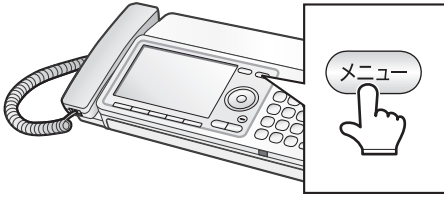
- タイマー設定時のおやすみモードの開始時間と終了時間は、前回に入力した時間が表示されます。お買いあげ時と、「手動で、おやすみモードに設定する」(P.169ページ)にしているときは、「00:00-00:00」と表示されます。
- タイマー設定で、毎日特定時間帯におやすみモードが動くようにしていても、「おやすみモードを解除する」の操作を行うと、タイマー設定も解除されます。再びタイマー設定で使いたいときは、時間を入力し直してください。
- おやすみモード設定中は、おやすみモードが動いていない時間（タイマー設定していない時間）も含めて、節電状態にはなりません（バックライトは消灯しますが、ディスプレイ表示は消えません）。

着信させる番号を登録する（選んで着信）

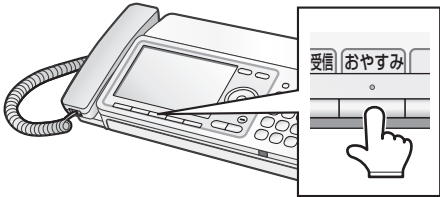
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。

電話番号を登録しておくこと、おやすみモードが設定されているときでも、登録した番号からの電話／ファクスだけ着信音を鳴らすことができます。登録できる番号は、最大30件です。

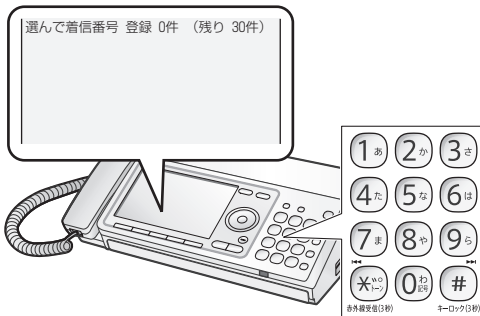
1 **メニュー** を押す



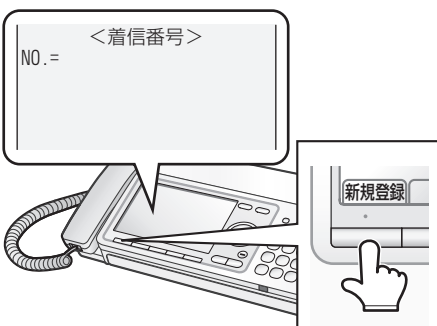
2 **おやすみ** を押す



3 **か** を押す



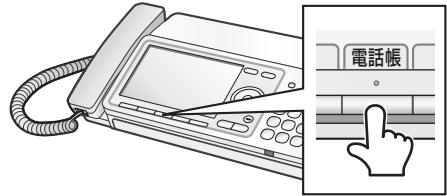
4 **新規登録** を押す



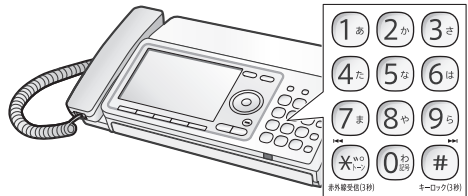
・登録できる番号は最大30件です。

5 ○ 電話帳から登録するときは

電話帳 を押して**6**へ



○ 直接番号を入力して登録するときは、ダイヤルボタンで電話番号を入力し**7**へ



- ・着信させる番号は、市外局番から登録してください。
- ・電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
- ・電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。
- ・電話帳から登録できる番号は、第1番号のみです。第2番号を登録することはできません。

6 **決定** で登録したい相手を選ぶ



次ページへ

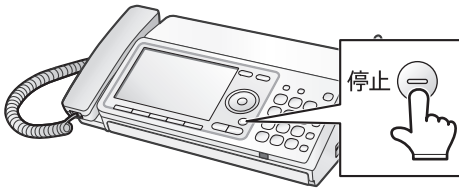
7 決定 を押す



登録した番号をすべて消去する

- ① **メニュー** を押す
- ② **○** で [各種全消去] を選ぶ
- ③ **決定** を押し、**○** で [選んで着信番号] を選ぶ
- ④ **決定** を押し、**○** で [消去する] を選ぶ
- ⑤ **決定** を押す

8 停止 を押す



- ・途中でやめるとき：停止 **○**
- ・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

登録した番号を1件ずつ消去する

- ① **メニュー** を押す
- ② **おやすみ** を押す
- ③ **2か** を押す
- ④ **○** で消去したい番号を選ぶ
- ⑤ **消去** を2回押す
- ⑥ 停止 **○** を押す

- ・途中でやめるとき：停止 **○**
- ・1つ前に戻るとき：**戻る**

お知らせ

- FAX優先またはFAX専用（☎ 122～123ページ）に設定しているときは、おやすみモードを設定すると、選んで着信番号登録で登録した相手の方からの電話にのみFAX優先またはFAX専用が働きます。
- 日付・時刻を設定していないとおやすみモードは設定できません。
- 非通知・公衆電話・表示圏外お断り（☎ 204ページ）や、特定番号お断り（☎ 205ページ）が設定されているときは、お断り登録を優先し、お断りメッセージが流れます。
- 登録していない番号からの着信中に受話器を取ると、親機で通話することができます。子機では通話ボタンを押すと、通話することができます。

子機を増やす

増設する子機について

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大4台までです。
UX-D90CLはあと3台まで、UX-D90CWはあと2台まで増設できます。
- 増設できる子機はJD-KS25、JD-KS17、JD-KS15、JD-KS21、JD-KS11です (☎237ページ)。
他の子機は増設できませんのでご注意ください (2008年7月現在)。
- 子機を増設する方法は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。
- 増設登録中は、電話を受けることを含むすべての操作を行うことができません。

●UX-D90CL/UX-D90CWに増設した場合の機能比較

機能名		機種名	付属の子機	JD-KS25	JD-KS17	JD-KS15	JD-KS21	JD-KS11
電話機能	電話帳機能		○ (100人×1番号)	○ (100人×2番号)	○ (100人×1番号)	○ (100人×1番号)	○ (100人×2番号)	○ (100人×1番号)
	液晶表示		漢字表示	漢字表示	カナ表示	カナ表示	漢字表示	カナ表示
	誰からコール(子機)		○	○	○	×	×	×
	電話帳転送(親機⇄子機)		○	○	○	○	○	○
	再ダイヤル		○(10件)	○(10件)	○(10件)	○(10件)	○(10件)	○(10件)
	優先呼出		×※1	○	○	○	○	○
	モーニングコール		×	○	○	○	○	○
	子機間通話		○	○	○	○	○	○
	電波サポート機能		子機で設定	子機で設定	子機で設定	子機で設定	子機で設定	常に設定※2
ナンバー・ディスプレイ関連	番号・名前表示		○	○	○	○	○	○
	着信記録		○	○	○	○	○	○
	着信鳴り分け		○	○	○	○	○	○
	キャッチホン・ディスプレイ		○	○	○	○	○	○
	ネーム・ディスプレイ		○	○	×	×	○	×
設定関連	液晶バックライト		○	○	○	○	○	○
	受話音量切換		特大・大・標準・小	特大・大・標準・小	特大・大・標準・小	特大・大・標準・小	特大・大・標準・小	特大・大・標準・小
	時計転送機能		○	○	○	○	○	×※3

※1：ディスプレイに(☎)は点灯しません。

※2：JD-KS11を増設すると、電波サポートが常に設定されます。このため、連続通話時間は約4時間になります。

※3：JD-KS11を増設してお使いの場合は、JD-KS11の時計設定で時刻の設定をしないか、本体の時計バックアップを[使用しない]に設定してお使いください。

通話内容を録音する（今から録音）




通話中の内容を録音することができます。通話内容のメモの代わりに使ったり、迷惑電話の内容を録音して相手に聞かせたりすることができます。

本体メモリーを使用時は、すべての録音を合わせて、最大約15分間または最大30件まで録音できます。SDカードを本機に取り付ける（P.140ページ）と、録音した内容の保存先をSDカードに設定できます（P.140ページ）。SDカードに保存できる「今から録音」は1件につき最大約60分間まで、録音件数はすべての録音を合わせて最大500件です（60分×500件保存することはできません）。最大録音時間はSDカードの空き容量により異なります。

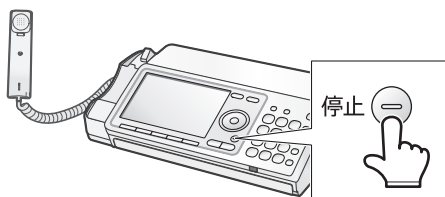
親機で「今から録音」する

1 通話中に を押す



・通話中に  を押し、 で [今から録音] を選んで  を押しても、同様の操作を行えます。

2 録音が終わったら 停止 を押す (録音時間を過ぎると、自動的に終了します)



・日時と件数が自動的に録音されます(日時スタンプ機能)。

子機で「今から録音」する

1 通話中に を押す

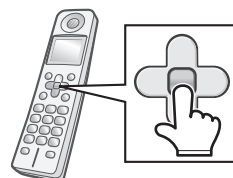


・キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には、録音を始めたことがわかりません。

2 で [今から録音] を選ぶ



3 を押す



次ページへ

4 録音が終わったら を押す




（録音時間を過ぎると、エラー音が鳴って自動的に終了します）




- ・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

子機で [＜保存中＞] と表示されているときは

録音した内容を未再生録音として、メモリーに保存しています。表示中は親機の通話以外の操作はできません。保存が終了すると、続けて「今から録音」することができます。

- 通話中に録音内容を再生するときは（ 180ページ）
- 通話が終わったあとで録音内容を再生するときは（ 94、97ページ）
- 録音内容を消去するときは（ 94～98ページ）

📢 お知らせ

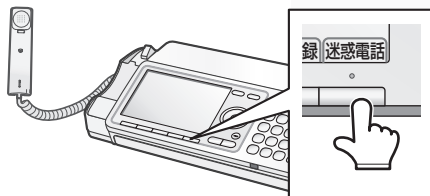
- 内線通話やオンフック（ 54ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- 1件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。
- 子機で長時間録音した場合、子機の [＜保存中＞] が消えても、親機の保存が続いていることがあります。このとき、「今から録音」や保留ができなくなりますので、その場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

通話内容をさかのぼって録音する（戻って録音）

「戻って録音」すると、通話が始まってから、「戻って録音」の操作をするまでの通話内容を、さかのぼって録音します。録音時間は、最大約15分間です（メモリー残量が100%の場合）。録音時間を変更することもできます（P.179ページ）。録音できる件数は、1回の通話につき1件です。しつこいセールスなどの迷惑電話に対して、録音した内容をそのまま相手に聞かせて撃退する、といった使いかたもできます。通話が終わったあとで再生することもできます。

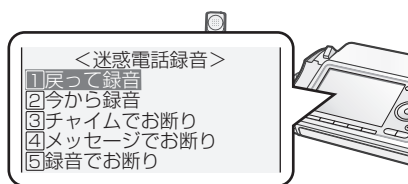
親機で「戻って録音」をする

1 通話中に **迷惑電話** を押す



・キータッチ音を [あり] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

2 [戻って録音] が選択されていることを確認する



3 **決定** を押す



親機で通話中に「戻って録音」を再生する

1 通話中、「戻って録音」したあと、**再生** を押す



・再生を途中でやめるとき：停止 (⏏)

- お知らせ
- ファクス／録音データの保存先をSDカードにしている場合でも、「戻って録音」の録音時間は最大15分までです（本体メモリー残量が100%の場合）。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さくいん

子機で「戻って録音」をする

1 通話中に を押す

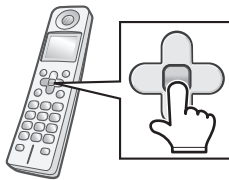



・キータッチ音を [設定] に設定していても、録音の操作音は鳴りませんので、相手の方には録音をしたことがわかりません。

2 [戻って録音]が選択されていることを確認する



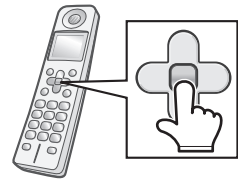
3 を押す



・操作を途中でやめるとき: 

子機で通話中に「戻って録音」を再生する

1 通話中、「戻って録音」したあと、 を押す

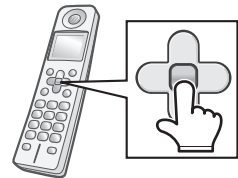



2 で [録音再生]を選ぶ



3 を押す

（「ただ今の録音内容を再生します」という音声の流れ、再生が開始されます）



・再生を途中でやめるとき:  通話

お知らせ

- 子機で「戻って録音」をしたあと、その通話中に「戻って録音」を再生するとき、「早聞き再生」「10秒戻し再生」「30秒送り再生」は動きません。


通話終了後、「戻って録音」を再生するときは

通話が終わるとメモリーに保存され、未再生録音として保存されます。

再生
親機：  を押す

子機：
①  を押す

② [留守番電話] が選択されていることを確認する


③  を押し、[用件再生] が選択されていることを確認する


④  を押す

※再生中にできる操作について（☎96、98ページ）



「戻って録音」で録音できる時間を変更するときは

はじめは [15 分] に設定されています。

①  を押す

②  を4回押す

③ [留守番電話の設定] が選択されていることを確認する

④  を押し、 で [戻って録音時間] を選ぶ

⑤  を押し、 で録音時間を [1 分]、[3 分]、[15 分] から選ぶ

⑥  を押す

⑦ 停止  を押す

「戻って録音」の仕組みについて

本機では、常に通話内容を、一時的に録音しています。「戻って録音」は、この一時的に録音された内容を使用します。

一時的に録音している内容は、通話が終わると自動的に消去されますが、「戻って録音」すると、メモリーに保存するので消えません。

通話内容を相手に聞かせて、自動的にお断りするときは

「録音でお断り」をお使いください（☎59～60ページ）。ただし、録音時間は15秒前からになります。また、通話内容は保存されません。

お知らせ

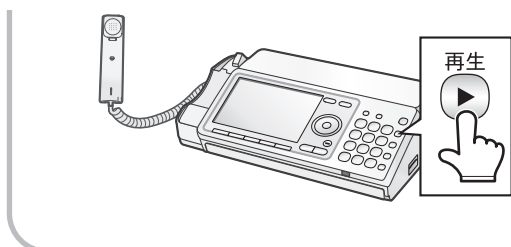
- 内線通話（☎62～63ページ）やオンフック（☎54ページ）を使用しているときは、通話内容を録音することができません。


録音した内容を通話中に再生する

留守番電話の内容や通話録音した内容を通話中に再生することができます。

親機で通話中に再生する

1 通話中に  を押す



・途中でやめるとき：停止 

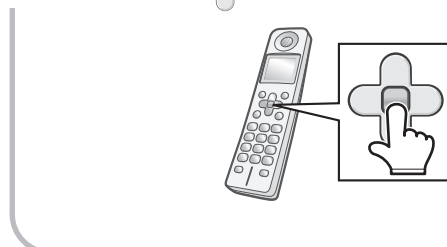
録音再生中の通話について

親機で通話中に録音した内容を再生しているときは、こちらの声が相手に聞こえ、相手の声もこちらに聞こえます。

子機で通話中に録音した内容を再生しているときや、親機、子機ともに「戻って録音」(☎ 177~178ページ)を再生しているときは、こちらの声は相手に聞こえず、相手の声もこちらに聞こえません。

子機で通話中に再生する

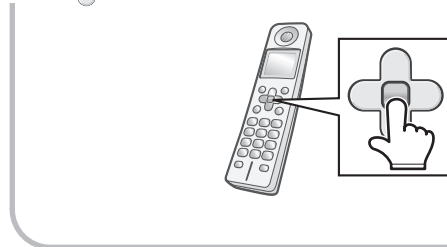
1 通話中に  を押す




2  で [録音再生] を選ぶ



3  を押す



- ・途中でやめるとき：  通話
- ・録音内容を再生するときは、未再生の録音以降から再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

■ 再生中にできる操作について (☎ 96、98ページ)

親機をもっと便利に使う

キーロック

本機のボタンを効かないようにして、電話を受ける以外の操作をできないようにすることができます。本機のお手入れ中や、お子様がお手を触れたときなどによる誤動作を防止できます。

キーロックを設定する

- ① 待受画面で **#** を [キーロックを設定しました] と表示されるまで押し続ける

キーロック(3秒)

- ・キーロックを解除するまで、電話を受ける以外の操作はできません。
- ・キーロック中はディスプレイに **🔒** キーロック と表示されます。
- ・キーロックは親機だけの操作です。キーロックを設定しても、子機の操作はロックできません。

キーロックを解除する

- ① ディスプレイに **🔒** キーロック と表示されているときに、**#** を [キーロックを解除しました] と表示されるまで押し続ける

キーロック(3秒)

デカ文字着信

電話を受けるときに、ディスプレイの文字を大きくすることができます。最初は [使用する] に設定されています。

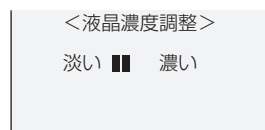
発信時に表示する番号や名前も大きく表示されます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **1あ** **7ま** と順に押す
- ③ [使用する] を選ぶときは **1あ** を押す
[使用しない] を選ぶときは **2か** を押す
- ④ 停止 **⇒** を押す

液晶濃度調整

液晶ディスプレイの表示濃度を調整することができます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **1あ** **5な** と順に押す
- ③ **⇒** または **⇐** で濃度を調整する



- ④ **決定** を押す
- ⑤ 停止 **⇒** を押す

- ・途中でやめるとき： 停止 **⇒**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る**

子機をもっと便利に使う

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [解除] です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [クイック通話] を選ぶ
- ④ を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

液晶画面 (LCD) コントラストの調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [LCDコントラスト] を選ぶ
- ④ または で調整して を押す

キータッチ音

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音 (キータッチトーン) の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は [設定] です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [キータッチ音出力] を選ぶ
- ④ を押し、 で [解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

電波サポート

子機の電波状況が悪くて雑音が入るときに設定すると改善される場合があります。
ただし、連続通話時間が約6時間から以下になります。

- [自動] : 約4～6時間
- [解除] : 約6時間
- [設定] : 約4時間

工場出荷時の設定は [自動] (電波状況が悪いときに自動的に電波サポートを行う設定) です。

- ① を押す
- ② で [システム設定] を選ぶ
- ③ を押し、 で [電波サポート] を選ぶ
- ④ を押し、 で [自動]、[解除] または [設定] を選ぶ
- ⑤ を押す

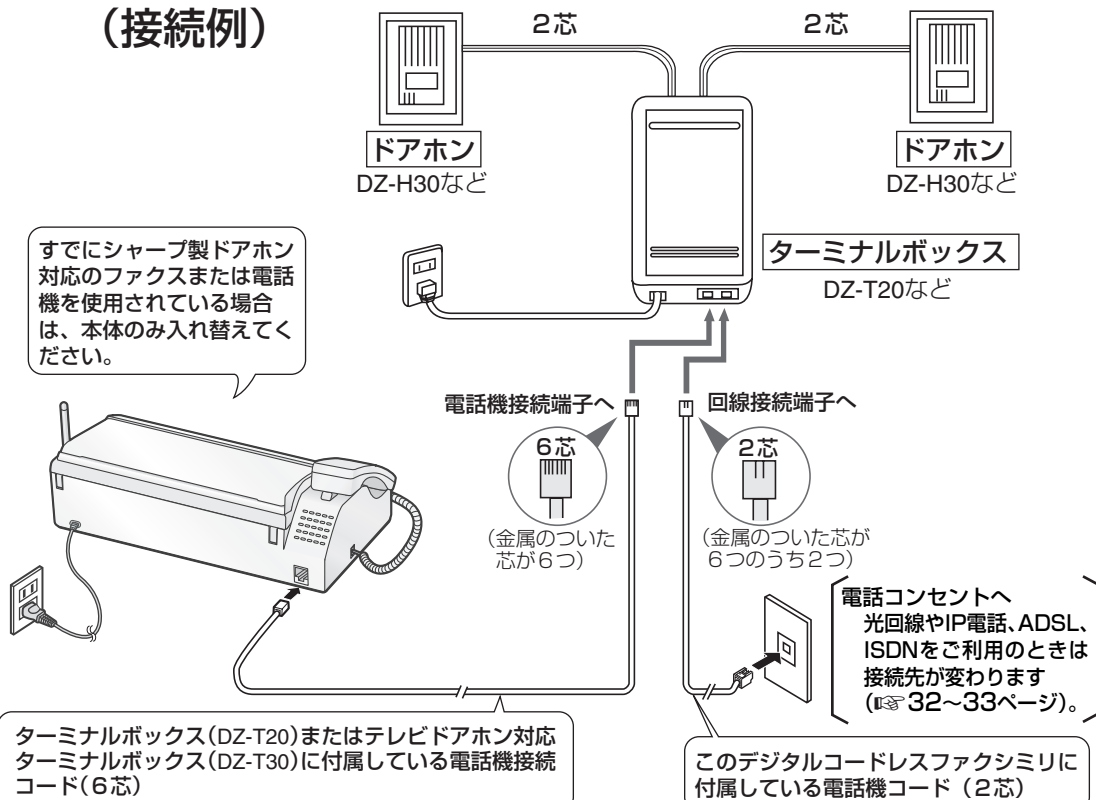
・途中でやめるとき： 切

ドアホンをつなぐ

別売りのターミナルボックス（専用）とドアホン（テレビドアホンユニット）を取り付けると、ドアホン通話することができます。ドアホンは最大2台まで接続することができます。詳しい接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ドアホンのつなぎかた

(接続例)



- ADSLやISDN、IP電話や光回線をご利用のときは (☎ 32~33ページ)
- 現在お使いのドアホンが次の機種の場合は 専用ドアホン (DZ-H30) をお求めにならなくても、そのままお使いいただけます。(ターミナルボックスDZ-T20またはDZ-T30が必要です。)

メーカー名 (50音順)	適合するドアホン (室外機の機種名) 2008年7月現在
アイホン	IF-DA IE-DA IE-DC IE-NC IE-RA IE-TAS IE-JA IE-CA IF-DAW IE-NXS IE-NXBA IE-NXM IE-NXY IE-NXC
岩通	ドアホンN
NTT	E-104DH E-ドアホンS E-ドアホンD E-ドアホンPL E-VXドアホン
パイオニア	TF-DR2
富士通	FC-201A FC-201B FC-201C FC-201D
松下電器産業(株) パナソニック マーケティング本部	VF-521 VF-522 VF-523U VF-523D VL-568 VL-568G VL-568U VL-568K VL-568KA VL-568D VL-568R VL-568S VL-568KAP VL-568GL VL-568UL VL-569 VL-580D VL-582A VL-584D VL-585D VL-586P VL-587P VL-592 VL-593 VL-594A
	EJ-502 EJ-501W EJ-102 EJ-503F EJ-503A EJ-106A EJ-106S EJ-1021B

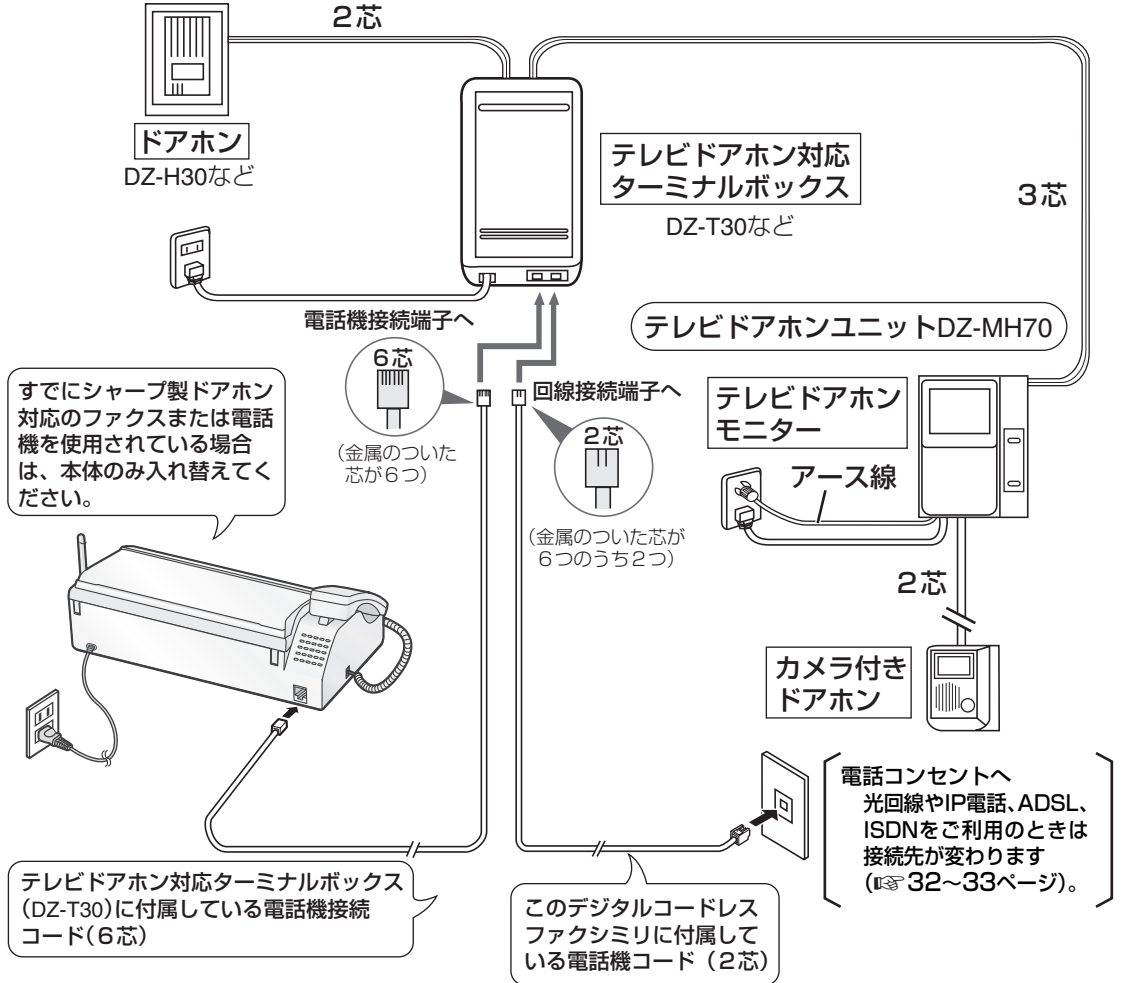
※チャイム (室外と室内とで会話できないもの) は適合しません

もくじ
ご使用前に
電話・電話帳
留守番
ファクス
印刷コピー
SDカード
便利な機能
ナンバーディスプレイ
こまだったときは
ご参考に
さくいん

カメラ付ドアホンのつなぎかた

テレビドアホンユニットは、DZ-MH70, DZ-MH50, DZ-MH30が接続できます。
 テレビドアホンユニットを取り付けるときは、必ずテレビドアホン対応ターミナルボックス (DZ-T30) をお使いください。

(接続例)



- ・カラーカメラドアホン (DZ-TH10) は使用できません。
- ・カメラ付ドアホンでの映像は、親機の画面には映りません。テレビドアホンモニターで確認します。





■ 光回線やIP電話、ADSL、ISDNをご利用のときは (☎ 32~33ページ)

ドアホンと話す（ドアホン通話）

親機、子機のどちらでも、ドアホンを押された方とお話することができます。

ドアホンの着信音について

ドアホン1とドアホン2からの着信音は鳴り方が違います。

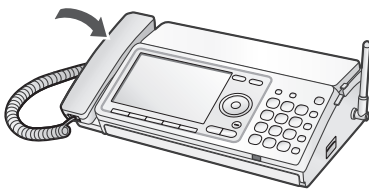
親機	ドアホン1	ピン ポン 
	ドアホン2	ピン ポン ピン ポン 
子機	ドアホン1	ピロピロピロピロ ピロピロピロピロ 
	ドアホン2	ピロピロ ピロピロ 

親機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら受話器を取る



2 通話が終わったら受話器を戻す



着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと

10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れます。

親機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。

- ① 電話の着信音が聞こえたら、受話器を戻す
ドアホン通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

親機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が「ピンポン」と聞こえたときは **1あ** を、「ピンポン ピンポン」と聞こえたときは **2か** を押す
- ② **1あ** または **2か** (または **キャッチ** 消去) を押しごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

親機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に内線 **保留** を押す
電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。
- ② 電話に戻るときは、もう一度 **内線** **保留** を押す
ドアホン通話は切れます。

親機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に受話器を戻す
内線通話は切れます。
- ② 受話器を取り上げる

子機でドアホンと話す

1 着信音が鳴ったら を押す





2 通話が終わったら を押す



子機でドアホン通話中に電話がかかってくると

ドアホン通話をやめて電話に出ることができます。


- ① 「ピピ」と聞こえたら、 を押す
ドアホン通話は切れます。
- ②  を押す

子機でドアホン通話中にもう一台のドアホンから呼び出しがあると

ドアホン通話中の通話をやめて、もう一台のドアホンとの通話ができます。

ドアホンの着信音が「ピロピロピロピロ」と聞こえたときは **1あ** を、

「ピロリロピロリロ」と聞こえたときは **2か** を押す


1あ または **2か** (または ) を押すごとに、2台のドアホンと交互に通話できます。

着信音が鳴ったあと、10秒以内に出ないと


10秒後に、もう一度ドアホンの着信音が鳴ります。そのままにしておくと、10秒後にドアホンは切れません。

子機で通話中にドアホンから呼び出しがあると

電話を保留にしてドアホンとの通話ができます。



- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に 内線/クリア  を押す

電話の相手の方には保留メロディが流れ、ドアホン通話になります。

- ② 電話に戻るときは、内線/クリア  を2回押す
ドアホン通話は切れます。

子機で内線通話中にドアホンから呼び出しがあると

内線通話をやめてドアホンとの通話ができます。

- ① ドアホンの着信音が聞こえたら、20秒以内に  を押す
内線通話は切れます。
- ②  を押す

お知らせ

- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホン通話の保留はできません。
- 留守録に設定していても、ドアホンからの録音はできません。
- ファクス送受信中は、ドアホンからの呼び出しがあっても子機の着信音は鳴りません（通話もできません）。また、親機の着信音は鳴りますが、受話器を取っても通話はできません。
- ドアホンの着信音が鳴ったあと、約20秒以内に応答しなかったときは、ドアホンと通話できません。
- ドアホン通話を親機や子機へ転送することはできません。
- ドアホンの着信音は、電話がかかってきたときの着信音の大きさと同じです。また「切」に設定されているときは、一番小さい大きさで鳴ります。
- 3者通話中は、ドアホンとの通話はできません。

キャッチホン／キャッチホン・ディスプレイ

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。

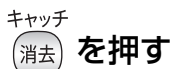
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

キャッチホンを利用する（親機）

1 通話中に着信音が聞こえたら を押す



2 もとの通話に戻るときはもう一度 を押す

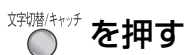


キャッチホンを利用する（子機）

1 通話中に着信音が聞こえたら を押す



2 もとの通話に戻るときはもう一度 を押す



キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは

キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☎243ページ）。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、必ず設定を「使用する」にしてください（はじめは、「使用しない」に設定されています）。電話を受けられないことがあります。また、ナンバー・ディスプレイが「使用する」になっていることを確認してください（☎189ページ）。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **7**ま **1**あ と順に押す
- ④ 使用する場合は **1**あ を、
使用しない場合は **2**か を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

お知らせ

- キャッチホンをご利用の際は、フックスイッチを押さずにキャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- 親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- 子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかっても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は働きません。
- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（☎188ページ）をご覧ください。

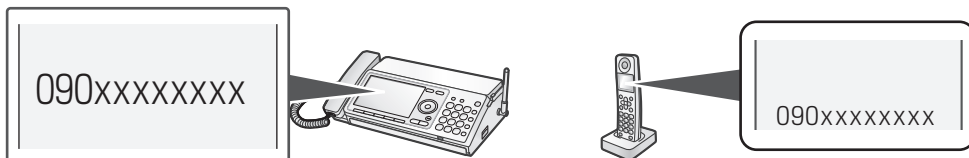
ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号を表示部に表示させるサービスです。ご利用には、NTTとのご契約が必要です（有料）。ナンバー・ディスプレイサービスを使うことで、本機の「誰からコール」や「着信鳴り分け」機能などをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイを契約すると…

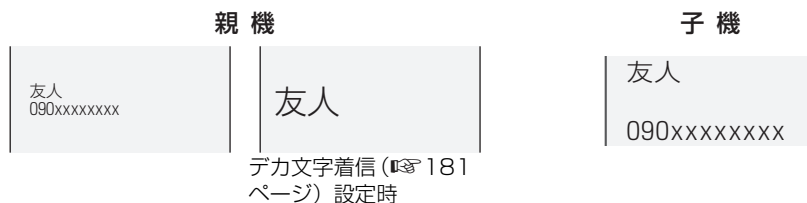
- 電話がかかってくると、相手の方の電話番号をディスプレイに表示します。



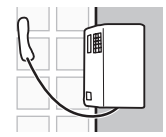

電話帳に登録している相手の方からの電話のときは、登録した名前と番号を表示します。

名前を表示させたいときは、親機と子機、それぞれの電話帳に登録してください（☎70～78ページ）。また、電話番号は、市外局番から登録してください。市外局番を省略すると、電話帳の名前が表示されないことがあります。

例) 親機と子機の両方に「友人」の名前で電話帳に登録した相手の方からの電話



- 相手の方の電話番号がわからないときは、以下のように表示します。

	親 機	子 機
非通知 相手の方が自分の電話番号を通知しないでかけてきた場合	非通知	-非通知-
公衆電話から 	公衆電話	-公衆電話-
表示圏外から 相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけてきた場合 (例：国際電話、船舶電話、新幹線電話、VoIP電話など)	表示圏外	-表示圏外-
情報が受信できない 	外線着信	(((着 信)))

ナンバー・ディスプレイを利用するには

<NTTをご利用の場合>

NTTと契約する（有料）

下記NTT窓口にお申し込みください。

本機の設定は、
必要ありません

お買いあげ時は [使用する] に設定
されています。

NTTの工事終了後に
サービスが利用できます

工事日数については、下記NTT窓口
にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関する
お問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの **116**（通話料金無料）

受付時間
午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

<NTT以外の電話会社をご利用の場合>

NTTのナンバー・ディスプレイ相当サービスの有無を各ご契約の電話会社にお問い合わせのうえ、お申し込みください。

ナンバー・ディスプレイの使用する／ 使用しないを設定するときは

お買いあげ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は
[使用する] になっています。

① **メニュー** を押す

② **#** を4回押す

③ **6** を押す

④ 使用する場合は **1^あ** を、

使用しない場合は **2^か** を押す

⑤ 停止 **⊞** を押す

・途中でやめるとき：停止 **⊞**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

■ 市外局番について

「090」「080」からの電話は、携帯電話からです。
「070」からの電話は、PHSからです。
「050」からの電話は、IP電話からです。

お知らせ

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを [使用しない] に設定してください。
- ISDN 回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプター（TA）をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定を [使用しない] にされていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、留守時応答回数（☎105ページ）を2回以上に設定してください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTT の他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN 回線のターミナルアダプターのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは [使用しない] に設定してください。

ナンバー・ディスプレイを活用する

本機では、ナンバー・ディスプレイサービスを使って、以下の機能をご利用できます。

着信記録



後から、相手の番号を確認できます (☎196 ~ 199 ページ)。

名前の表示

電話帳に登録している方から電話がかかってきたとき、登録している名前を表示します。

友人

迷惑電話お断り

登録した番号や、非通知の電話などを受けないように設定できます (☎204 ~ 205 ページ)。

相手側

この電話はお受けすることはできません…



着信鳴り分け

「電話帳に登録した相手」「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の着信音を鳴り分けできます (☎201 ~ 203 ページ)。



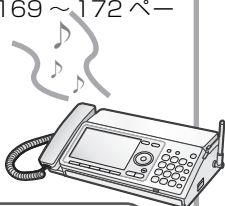
同時に使用できません

ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号を活用して…



選んで着信

登録した番号からの電話だけ受ける設定にすることができます (☎169 ~ 172 ページ)。



例：

「お母さんの携帯電話」を登録しておく、お母さんからの電話のときだけ、着信音が鳴ります。

誰からコール

相手の方の情報を、音声でお知らせできます (☎191 ~ 195 ページ)。

〇〇さんからです…



その他のサービス

キャッチホン・ディスプレイ (☎187 ページ) やネーム・ディスプレイ (☎207 ページ) のサービスを受けることができます。

キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイのご契約が必要になります (有料)。

着信を音声でお知らせする（誰からコール／誰あてコール／どこからコール）

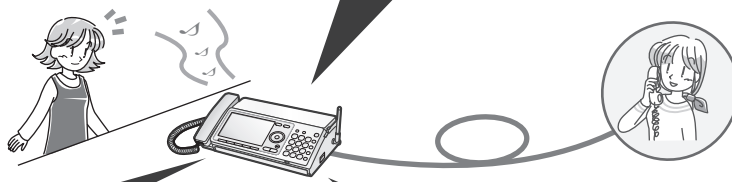
電話がかかってきたとき、相手の電話番号から自動的に判断し、親機の電話帳で登録した相手の名前や電話が誰からなのか／誰あてなのかや、どこからかかってきているのかなどの情報を、音声でお知らせします。最初は【使用する】に設定されています。

ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、お買いあげ時は「どこからコール」を使用する設定になっています（電話がかかってくると、地名や電話の種類をお知らせします）。【使用しない】にするときは、194ページをご覧ください。

誰からコール／誰あてコール

電話帳に登録している相手の方からの電話

	「読み」が発声できる	「読み」が発声できない
「誰あてコール」 を登録している (例：お姉さん)	「お姉さんあてに〇〇（登録している 名前）さんからです」 または 「お姉さんあてに〇〇からです」※1、※2、※3	「お姉さんあてにお電話です」※3
「誰あてコール」 を登録していない	「〇〇さんからです」 または 「〇〇からです」※1、※2	「お電話です」



どこからコール

電話帳に登録されていない相手の方からの電話

市外局番から都道府県 を判断できる電話	「△△（都道府県名） からです」※4
携帯電話	「携帯電話からです」
PHS	「PHSからです」

その他

自分の番号を通知して いない相手からの電話	「非通知です」
公衆電話	「公衆です」
番号通知できない地域 や回線からの電話	「圏外です」

音声お知らせなし

- ・ナンバー・ディスプレイを設定していないときの電話
- ・誰からコールを【使用しない】に設定しているときの電話
- ・電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、地域番号帯登録（☎194ページ）で【発声しない】に登録されている地域からの電話
- ・電話帳に登録されていない相手の方からの電話で、市外局番から地名を判断できない場所からかけている電話 ※4



- ※1 親機の電話帳に登録されている名前を音声でお知らせします。子機の電話帳にのみ登録されている名前はお知らせしません。
- ※2 「誰からコール」での発声のしかたは、おしゃべり電話帳と同じです。アクセントの位置を変更したいときは、76ページをご覧ください。
- ※3 「誰あてコール」でお知らせする名前は、相手の方の電話番号を親機に登録、修正するときに選んだ名前です。名前を変更したいときは、「誰あてコール設定」で変更してください（☎193ページ）。
- ※4 同じ市外局番で複数の都道府県にまたがっているときも、あらかじめ割り振られている電話番号であると認識すると正しい都道府県名を発声します。ただし、新しい市外局番が増えたときなど、正しい都道府県名を発声しない場合があります。地名の発声のしかたを変更したり、発声しないようにしたいときは、地域番号帯登録（☎194ページ）を変更してください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは

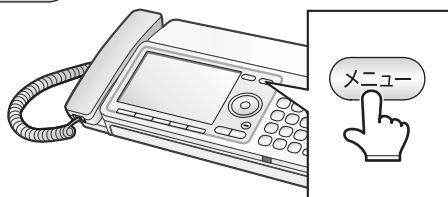
ご参考に

さくいん

誰からコールを使用する／使用しないを設定する

誰からコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は [使用する] に設定されています。

1 **メニュー** を押す



2 **2か** **2か** **1あ** と順に押す

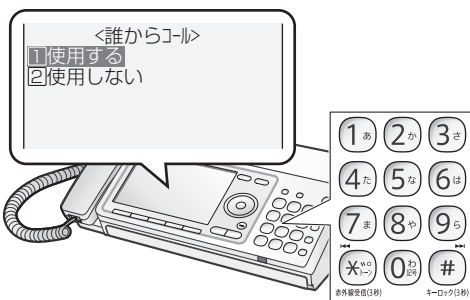


3 ○ [使用する] を選ぶときは

1あ を押す → **4** へ

○ [使用しない] を選ぶときは

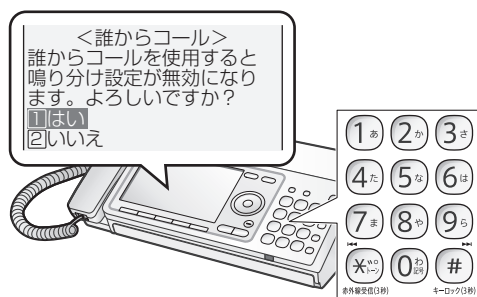
2か を押す → **5** へ



・誰からコールを解除すると、誰あてコール、どこからコールも解除されます。誰からコールのみを解除することはできません。どこからコールのみを解除する場合は、194ページをご覧ください。

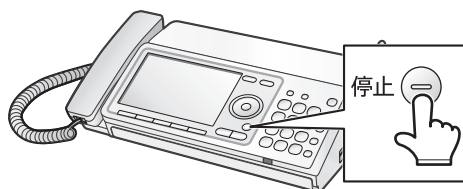
4 「着信鳴り分け」を設定しているときは、誰からコールは使用できません。着信鳴り分けを設定していると、下記の画面が表示されます。

[誰からコールを使用すると鳴り分け設定が無効になります。よろしいですか?] と表示されたら、**1あ** を押す（着信鳴り分けが解除されます）



表示されないときは、そのまま → **5** へ

5 停止 **＝** を押す



誰あてコールでお知らせする名前を登録するときは（誰あてコール設定）

誰あてコールでお知らせする名前を9つまで登録できます。最初は①～⑥の6つはすでに登録されています（変更することもできます）。⑦～⑨に追加で登録できます。

工場出荷時に登録されている誰あてコールの名前	
①	オトウサン
②	オカアサン
③	オニイサン
④	オネエサン
⑤	オジイサン
⑥	オバアサン
⑦	(空白)
⑧	(空白)
⑨	(空白)

- ① を押す
- ② と順に押す
- ③ で名前を登録する場所を選ぶ
- ④ を押す
- ⑤ ダイヤルボタンで名前を入力する
（最大半角20文字）
- ⑥ を押す
- ⑦ 停止 を押す

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき： または

・名前を変更したいときは手順3で変更したい名前を選び、新しい名前を入力してください。

・登録している名前を変更すると、その名前で誰あてコールを登録しているすべての電話帳の発声が変更されます。

誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは

- ① を押す
- ② と順に押す
- ③ でアクセントを変えたい名前を選ぶ
- ④ を押す
- ⑤ 名前を発声してから3分以内に、 ～ 、
 でアクセントを調整する
- ⑥ 停止 を押す

・1文字目にアクセントを付けたいときは 、2文字目に付けたいときは を押します。

・ を押すと、アクセントが自動的に設定されます。

・ を押すと、平坦なアクセントになります。

・途中でやめるとき：停止

・1つ前に戻るとき：

誰あてコールを使用するには

電話帳の登録、または修正時に、音声でお知らせする名前を選んでください（☎71ページ）。

また、誰からコールを [使用する] に設定してください（☎192ページ）。

- 誰あてコールを鳴らさないように設定するには登録されている電話帳を個別に修正して、誰あての着信が選ぶ画面で [特定しない] に設定してください（☎71ページ）。一括ですべて鳴らさないように設定することはできません。

どこからコールを使用する／使用しないを設定する

どこからコールを使用する／使用しないの設定ができます。最初は「使用する」に設定されています。

どこからコールを使用するときは、誰からコールを「使用する」に設定しておいてください（☎ 192ページ）。

- ① **メニュー** を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3** さ **6** は **1** あ と順に押す
 - ④ 「使用する」を選ぶときは **1** あ を押す
「使用しない」を選ぶときは **2** か を押す
 - ⑤ 停止 **⏹** を押す
- ・途中でやめるとき：停止 **⏹**
- ・1つ前に戻るとき：**戻る**

どこからコールで発声する地名や発声のしかたを市外局番ごとに変更する（地域番号帯登録）

どこからコールで発声する地名を、市外局番ごとに変更することができます。市外局番と地名が合っていないときなどに変更してください。また、「携帯電話」、「PHS」や「発声しない」に設定することもできます。登録できる番号は、最大30件です。

- ① **メニュー** を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3** さ **6** は **2** か と順に押す
 - ④ **新規登録** を押す
 - ⑤ 発声のしかたを変更したい市外局番をダイヤルボタンで入力する
 - ⑥ **決定** を押す
 - ⑦ **○** で発声のしかたを下から選ぶ
[00：発声しない] [1～47：47都道府県名]
[48：携帯電話] [49：PHS]
 - ⑧ **決定** を押す
 - ⑨ 停止 **⏹** を押す
- ・途中でやめるとき：停止 **⏹**
- ・1つ前に戻るとき：**戻る**

登録した地域番号を消去する

- ① **メニュー** を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3** **6** **2** と順に押す
 - ④ **○** で消去したい地域番号を選ぶ
 - ⑤ **消去** を2回押す
 - ⑥ 停止 **⊖** を押す
- ・途中でやめるとき： 停止 **⊖**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る**

登録した地域番号を確認する

- ① **メニュー** を押す
 - ② **#** を4回押す
 - ③ **3** **6** **2** と順に押す
 - ④ **○** で確認する
 - ⑤ 停止 **⊖** を押す
- ・途中でやめるとき： 停止 **⊖**
- ・1つ前に戻るとき： **戻る**

■ 登録した地域番号を修正するには
消去してから、登録し直してください。

お知らせ

- 誰からコールと誰あてコールでは、電話帳の「読み」にアルファベット、数字、記号を使っていると、途中でしか発声しないことがあります。
- 発声の確かめかた
誰からコールの場合：「親機の電話帳でかける」（☎ 83ページ）の手順1～2の操作をして確かめてください。
誰あてコールの場合：「誰あてコールでお知らせする名前のアクセントを変更するときは」（☎ 193ページ）の手順1～4の操作をして確かめてください。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールの音声は、音声合成システムで作ったものです。人の声と比べると、発音やイントネーションが不自然なことがあります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信音の種類を変更していても、固定の着信音が鳴ります。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、着信鳴り分けは使用できません。
- 誰からコール、誰あてコール、どこからコールを使用しているときは、ダイヤルイン鳴り分けは使用できません。ただし、次のときは、ダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。
・ナンバー・ディスプレイを設定していないとき
・誰からコール、誰あてコールの場合は、電話帳に登録されていない相手の方からの電話
- 内線通話中やドアホン通話中での電話や、キャッチホンでは、誰からコール、誰あてコール、どこからコールは動きません。
- コピー中は誰からコール、誰あてコール、どこからコールは動きません（通常の着信音が鳴ります）。コピーが終了すると、誰からコールが動きます。
- どこからコールで地域番号帯を登録すると、指定した市外局番から始まる電話番号からの電話は都道府県名を発声しない設定にすることもできますので、自宅の市外局番等を登録しておけば、近所の方からの電話は都道府県名を発声しなくなります。

着信記録（着信履歴）を見る

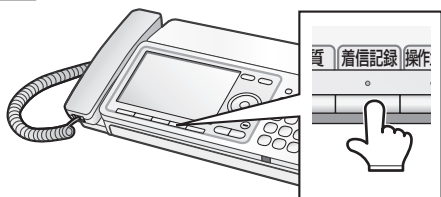
ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録として保存された番号を確認することができます。

保存できる着信記録は最大20件までです。20件を超えると、古い着信記録から消去されます。

親機の着信記録を見る

1 **着信記録** を押す



3 確認が終わったら **停止** (停止) を押す



2 **決定** で確認したい番号を選ぶ



表示切替 を押すと、1件表示、一覧表示（文字大きい）、一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。

一覧表示（文字大きい）	
<着信記録>	1/3件
9/ 8 15:15	友人
9/ 8 10:26	03xxxxxxxxx
9/ 7 9:17	03xxxxxxxxx

一覧表示（文字小さい）	
<着信記録>	1/3件
9/ 8 15:15	友人
9/ 8 10:26	03xxxxxxxxx
9/ 7 9:17	03xxxxxxxxx

変更した表示方法は記憶され、次に着信記録を見るときも同じ表示になります。

- ・途中でやめるとき：停止 (停止)
- ・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

親機の着信記録を消すときは

1件だけ消す：

- 1 **着信記録** を押す
- 2 **決定** で消去したい番号を選ぶ
- 3 **消去** を押す
- 4 **決定** で [消去する] を選ぶ
- 5 **決定** を押す
- 6 停止 (停止) を押す

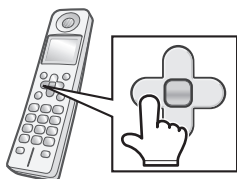
すべて消す：


- 1 **メニュー** を押す
- 2 **決定** で [各種全消去] を選ぶ
- 3 **決定** を押し、**決定** で [着信記録] を選ぶ
- 4 **決定** を押し、**決定** で [消去する] を選ぶ
- 5 **決定** を押す

- 親機の着信記録を使って電話をかけるには (☎ 198ページ)
- 親機の着信記録を電話帳に登録するには (☎ 74ページ)
- 親機の着信記録のリストを印刷するには (☎ 136ページ)

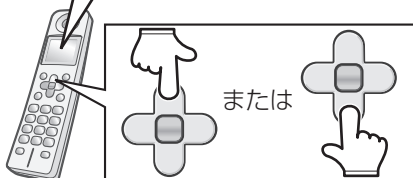
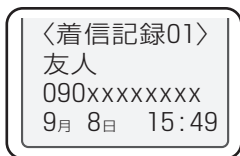
子機の着信記録を見る

1 を2回押す



・再ダイヤルのデータがないときは  を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

2 または で確認したい番号を選ぶ








3 確認が終わったら を押す



- ・途中でやめるとき: 
- ・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

子機の着信記録を消すときは





1件だけ消す:

- ①  を2回押す
- ②  または  で消去したい番号を選ぶ
- ③  を押し、 で [1件消去] を選ぶ

特番ダイヤル
電話帳へ登録
▶1件消去

- ④  を2回押す

すべて消す:

- ①  を押す
- ②  で [全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [着信記録] を選ぶ

電池残量
システム設定
▶全消去

再ダイヤル
▶着信記録
電話帳

- ④  を2回押す

■ 子機の着信記録を使って電話をかけるには (☎ 199ページ)

■ 子機の着信記録を電話帳に登録するには (☎ 79ページ)

お知らせ

- 着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
- 電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
- 親機では、[非通知お断り] [公衆電話お断り] [表示圏外お断り] [お断り番号] を設定している場合も、着信記録が表示されます。子機では表示されません。
- 親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。
- ダイヤルインサービスで子機専用の番号を作った場合、着信音が鳴るのは子機のみですが、着信記録は親機にも残ります。

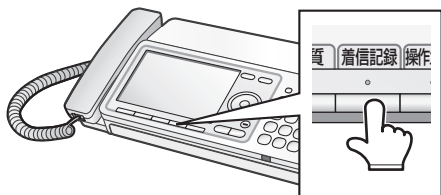
着信記録（着信履歴）を使って電話をかける

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。

親機で着信記録を使って電話をかける

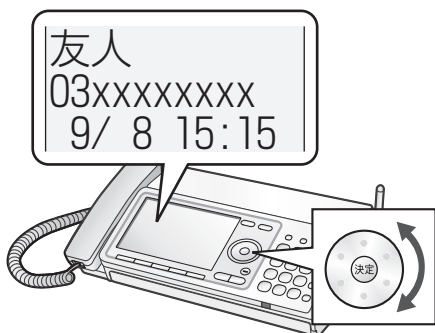
1 着信記録 を押す



4 通話が終わったら受話器を戻す



2 番号を選ぶ



・表示切替 を押すと、1件表示、一覧表示（文字大きい）と一覧表示（文字小さい）が順に切り替わります。

・変更した表示方法は記憶され、次に着信記録を見るときも同じ表示になります。

・途中でやめるとき：停止

・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

親機で着信記録を使ってファクスを送るときは

- ① 原稿をセットする
(☎ 108ページ 手順 1 ~ 4)
- ② 着信記録 を押す
- ③ 番号を選ぶ でファクスを送りたい番号を選ぶ
- ④ FAX スタート を押す
- ⑤ 相手の方につながったら、送信が始まる

・「通信エラーがありました」と聞こえたら (☎ 234ページ)

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

3 受話器を取る

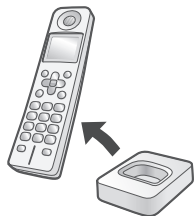


■ 親機の着信記録を電話帳に登録するときは (☎ 74ページ)

■ 親機の着信記録を消去するときは (☎ 196ページ)

子機で着信記録を使って電話をかける

1 子機を充電器から取る

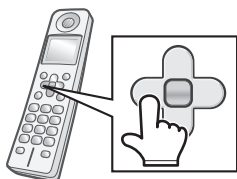



4 を押す

通話



2 を2回押す



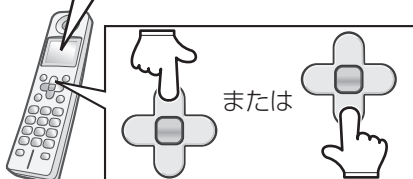
・再ダイヤルのデータがないときは  を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

5 通話が終わったら を押す

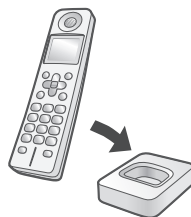


3 または で番号を選ぶ

〈着信記録01〉
友人
090xxxxxxxx
9月 8日 15:49



6 充電器に戻す



- ・途中でやめるとき:  切
- ・相手の方の番号は20ケタまで記録されています。

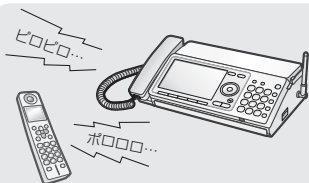
着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。

親機、子機が別々に「電話帳に登録している方」、「非通知」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 ㊦ 188ページ）、「公衆電話」、「表示圏外」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 ㊦ 188ページ）の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。はじめは、親機・子機とも設定されていません。

着信鳴り分けは、「誰からコール」、「誰あてコール」、「どこからコール」（㊦ 191～195ページ）との併用はできません。

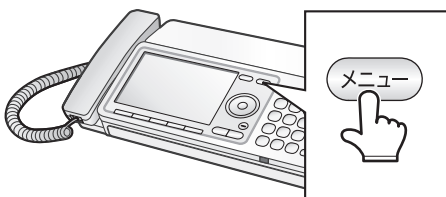


着信鳴り分けを設定したとき

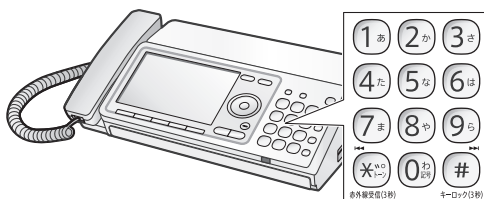
着信鳴り分けを設定すると、着信の種類に合わせて下記の操作で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、あらかじめ設定した着信音（㊦ 42、46ページ）、またはダイヤルイン鳴り分けで設定した着信音（㊦ 166～168ページ）が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

1 **メニュー** を押す



2 **2か** **3さ** と順に押す

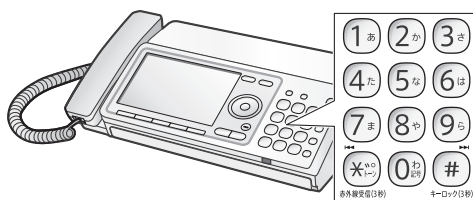


3 1: [電話帳]を選ぶときは **1あ** を押す

2: [非通知]を選ぶときは **2か** を押す

3: [公衆電話]を選ぶときは **3さ** を押す

4: [表示圏外]を選ぶときは **4た** を押す



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

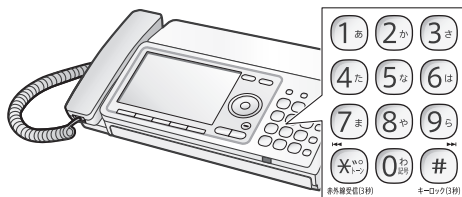
ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

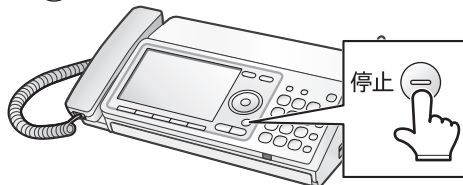
さくいん

4 1^あ ~ 9^ら、0^わで、着信音を選ぶ



- ・鳴り分け用として設定できる着信音は、「親機の着信音の種類を変える」（ 42 ページ）で設定できるものと同じです。
- ・着信鳴り分けを解除するときは 0^わ を押してください。

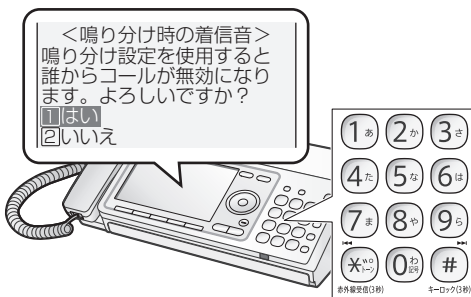
6 停止 を押す



- ・途中でやめるとき：停止
- ・1つ前に戻るとき： 戻る

5 「誰からコール」を設定しているときは、着信鳴り分けは使用できません。誰からコールを設定していると、下記の画面が表示されます。

[鳴り分け設定を使用すると誰からコールが無効になります。よろしいですか?] と表示されたら、1^あ を押す（誰からコールが解除されます）

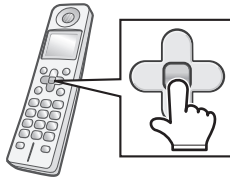


表示されないときは、そのまま→**6**へ

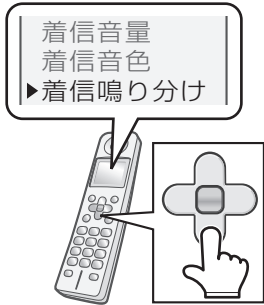
子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

親機で「誰からコール」（☎ 191～195ページ）を設定しているときは、着信鳴り分けは働きません。ご使用になりたいときは、親機の操作で「誰からコール」を「使用しない」に設定してください（☎ 192ページ）。

1 を押す

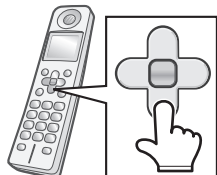


2 で [着信鳴り分け] を選ぶ



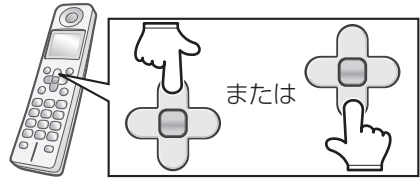
3 を押し、 で 着信音を設定する着信の種類を選ぶ



- [電話帳]
- [非通知]
- [公衆電話]
- [表示圏外]



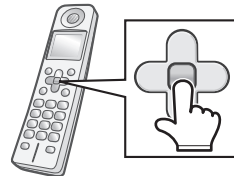
・[ダイヤルイン] については、167～168ページをご覧ください。


4 を押し、 または で 着信音を聞きながら選ぶ



- ・鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」（☎ 46ページ）で設定できるものと同じです。
- ・着信鳴り分けを解除するときは、「ピピッ」と鳴るまで  または  で選んでください。

5 を押す



・途中でやめるとき： 切

● お知らせ

- かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。
- ダイヤルイン鳴り分け（☎ 166～168ページ）と同時に設定した場合、電話帳鳴り分け、非通知鳴り分け、公衆電話鳴り分け、表示圏外鳴り分けが優先されます。ただし、FAX専用番号の着信音はダイヤルイン鳴り分けが優先されます。

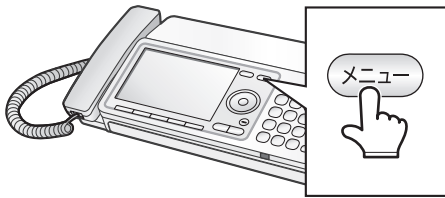
非通知・公衆電話・表示圏外からの着信を拒否する（着信お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

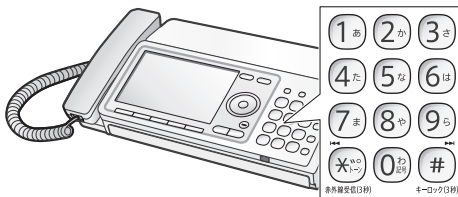
「非通知の電話」（電話番号を通知せずにかけてきた電話 188ページ）「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」（電話番号を通知できない地域や回線からかけてきた電話 188ページ）に対して着信音を鳴らさず、お断りのメッセージを流すことができます。
お買い求め時は設定されていません。

非通知／公衆電話／表示圏外お断り

1 **メニュー** を押す



2 **5** を押したあと、



1: [非通知お断り]を選ぶときは、

1 **あ** を押す

2: [公衆電話お断り]を選ぶときは、

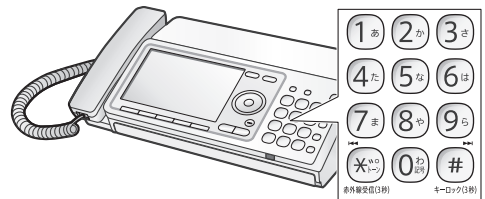
2 **か** を押す

3: [表示圏外お断り]を選ぶときは、

3 **さ** を押す

3 ○ [なし]を選ぶときは **1** **あ** を押す

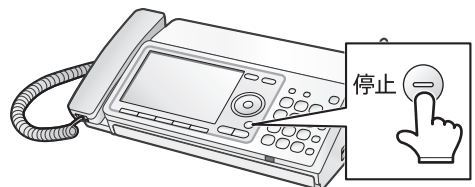
○ [お断り]を選ぶときは **2** **か** を押す



・[非通知お断り] に設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186を付けてダイヤルするなど、電話番号を通知しておかけ直してください」と3回流れて電話が切れます。

・[公衆電話お断り]、[表示圏外お断り]に設定すると、公衆電話または表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

4 停止 **⏻** を押す



・設定すると、ディスプレイに **お断り** と表示されます。

お知らせ

- お断りの設定をしたときは、緊急の要件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音は鳴りません（親機のディスプレイが点灯します）。

・途中でやめるとき： 停止 **⏻**

・1つ前に戻るとき： **戻る**

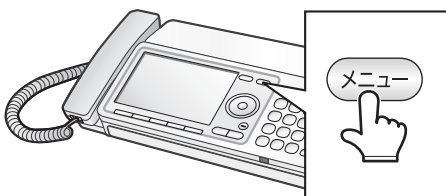
特定の番号からの着信を拒否する（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

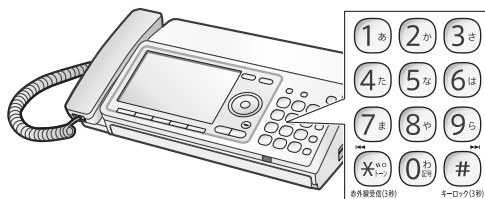
電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。登録した相手先から電話がかかってくると、着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

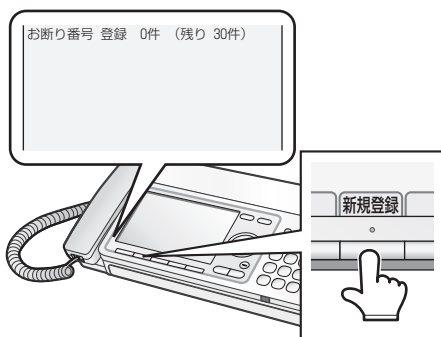
1 **メニュー** を押す



2 **5** **4** と順番に押す



3 **新規登録** を押す



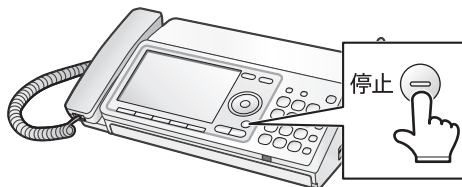
4 **ダイヤルボタン**で電話番号を入力する（最大20ケタ）





5 **決定** を押す



6 **停止** を押す



- ・設定すると、ディスプレイに  お断り と表示されます。
- ・お断り番号を登録すると、登録した相手の方からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

・途中でやめるとき： **停止** 

・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能







ナンバー・ディスプレイ

ごまっただときは








ご参考に

さくいん

登録したお断り番号を1件ずつ消すときは

- ①  を押す
- ②   と順に押す
- ③  で消去したい番号を選ぶ
- ④  を2回押す
- ⑤ 停止  を押す

登録したお断り番号をすべて消すときは

- ①  を押す
- ②  で [各種全消去] を選ぶ
- ③  を押し、 で [お断り番号] を選ぶ
- ④  を押し、 で [消去する] を選ぶ
- ⑤  を押す

■ 登録したお断り番号のリストを印刷するときは
(☎ 136ページ)

お知らせ

- お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。


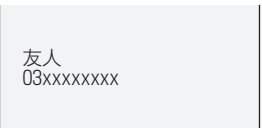
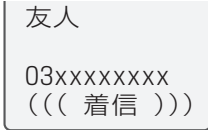
ネーム・ディスプレイを利用する

ネーム・ディスプレイとは、電話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させるサービスです（かけてきた方が番号通知・発信者名通知を選択している場合のみ）。

このサービスを利用するには、ネーム・ディスプレイの利用契約（有料）の他にナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。詳しくは局番なしの116にお問い合わせください。サービスを契約したあとは、「ナンバー・ディスプレイ」の設定が「使用する」になっていることを確認してください（☎189ページ）。

ひかり電話などをご利用のときは、このサービスはご使用になれません。

電話がかかってきたときのディスプレイ表示

親機の表示		子機の表示
デカ文字着信（☎181ページ）が[使用する]のとき 	デカ文字着信（☎181ページ）が[使用しない]のとき 	
電話帳に登録していなくても、かけてきた相手の方の名前（または会社名）と番号を表示します。		

- 本機の電話帳に登録している電話番号からかかってきたときはかかってきた電話番号が、親機または子機の電話帳に登録している番号と一致したときは、それぞれで登録している名前を表示します（かけてきた方が発信者名を通知していなくても、番号を通知していれば表示します）。電話帳に登録していない方のときは、親機では受信した発信者名（と番号）を表示し、子機では発信者名と番号を表示します。

お知らせ

- ネーム・ディスプレイでは、相手の方の名前または会社名を全角10ケタまで記録・表示します。
- 携帯電話・PHS・国際電話・公衆電話からの着信時、発信者名は表示されません。
- 本商品で表示できる漢字（JIS 第1水準およびJIS 第2水準）以外の漢字コードを受信した場合は、ディスプレイ上に「※」を表示します。
- キャッチホン・ディスプレイ（☎187ページ）を利用されているときは、通話中にかかってきた相手の方の名前を表示します。

こまったときは

電話 でこまった!

- かけられない (☎ 210ページ)
- 話しているとき、相手の方の声が聞こえにくい (☎ 214ページ)
- 着信音が鳴らない (☎ 213ページ)



ファクス でこまった!

- 送れない (☎ 212ページ)
- 受けられない (☎ 213ページ)



コピーや印刷 でこまった!

- 印刷できない (☎ 215ページ)
- 印刷した画像が汚い (☎ 216ページ)
- 記録紙に白や黒の線が入るときは (☎ 227ページ)
- 原稿や記録紙がつまったときは (☎ 230ページ)
- インクリボンがなくなったときは (☎ 36ページ)



子機 でこまった!

- 使えない (☎ 217ページ)



留守番電話でこまった!

- 留守モードが正しく働かない (☞ 218ページ)



ナンバー・ディスプレイでこまった!

- 使えない (☞ 222ページ)



SDカードでこまった!

- 使えない (☞ 220ページ)



赤外線受信でこまった!

- 使えない (☞ 219ページ)



エラー表示でこまった!

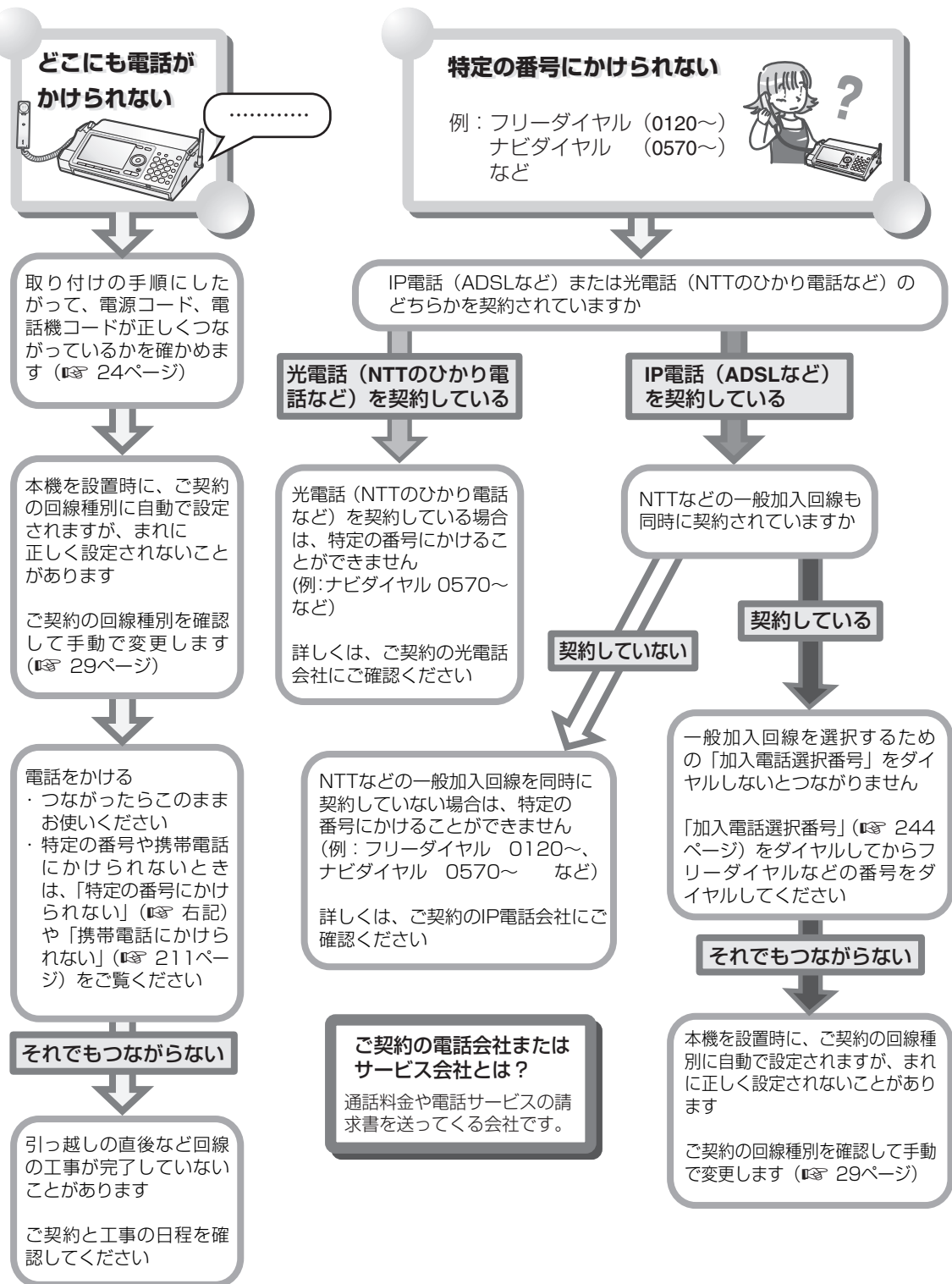
- エラー表示やエラー音が出たときは (☞ 233ページ)

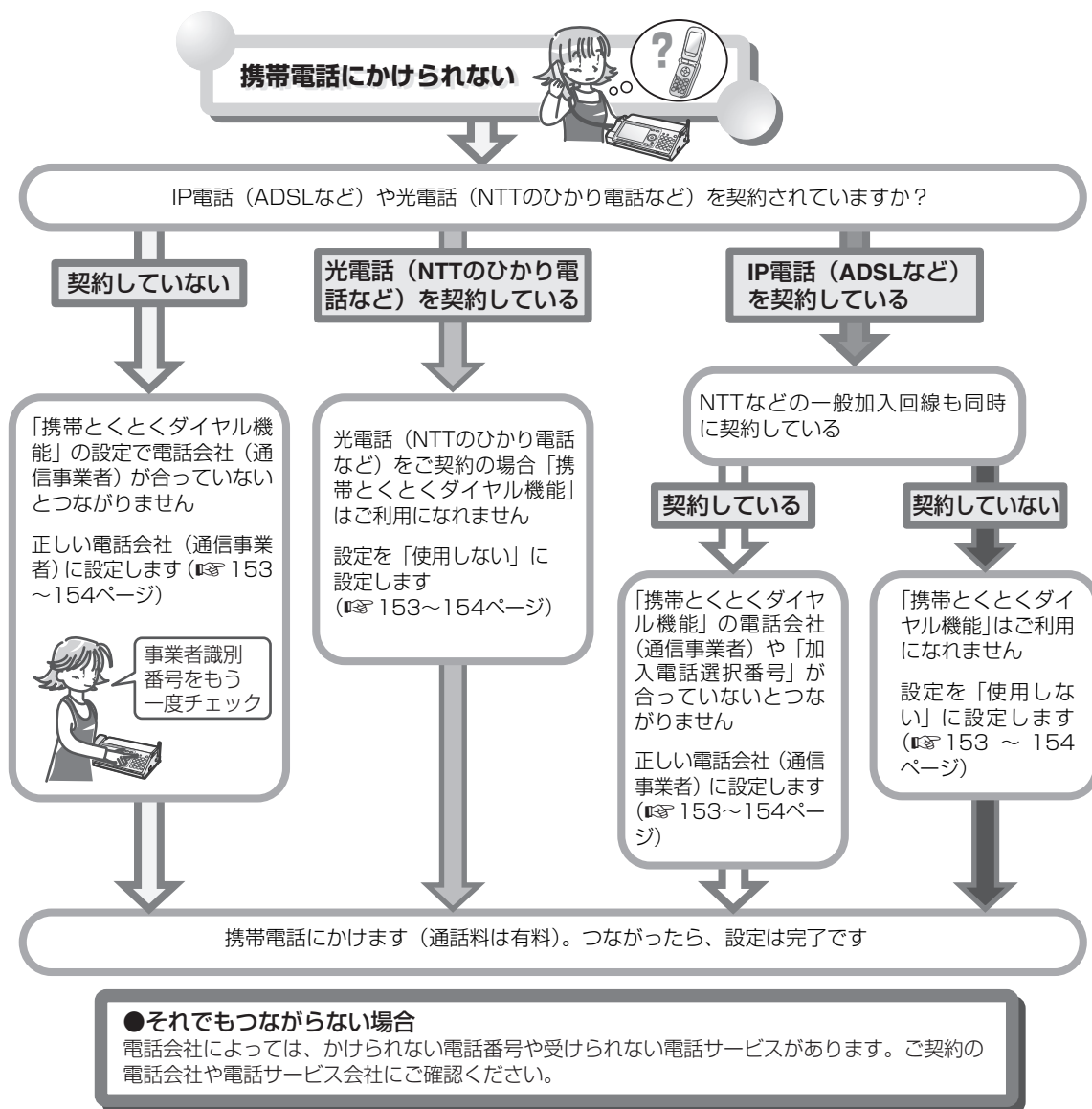


その他の機能でこまった!

- ADSLやひかり電話などをご利用の方へ (☞ 224ページ)
- 停電になったときは (☞ 226ページ)
- その他 こまったときは (☞ 225ページ)
(キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイなど)

電話がかかけられない





■ 回線種別とは…

回線の種類のことです。ダイヤル回線とプッシュ回線があります。本機の設定がご契約の回線と合っていない場合、電話がかけられないことがあります。

■ 回線種別の自動設定について

本機では、電話機コードを回線につなぐと、回線種別が自動的に設定されます。ただし、ご使用の状況によっては正しく設定されないことがあります。電話がかけられない場合は、ご契約内容を確認し、設定が合っていない場合は手動で変更してください（☎ 29ページ）。

■ IP電話とは

IP電話では、インターネットの技術によって通信します。IPとは、internet protocol（インターネットプロトコル）の略です。従来とは異なる仕組みで通信するため、回線種別設定に関係なくつながります。

ただし、フリーダイヤル（0120）などの番号にかけるときはNTTの一般加入電話回線を使うため、回線種別設定がご契約の種別と合わないとながりません（NTTのひかり電話を除く）。フリーダイヤルの他にも、一部の電話番号にかけられない場合があります。かけられない電話番号は、ご契約のIP電話会社にご確認ください。

ファクスを送れない

ファクスを送れない



まず、ここを確認してください

- 原稿は正しくセットされていますか？
☎ 108ページ
- 相手の方が非通知着信を拒否に設定していませんか？
⇒ 相手の方の番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください

それでもファクスを送れないときは

- 相手の方のファクスが記録紙切れなどで受信できる状態になっていないかもしれません
⇒ 相手の方に確認してください

ファクス送信

ファクスを送ったが…



相手の方の記録紙に
印刷されない



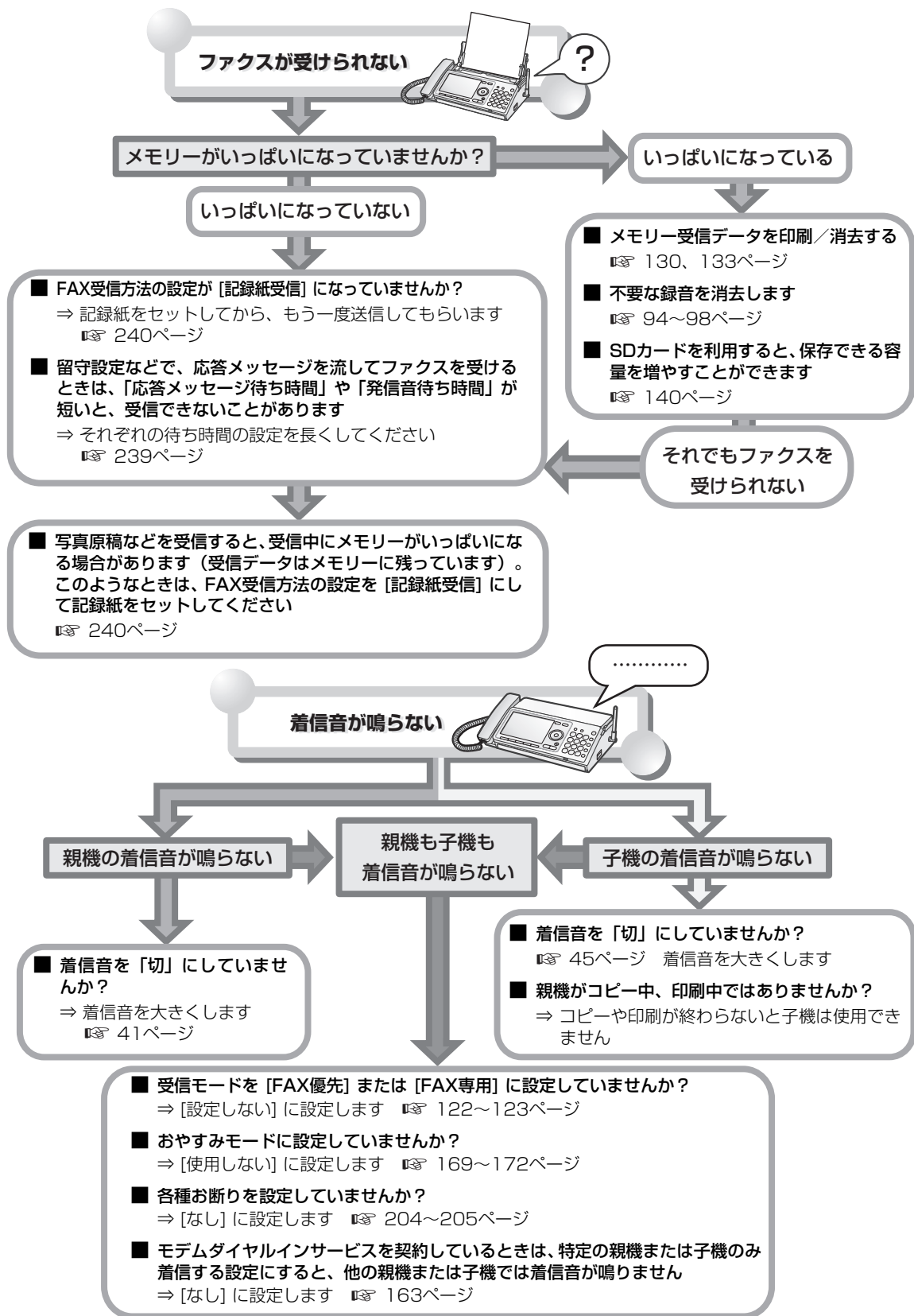
- 原稿は正しくセットされていますか？
⇒ 送る面を裏向きにセットします
☎ 108ページ

相手の方に届いた
画像が悪い

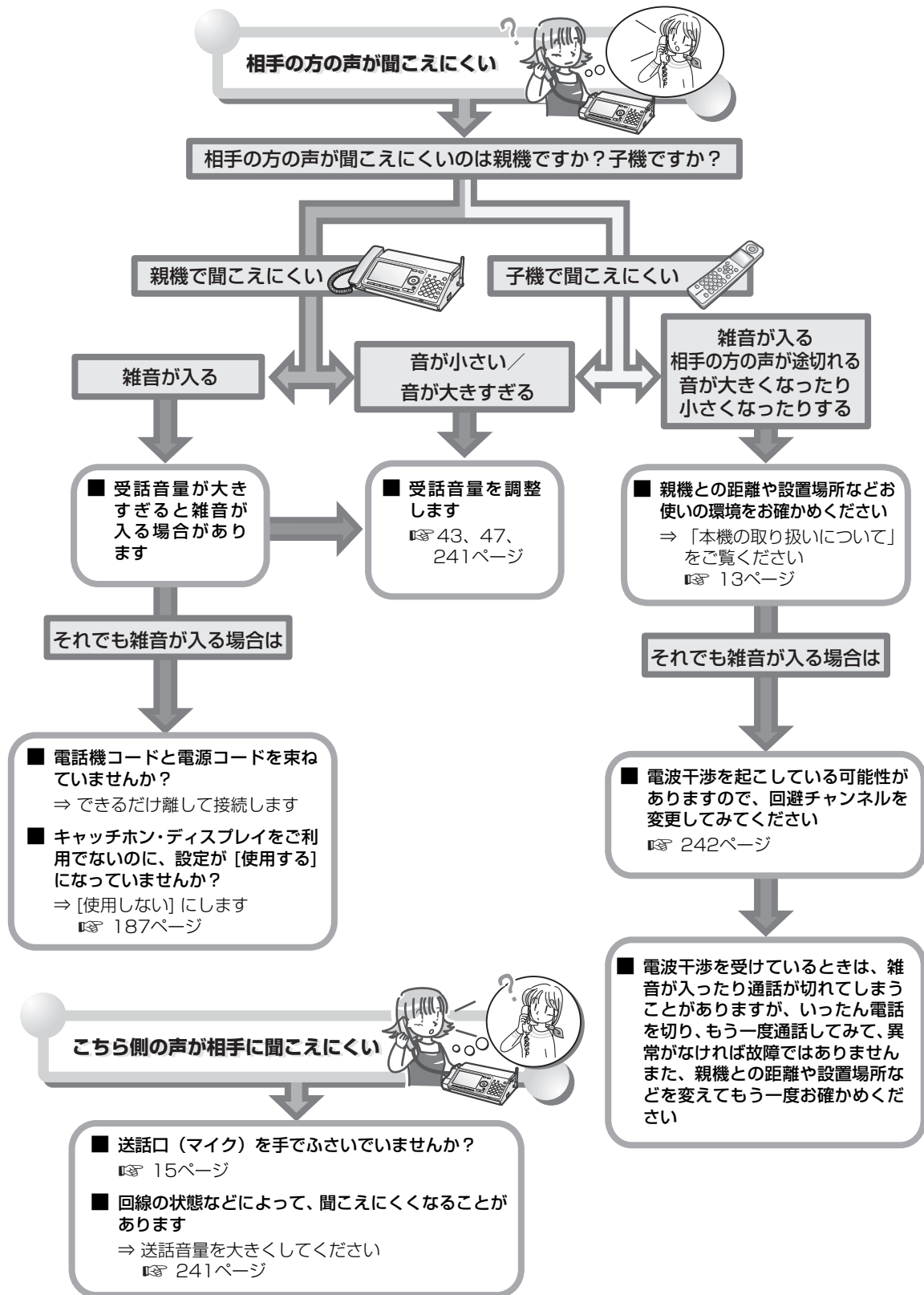


- 原稿送りローラーや読み取り部（ガラス）
が汚れていませんか？
汚れをふき取ります
☎ 227～228ページ

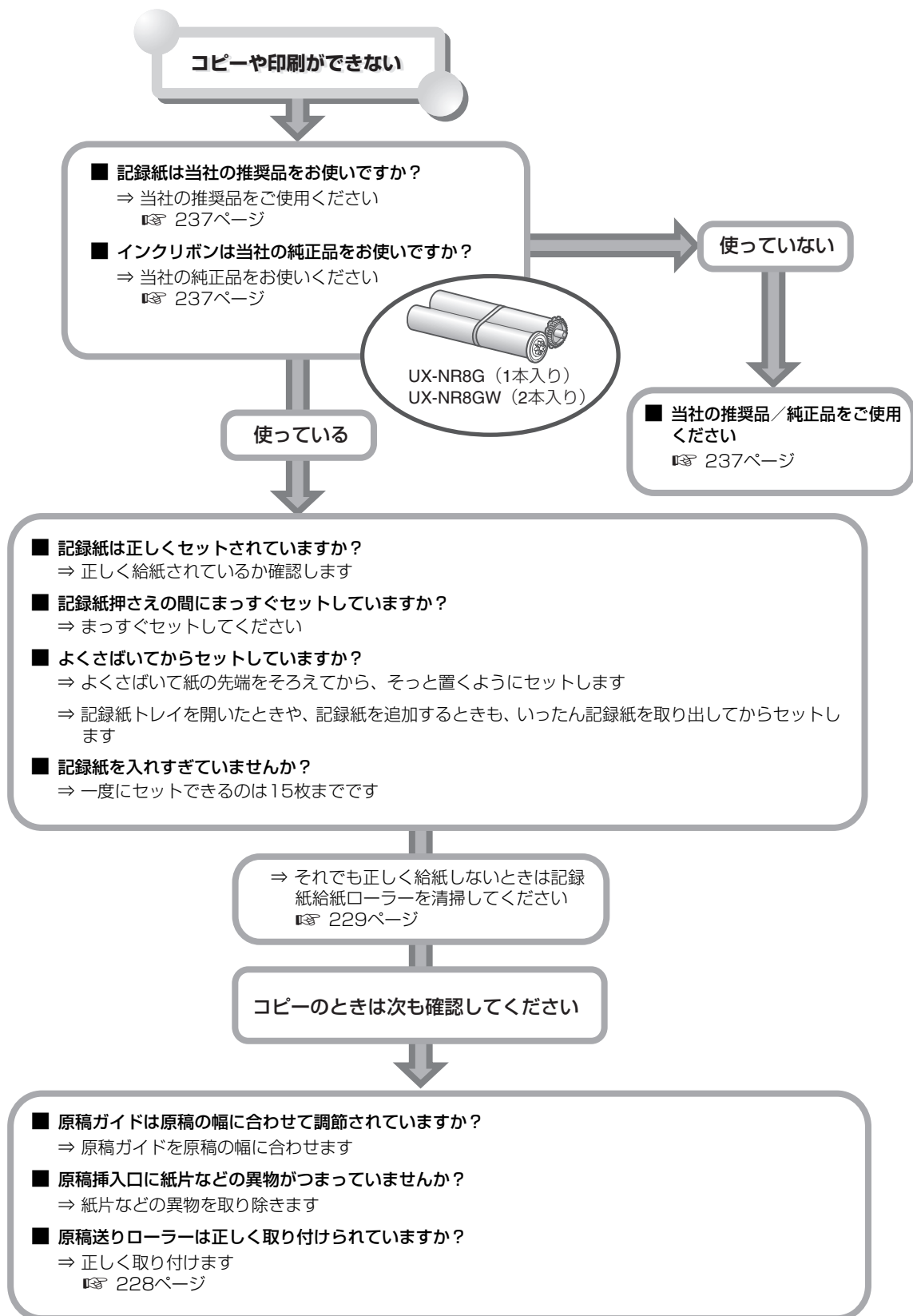
ファクスを受けられない / 着信音が鳴らない



相手の声が聞こえにくい



コピーや印刷ができない



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

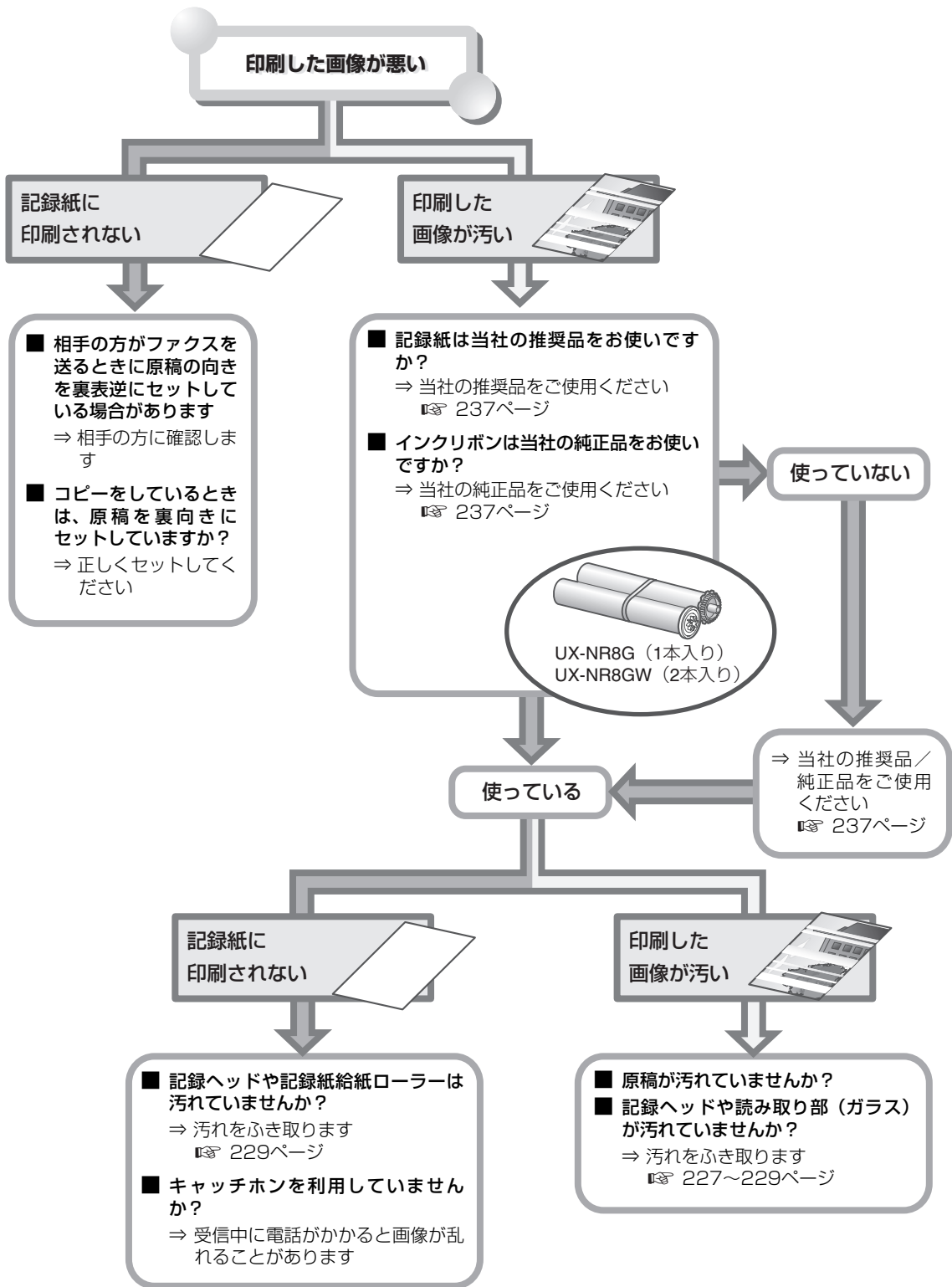
ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

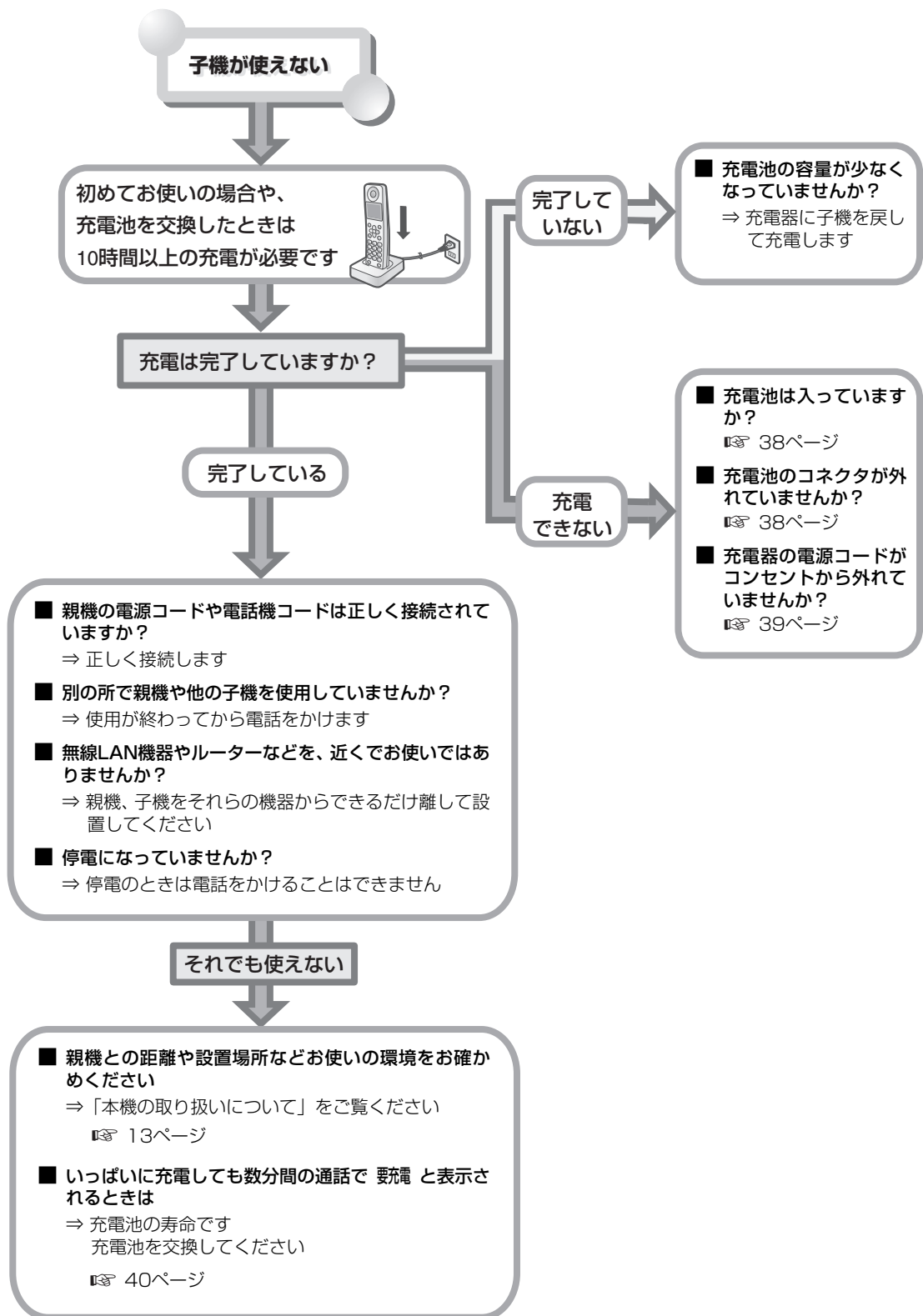
ご参考に

さくいん

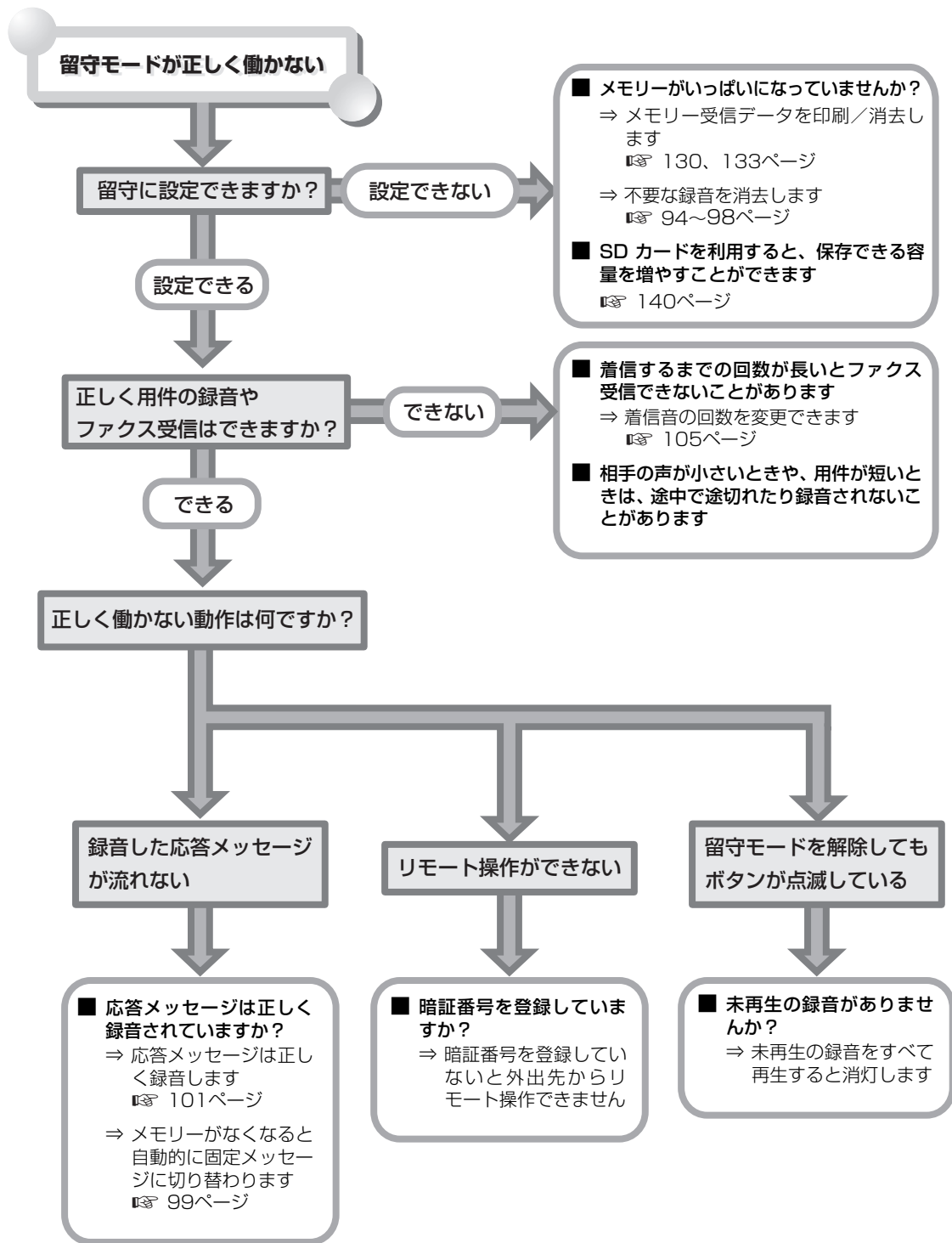
印刷した画像が汚い



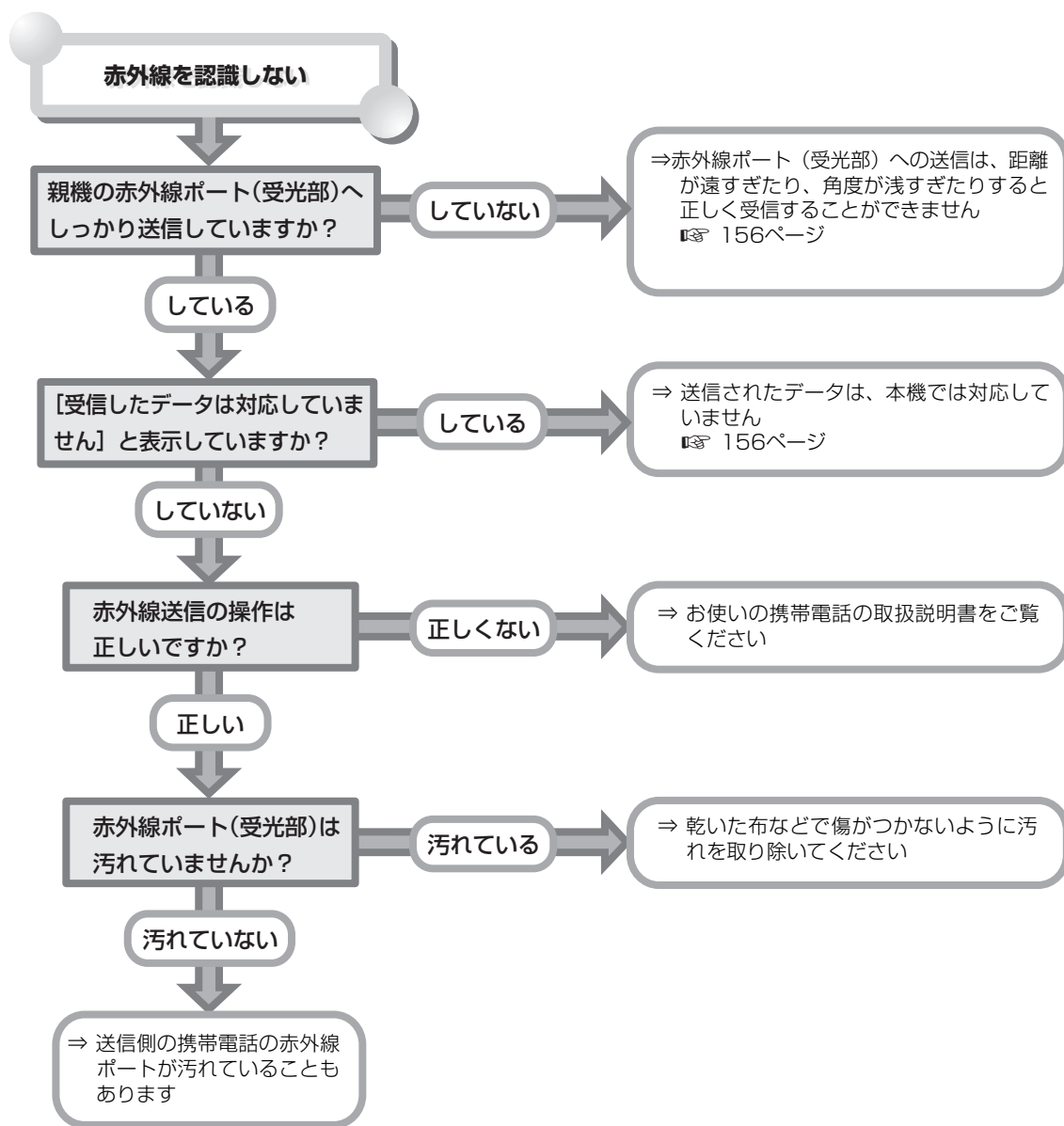
子機が使えない



留守モードが正しく働かない



赤外線受信ができない



もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

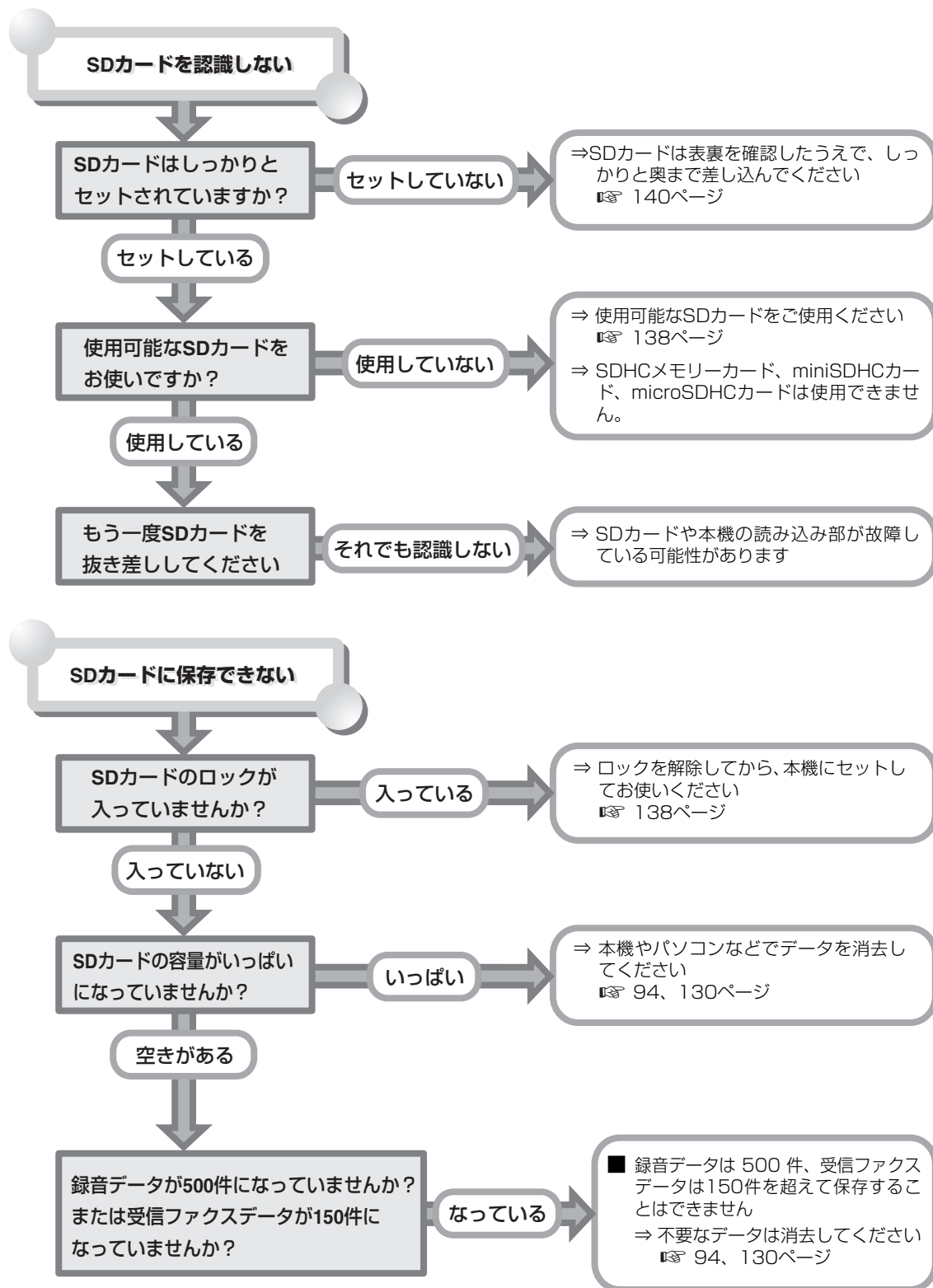
ナンバーディスプレイ

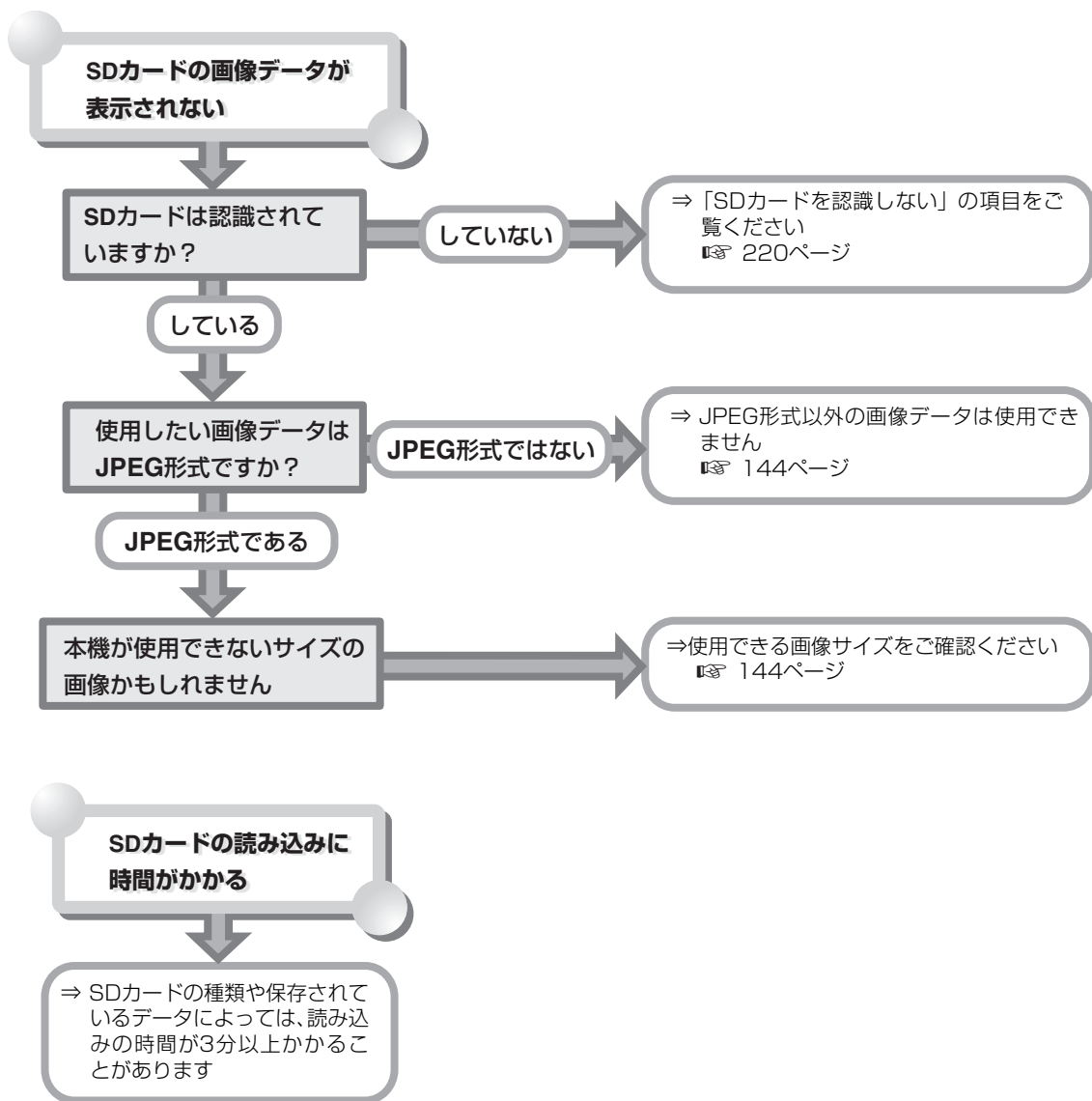
ごまっただときは

ご参考に

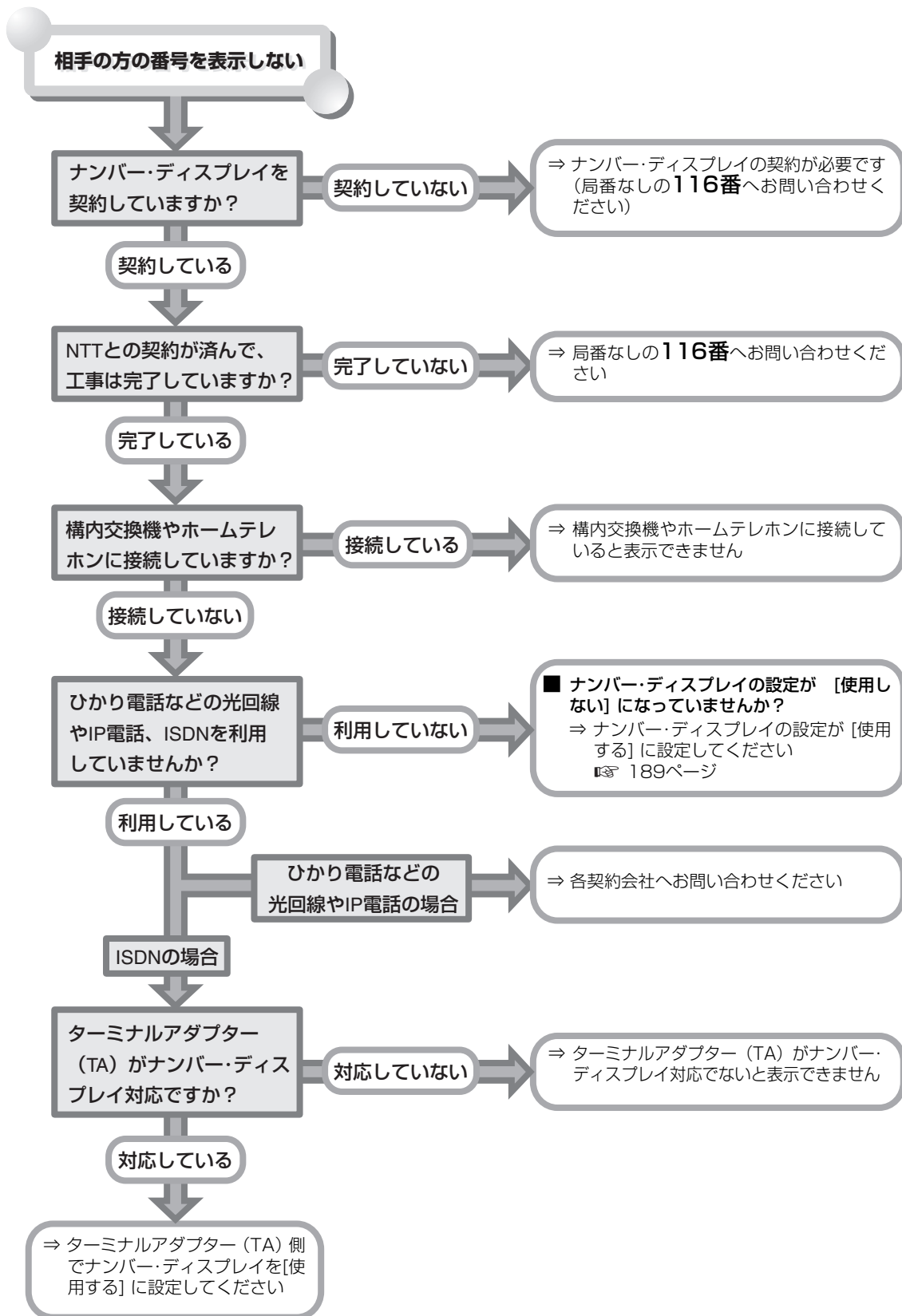
さくいん

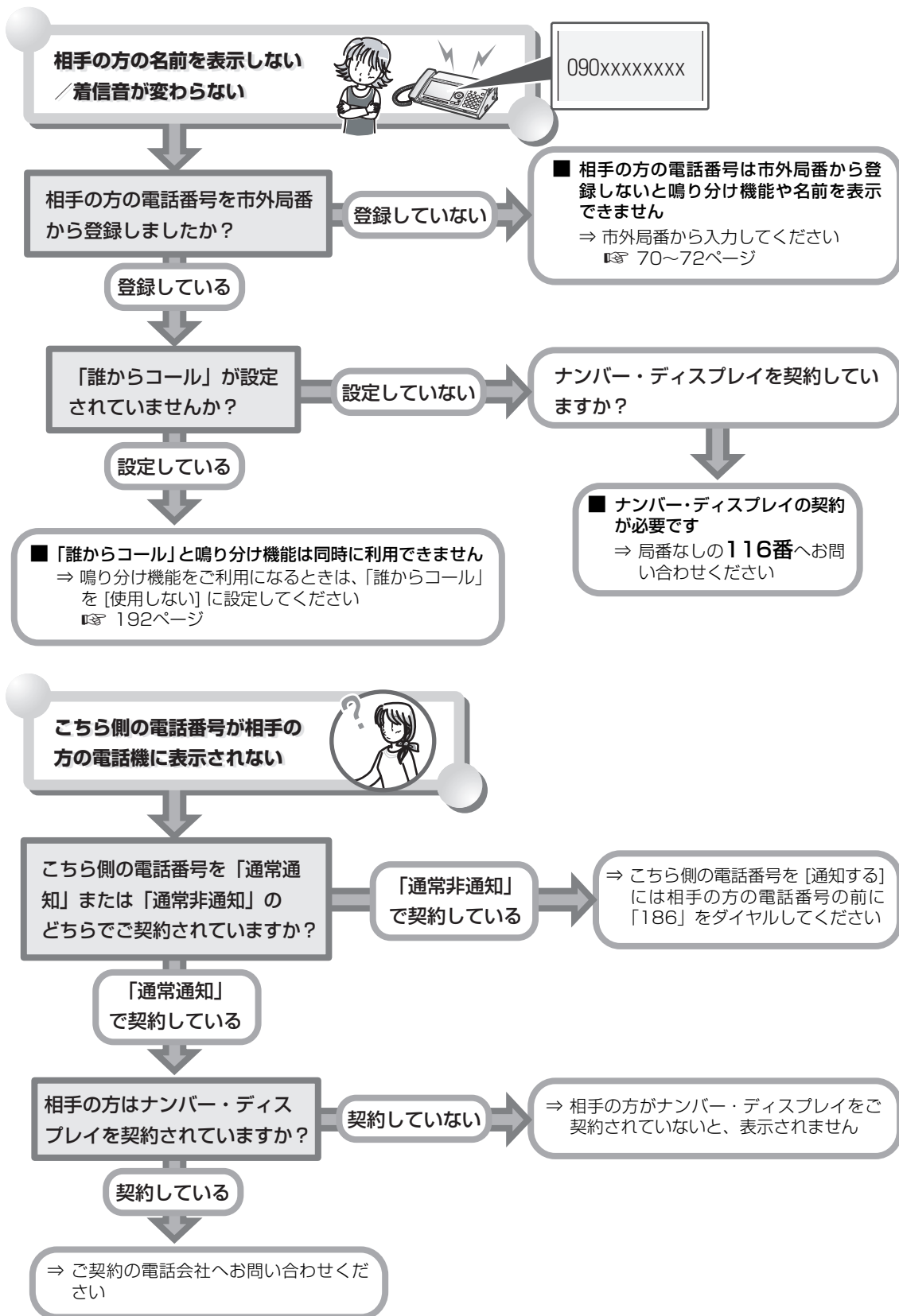
SDカードが使えない



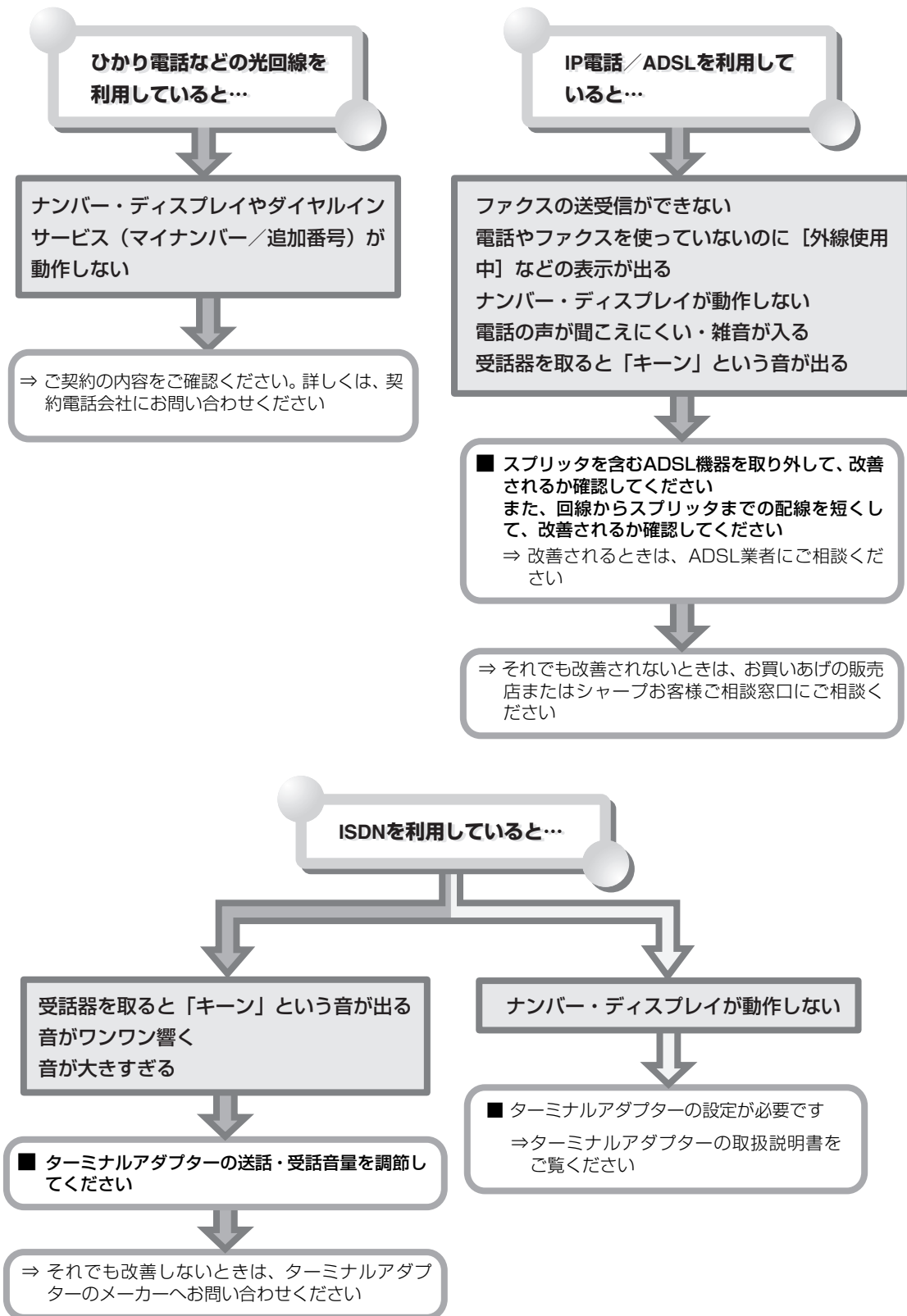


ナンバー・ディスプレイが使えない





ADSLやひかり電話をご契約の方へ



その他 こまったときは

正しく操作しても動かない
／動作がおかしい

■ 電話機コードや電源コードが外れて
いませんか？
⇒ 電話機コード、電源コードをしっ
かりと接続します

■ 電源を入れ直したり、「強制リセット」
すると正常に動作することがあります
☎ 236ページ

⇒ それでも改善されないときは、お買い
あげの販売店にご相談ください

インクリボンがなくなった

■ 印刷やコピーができません
⇒ インクリボンをお買い求めください

■ インクリボン（ギヤ付きタイプ）は、必ず当社の
純正品をお使いください
○ UX-NR8G（33m × 1本）
○ UX-NR8GW（33m × 2本）
ギヤなしタイプはお使いになれません

通話中などで、突然
ファクスに切り替わる

■ 声などに反応して、まれにお
まかせ受信が働くことがあり
ます
⇒ 何度も続けて起こるとき
は、おまかせ受信を [なし]
に設定します
☎ 240ページ

ディスプレイに商品案内
が表示され音楽が流れる

■ 店頭などで商品案内に使用
される「デモモード」が起動
しています
⇒ デモ起動を [しない] に設
定します
☎ 245ページ

各種サービスを受け
られない

■ ひかり電話などの光回線や
IP電話では、受けられない
サービスがあります
⇒ 各契約会社にお問い合わせ
ください

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

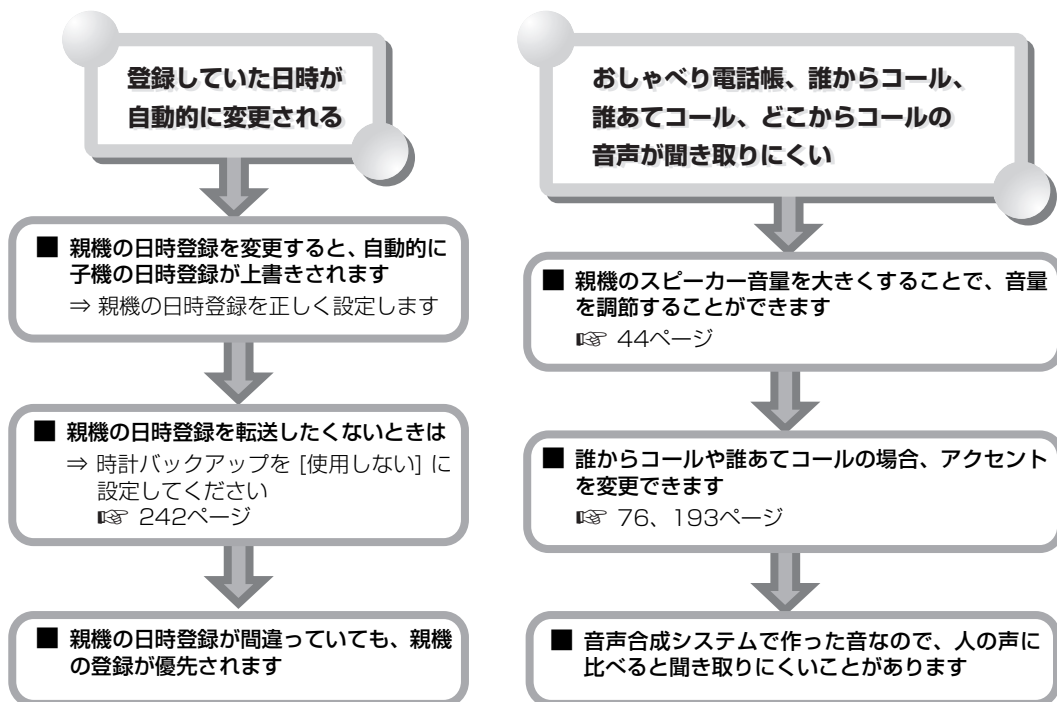
SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に
さくいん



停電になったときは

停電や電源が切れた状態（コンセント抜け、ブレーカー落ちなど）では、次のようになります。

電話機	<ul style="list-style-type: none"> ● 親機で電話を受けたり、かけたりすることはできません。 ● 子機を使用することはできません。 ● 各種サービスは動きません。 ● ナンバー・ディスプレイの着信記録は消えません。 ● 通話中に停電したときは、通話が切れてしまいます。
留守番	<ul style="list-style-type: none"> ● 留守番電話動作中に停電したときは、電話が切れて録音もされません。 ● 外出先からリモート操作中に停電したときは、電話が切れて動作も止まります。 ● 停電になっても、録音内容は消えません。
ファクス	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電中は、ファクスを送ることも受けることもできません。 ● 送信や受信をしているときに停電になると、通信が切れてしまいます。 送信のときは、復旧したあと原稿を取り出して再送信してください。 受信のときは、相手の方にもう一度再送信を依頼してください。 ● メモリー受信したデータは、停電になっても消えません。 ● 紙が詰まった場合は、230～232ページを参照し、用紙を取り除いてから再度操作してください。
コピー	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電中は、コピーはできません。復旧後あらためてコピーしてください。
登録した内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話帳などに登録されている内容は消えません。 ● 日付・時刻の設定は消えてしまいます。 子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを [使用する] に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。 転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

記録紙に白や黒の線が入るときは

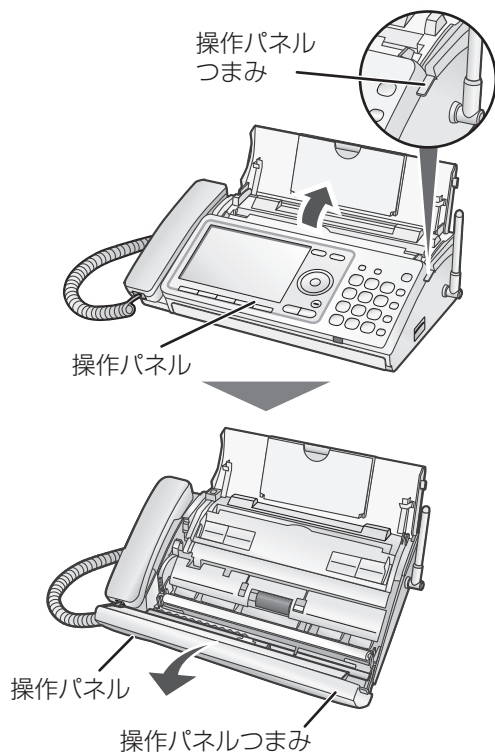
コピーやファクス送信したときに、記録紙に白や黒の線が入るときは、原稿読み取り部のガラスが汚れていることがあります。
こんなときは、読み取り部を清掃してください。

読み取り部を清掃する

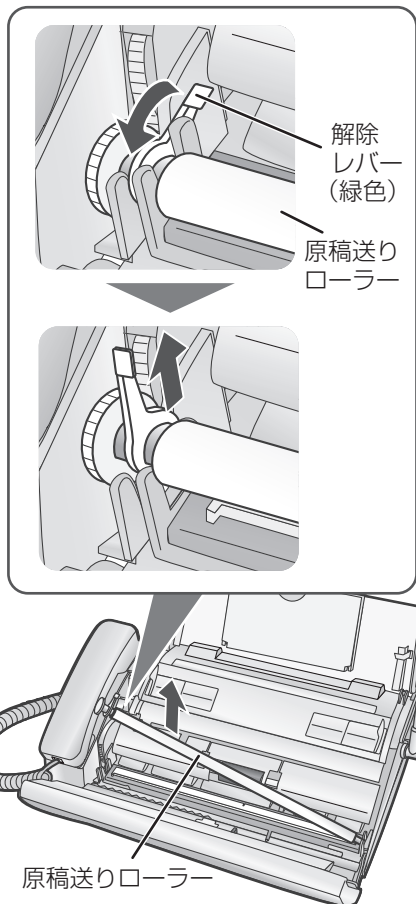
- 1** 記録紙トレイつまみを持って、
記録紙トレイを後ろに起こす



- 2** 操作パネルつまみを持って、
操作パネルを前に起こす



- 3** 原稿送りローラーの左側の
解除レバーを前に倒し、
原稿送りローラーを引き上げて、はずす



次ページへ

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

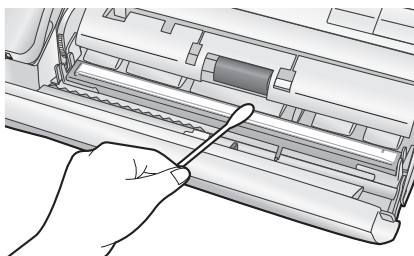
ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

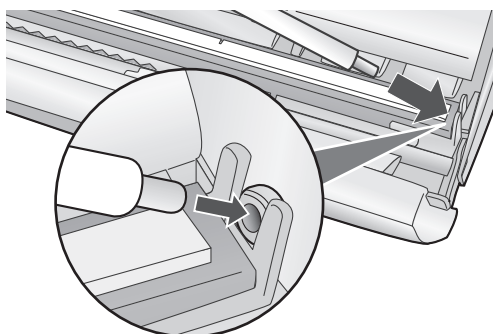
さくいん

4 原稿送りローラー下部のガラス面を綿棒や乾いた布でふく



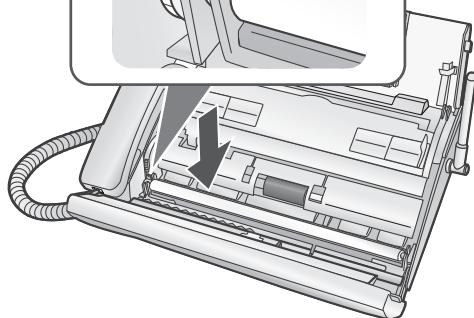
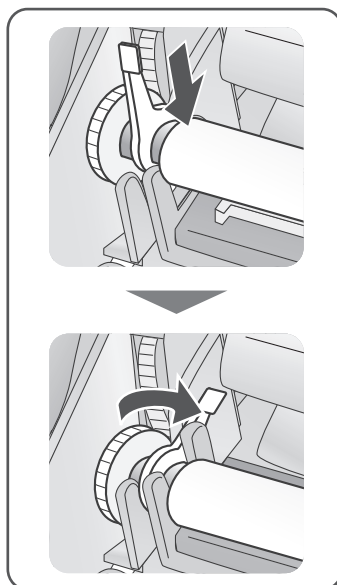
- ・ガラス面の汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。

5 原稿送りローラーの右端を穴にさしこむ

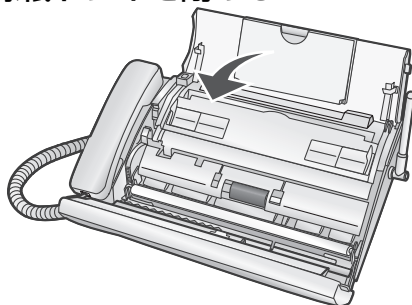


- ・ローラーが正しい位置にセットされていることを確認してください。

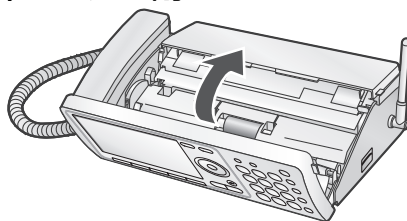
6 原稿送りローラーの左端を戻し、解除レバーを後ろに戻す



7 記録紙トレイを閉める



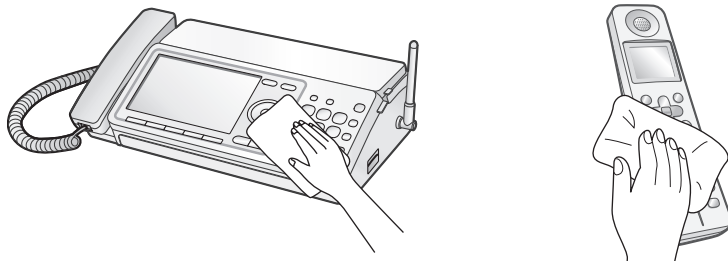
8 操作パネルを閉める



お手入れのしかた

親機や子機を清掃する

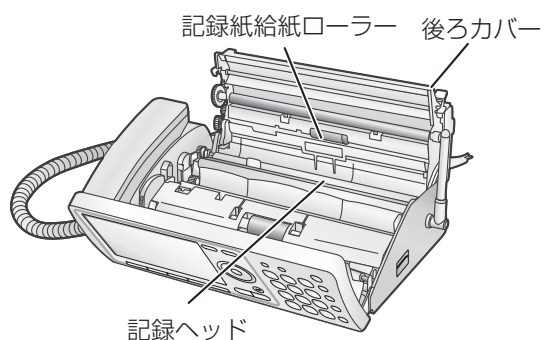
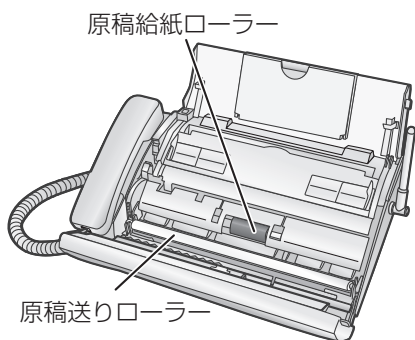
お手入れには、乾いた柔らかい布をお使いください。



記録ヘッドやローラーを清掃する

原稿や記録紙に汚れがつくときは、親機内部の記録ヘッドやローラーを乾いた柔らかい布で清掃してください。

ローラーの部分はまわしながらふいてください。



汚れが落ちないときは

- ・コピーして、まだ汚れているときは、もう一度清掃し直してください。
- ・コピーが正常で、受信ファクスの汚れが消えないときは、相手側の読み取りが悪い場合があります。

後ろカバーの開けかた 35ページ手順 **1~2**

お知らせ

- アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因になります。
- 紙粉の付着が多く、記録紙が正しく給紙しないときや、汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。ただし記録ヘッドは水ぶきしないでください。
- 記録ヘッドは熱くなっている場合があります。電源コードを抜いてよく冷ましてから清掃してください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に

さくせん

原稿や記録紙がつまったときは

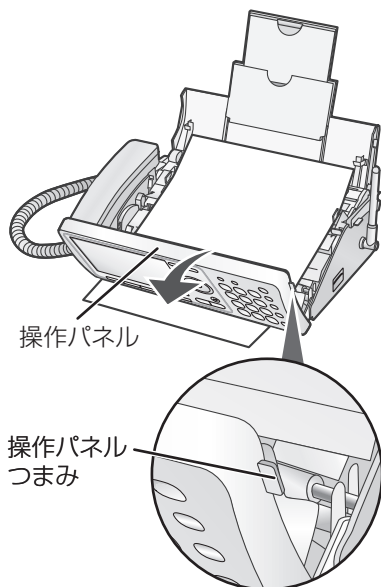
原稿がつまったときは

原稿がつまったときは、まず「原稿を取り出す」(☎110ページ)の操作(メニュー ▶ 0^わ_読)をしてください。

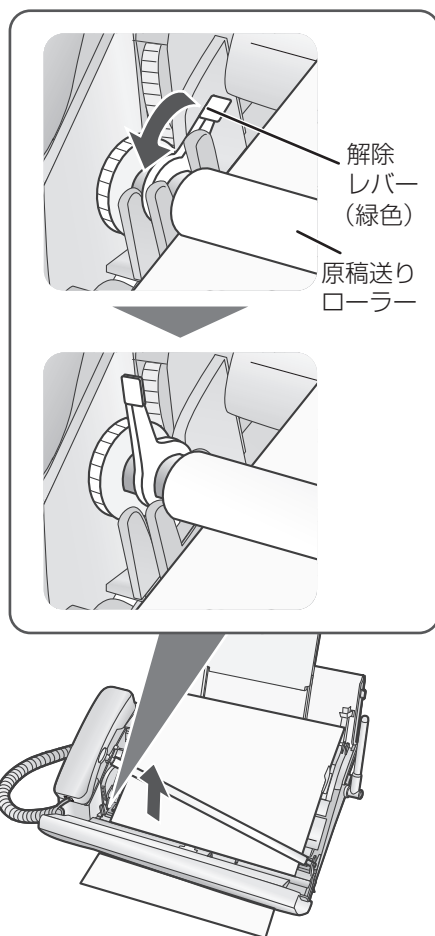
排出されないときは、次の手順で取り除いてください。

記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 操作パネルつまみを持って、 操作パネルを起こす

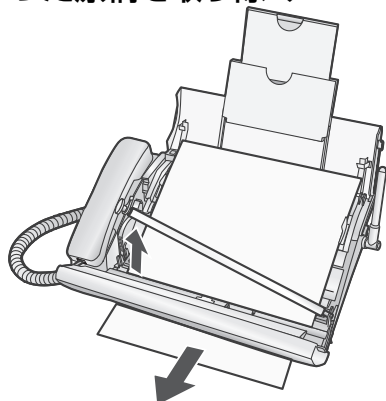


2 原稿送りローラーの左側の 解除レバーを前に倒し、 原稿送りローラーを引き上げる



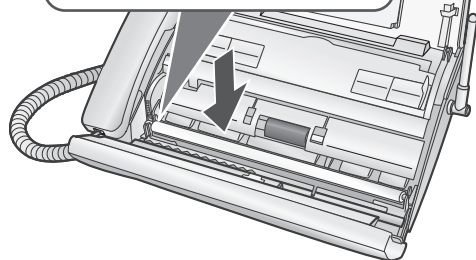
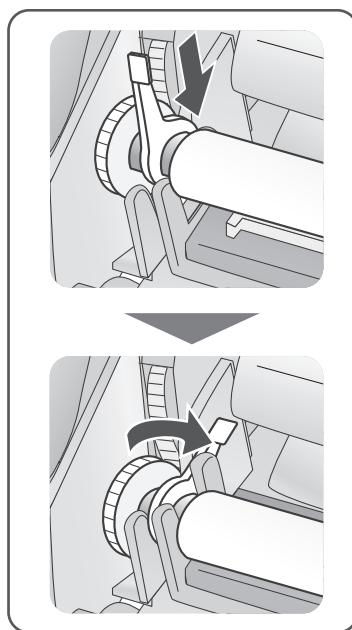
次ページへ

3 つまった原稿を取り除く



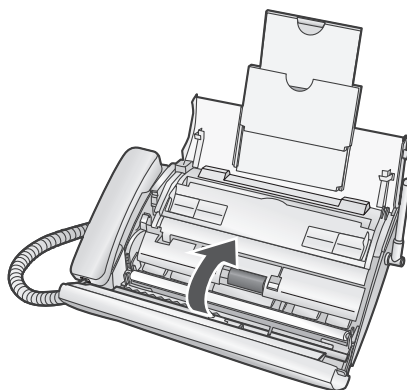
- ・ つまった原稿は途中で破れないように注意して取り除いてください。無理に引っばると、破れることがあります。また、故障の原因になります。
- ・ 万一破れてしまったときは、本体の中に破れた紙が残らないように注意深く取り除いてください。

4 原稿送りローラーを戻し、解除レバーを後ろに戻す



- ・ 原稿送りローラーがうまく元に戻らないときは、ローラーの右端を穴にさしこんでから、左端（解除レバーの側）を戻してください。

5 操作パネルを閉める



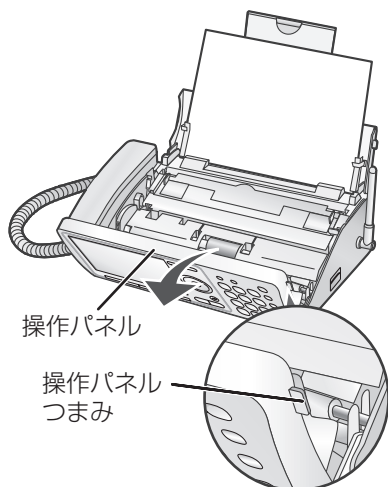
- ・ 記録紙や原稿を再セットしてください（☎108、132ページ）。

記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは次の手順で取り除いてください。

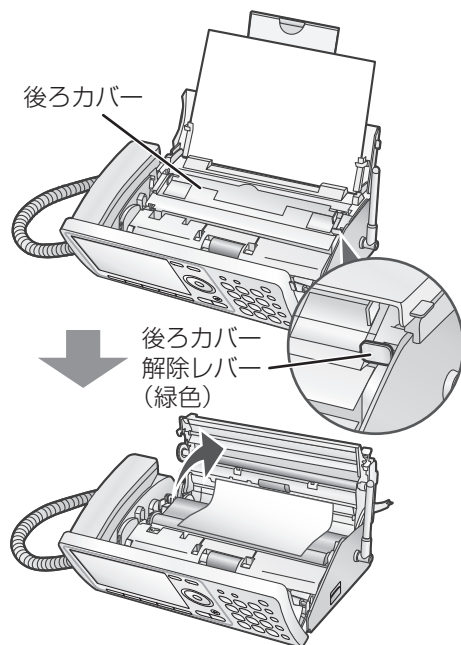
印刷の途中でインクリボンがなくなったときは、記録紙が途中で止まる（つまる）ことがあります。そのときは記録紙を取り出したあと、インクリボンを交換してください（☎36～37ページ）。

1 操作パネルつまみを持って、操作パネルを起こす

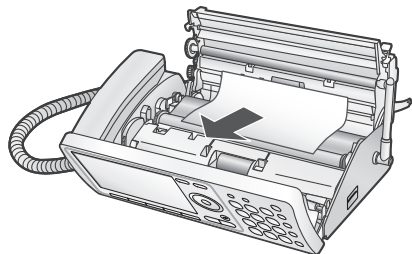


- ・記録紙がセットされているときは、残りの記録紙をいったん取り出してから操作します。

2 後ろカバー解除レバーを押し上げ、後ろカバーを後ろに起こす

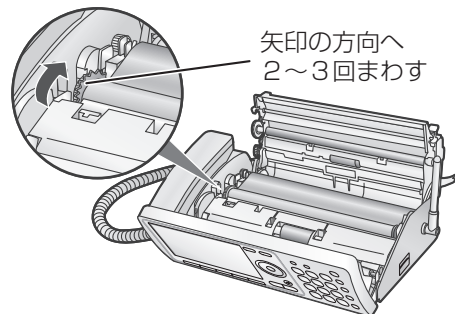


3 つまった記録紙を取り除く

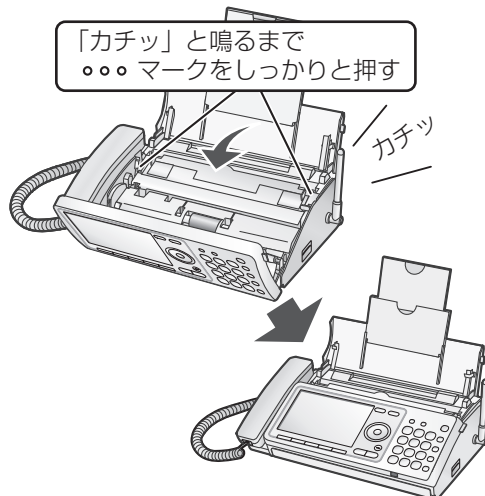


- ・操作パネルや後ろカバーを閉じたまま、つまった記録紙を引き抜かないでください。故障の原因になることがあります。
- ・記録紙が破れたときは、紙片が親機の中に残らないよう、完全に取り除いてください。

4 インクリボンのたるみを取る



5 後ろカバー、操作パネルの順に閉める




- ・記録紙を再セットしてください（☎132ページ）。

エラー表示／エラー音について

この部分に、お知らせやエラーメッセージを表示します。



- ・エラーメッセージに「操作ガイド」の表示がある場合は、を押して、対応を表示させることができます。
- ・お知らせやエラーメッセージが1行を超えるとときは、1行ずつ交互に表示されます。

お知らせ／エラー表示

	表示／エラー音	対応	参照ページ
あ 行	インクリボン切れのため FAXを中断しました <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●インクリボンを交換します。 ●緑色のギヤをまわして、インクリボンのたるみをとります。 	36～37 35～36
	インクリボンがありません 型番はUX-NR8G/GW <small>操作ガイド</small>		
	後ろカバーが開いています 閉めてください <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●後ろカバーを閉め直します。 	36
	応答がありません <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●「親機でお話ししてからファクスを送る」の方法で送信してください。 	108～ 110
か 行	外線自動応答中	<ul style="list-style-type: none"> ●留守モードなどで応答メッセージが流れて自動応答しています。 	—
	外線使用中（1～4） また、「ツーツー」という音が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ●子機を使用中です（1～4は子機番号）。子機の使用が終わるまでお待ちください。 	—
	記録紙切れのため FAXを中断しました <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●記録紙がないときはセットします。セットしているときは、正しくセットされているかを確認してください。 	132
	記録紙がつまりました 取り除いてください <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●つまった記録紙を取り除きます。 ●記録紙が正しくセットされているかを確認してください。 	232 132
	記録紙づまりのため FAXを中断しました <small>操作ガイド</small>		
	原稿がつまっています 取り除いてください <small>操作ガイド</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●   と順に押すと、原稿が自動的に排出されます。 ●それでも原稿がつまっているときは、操作パネルを開けて原稿を取り出します。 	110 230～ 231
	子機を確認ください	<ul style="list-style-type: none"> ●子機が使用できない状態（電池切れ／電波が届かないなど）になっていないか確認してください。 	—

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に

さぐり

	表示／エラー音	対応	参照ページ
か行	子機を増設します	●親機が子機増設登録モードになっています。別売の増設子機を登録する場合は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。	—
		●子機増設登録操作中は、外線着信を含む他の操作を行うことはできません。子機を増設しないときはそのまま、この表示が消えるまでお待ちください(約30秒で子機増設モードは解除されます)。	—
さ行	受信 FAX があります [受信 FAX] を押す 操作ガイド	●メモリー受信したデータを、プリントしてください。	133
		●「見てからプリント」で確認して、不要なら消去してください。	130
た行	通信エラー (1 ~ 15) 操作ガイド また、「通信エラーがありました。」と聞こえる	●相手の方に確認のうえ、もう一度送信するか、相手の方に送信してもらいます (1 ~ 15の番号は、当社のサービスマンが通信状況などを確認するためのものです。頻繁に起こるときは、当社のご相談窓口までご連絡ください)。	—
は行	FAX 受信メモリー一杯です 不要なファクスを消去 操作ガイド	●メモリー受信した内容を印刷または消去します。 ●不要な録音メッセージを消去します。	130、133 94 ~ 98
	プリンタエラー	●印刷中にエラーが起きました。電源コードを電源コンセントから抜いて、もう一度差し込んでみてください。 ●それでも改善しないときは、当社のご相談窓口までご相談ください。	—
	プリンタエラーのため FAX を中断しました		262
	プリンタが異常です	●記録部がエラーを起こしています。電源コードを電源コンセントから抜いて、もう一度差し込んでみてください。 ●それでも改善しないときは、当社のご相談窓口までご相談ください。	—
	プリンタが異常のため FAX を中断しました		262
プリンタが高温です プリンタが高温のため FAX を中断しました	●長時間連続して印刷やコピーをしていると、記録部の過熱保護機能が働いて動作しなくなることがあります。しばらくお待ちください。	—	
ま行	未再生録音があります [留守] を押す 操作ガイド	●未再生の留守録音があります。再生してください。	92、94、97
ら行	録音があります [再生] を押す 操作ガイド	●未再生の録音があります。再生してください。	94、97
	録音メモリー一杯です 不要な録音を消去 操作ガイド	●不要な録音メッセージを消去します。	94 ~ 98

SDカードを使用しているとき

表示／エラー音	対応	参照ページ
SDカードが入っていません	<ul style="list-style-type: none"> ●SDカードが入っていません。 ●SDカードが正しく取り付けられていません。 	— 140
SDカードを読み込めません	<ul style="list-style-type: none"> ●SDカード内に読み込むデータがありません。 	—
SDカードが書き込み禁止になっています	<ul style="list-style-type: none"> ●SDカードの書き込み禁止スイッチがロックされています。 	138
メモリーフルです	<ul style="list-style-type: none"> ●SDカードの容量がいっぱいです。 	—

子機を使っているとき

エラー音	対応	参照ページ
「ピーピー」	<ul style="list-style-type: none"> ●親機や増設子機が使用中です。 ●親機の電源コードを接続してください。 ●他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。 ●親機からの電波が届く範囲でご使用ください。 	— 24 13 —
「ピピピピ」	<ul style="list-style-type: none"> ●名前の文字数や日時登録の設定などが登録範囲を超えています。 	—
「ピピッ……ピピッ……」	<ul style="list-style-type: none"> ●充電器に子機を戻して充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話を止めて充電器に戻してください。長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電電池と交換してください。 	38～40
子機で通話中に「ピーピー」と2回鳴ってすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●雑音の少ないところでご使用ください。 ●無線LANなどの近くでお使いのときは、それらの機器よりできるだけ離してお使いください。また「回避チャンネル設定」を変更してお使いください。 	— 242

故障かな?と思ったときは(修理依頼される前に)

- ・ディスプレイ表示が化けている(意味不明の文字列や画像が表示されている)。
- ・ボタンが全く効かない。
- ・電話帳リストなどを印刷するとデータが乱れている。
- ・コピーなど、印刷ができない状態が続く。
- ・その他、正しく動作しない。

上記のような症状の多くは、一般に、マイコン(IC)を使用している機器が、大きな外来ノイズにより誤動作することで発生します。

修理やアフターサービスをお申し付けになる前に、下記の操作をお試しく下さい。

また、登録・設定した内容により、お客様の意図しない機能が働いている場合、工場出荷時の状態に戻すことで、症状が改善することがあります(電話帳以外初期化、電話帳消去、登録初期化 238ページ)。

親機を再起動する

ボタンが効かないといった状態になったときは、親機を再起動してください。

- ① 停止(⏻)を約10秒以上押したままにする
- ② ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示されたら 停止(⏻)から指を離す

- ・自動的に再起動が行われます。
- ・親機の日付・時刻の設定は消えてしまいます。子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを[使用する]に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。
- ・再起動しても、登録した内容は消えません。
- ・停止(⏻)を約10秒以上押したままにしても再起動しない場合は、本機の電源を入れ直してください(238 下記)。

再起動しても症状が改善されないときは…

電源を入れ直してみる

親機を再起動しても改善されないときは、電源コードを電源コンセントから抜いてもう一度差し込んでみてください。

- ・親機の日付・時刻の設定は消えます。子機の日付・時刻が設定されていて、親機の電波が届く範囲にある場合に、親機の時計バックアップを[使用する]に設定しているときは、子機から親機へ自動的に日付・時刻が転送されます。転送されなかったときは、あらためて手動で設定し直してください。

左の操作をしても症状が改善されないときは次の操作(強制リセット)を行ってみてください。

【ただし、強制リセットを行った場合、電話帳に登録した内容など、すべてのデータが消えて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。】

- ・この操作を行う前に、必要な録音データやファクスデータ、電話帳のデータなどをSDカードに保存しておくことをおすすめします(149~151ページ)。

親機を強制リセットする

- ① 電源コードを電源コンセントから抜く
- ② FAXスタートと 停止(⏻)を同時に押したまま、電源コードを電源コンセントに差し込む
- ③ ディスプレイに「メモリークリア中」と表示されたら、FAXスタートと 停止(⏻)から指を離す

- ・強制リセットをすると、ご購入時にあらかじめ登録されていた電話帳2件分が復活します。
- ・電源を入れ直したり、強制リセットしたときは日付・時刻の設定をやり直してください。(236ページ)
- ・強制リセットをすると、日付・時刻の設定のあと、自動的に回線種別を設定します。電話などをかけられるときは、回線種別の設定(約20秒)が終わってからにしてください。

強制リセットを行っても症状の改善がみられない場合、または症状が再三発生する場合は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

別売品／消耗品

別売品／消耗品として、次のものを用意しています。

このデジタルコードレスファクシミリを長い間安心してお使いいただくためにも、当社の純正品や推奨品をお使いください。純正品以外のインクリボン、推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用されると印刷がかすれたり、薄くなることがあります。なお、価格などは予告なく変更することがありますので、ご了承ください。別売品／消耗品のご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
ファクシミリ用 普通紙	PP110MA4	A4サイズ	250枚	630円（税抜価格600円）

品名	形名	サイズ	数量	希望小売価格
インクリボン (ギヤ付きタイプ)	UX-NR8G	A4幅×33m	1本	1,312円（税抜価格1,250円）
	UX-NR8GW	A4幅×33m	2本1組	2,415円（税抜価格2,300円）

ギヤなしタイプのインクリボンは、使用することができません。

品名	形名	部品コード	流通コード	希望小売価格
子機用充電池* (ニッケル水素電池)	A-002	UBATMA002AFZZ	142 932 0070	1,800円 (税抜価格1,715円)

*シャープエンジニアリング（株）扱い

品名	形名	希望小売価格
増設子機 (☎173ページ)	JD-KS11	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS15	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS17	16,800円（税抜価格16,000円）
	JD-KS21	19,950円（税抜価格19,000円）
	JD-KS25	19,950円（税抜価格19,000円）

品名	形名	希望小売価格
テレビドアホンユニット	DZ-MH70	57,750円（税抜価格55,000円）
ターミナルボックス（ドアホン接続用）	DZ-T20-WH（白）	10,500円（税抜価格10,000円）
テレビドアホン対応ターミナルボックス （ドアホン接続用）	DZ-T30-W（白）	14,490円（税抜価格13,800円）
ドアホン	DZ-H30-T（ブラウン）	4,200円（税抜価格4,000円）

種類	部品コード	流通コード	希望小売価格
延長コード（モジュラープラグつき）			
5m（2芯）（白）	QCNWGO121AFSA	142 512 0331	535円（税抜価格510円）
10m（2芯）（白）	QCNWGO122AFSA	142 512 0332	819円（税抜価格780円）
ターミナルボックスDZ-T20と、このファクシミリの親機を接続するコード			
5m（6芯）（グレー）	QCNWGO282AFSA	142 512 0668	1,050円（税抜価格1,000円）
10m（6芯）（グレー）	QCNWGO283AFSA	142 512 0669	1,890円（税抜価格1,800円）
ターミナルボックスDZ-T30と、このファクシミリの親機を接続するコード			
5m（6芯）（白）	QCNWGO321AFSA	142 512 0776	1,050円（税抜価格1,000円）
10m（6芯）（白）	QCNWGO322AFSA	142 512 0777	1,890円（税抜価格1,800円）

お知らせ

- 希望小売価格は2008年7月現在のものです。
- 小さい原稿を送信するときに使用するキャリアシートはご使用になれません。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

ごまっただときは

ご参考に
さくいん

特別設定について

使用状況に応じて、次の項目を親機で設定することができます。

応答メッセージ待ち時間

留守番電話などの応答メッセージが流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4 秒] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **1あ** を2回押す
- ④ [1 秒] を選ぶときは **1あ** を押す
[2 秒] を選ぶときは **2か** を押す
[4 秒] を選ぶときは **3さ** を押す
[8 秒] を選ぶときは **4た** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

発信音待ち時間

応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間の設定ができます。
工場出荷時の設定は [4 秒] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **1あ** **2か** と順に押す
- ④ [1 秒] を選ぶときは **1あ** を押す
[2 秒] を選ぶときは **2か** を押す
[4 秒] を選ぶときは **3さ** を押す
[8 秒] を選ぶときは **4た** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

お声拝聴

留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [あり] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **1あ** **3さ** と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは **1あ** を押す
[なし] を選ぶときは **2か** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

録音時間

留守録の録音時間を設定することができます。
工場出荷時の設定は [30 秒] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **1あ** **4た** と順に押す
- ④ [30 秒] を選ぶときは **1あ** を押す
[1 分] を選ぶときは **2か** を押す
[2 分] を選ぶときは **3さ** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

・途中でやめるとき： 停止 **⊖**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こま当たるときは

ご参考に

さくいん

FAX受信方法

ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。

[見てからプリント]：

受信した内容をメモリーに記録し、印刷する前にディスプレイで確認することができます。

[メモリー受信]：

受信した内容をメモリーに記録してから、自動的に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

[記録紙受信]：

受信した内容を、直接記録紙に印刷します。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれて印刷されることがあります。

工場出荷時の設定は [見てからプリント] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **2**_か **1**_あ と順に押す
- ④ [見てからプリント] を選ぶときは **1**_あ を押す
[メモリー受信] を選ぶときは **2**_か を押す
[記録紙受信] を選ぶときは **3**_さ を押す
- ⑤ 停止 **⇐** を押す

おまかせ受信

相手の方が自動送信の場合（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます）、受話器や子機を取ると自動的にファクス受信に切り替える機能の設定ができます。工場出荷時の設定は [あり] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **2**_か **3**_さ と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは **1**_あ を押す
[なし] を選ぶときは **2**_か を押す
- ⑤ 停止 **⇐** を押す

縮小受信

ファクスを印字したときに、受信日付や相手の方のファクス番号を記入するため、自動的に約93%に縮小して印刷する機能の設定ができます。

工場出荷時の設定は [あり] です。

[なし] に設定した場合、相手の方がA4サイズで送信していても、受信日付などの記入でA4サイズを超えるため、こちらでは2枚に分かれて印刷されることがあります。また、白紙が1枚出てくることがあります。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **2**_か **4**_た と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは **1**_あ を押す
[なし] を選ぶときは **2**_か を押す
- ⑤ 停止 **⇐** を押す

・途中でやめるとき： 停止 **⇐**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

発信音検出

電話帳やワンタッチダイヤル、再ダイヤルを使ってファクスを自動送信するときに、本機が自動的に「ツ」^ツという発信音を検出し、正しく送信できるようにします。

自動送信がうまくできないときは、この設定を [なし] にするか、受話器を取って送信してください。工場出荷時の設定は [あり] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **2**^か **5**^な と順に押す
- ④ [あり]を選ぶときは **1**^あ を押す
[なし]を選ぶときは **2**^か を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

親機送話音量を調整する

親機使用中、こちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3**^さ **1**^あ と順に押す
- ④ [小]を選ぶときは **1**^あ
[標準]を選ぶときは **2**^か
[大]を選ぶときは **3**^さ を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す


子機送話音量を調整する

子機でこちらの声が相手の方に聞こえにくいときに、音量を切り替えることができます。

親機で操作します。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3**^さ **2**^か と順に押す
- ④ [小]を選ぶときは **1**^あ
[標準]を選ぶときは **2**^か
[大]を選ぶときは **3**^さ を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

子機受話音量を調整する

親機の回線によっては、子機の受話音量が小さくなることがあります。子機で相手の方の声が聞こえにくいときに、親機で音量を切り替えることができます。子機で通話中に受話音量を変えることもできます（ 47ページ）。

親機で操作します。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3**^さ **3**^さ と順に押す
- ④ [小]を選ぶときは **1**^あ
[標準]を選ぶときは **2**^か
[大]を選ぶときは **3**^さ を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

・途中でやめるとき： 停止 **⊖**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

子機受話音質を調整する

すべての子機の受話音質を調整できます。使用中の子機のみ変更したいときは、「子機の通話音質を変える」(☎ 47ページ)をご覧ください。

親機で操作します。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3**^さ **4**^た と順に押す
- ④ [低い] を選ぶときは **1**^あ
[標準] を選ぶときは **2**^か
[高い] を選ぶときは **3**^さ を押す

キータッチ音

親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音(キータッチトーン)の有無を設定できます。

工場出荷時の設定は [あり] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **3**^さ **5**^な と順に押す
- ④ [あり] を選ぶときは **1**^あ を押す
[なし] を選ぶときは **2**^か を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

回避チャンネル設定

他の電化製品(無線LANなど)の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更すると改善されることがあります。

工場出荷時の設定は [チャンネル6] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **4**^た を押す
- ④ [チャンネル1] を選ぶときは **1**^あ を押す
[チャンネル6] を選ぶときは **2**^か を押す
[チャンネル11] を選ぶときは **3**^さ を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

・無線LANを使用している場合、無線LANが使用しているチャンネルを回避することで、通話品質が改善されることがあります。

時計バックアップ

停電などで親機の日時登録が消えたときに、子機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったり、子機の日時登録が消えたときに、親機の日時登録を自動的に転送させて日時登録を行ったりする機能の設定ができます。親機や子機の日時が登録されていないときや、親機の電波範囲内に子機がないときは、日時を転送できません。

工場出荷時の設定は [使用する] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **5**^な **1**^あ と順に押す
- ④ [使用する] を選ぶときは **1**^あ を押す
[使用しない] を選ぶときは **2**^か を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

・途中でやめるとき： 停止 **⊖**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

親機に登録されている日付や時刻を子機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

親機の日時が登録されていないときは、転送できません。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **5^な** **2^か** と順に押す

- ・子機が2つ以上あるときは、子機番号の1から順番に転送します。
- ・時計転送に対応していない子機を増設した場合は、日付や時刻は転送されません。

子機に登録されている日付や時刻を親機に転送する（時計転送）

親機で操作します。

子機の日時が登録されていないときは、転送できません。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **5^な** **3^さ** と順に押す

- ・親機に日付や時刻を転送する子機は、子機番号の1です。ただし、子機1が使用範囲外にあるなど、転送できない場合は、子機2から転送されます。すべての子機が転送できないときは、転送せずに終了します。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイ機能の利用設定ができます。ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイをご利用のときは、[使用する] に設定します。

構内交換機（PBX）に接続している場合など、内線電話としてお使いのときは [使用しない] に設定します。工場出荷時の設定は [使用する] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **6^は** を押す
- ④ [使用する] を選ぶときは **1^あ** を押す
[使用しない] を選ぶときは **2^か** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

キャッチホン切替時間

キャッチ/消去ボタンを押したときに回線を開放する時間を設定できます。

交換機の種類などによっては、キャッチ/消去ボタンを押したときに電話が切れてしまうことがあります。こんなときは、キャッチホン切替時間を短く設定します。工場出荷時の設定は [0.8秒] です。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **7^ま** **2^か** と順番に押す
- ④ [0.4秒] を選ぶときは **1^あ** を押す
[0.6秒] を選ぶときは **2^か** を押す
[0.8秒] を選ぶときは **3^さ** を押す
- ⑤ 停止 **⊖** を押す

・途中でやめるとき：停止 **⊖**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

携帯ととくとくダイヤルご利用時のIP電話利用（加入電話選択番号）

IP電話をご利用の方が携帯ととくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信するための設定が必要です（通常の発信はIP電話を利用して行われます）。IP電話機能を解除して、一般回線を選択するのに必要な番号（加入電話選択番号）を登録できます。工場出荷時の設定は [なし] です。IP電話をご利用でない方は、この設定を [あり] にしないでください。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **8** や **1** あ と順番に押す
- ④ [あり] を選ぶときは **1** あ を押す
[なし] を選ぶときは **2** か を押し⑦へ
- ⑤ 番号を入力する（最大6ケタ）（例：「0000」など）
- ⑥ **決定** を押す
- ⑦ 停止 **⏪** を押す

携帯ととくとくダイヤルで利用する携帯番号登録

携帯ととくとくダイヤル機能の利用対象となる携帯電話番号の頭4ケタとして、あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。この対象番号は追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、あらたに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **8** や **2** か と順番に押す

登録するときは

- ④ **新規登録** を押す
- ⑤ 番号を入力する（4ケタ）
- ⑥ **決定** を押す
- ⑦ 停止 **⏪** を押す

消去するときは

- ④ **○** で番号を選ぶ
- ⑤ **消去** を2回押す
- ⑥ 停止 **⏪** を押す

・途中でやめるとき：停止 **⏪**

・1つ前に戻るとき：**戻る** または **取消**

携帯とくとくダイヤル機能の設定内容表示

携帯とくとくダイヤル機能の利用設定および、IP電話の利用設定を確認することができます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **8** や **3** と順番に押す
- ④ 設定の内容を確認する
- ⑤ 停止 **⇒** を押す

デモ起動

商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。

- ① **メニュー** を押す
- ② **#** を4回押す
- ③ **0** わ
説明 を押す
- ④ [しない]を選ぶときは **1** あ を押す
[する(回線種別連動)]を選ぶときは **2** か を押す
[する(常に実行)]を選ぶときは **3** さ を押す
- ⑤ 停止 **⇒** を押す

・途中でやめるとき： 停止 **⇒**

・1つ前に戻るとき：**戻る**

区点コード一覧表

4桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点 1~3 桁目	区点4桁目 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	区点 1~3 桁目	区点4桁目 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
010	あ	178	あ	012	あ	354	暖	429	抱
011	い	179	い	013	い	355	温	430	泡
012	え	180	え	014	え	356	池	431	法
013	お	181	お	015	お	357	池	432	法
014	か	182	か	016	か	358	池	433	法
015	き	183	き	017	き	359	池	434	法
016	く	184	く	018	く	360	池	435	法
017	こ	185	こ	019	こ	361	池	436	法
018	さ	186	さ	020	さ	362	池	437	法
019	し	187	し	021	し	363	池	438	法
020	す	188	す	022	す	364	池	439	法
021	せ	189	せ	023	せ	365	池	440	法
022	そ	190	そ	024	そ	366	池	441	法
023	た	191	た	025	た	367	池	442	法
024	ち	192	ち	026	ち	368	池	443	法
025	て	193	て	027	て	369	池	444	法
026	と	194	と	028	と	370	池	445	法
027	な	195	な	029	な	371	池	446	法
028	に	196	に	030	な	372	池	447	法
029	の	197	の	031	な	373	池	448	法
030	は	198	は	032	な	374	池	449	法
031	ひ	199	は	033	な	375	池	450	法
032	ふ	200	は	034	な	376	池	451	法
033	ぶ	201	は	035	な	377	池	452	法
034	ぼ	202	は	036	な	378	池	453	法
035	ば	203	は	037	な	379	池	454	法
036	び	204	は	038	な	380	池	455	法
037	べ	205	は	039	な	381	池	456	法
038	べ	206	は	040	な	382	池	457	法
039	べ	207	は	041	な	383	池	458	法
040	べ	208	は	042	な	384	池	459	法
041	べ	209	は	043	な	385	池	460	法
042	べ	210	は	044	な	386	池	461	法
043	べ	211	は	045	な	387	池	462	法
044	べ	212	は	046	な	388	池	463	法
045	べ	213	は	047	な	389	池	464	法
046	べ	214	は	048	な	390	池	465	法
047	べ	215	は	049	な	391	池	466	法
048	べ	216	は	050	な	392	池	467	法
049	べ	217	は	051	な	393	池	468	法
050	べ	218	は	052	な	394	池	469	法
051	べ	219	は	053	な	395	池	470	法
052	べ	220	は	054	な	396	池	471	法
053	べ	221	は	055	な	397	池	472	法
054	べ	222	は	056	な	398	池	473	法
055	べ	223	は	057	な	399	池	474	法
056	べ	224	は	058	な	400	池	475	法
057	べ	225	は	059	な	401	池	476	法
058	べ	226	は	060	な	402	池	477	法
059	べ	227	は	061	な	403	池	478	法
060	べ	228	は	062	な	404	池	479	法
061	べ	229	は	063	な	405	池	480	法
062	べ	230	は	064	な	406	池	481	法
063	べ	231	は	065	な	407	池	482	法
064	べ	232	は	066	な	408	池	483	法
065	べ	233	は	067	な	409	池	484	法
066	べ	234	は	068	な	410	池	485	法
067	べ	235	は	069	な	411	池	486	法
068	べ	236	は	070	な	412	池	487	法
069	べ	237	は	071	な	413	池	488	法
070	べ	238	は	072	な	414	池	489	法
071	べ	239	は	073	な	415	池	490	法
072	べ	240	は	074	な	416	池	491	法
073	べ	241	は	075	な	417	池	492	法
074	べ	242	は	076	な	418	池	493	法
075	べ	243	は	077	な	419	池	494	法
076	べ	244	は	078	な	420	池	495	法
077	べ	245	は	079	な	421	池	496	法
078	べ	246	は	080	な	422	池	497	法
079	べ	247	は	081	な	423	池	498	法
080	べ	248	は	082	な	424	池	499	法
081	べ	249	は	083	な	425	池	500	法
082	べ	250	は	084	な	426	池	501	法
083	べ	251	は	085	な	427	池	502	法
084	べ	252	は	086	な	428	池	503	法
085	べ	253	は	087	な	429	池	504	法
086	べ	254	は	088	な	430	池	505	法
087	べ	255	は	089	な	431	池	506	法
088	べ	256	は	090	な	432	池	507	法
089	べ	257	は	091	な	433	池	508	法
090	べ	258	は	092	な	434	池	509	法
091	べ	259	は	093	な	435	池	510	法
092	べ	260	は	094	な	436	池	511	法
093	べ	261	は	095	な	437	池	512	法
094	べ	262	は	096	な	438	池	513	法
095	べ	263	は	097	な	439	池	514	法
096	べ	264	は	098	な	440	池	515	法
097	べ	265	は	099	な	441	池	516	法
098	べ	266	は	100	な	442	池	517	法
099	べ	267	は	101	な	443	池	518	法
100	べ	268	は	102	な	444	池	519	法

区点 1~3 桁目	区点4桁目									区点 1~3 桁目	区点4桁目									区点 1~3 桁目	区点4桁目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
502	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	503	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	504	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	505	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	506	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	507	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	508	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	509	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	510	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	511	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	512	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	513	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	514	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	515	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	516	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	517	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	518	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	519	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	520	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	521	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	522	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	523	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	524	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	525	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	526	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	527	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	528	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	529	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	530	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	531	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	532	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	533	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	534	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	535	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	536	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	537	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	538	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	539	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	540	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	541	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	542	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	543	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	544	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	545	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	546	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	547	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	548	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	549	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	550	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	551	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	552	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	553	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	554	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	555	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	556	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	557	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	558	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	559	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	560	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	561	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	562	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	563	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	564	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	565	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	566	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	567	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	568	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	569	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	570	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	571	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	572	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	573	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	574	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	575	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	576	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	577	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	578	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	579	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	580	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	581	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	582	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	583	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	584	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	585	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	586	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	587	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	588	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	589	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	590	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	591	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	592	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	593	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	594	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	595	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	596	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	597	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	598	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	599	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	600	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

もくじ
 ご使用の前に
 電話・電話帳
 留守番
 ファックス
 印刷コピー
 SDカード
 便利な機能
 ナンバーディスプレイ
 こまだったときは
 ご参考に
 さへいん

仕様

外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

■ ファクシミリ部

形名	UX-D90CL/UX-D90CW 送受信兼用卓上型
使用回線	一般加入電話回線、NCC回線、 Fネット（16Hz対応のみ）
圧縮方式	MH・MMR・独自圧縮
通信モード	G3・ECM * 1
走査方式	密着イメージセンサー方式
走査線密度	主：8ドット/mm（普通字、小さな字、 精細、写真） 副：3.85本/mm（普通字） 7.7本/mm（小さな字、写真） 15.4本/mm（精細）* 2
記録方式	熱転写記録方式
表示装置	5型モノクロVGA液晶ディスプレイ （バックライト付）漢字表記
通信速度	14400/12000/9600/7200 /4800/2400 bit/s ：自動フォールバック
電送時間	約9秒 * 3
中間調伝送	有り（64階調）
記録紙 サイズ	A4サイズ
最大記録 有効幅	205mm
最大送信 原稿幅	210mm
読み取り 有効幅	205mm
受信 メモリー	A4標準原稿 約52枚（普通字モード時） * 4

■ コードレス部（子機）

充電完了 時間	約10時間
使用可能時間 （充電完了後）	待受時：約200時間 * 5 通話時：約6時間 * 6
表示装置	液晶ディスプレイ 漢字4行+ピクト
増設可能子機	JD-KS11,JD-KS15,JD-KS17, JD-KS21,JD-KS25

■ 電話部

	親機	子機
ダイヤル 形式	押しボタン式パルスダイヤル /押しボタン式トーンダイヤル	
選択信号 種別	DP信号（10PPS/20PPS） /PB信号（DTMF）	
呼び出し 方式	トーンリンガー（着信音）呼び出し /（音量切替式）	
電話番号の 記憶容量	電話帳：100人分 （32桁以内）× 2番号	電話帳：100人分 （24桁以内）× 1番号 再ダイヤル：10局

■ 赤外線通信

通信速度	4Mbps
通信距離	最大約20cm（角度 約15° 以内）
対応 プロトコル	IrSS™/IrSimple™/IrDA®

■ SDカード

対応カード 種類	SDメモリーカード、 miniSDカード * 7、 microSDカード * 7 （最大2GB）
-------------	---

- * 1 本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格のファクシミリに限られます。（カラーの送受信はできません）
- * 2 ITU-T（国際規格）準拠
- * 3 A4判 700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本/mm）で高速モード（14400 bit/s）、ECMモードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で、通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
- * 4 受信原稿によっては、1枚の受信でメモリーがいっぱいになる場合もあります。
- * 5 待受時とは、充電完了後、子機を充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。
- * 6 「電波サポート」を [設定] にした場合は、子機の連続通話時間が約4時間になります。また、[自動] にした場合は、約4～6時間になります。
- * 7 本機で使用するときは、SDカードアダプターが必要です。

■ 留守録部

オリジナル 応答メッセージ	1件
用件録音時間	約15分（応答メッセージ1件、メモリー受信データ含む） 用件ごとに記録する日時スタンプは、別の専用メモリーを使っています。

■ 共通部

	親機	子機	充電器
寸法	約296（幅）×191（奥行） ×86（高さ）mm 受話器、突起部、アンテナを除く 約296（幅）×254（奥行） ×253（高さ）mm 記録紙トレイ伸長時 突起部、 アンテナを除く	約44（幅）×35（奥行） ×169（高さ）mm	約75（幅）×93（奥行） ×27（高さ）mm
質量	約2.3kg 受話器、インクリボンを 含む	約150g 充電電池含む	約130g
電源	AC100V±10V 50/60Hz	DC3.6V、600mAh （ニッケル水素電池）*8	入力：AC100V±10V 50/60Hz
消費電力 （100VAC）	約0.6W （ディスプレイ非表示の待機時） 約90W（動作時最大）	約0.9W（急速充電中） 約0.7W（待機時）	
直流抵抗	179Ω	—	—
静電容量	1.0μF以下	—	—
使用環境	温度 5℃～35℃ 相対湿度 30%～85%RH		

*8 充電電池はリサイクル可能なニッケル水素電池です。使用済電池につきましては、お買いあげ販売店までご持参いただき、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

登録／設定早見表

登録／設定項目一覧表（親機）

メニュー（または待受画面で決定）を押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。選択内容で【XXXX】と表記されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

はじめの設定			
操作	機能名／機能の説明	選択内容 【初期設定】	参照 ページ
1あ 1あ	日付・時刻 日付と時刻を登録できます。	—	48
1あ 2か	発信元番号 ファクスを送ったときに記録される発信元番号を登録できます。	—	50
1あ 3さ	発信元名 ファクスを送ったときに記録される発信元名を登録できます。	—	51
1あ 4た	回線種別選択 電話回線の種別を設定できます。	・【20PPS】 ・トーン ・10PPS	29
1あ 5な	液晶濃度調整 液晶ディスプレイの濃度を調整できます。	4段階 【2段階】	181
1あ 6は	携帯とくとくダイヤル 携帯とくとくダイヤル機能の設定ができます。	・NTT東日本0036 ・NTT西日本0039 ・その他の事業者 ・【使用しない】	153
1あ 7ま	デカ文字着信 着信時または発信時の文字の大きさを変更できます。	・【使用する】 ・使用しない	181
1あ 8や	着信設定ガイド 着信時の設定を自動的にを行うガイドを利用できます。	—	116

着信音と誰からコール			
操作	機能名／機能の説明	選択内容 【初期設定】	参照 ページ
2か 1あ	親機着信音選択 親機の着信音を設定できます。	・【電話ベル音】 ・鳥の声 ・電子音 ・パツハのインベンション ・ジュ・ト・ブ ・シンフォニー 40番 ・はにゅうの宿 ・メヌエット ・セレナーデ	42
2か 2か 1あ	誰からコール → 誰からコール 着信があったとき、誰からの電話か音声でお知らせする機能の設定ができます。	・【使用する】 ・使用しない	192
2か 2か 2か	誰からコール → 誰あてコール設定 誰あてコールでお知らせする名前を登録できます。	—	193

着信音と誰からコール

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
2か 3さ 1あ	鳴り分け時の着信音 → 電話帳 電話帳に登録している方からの着信音の設定ができます。	・電話ベル音 ・鳥の声 ・電子音	201
2か 3さ 2か	鳴り分け時の着信音 → 非通知 非通知からの着信音の設定ができます。	・バッハのインベンション ・ジュ・ト・ブ ・シンフォニー 40番	201
2か 3さ 3さ	鳴り分け時の着信音 → 公衆電話 公衆電話からの着信音の設定ができます。	・はにゅうの宿 ・メヌエット ・セレナーデ	201
2か 3さ 4た	鳴り分け時の着信音 → 表示圏外 表示圏外からの着信音の設定ができます。	・[なし]	201

電話帳の設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
3さ 1あ	電話帳新規登録 親機の電話帳に登録できます。	—	70
3さ 2か	ワンタッチダイヤル登録 親機のワンタッチダイヤルを登録/消去できます。	—	87
3さ 3さ	子機転送 親機の電話帳の内容を子機の電話帳にコピーできます。	—	89
3さ 4た	おしゃべり電話帳 電話帳を音声でお知らせする機能の設定ができます。	・[使用する] ・使用しない	75

留守番電話の設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
4た 1あ	用件録音全消去 録音している用件をすべて消去できます。	—	96
4た 2か	留守時応答回数 留守モード時の着信音の回数を設定できます。	—	105
4た 3さ	在宅時応答回数 留守設定せずに自動でファクスを受けるときの着信音の回数を設定できます。	・1~25回 ・[無制限呼出]	120
4た 4た	応答メッセージ 応答メッセージの種類を選択できます。	・[固定メッセージ1] ・固定メッセージ2 ・自作メッセージ	100
4た 5な 1あ	外出先での操作 リモート暗証番号 リモート操作に必要な暗証番号を登録/消去できます。	—	103
4た 5な 2か	外出先での操作 トールセーバー トールセーバーを使用する/使用しないの設定ができます。	・使用する ・[使用しない]	106

着信お断りの設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑤ _な ① _あ	非通知お断り 「非通知お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	204
⑤ _な ② _か	公衆電話お断り 「公衆電話お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	204
⑤ _な ③ _さ	表示圏外お断り 「表示圏外お断り」の設定ができます。	・ [なし] ・ お断り	204
⑤ _な ④ _た	お断り番号登録 「お断り番号」を登録できます。	—	205
⑤ _な ⑤ _な	チャイム後自動設定 「チャイムでお断り」をしたあとに、自動的にお断りの設定をする・しないの設定ができます。	・ しない ・ [する]	61

ダイヤルインの設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑥ _は ① _あ	番号登録 ダイヤルインに追加する番号を登録できます。	—	164
⑥ _は ② _か	番号消去 ダイヤルインに追加した番号を消去できます。	—	165
⑥ _は ③ _さ	ダイヤルイン機能 ダイヤルイン機能の設定ができます。	・ 使用する ・ [使用しない]	163
⑥ _は ④ _た	FAX時応答回数 ダイヤルインのFAX切替までの着信音の回数を設定できます。	・ [0] ・ 2— 6回	165
⑥ _は ⑤ _な	ダイヤルイン着信音 ダイヤルインで追加した番号の着信音の鳴り分けを設定します。	・ 電話ベル音 ・ 鳥の声 ・ 電子音 ・ パツハのインベンション ・ ジュ・ト・ブ ・ シンフォニー 40番 ・ はにゅうの宿 ・ メヌエット ・ セレナーデ ・ [なし]	166
⑥ _は ⑥ _は	設定内容表示 ダイヤルインの設定内容を表示できます。	—	165

メモリー残量の表示

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
⑦ _ま	メモリー残量の表示 FAX受信や録音できるメモリーの残量を表示することができます。	[メモリー残量 100%] [FAX 残り 30件] [録音 残り 30件]	115

各種全消去

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
8 _や 1 _あ	用件録音 留守番電話などの録音データをすべて消去できます。	—	96
8 _や 2 _か	再ダイヤル 再ダイヤルの電話番号をすべて消去できます。	—	58
8 _や 3 _さ	着信記録 着信記録をすべて消去できます。	—	196
8 _や 4 _た	受信FAX メモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	131
8 _や 5 _な	確認済受信FAX 確認済みのメモリー受信したファクスデータをすべて消去できます。	—	131
8 _や 6 _は	お断り番号 登録したお断り番号をすべて消去できます。	—	206
8 _や 7 _ま	選んで着信番号 選んで着信番号をすべて消去できます。	—	172
8 _や 8 _や	電話帳 登録した電話帳をすべて消去できます。	—	238

印刷

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
9 _ら 1 _あ	メニュー設定 (最大6枚) 親機の登録設定の一覧を印刷できます。	—	136
9 _ら 2 _か	着信記録 着信記録の一覧を印刷できます。	—	136
9 _ら 3 _さ	電話帳 電話帳に登録されている相手先の一覧を印刷できます。	—	136
9 _ら 4 _た	お断り番号 お断りに登録されている番号の一覧を印刷できます。	—	136

原稿の排出

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
0 _わ 説明	原稿の排出 セットしている原稿を排出できます。	—	110

特別設定項目一覧表（親機）

メニュー → # を4回押したあと、ダイヤルボタンで登録・設定の項目を選ぶことができます。
 選択内容で [XXXX] と表記されている項目は、初期設定（工場出荷時の設定）です。

留守番電話の設定

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
① ^あ ① ^あ	応答メッセージ待ち時間 応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	239
① ^あ ② ^か	発信音待ち時間 応答メッセージが終わってから、「ピー」という録音開始音が流れるまでの時間を設定できます。	・ 1 秒 ・ 2 秒 ・ [4 秒] ・ 8 秒	239
① ^あ ③ ^さ	お声拝聴 留守録設定中の応答メッセージと、相手の方の録音中の声をスピーカーから出力する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	239
① ^あ ④ ^た	録音時間 留守録の録音時間を設定できます。	・ [30 秒] ・ 1 分 ・ 2 分	239
① ^あ ⑤ ^な	戻って録音時間 戻って録音の録音時間を設定できます。	・ 1 分 ・ 3 分 ・ [15 分]	179

FAX

操作	機能名/機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
② ^か ① ^あ	FAX受信方法 ファクスの受信方法を設定できます。	・ [見てからプリント] ・ メモリー受信 ・ 記録紙受信	240
② ^か ② ^か	受信モード お使いの状況に合わせて、ファクスの受信モードを設定できます。	・ FAX優先 ・ FAX専用 ・ [設定しない]	122 ～ 123
② ^か ③ ^さ	おまかせ受信 相手の方がファクスを送信したときの音が聞こえると、自動でファクス受信に切り替える設定ができます。	・ [あり] ・ なし	240
② ^か ④ ^た	縮小受信 ファクスを印刷するときに、日時を印刷するために自動でファクスを縮小して印刷する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	240
② ^か ⑤ ^な	発信音検出 ファクスを自動送信するときに、「ツー」という発信音を検出してから送信する設定ができます。	・ [あり] ・ なし	241

音関連設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
3さ 1あ	親機送話音量切替 親機の送話音量を変更できます。	・小 ・[標準] ・大	241
3さ 2か	子機送話音量切替 子機の送話音量を変更できます。	・小 ・[標準] ・大	241
3さ 3さ	子機受話音量切替 子機の受話音量を変更できます。	・小 ・[標準] ・大	241
3さ 4た	子機受話音質切替 子機の受話音質を変更できます。	・低い ・[標準] ・高い	242
3さ 5な	キータッチ音 キータッチ音のあり／なしを設定できます。	・[あり] ・なし	242
3さ 6は 1あ	どこからコール → どこからコール どこからコールの設定ができます。	・[使用する] ・使用しない	194
3さ 6は 2か	どこからコール → 地域番号帯登録 地域番号の登録や消去ができます。	—	194

回避チャンネル設定

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
4た	回避チャンネル設定 通話品質の改善のために、使用するチャンネルを変更できます。	・チャンネル1 ・[チャンネル6] ・チャンネル11	242

時計機能

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
5な 1あ	時計バックアップ 時計転送を使用する／しないの設定ができます。	・[使用する] ・使用しない	242
5な 2か	子機へ時計送信 親機の日時設定を子機へ送信（転送）できます。	—	243
5な 3さ	子機から時計受信 子機の日時設定を受信（転送）できます。	—	243

ナンバー・ディスプレイ

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
6は	ナンバー・ディスプレイ ナンバー・ディスプレイを使用する／しないの設定ができます。	・[使用する] ・使用しない	189

キャッチホン

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
7 ^ま 1 ^あ	キャッチホン・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイを使用する／しないの 設定ができます。	・使用する ・ [使用しない]	187
7 ^ま 2 ^か	キャッチホン切替時間 キャッチホンの操作で電話が切れてしまうときな ど、キャッチホンの切替時間を変更できます。	・ 0.4秒 ・ 0.6秒 ・ [0.8秒]	243

携帯とくとくダイヤル

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
8 ^や 1 ^あ	IP電話利用 IP電話をご利用中、携帯電話への電話だけ自動的に 一般回線で電話するように設定できます。	・ あり ・ [なし]	244
8 ^や 2 ^か	携帯番号帯登録 携帯とくとくダイヤルの利用対象となる電話番号 の頭4ケタを登録／消去できます。	—	244
8 ^や 3 ^さ	設定内容表示 携帯とくとくダイヤルの設定内容を表示できます。	—	245

電話帳以外初期化

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
9 ^ら	電話帳以外初期化 電話帳を除くすべての設定を工場出荷状態に戻す ことができます。	・ [しない] ・ する	238

デモ起動

操作	機能名／機能の説明	選択内容 [初期設定]	参照 ページ
0 ^{わ 説明}	デモ起動 商品紹介用のデモの表示条件を設定できます。	・ しない ・ する (回線種別連動) ・ する (常に実行)	245

機能項目一覧表（子機）

機能ボタンを押したあと、操作できる項目です。

機能名		機能の説明	参照ページ
留守番電話	用件再生	録音されている内容を再生できます。	97
	留守設定切替	留守番電話を設定できます。	93
	全消去	留守録メッセージをすべて消去できます。	98
着信音量		着信音の大きさを変更できます。	45
着信音色		着信音の種類を変更できます。	46
着信鳴り分け		着信鳴り分け機能の設定ができます。	167、 203
電話帳転送		電話帳を親機や別の子機に転送できます。	90
電池残量		充電電池の電池残量が確認できます。	38
システム設定	日時登録	日付・時刻を登録できます。	49
	キータッチ音出力	ボタン操作音の設定ができます。	182
	クイック通話	クイック通話の設定ができます。	182
	使用者表示	子機の使用者名を登録できます。	52
	LCD コントラスト	ディスプレイのコントラストを調整できます。	182
	電波サポート	電波サポートの設定ができます。	182
	登録初期化	登録・設定した内容をすべて工場出荷時に戻すことができます。	238
全消去	再ダイヤル	再ダイヤルをすべて消去できます。	58
	着信記録	着信記録をすべて消去できます。	197
	電話帳	電話帳をすべて消去できます。	79

用語集

本機を使ううえで、知っておいた方がよい用語を説明しています。

回線種別

一般回線（加入電話回線）の種類を表します。「10PPS」「20PPS」のダイヤル回線と、プッシュ回線（「トーン」）があります。本機の設定と回線種別が合っていないと、電話をかけることができません。わからない場合は、ご利用の電話会社にご確認ください。

【補足】

IP電話などをお使いの場合でも、フリーダイヤル（0120～）にかけるときなど、一時的に一般回線を使うことがあります。そのとき、本機の設定が合っていないと電話がかけられません。

携帯とくとくダイヤル

ご家庭の電話から携帯電話にかけるとき、おトクな料金でかけられる機能です。電話会社の固定電話発着・携帯電話着の割引サービスを利用します。携帯とくとくダイヤル機能を利用する設定にすると、携帯電話に電話をかけるとき、NTT東日本の「0036」、NTT西日本の「0039」など、各電話会社の事業者識別番号を携帯電話番号の前に自動的に付けて発信します。

【ご注意】

NTT東日本、NTT西日本の「ひかり電話」をご利用のときは、サービスを利用することができません。

事業者識別番号

電話をかけるときに利用する電話会社（通信事業者）を選ぶために、電話番号の前に付ける番号です。携帯とくとくダイヤル機能を利用する設定にすると、通話のときに携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信します。事業者識別番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

加入電話選択番号

IP電話（ひかり電話などを除く）をご利用の場合、一時的に一般回線（加入電話回線）で電話をかけたいときに、電話番号の前に付ける番号です。携帯とくとくダイヤル機能を使うとき設定します。加入電話選択番号は、ご契約の電話会社にご確認ください。

キャッチホン

通話中に他の方から電話がかかってきたとき、かけてきた方とお話しできるNTTの有料サービスです。先にお話していた方との通話は保留状態になります。ご利用にはNTTとの契約が必要です（有料）。

ナンバー・ディスプレイ

電話に出る前に、かけてきた相手の電話番号が表示されるNTTの有料サービスです。ナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。本機はナンバー・ディスプレイに対応していますので、NTTと契約した後でご利用できます（有料）。本機には、ナンバー・ディスプレイのサービスを使う「着信鳴り分け」、「誰からコール」などの機能があります。

【補足】

他の電話会社でも、同様のサービスを提供している場合があります。詳しくはご契約の電話会社にご確認ください。

通知／非通知

ナンバー・ディスプレイで使われる言葉です。電話をかけるとき、相手の電話やファクスに電話番号を表示させることを「通知」、表示させないことを「非通知」と呼んでいます。NTTとのご契約によって、電話番号を「常に通知する」か「常に非通知」が選べます。また、1通話だけ「通知」または「非通知」にすることができます。（☎下記 184／186）

184 / 186

電話の通知／非通知を1通話だけ変えたいときに使う番号です。電話番号を「常に通知する」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「184」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「非通知」になります。逆に、電話番号を「常に非通知」のご契約のとき、相手の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルすれば、その通話だけ「通知」になります。

キャッチホン・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。通話中に電話がかかってきたとき、ディスプレイに「新しくかけてきた方の電話番号」が表示されます。キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスでご利用できます。電話中に他の方から着信があった場合、電話番号を確認してから、通話を切り替えるかどうかの判断をすることができます。ご利用には、NTTとのナンバー・ディスプレイとキャッチホンなどの契約が必要です（有料）。

ネーム・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話をかけてきた相手の方の発信者名（「会社名」や「名前」）がディスプレイに表示されます。^{※1}ご利用には、NTTとのナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約が必要です（有料）。

※1 相手の方がNTTの契約者回線から発信し、かつ相手の方が発信電話番号と発信者名を通知する通話のみ、発信者名が表示されます。

リモート操作手順カード

外出先から録音メッセージを聞きたいとき（リモート操作 104ページ）は、下記の手順カードを切り取ってお持ちになってお使いください。

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	0 ① #
	録音内容をすべて消す	0 ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○ ○ ○ ○

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP

停止中	録音内容を聞く	① #
	再生済みの録音を消す	0 ① #
	録音内容をすべて消す	0 ② #
	留守を設定／解除する	⑥ #

リモート操作手順カード

〈暗証番号記入欄〉

○ ○ ○ ○

- リモート操作には暗証番号を使います。
- リモート操作は、プッシュホンまたはトーン信号の出せる電話機から行います。
（ダイヤル回線でトーン信号の出せる電話機の場合は、電話をかけてからトーン信号に切り替えます。）
- 詳しい操作方法は、取扱説明書をご覧ください。

SHARP

本機の使用周波数に関わるご注意

切り取って、親機や充電器の近くに貼ってお使いください。

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- 電子レンジ、産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- アマチュア無線局（免許を要する無線局）
 - ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（フリーダイヤル 0120-663-700）にご連絡ください。

もくじ

ご使用の前に

電話・電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまごまときは

ご参考にしてください

〈いろいろなりモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**③**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→**〇〇〇〇**
(暗証番号)と**③**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)だけを自動再生します。

新しい用件が録音されていない場合、自動再生はしません。一度聞いた用件をもう一度聞きたいときは、**③****③**を押してください。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ ③
	1件前の用件を聞き直す	③ ③ ③ ③
	次の用件を聞く	④ ③
	再生を途中で止める	⑤ ③
	本体メモリー設定時	
	早聞きや遅聞きをする (押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→...)	① ③
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ ③
SDカード設定時 30秒進める	⑨ ③	

〈いろいろなりモート操作をするには〉

1. 電話をかける
2. 応答メッセージが聞こえたら→**③**を押す。
3. 応答メッセージが止まったら→**〇〇〇〇**
(暗証番号)と**③**を押す。



新しい用件(ファクス本体の留守ボタンを押してまだ聞いていない用件)だけを自動再生します。

新しい用件が録音されていない場合、自動再生はしません。一度聞いた用件をもう一度聞きたいときは、**③****③**を押してください。

再生中	再生中の用件を聞き直す	③ ③
	1件前の用件を聞き直す	③ ③ ③ ③
	次の用件を聞く	④ ③
	再生を途中で止める	⑤ ③
	本体メモリー設定時	
	早聞きや遅聞きをする (押すたびに「速い」→「遅い」→「元の速さ」→...)	① ③
	SDカード設定時 10秒戻す	⑧ ③
SDカード設定時 30秒進める	⑨ ③	

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（裏表紙）

- 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、デジタルコードレスファクシミリの補修用性能部品を製品の製造打切後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口（☎262ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

- 「こまったときは」（☎208～236ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。


保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

愛情点検 	長年ご使用のデジタルコードレスファクシミリの点検を！	
	このような症状はありませんか？	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードが異常に熱い● コゲくさい臭いがする● 電源コードに深いキズや変形がある● その他の異常や故障がある

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

もくじ

ご使用前の
前に

電話・
電話帳

留守番

ファクス

印刷コピー

SDカード

便利な機能

ナンバーディスプレイ

こまったときは

ご参考に
さくいん

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」および、万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店、または下記窓口**にお問い合わせください。

電話番号をお確かめのうえ、お間違いないようにおかけください。

お電話では、次の内容をお知らせください。

- ・「品名（デジタルコードレスファクシミリ）」、「形名（UX-D90CLまたはUX-D90CW）」
- ・必要に応じて、本機の使用環境をお尋ねします。（例：お使いの電話回線の回線種別、IP電話やひかり電話などをお使いかどうか、NTTのナンバー・ディスプレイをご契約されているかどうか）

FAX送信される場合は、製品の品名、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

よくあるご質問などはパソコンから検索できます。

パソコン



シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】



0120 - 663 - 700

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00

●日曜・祝日：9:00～17:00

（年末年始を除く）

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

電話：043-351-1822 FAX：043-299-8280

西日本相談室 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

電話：06-6792-1583 FAX：06-6792-5993



「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、**当社指定の運送業者**がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

※サービスエリア：日本国内。ただし、沖縄県域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除く。

■運送費

保証期間内	無料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（0120-663-700）にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の運送業者がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中 12:00～14:00 14:00～16:00 16:00～18:00 18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。

■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日を除きます。

■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

※修理品は当社指定の運送業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。

■当社指定の運送業者が修理完了品をお届けに伺います。

■サービス料金（修理料金+利用料）を指定運送業者に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

さくいん

【アルファベット・数字】

ADSL (エーディーエスエル)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	224
他の機器との接続例	32
FAX 受信方法	240
記録紙受信	240
メモリー受信	240
FAX 専用	123
FAX 優先	122
IP 電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	224
IP 電話利用	244
携帯ととくとくダイヤルの設定	153 ~ 154
他の機器との接続例	32
ISDN (アイエスディーエヌ)	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	224
他の機器との接続例	33
IrDA® (赤外線)	155 ~ 161
IrSimple™ (赤外線)	155 ~ 161
IrSS™ (赤外線)	155 ~ 161
LCD コントラスト	182
PBX (構内交換機)	34
SD カード	
SD カードが使えない	220
SD カード内の画像データを表示	144 ~ 145
SD カードにデータを保存する	149 ~ 151
使用できる SD カード	138
取り付けかた	140
Q&A (こまったときは)	208 ~ 236
10PPS	29
20PPS	29
3 者通話	64 ~ 67

【あ】

アース端子	17、25
アクセントを変更する	
おしゃべり電話帳	76
誰あてコール	193
アドレス帳 ☎ 電話帳	
アフターサービス	261
今から録音	175 ~ 176
インクリボン	
インクリボンのご購入は	237
インクリボンを交換する	36 ~ 37
使用済みのインクリボンを捨てるときは	37
印刷	
お断り番号	136
着信記録	136
電話帳	136
メニュー設定 (最大 6 枚)	136
メモリー受信したファクスを印刷する	133
液晶ディスプレイ	21 ~ 22
液晶濃度調整	181 ~ 182
エラー表示	233 ~ 235
選んで着信	171 ~ 172
応答メッセージ	
応答メッセージの内容を確認する	102

自分で応答メッセージを録音する	101 ~ 102
自分で録音した応答メッセージを消去する	102
応答メッセージ待ち時間	239
お客様ご相談窓口	262
お声拝聴 (留守設定)	239
お断り ☎ 着信お断り	
お断り番号登録	205
おしゃべり電話帳	75
お手入れ	229
お問い合わせ	261 ~ 262
おまかせ受信	118、240
おまかせ送信	110
お待たせ (保留)	54
親機から子機へとりつぐ	64 ~ 65
親機から子機を呼び出してお話しする	62
親機送話音量切替	241
親機着信音選択	42 ~ 43
おやすみモード	169 ~ 172
オリジナルメッセージ (自作メッセージ)	101 ~ 102
音質	47、242
音声お知らせ機能	
おしゃべり電話帳	75
操作ガイド	31
誰あてコール	193
誰からコール	192
どこからコール	194
オンフックダイヤル	54
音量	
親機の受話音量を変える	43
親機のスピーカー音量を変える	44
子機の受話音量を変える	47、241
子機のスピーカー音量を変える	47
こちらの声相手が相手に聞こえにくいときは	241
着信音の音量	41、45

【か】

回線種別	
回線を自動で設定する	29
回線を手で設定する	29
電話がつかないときは	210 ~ 211
用語集	258
回避チャンネル設定	242
外部メモリーファクス受信	140
外部メモリー録音対応	140
加入電話選択番号 (携帯ととくとくダイヤル)	244、258
各種全消去	
選んで着信番号	172
お断り番号	206
確認済受信 FAX	131
再ダイヤル	58
受信 FAX	131
着信記録	196
電話帳	238
用件録音	96
画質を選ぶ	113
紙づまり	230 ~ 232
画面	21 ~ 22
キータッチ音 (キータッチトーン)	182、242

キーロック 181
 キャッチホン 187、258
 キャッチホン・ディスプレイ 187、258
 キャッチホン切替時間 243
 強制リセット 236
記録紙
 記録紙がつまったときは 232
 記録紙に白や黒の線が入るときは 227 ~ 228
 記録紙をセットする 132
記録紙受信 115、240
クイック通話 182
区点コード 246 ~ 247
クリア
 強制リセット 236
 電話帳以外初期化 238
 電話帳消去 238
 登録初期化 238
くるピカキー 23
ケータイ de コピー 155 ~ 161
携帯ととくとくダイヤル機能
 IP 電話利用 244
 携帯番号登録 244
 設定する 153 ~ 154
 設定内容表示 245
 用語集 258
携帯番号帯登録 (携帯ととくとくダイヤル) ... 244
消す ☞ 消去する
原稿
 原稿がつまったときは 230 ~ 231
 原稿の排出 110
 原稿をセットする 108
 セットできる原稿のサイズ 113
公衆電話お断り 204
橋内交換機 (PBX) 34
子機から親機へとりつぐ 66 ~ 67
子機から親機を呼び出してお話しする 63
子機から時計受信 243
子機受話音質切替 242
子機受話音量切替 241
子機送話音量切替 241
子機転送 89
子機へ時計送信 243
故障かな?と思ったときは 236
コピー 135
こまったときは (こんなときは)
 ADSL やひかり電話をご契約の方へ 224
 SD カードが使えない 220 ~ 221
 相手の声が聞こえにくい 214
 印刷した画像が汚い 216
 エラー表示/エラー音について 233 ~ 235
 お手入れのしかた 229
 記録紙に白や黒の線が入るときは 227 ~ 228
 原稿や記録紙がつまったときは 230 ~ 232
 子機が使えない 217
 故障かな?と思ったときは 236
 コピーや印刷ができない 215
 赤外線受信ができない 219
 その他 こまったときは 225 ~ 226

着信音が鳴らない 213
 電話がかかけられない 210 ~ 211
 ナンバー・ディスプレイが使えない 222 ~ 223
 ファクスを受けられない 213
 ファクスを送れない 212
 留守モードが正しく働かない 218

【さ】

再生

10 秒戻し再生 96、98
 30 秒送り再生 96、98
 遅聞き再生をする 96
 今から録音を再生する 94、97、180
 伝言メモを再生する 174
 早聞き再生をする 96、98
 戻って録音を再生する 94、97、177
 留守設定を解除して再生する (親機) 92
 録音内容を再生する (親機・子機) 94、97
 録音を通話中に再生する 180

再ダイヤル

再ダイヤルの記憶を消去する 58
 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録する 73、79
 電話をかけ直す 56 ~ 57
 ファクスを送る 112

在宅時応答回数 120

サブ画面 126

事業者識別番号 (携帯ととくとくダイヤル) ... 154、258

時刻設定 48 ~ 49

自動メッセージ 101 ~ 102

自動受信 (ファクス)

着信音を鳴らさずに受ける 123、169 ~ 172
 電話に出ないで自動的にファクスを受ける 120
 留守設定にする 91

自分の電話番号と名前を登録する (親機) ... 50 ~ 51

自分の名前を登録する (子機) 52

修正

電話帳 (親機) 73
 電話帳 (子機) 78

充電

子機の充電電池交換 40
 充電時間 38
 充電電池の寿命 40
 充電電池のリサイクル 40

修理 261 ~ 262

修理品引き取りサービスのご案内 262

縮小受信 115、240

受信する (ファクス) 114 ~ 123

受信モード

FAX 専用 123
 FAX 優先 122

受話音量 43、47

受話通話 (スピーカーホン通話) 54

仕様 248

消去する

お断り番号を消去する 206
 応答メッセージを消去する 102
 着信記録を消去する 196 ~ 197
 電話帳登録データを消去する 73、79、238
 メモリー受信したファクスを消去する 130

留守録用件を消去する 94 ~ 98
 録音内容を消去する (今から録音・戻って録音・メモ録音・留守録音) ... 94 ~ 98
 ワンタッチダイヤルの登録を消去する 88
譲渡するときは **238**
消耗品 **237**
初期化する **238**
 スキャン 142
 スピーカー 17、20
 スピーカー受話 (受話通話) 54
 スピーカーホン通話 55
 清掃する 227 ~ 229
赤外線
 携帯電話の画像データをプリント (ケータイ de コピー) 157 ~ 158
 携帯電話の画像データをファクス送信 159 ~ 160
 携帯電話の電話帳データを登録 161
セキュリティ機能
 今から録音 175
 おやすみモード (選んで着信) ... 171 ~ 172
 迷惑電話拒否機能 (お断り) 204 ~ 205
 戻って録音 177
設置スペース **25**
操作ガイド **30**
掃除 (清掃) する **227 ~ 229**
送信する (ファクス) **108 ~ 113**
増設子機 **173**
増設する **173**
相談窓口 **262**
送話音量 **241**

【た】

第 1 番号、第 2 番号 (電話帳) **71、83**
ダイヤルインの設定
 FAX 時応答回数 165
 設定内容表示 165
 ダイヤルイン機能 163
 ダイヤルイン着信音 166
 番号消去 165
 番号登録 164 ~ 165
誰あてコール **193**
誰あてコール設定 **193**
誰からコール **192 ~ 195**
地域番号帯設定 (どこからコール) **194**
チャイム後自動設定 **61**
チャイムでお断り **60 ~ 61**
着信お断り
 公衆電話からの電話をお断り 204
 特定の相手の方からの電話をお断り 205
 非通知からの電話をお断り 204
 表示圏外からの電話をお断り 204
着信音
 着信音の音量を調整する 41、45
 着信音の回数を変える 120
 着信音の種類を変える 42 ~ 43、46
 着信音を確認する 43
 着信音を確認する 43
 着信鳴り分け時の着信音を変える ... 201 ~ 203

着信拒否 ☞ **着信お断り**
着信記録
 着信記録を確認する 196 ~ 197
 電話帳に登録する 74、79
 電話をかける 198 ~ 200
 ファクスを送る 198、200
着信設定ガイド **116 ~ 117**
着信鳴り分け **201 ~ 203**
着信メロディ (着信音) **40、42 ~ 43**
着信履歴 ☞ **着信記録**
通知 **258**
通話音質 **47**
通話時間 (子機) **38**
通話中のお待たせ **54**
通話中再生 **180**
使いかたガイド **30**
ディスプレイ (液晶ディスプレイ) **21 ~ 22**
停電時の動作 **226**
デカ文字着信 **181**
デモ起動 **245**
伝言メモ **174**
電波サポート **54、182**
転送
 電話帳の転送 89 ~ 90
 電話をとりつぐ 64 ~ 68
点滅
 受信 FAX ボタン 133
 留守ボタン 91
電話がかけられないときは **210 ~ 211**
電話帳
 SD カードにバックアップを取る 151
 相手先を検索する 84、86
 親機の電話帳を子機に転送する 89
 子機の電話帳を親機に転送する 90
 再ダイヤルを登録する 73、79
 修正する 73、78
 消去する 73、79、238
 電話帳新規登録 70 ~ 72
 電話帳で電話をかける 83、85
 電話帳でファクスを送る 112
 電話帳に登録する 70 ~ 72、77 ~ 78
 電話帳の一覧を印刷する 136
 登録した内容を確認する 72
電話帳以外初期化 **238**
電話を受ける **55**
電話をかける
 再ダイヤルで電話をかける 56 ~ 57
 着信記録で電話をかける 198 ~ 200
 電話帳で電話をかける 83、85
電話をとりつぐ **64 ~ 68**
トルセーパー **106 ~ 107**
ドアホン通話 **185 ~ 186**
ドアホンをつなぐ **183 ~ 184**
登録
 親機の電話帳 70 ~ 72
 子機の電話帳 77 ~ 78
登録 / 設定早見表 **250 ~ 257**
トーン (プッシュホン) **29**

もくじ
 ご使用の前に
 電話・電話帳
 留守番
 ファクス
 印刷コピー
 SDカード
 便利な機能
 ナンバーディスプレイ
 ごまっただときは
 ご参考に
 さくいん


トーン信号 (プッシュ信号)	54
特定の番号をお断りする	
お断りする番号を登録	205
登録したお断り番号を消す	206
特別設定	239 ~ 245
時計	48 ~ 49
時計バックアップ (時計転送)	242 ~ 243
どこからコール	191 ~ 194
とりつき転送	64 ~ 67

【な】

内線通話	62 ~ 63
鳴り分け時の着信音	
公衆電話鳴り分け	201 ~ 203
ダイヤルイン鳴り分け	166 ~ 168
電話帳鳴り分け	201 ~ 203
非通知鳴り分け	201 ~ 203
表示圏外鳴り分け	201 ~ 203
ナンバー・ディスプレイ	188、258
日時設定	48 ~ 49
ニッケル水素電池	40
入力 (文字)	80 ~ 82
ネーム・ディスプレイ	207、258
濃度を選ぶ	181 ~ 182

【は】

廃棄するときは	238
バックアップ	
受信FAXデータ	150
電話帳	151
録音データ	149
発信音検出	241
発信音待ち時間	239
発信元番号	50
発信元名	51
光回線	32
ひかり電話	
ADSL やひかり電話をご契約の方へ	224
携帯とくどくダイヤルの設定	153
他の機器との接続例	32
ビジネスホン	34
非通知	188、204、258
非通知お断り	204
日付・時刻設定	48 ~ 49
ひとり転送	68
表示	21 ~ 22
表示圏外お断り	204
ファクス専用 (FAX 専用)	123
ファクスそのまま転送	128
ファクス優先 (FAX 優先)	122
ファクスを受信する	114 ~ 123
ファクスを送信する	108 ~ 112
付属品	8
普通紙	237
プッシュ信号 (トーン信号)	54
プッシュホン (トーン)	29
ランチ接続 (並列接続)	34

ふりがな (読み)	71
プリント  印刷	
ペーパーレス送信	128 ~ 129、147 ~ 148
並列接続	34
別売品	237
変更	
電話帳 (親機)	73
電話帳 (子機)	78
傍受 (ぼうじゅ)	14
ポーズ (待ち時間)	72
ホームテレホン	34
保証	261
ボタンの名前	18 ~ 19、20
保留	54

【ま】

マイナンバー	162
窓口	
商品・操作に関するお問い合わせ	262
修理に関するお問い合わせ	262
見ながらプリント	
サブ画面を確認する	126、145
自動スクロール表示	125、145
消去する	130
ダイレクトジャンプ	126、145
表示する	124、144
迷惑電話拒否機能 (迷惑電話お断り)	59 ~ 61
メッセージでお断り	59 ~ 61
メニュー設定リスト	136
メモリー残量表示	95
メモリー受信	240
メモリー受信したファクスを印刷する	133
メモリー受信枚数	115
メモリーの残量を確認する	95
メモ録音	174
文字入力	80 ~ 82
モデムダイヤルインサービス	162 ~ 168
戻って録音	177 ~ 179
戻って録音時間	179

【や】

読み	71
読み取り範囲	113
用件録音全消去	96、98
用語集	258

【ら】

リサイクル (ニッケル水素電池)	40
リスト	
お断り番号のリストを印刷する	136
着信記録のリストを印刷する	136
電話帳のリストを印刷する	136
メニュー設定のリストを印刷する	136
リセット (強制的に初期状態にする)	236
リダイヤル (再ダイヤル)	56 ~ 57

リモート操作

リモート暗証番号	103
リモート操作を行う	104
留守時応答回数	105 ~ 107
留守番電話	91 ~ 92
録音時間	239
録音する	
通話中の会話を録音する	175 ~ 176
伝言メモを録音する	174
留守録設定時の応答メッセージを録音する	101 ~ 102
録音でお断り	60
録音を聞く	94、97
録音を消去する	94 ~ 98

【わ】

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルで電話をかける	88
ワンタッチダイヤル登録	87 ~ 88

よくあるご質問などはパソコンから検索できます。

パソコン



シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使い方や修理のご相談

【お客様相談センター】



0120 - 663 - 700

携帯・PHS OK

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00

●日曜・祝日：9:00～17:00

(年末年始を除く)

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043-351-1822	FAX：043-299-8280
西日本相談室	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06-6792-1583	FAX：06-6792-5993



「修理品引き取りサービス」のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼いただきますと、**当社指定の運送業者**がお客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

電話でのお申し込みにあたっては262ページの「ご利用料金」「お引き取り時間」「修理・お届け」を併せてご確認のうえご依頼ください。

お申し込み

【お客様相談センター】(0120-663-700)にお電話でお申し込みください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

Printed in Malaysia
UX-D90CL/UX-D90CW 08J② TINSJ4621XHTA